

KENWOOD

HDD/DVD AV NAVIGATION SYSTEM

HDV-990 HDV-790

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
Kenwood Corporation



個人宅電話番号検索には、株式会社ダイケイのテレデータを使用しています。

「タウンページ」は、NTT東日本およびNTT西日本の商標です。

「Microsoft」、「Windows」、「Windows NT」、「Windows Media」は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国や地域における登録商標または商標です。

本機は、米国特許及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

 is a trademark of SRS Labs, Inc.
CS Auto technology is incorporated under license from SRS Labs, Inc.

"DTS" is a registered trademark of DTS, Inc. and "DTS 2.0 + Digital Out" is a trademark of DTS, Inc.

 is a trademark of DVD format/Logo Licensing Corporation registered in the U. S. Japan and other countries.

AppleおよびiPodは、米国およびその他の国で登録されているApple Computer, Inc.の商標です。

DivX、DivX Certified、および関連するロゴは、DivX, Inc. の商標です。
これらの商標は、DivX, Inc. の使用許諾を得て使用しています。

Built with Linter Database.
Copyright © 2006-2007 Brycen Corp., Ltd.
Copyright © 1990-2003 Relex, Inc. All rights reserved

HDV-990は、Ingenient Technologies社の組み込みマルチメディアテクノロジーを使用しています。

はじめに

C001	目次	3
C002	安全上のご注意	7
C003	使用上のご注意	11
C004	カーナビゲーションに関わる個人情報 について	15
C005	本書の読みかた	16

共通操作

C006	各部の名称とはたらき	18
C007	電源を入れる/切る	20
C008	フロントパネルの角度を調整する	21

ナビの共通操作

N001	現在の場所の地図を表示する	22
N002	地図の縮尺を変える	24
N003	地図の向きを変える	25
N004	ランクメニューを表示する	26
N005	地図を3Dで表示する	27
N006	地図を2画面表示する	28
N007	スクロールしているいろいろな場所の地図を 表示する	29
N008	地図上のマークの情報を表示する	31
N009	サウンド切替ボタンで音声を切り替える	33
N010	くるくるボタンでAVソースを操作する	34
N011	トップメニューを表示する	43
N012	ナビメニューを表示する	44

地点検索とルート案内

N013	探すメニューを表示する	45
N014	いろいろな探し方	46
N015	施設名で探す	47
N016	住所で探す	50
N017	電話番号で施設を探す	53
N018	電話番号と名前で個人宅を探す	55
N019	経緯度で探す	58
N020	したいことで探す	61
N021	したいことの種類	64
N022	地図で探す	65
N023	メモリー地点から探す	67
N024	過去の目的地から探す	70
N025	周辺から探す	72
N026	目的地として設定する	75
N027	通過点として設定する	77
N028	地点の詳細を見る	78
N029	地図から他の地点を探す	80
N030	地点周辺の駐車場や関連施設を探す	82
N031	地点周辺の施設を探す	84
N032	メモリー地点として登録する	86
N033	ルートを選ぶ	87
N034	ルートを比較する	89
N035	ルート案内を開始する	90
N036	自宅へ帰る	91

ルート案内

N037	一般道での案内	93
N038	高速道路での案内	95
N039	案内ポイント付近での音声案内	99
N040	案内ポイント付近での画面案内	100
N041	目的地の情報を表示する	101
N042	ルートから外れたときは	102
N043	ルートを探索しなおす	103
N044	別の道路に自車位置を変える	104
N045	渋滞していたら	105

ルートの確認と変更

N046	ドライブプランメニューを表示する	106
N047	ドライブプラン全体を表示する	107
N048	ドライブプラン全体地図画面と ドライブプラン情報確認画面	108
N049	行き先の場所を変更する	110
N050	行き先の順番を変更する	113
N051	行き先を削除する	116
N052	通過点を追加する	119
N053	ドライブプランを削除する	122
N054	お試し走行をする	124
N055	ルート案内を中止する	125

VICS情報

N056	VICS情報とは	126
N057	VICS情報の表示	127
N058	渋滞メニューを表示する	129
N059	VICS FM情報を表示する	130
N060	VICS情報表示画面	131
N061	VICS FM局の選局方法を切り替える	132
N062	VICS（ビーコン）情報を表示する	134
N063	VICS機能を設定する	135

記録した情報の編集

N064	情報メニューを表示する	137
N065	メモリー地点情報を表示する	138
N066	メモリー地点の位置を確認する	139
N067	メモリー地点の名称や読み仮名を 変更する	140
N068	文字の入力	142
N069	メモリー地点に電話番号を設定する	144
N070	メモリー地点のマークを変更する	145
N071	メモリー地点にサウンドを設定する	146
N072	メモリー地点のサウンドを鳴らす 接近方向を設定する	147
N073	メモリー地点を消去する	148
N074	自宅の位置を登録/変更する	149
N075	自宅のマークを変更する	151
N076	自宅情報を消去する	152
N077	過去目的地をメモリー地点に登録する	153
N078	過去目的地を消去する	155
N079	タッチゲームで遊ぶ	157

ナビの設定

N080	ナビ設定メニューを表示する	158
N081	地図画面の表示を設定する	159
N082	地図画面の色調を設定する	161
N083	3D地図の角度を設定する	163
N084	ランドマークの表示を設定する	164
N085	ルート案内時の動作を設定する	166

AVの基本操作

E001	AVモードでのハードキー	168
E002	ハードキーでAVソースを切り替える	169
E003	ディスクの出し入れ	171

DVDの基本操作

E004	DVDを観る	172
E005	DVD操作ボタンで操作する	173
E006	DVD拡張操作ボタンで操作する	174
E007	DVD VIDEOメニューで操作する	175
E008	タイトル番号でシーンを探す	177
E009	映像をズームする	178
E010	ディスクメニューをダイレクトに操作する	179
E011	ディスクメニューをボタンで操作する	180

CDの基本操作

E012	CDを聴く	182
E013	CDメニューで操作する	183
E014	トラックリストで選曲する	185

各種ファイルの操作

E015	オーディオファイルディスクを聴く/ ビジュアルファイルディスクを観る	186
E016	圧縮ファイルメニューで操作する	187
E017	ファイルリストで選択する	190
E018	フォルダを選択する	191

TVの操作

E019	ワンセグを観る	193
E020	ワンセグ操作ボタンで操作する	195
E021	ワンセグメニューを表示する	196
E022	チャンネルをスキャンする	197
E023	チャンネルリストを保存する	198
E024	チャンネルリストを呼び出す	199
E025	チャンネルリストで選局する	200
E026	チャンネルリストの順に選局する	201
E027	放送局をチャンネル順に選局する	202
E028	音声を設定する	203
E029	字幕を設定する	204
E030	番組表を表示する	205
E031	緊急放送について	206

E032	アナログテレビを観る	207
E033	TV操作ボタンで操作する	209
E034	TVメニューで操作する	210
E035	チャンネルをマニュアルで プリセットする	212

TUNERの操作

E036	ラジオを聴く	213
E037	TUNERメニューで操作する	215
E038	放送局をマニュアルでプリセットする	217

iPodの操作

E039	iPodを接続する	218
E040	iPod内の曲を聴く/iPodビデオを観る	219
E041	iPodメニューで操作する	221
E042	カテゴリで選曲する	223
E043	曲リストで選曲する	225
E044	iPodビデオを操作する	226

USBデバイスの操作

E045	USBデバイスを接続する	227
E046	USBデバイス内の曲を聴く	228
E047	USBメニューで操作する	230
E048	USBデバイスのファイルリストで 選択する	232
E049	USBデバイスのフォルダを選択する	233
E050	オーディオファイルをハードディスクに 転送する	235

ハードディスクの操作

E051	ハードディスク内の曲を聴く	237
E052	ハードディスク (HDD) メニューで 操作する	239
E053	カテゴリで選曲する	241
E054	ハードディスク内の曲を検索する	243
E055	プレイリストに追加する	245
E056	ハードディスク内の再生中の曲を 削除する	247

その他のAVの操作

E057	外部ビデオの映像を表示する	248
E058	外部オーディオの音声を出力する	250
E059	リアビューカメラの映像を表示する	252
E060	リアモニターで映像を観る	253

オーディオコントロール

S001	サウンド調整メニューを表示する	254
S002	オーディオ構成を設定する	255
S003	ポジションを設定する	258
S004	イコライザーを設定する	259
S005	サラウンドと音場を選択する	261
S006	きめ細かく音場を調整する	263
S007	バランスを調整する	264
S008	ソースごとの音量バランスを設定する	265

システムのセットアップ

S009	セットアップメニューを表示する	266
S010	画質を調整する	267
S011	タッチ位置を補正する	270
S012	画面の位置を調整する	272
S013	ナビ機能を設定する	274
S014	車両情報を設定する	276
S015	接続状態を確認する	277
S016	パルス学習をリセットする	278
S017	現在地を補正する	279
S018	音声サポートの口調などを設定する	281
S019	DVDやCDの機能を設定する	283
S020	DVDの優先言語を設定する	285
S021	DVDの視聴制限レベルを設定/ 変更する	287
S022	暗証番号を変更する	289
S023	システムの詳細を設定する	291
S024	セキュリティコードを設定する	294
S025	セキュリティコードを解除する	296
S026	セキュリティコードを入力する	298

ハードディスクの編集

S027	ハードディスクのデータを編集する	299
S028	ハードディスク内の曲を削除する	300
S029	プレイリストの名前を変える	302
S030	プレイリストに曲を追加する	304
S031	プレイリスト内の曲順を変更する	306
S032	プレイリスト内の曲を削除する	308
S033	プレイリスト内のすべての曲を 削除する	310
S034	ハードディスク内の曲の再生履歴を 削除する	312
S035	ハードディスクの容量を確認する	313

付録

A001	自転車位置の測位精度について	314
A002	地図記号の凡例	318
A003	地図データベースについて	319
A004	その他の資料	322
A005	VICSサービスの問い合わせ	323
A006	VICSリンクの更新について	324
A007	VICS情報有料放送サービス契約約款	325
A008	DVDの言語コード	327
A009	オーディオ/ビジュアルファイル について	329
A010	メディアについて	330
A011	アナログ放送からデジタル放送への 移行について	333
A012	ワンセグのファームウェアの バージョンアップについて	335
A013	故障かなと思ったら	336
A014	ナビ用語集	350
A015	AV用語集	351
A016	主な仕様	354
A017	ソフトウェアに関する重要なお知らせ	358
A018	保証とアフターサービス	366
A019	キーワードインデックス	367

- 本製品にはWindows Automotive-based Systemが搭載されています。ご使用前に、以下の注意事項と「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。取扱説明書に記載されている注意事項が守られなかった場合は、事故などの深刻な問題が発生する可能性があります。
- お読みになった後は、いつでも見られる場所（たとえば、車のグローブボックスなど）に必ず保管してください。

絵表示による注意

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

 禁止	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。
 禁止	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
 実施	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

警告**実施**

運転中に本製品の操作を行うと、ハンドルから手が離れたり、道路状況への注意力が散漫になるなどして、交通事故などの原因になります。交通事故防止のため、運転中は本製品の操作を行わないでください。本製品を操作するときは、必ず安全な場所に車を止めてから行ってください。

**禁止**

運転者は、ナビゲーションの画面に気を取られないでください。交通事故などの原因になります。走行中に画面を見るときは必要最小限とし、注視するのは避けてください。

**実施**

運転中の音量は、車外の音や緊急車両などの音が聞こえる程度で使用してください。外部の音が聞こえない状態で運転することは事故の原因となります。



以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

**実施**

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする

**禁止**

操作パネル部の開閉中には、手や指を近づけないでください。挟まれてケガをすることがあります。

**禁止**

修理は必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。

**禁止**

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

**実施**

緊急時に使用する場合は、本製品の情報のみに頼らず、警察や消防署、病院などに連絡をして、場所などの確認を行ってください。

**実施**

本製品は、目的までの道のりを、曲がり角ごとに案内をして誘導します。ご使用になる前に必ず、取扱説明書や注意事項などをよく読み、正しく理解して使用してください。

 **警告****実施**

探索したルートは、ルート上の安全性を考慮して探索されていません。危険な地域への誘導がされている場合は、運転者はそのときの状況を判断して回避してください。

**実施**

本製品の地図は、実際の道路状況や交通規制などと異なる場合があります。これは収録された時点の地図データ、交差点情報、交通規制情報などと、現在のものとで差異が生じているためです。走行時には、実際の道路や交通規制などに従って運転してください。

**禁止**

画面が表示されない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。

**実施**

ナビゲーションシステムで探索された経路はあくまでも参考ルートで、道路状態や交通規制などと一致しない場合があります。実際の交通規則を守って走行してください。

**実施**

万一、異物が入った、水や飲み物がこぼれた、煙が出てくる、変な臭いがするなどの異常が発生した場合は、ただちに使用を中止し、お買い求めの販売店にご相談ください。そのまま使用を続けると、事故、火災、感電の原因となります。

**実施**

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因となります。

**実施**

本機の取り付け、取り外し、周辺機器の追加などを行う際は、安全のため、必ずお買い求めの販売店にご依頼ください。取り付け作業には専門技術が必要です。

**実施**

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

 **注意****禁止**

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。

**禁止**

本製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。

**禁止**

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。
ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

**実施**

操作パネルや本体部が汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。
汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。
硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。
傷が付いたり文字が消えることがあります。

**実施**

モニターの画面に保護用フィルムなどを貼ると、タッチ操作時に誤動作する場合があります。

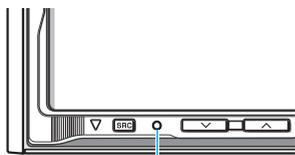
安全走行のために

走行中はフロント映像出力に接続されたテレビやビデオの映像を見ることはできません。安全な場所に駐車してパーキングブレーキを引いてからお楽しみください。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「A013 故障かなと思ったら」を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットキーをペン先などで押してください。

本機をお買い上げ時の状態に戻します。ただし、自転車位置、車速パルスの学習状態、登録した自宅情報およびメモリー地点はリセットされません。



リセットキー

リセットキーを押しても正常に戻らないときは、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

本機でコントロールできる iPod について

別売品の iPod 接続ケーブル (KNA-i990) を使用して、Dock コネクタを装備した iPod (市販品) を接続すると、本機から iPod のコントロールが行えます。

本機からコントロールできる iPod は以下の通りです。

コントロール可能 iPod	ソフトウェアバージョン
Dock コネクタ搭載の iPod (第3世代)	iPod ソフトウェア 2.3.0
クリックホイール搭載の iPod (第4世代)	iPod ソフトウェア 3.1.1
iPod mini	iPod mini ソフトウェア 1.4.1
iPod photo/iPod (カラーディスプレイ)	iPod ソフトウェア 1.2.1
iPod nano	iPod nano ソフトウェア 1.3.0
iPod nano (第2世代)	iPod nano ソフトウェア 1.1.1
動画対応 iPod (第5世代)	iPod ソフトウェア 1.2.0

iPod のソフトウェアバージョンが上記のバージョン未満の場合は、iPod のソフトウェアをアップデートする必要があります。

iPod のソフトウェアバージョンは、iPod の MENU ボタンを押したあと、「設定」、「情報」と選択すると表示される「バージョン」欄に表示されます。最新の iPod ソフトウェアのアップデートはアップルのサイトからダウンロードできます。

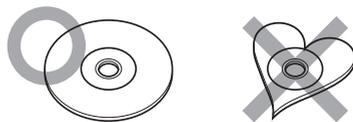
本機に表示できる文字の種類は、ISO08859-1、半角カタカナ、および全角文字です。

正しく表示できない文字は「・」で表示されます。

本機に別売品の iPod 接続ケーブル (KNA-i990) を使用して iPod を接続すると、iPod に電源を供給し、音楽を再生中でも充電ができます。ただし、本機の電源がオンになっている必要があります。

使用できるディスク

特殊な形状のディスクは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。



記録面 (レーベル面の反対側) が着色してあるものや汚れているディスクは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

レーベル面にシールの貼ってあるディスクを使用すると、ディスクが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるディスクは使用しないでください。

インクジェットプリンタでレーベル面に印刷可能な CD-R/RW、DVD-R/RW、および DVD+R/RW は使用しないでください。使用すると、誤動作することがあります。

C 本機で再生できないディスク

共通 下表の「ディスク再生対応一覧表」で「×」対応のディスクは、本機では再生できません。

本機で再生可能な音楽CDは    マークの入ったCDだけです。

前記マークの入っていないディスクは、正しく再生できない場合があります。

また、ファイナライズ処理を行っていないCD-R/RWおよびDVD-R/RWは再生できません(ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフトやレコーダーのマニュアルをご覧ください)。

その他、CD-R/RW、DVD-R/RW、およびDVD+R/RWは、記録状態によっては再生できない場合があります。

ディスク再生対応一覧表

分類	規格	対応	備考
DVD	DVDビデオ	○	—
	DVDオーディオ	×	—
	DVD-R	○	—
	DVD-RW	○	MP3/WMA/AAC/JPEG/MPEG/DivX (バージョン3.11、4.x、5.xに対応)再生
	DVD+R	○	VRモード対応(DVD-RWのみ)
	DVD+RW	○	マルチボーター/マルチセッション非対応
	DVD+R DL (2層)	○	CPRM対応
	DVD-R DL (2層)	○	オーサリング状態によっては再生不可
DVD-RAM	×	—	
CD	音楽CD	○	CD-TEXT、8cmディスク対応
	CD-ROM	○	MP3/WMA/AAC/JPEG再生
	CD-R	○	MP3/WMA/AAC/JPEG再生
	CD-RW	○	マルチセッション対応
	DTS-CD	○	—
	ビデオCD、スーパービデオCD	×	—
	フォトCD	×	—
	CD-EXTRA	△	音楽CDセッションのみ再生可能
	HDCD	△	通常の音楽CDの音質
	CCCD	×	—
その他	デュアルディスク	×	—
	スーパーオーディオCD	△	CD層のみ再生可能

○：再生できます △：一部のみ再生可能です ×：再生できません

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

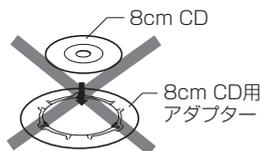
ディスク用アクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。



8cmCDアダプターは使用しないでください。

8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。



結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を超える高温になると、保護回路が働いてディスクの再生ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、再生ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットキーを押してください。

リージョン番号

本機で再生できるDVDリージョン番号（国ごとに割り当てられた番号）は「2」（または2を含むもの）と「ALL」です。

DVDディスクに表示されているリージョン番号が本機と一致しないと、本機では再生できません。

DVDディスクのマーク

記号	内容
	リージョン番号を表します。このマークが付いているディスクはどのDVDプレーヤーでも再生できます。
	収録されている音声の言語数を表します。1本の映画の中に最大8つの言語を収録できます。お好みの音声で聴くことができます。
	収録されている字幕スーパーの言語数を表します。32カ国語まで収録できます。
	複数のアングルで撮影された映像が記録されている場合は、お好みのアングル（角度）で見ることができます。
	映像の画面タイプを表します。左のマークでは標準のテレビ（4:3）で見た場合、ワイド映像（16:9）は上下に黒帯の入る（レターボックス）映像となります。

操作規制マークについて

DVDは、再生箇所により本機での再生操作等規制される場合があります。このようなときは下記のマークが映像上に表示されます。内容についてはディスクのマニュアルをご覧ください。



C ディスクの取り扱いについて

共通

ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いには記録面に触れないようにしてください。(レーベルが印刷されていない面が記録面です。)

N
ナビゲーション

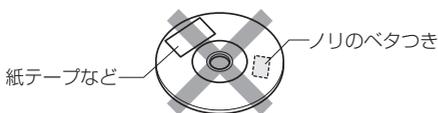
CD-R/RWやDVD-R/RW、DVD+R/RWは通常のディスクより反射膜が弱いため、傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取り扱いには十分注意をしてください。

E
エンタテインメント

詳細な注意事項がディスクのパッケージなどにも書かれています。それらの注意事項も読んでから使用してください。

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。

ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままディスクプレーヤーにかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障することがあります。

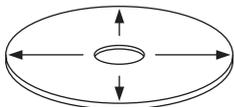
S
セットアップ

A ディスクのお手入れ

付録

ディスクが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。

従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



ディスクの保存

直射日光が当たる場所(シートやダッシュボードの上)など、温度が高くなる場所には置かないでください。

特にCD-R/RWやDVD-R/RW、DVD+R/RWは通常のディスクに比べて高温、多湿の環境に弱く、車内に長時間放置すると使用できなくなる場合があります。

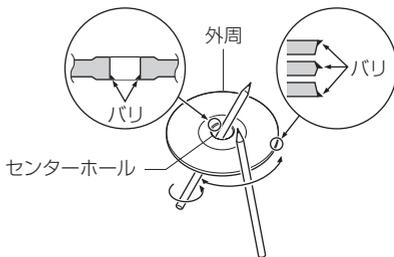
長期間演奏しないときは、本機からディスクを取り出して、ケースに入れて保管してください。

キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

新しいディスクを使うときは

新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールや外周部に"バリ"がないことを確認してください。

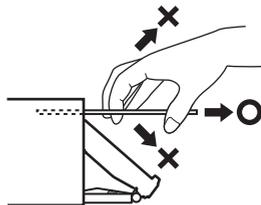
"バリ"がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。"バリ"があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。



ディスクの取り出しかた

本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。

下側や上側に強く押しながら引き出すとディスクの記録面に傷を付ける原因となります。



本機にメモリーされた個人情報について

本機を譲渡したり、売却したりする場合には、本機に記録された情報（例：メモリー地点や自宅情報等）を、必ずお客様自身によってデータを消去し、確認してください。

消去のしかたは本取扱説明書をご覧ください。[P.073](#)、[P.076](#)

弊社では未消去のデータの流出による損害等について、一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。

本機での個人情報を含む検索データの取り扱いについて

本機には公開済みの電話帳の情報を元に作成したデータ（株式会社ダイケイ製）を使用した検索機能が搭載されています。

弊社は、同データに収録された個人情報をその機能の実現のみに使用し、第三者へは開示しません。

該当する個人情報の開示、訂正、削除などをご希望のお客様は、以下の窓口までご連絡ください。ご本人の確認および所定の手続きを経た後、対応が可能となる次回製品より、該当する情報の削除などを行います。

ケンウッド・カスタマーサポートセンター

ナビダイヤル：0570-010-114

（一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）

携帯電話・PHS・IP電話：045-933-5133

〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山 1-16-2

FAX：045-933-5553

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00

土曜 9:30～12:00、13:00～17:30

受付日 弊社休日および祝日を除く月～土曜日

既に製造済みの製品での情報の削除や変更には応じられませんので、予めご了承ください。

この取扱説明書で用いられている表記方法について説明します。

本書の構成

本書は、HDD/DVD AV NAVIGATION SYSTEM HDV-990/790（以降、「本機」）のすべての機能の操作を説明したリファレンスマニュアルで、本機の機能とメニューに従って構成されています。

- Cxxx：本機全体に関することが記載されています。
- Nxxx：カーナビゲーション（以降、「ナビ」）機能の操作に関することが記載されています。
- Exxx：カーオーディオ&ビジュアル（以降、「AV」）機能の操作に関することが記載されています。
- Sxxx：本機のセットアップ（各種の設定）機能の操作に関することが記載されています。
- Axxx：関連する資料や用語集などが記載されています。

N
085

Before Step

ルータ案内時の動作を設定する

HDV-990

ルータ案内時の画面表示や音声を設定します。

- 1 **ナビ設定** [案内設定]にタッチします。
- 2 **ナビ設定** 目的の項目を設定します。
目的の項目が表示されていないときは、表示されるまで **戻る** にタッチします。
- 3 **ナビ設定** [もどる]にタッチします。
ナビ設定メニュー画面に戻ります。

Complete

- **項番**
本書中での参照は、すべてこの項番で示されています。
- **使用できるモデル**
機能によっては使用できるモデルに制限がある場合があります。
- **リード**
この項に記載されている機能が簡潔に説明してあります。
- **Before Step**
この操作を始める前に行う操作です。
- **操作完了/次のページへ続く**
Next Page
次のページへ続きます。
Complete
ここで操作完了です。
- **注意など**
caution
操作上で特に気をつけていただきたいことが記載されています。
note
補足説明や制限事項などが記載されています。
tip
使いかたのヒントが記載されています。
- **つづく**
次のページに説明の続きがあります。

■ **note**

- 手順2では、必要な項目だけを設定できます。
- 方面着標をONに設定しても、設置されているすべての方面着標が表示されるわけではありません。
- 地図表示設定]にタッチすると、地図の表示方法を設定できます。166 **ナビ設定**

166 ナビの設定

説明ページの探しかた

本書には次の2種類のインデックスが用意されています。

目次 C001

本書に記載されている順に、見出しとページ番号が記載されています。

目次は、したいことインデックスの次にあります。

キーワードインデックス A019

ナビやAVで使われる機能の名称や用語から、その説明ページを探せます。たとえば、「イコライザー」で探せば、本機のイコライザー調整に関する説明個所の番号が記載されています。

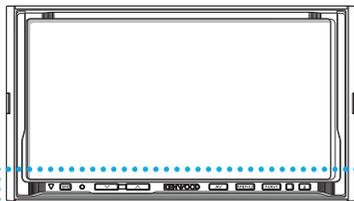
キーワードインデックスは、巻末にあります。

タッチパネルでの操作



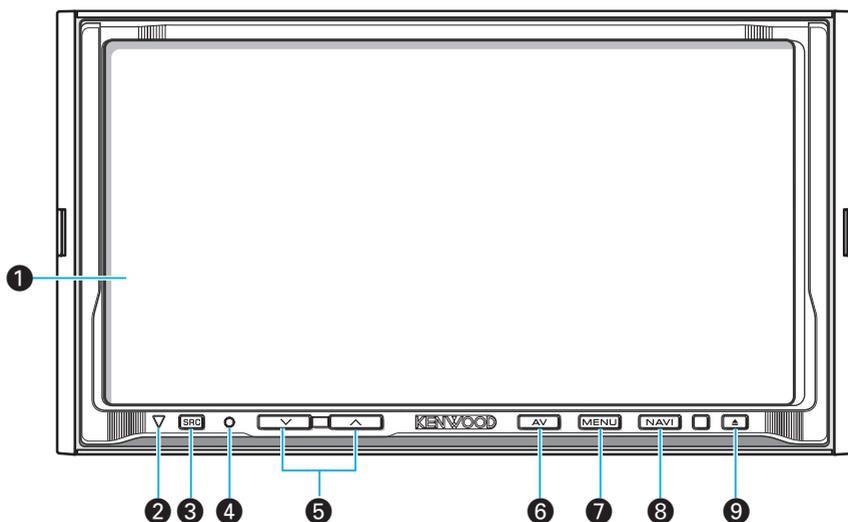
- このボタンにタッチします。本書では「[××]にタッチします」と表記されています。操作するボタンおよび関連個所以外は薄く隠れています。

ハードキーの操作



- このハードキーを押します。本書では「[××]を押します」と表記されています。また、操作によっては、ハードキーを約2秒間以上押し続ける場合があります。この場合、本書では、「約2秒以上、[××]を押します」と表記されています。

- 本書の画面や操作例は操作説明用に作成したものです。実際の画面と異なる場合や、実際には行えない例が記載されている場合があります。
- HDV-990とHDV-790で共通の操作を説明するときには、画面例はHDV-990のものを使用しています。



- 1 画面**
ナビの地図やDVDの映像などが表示されます。画面にタッチするだけで、ほとんどの機能を操作できます。
- 2 セキュリティインジケータ**
セキュリティインジケータをオンに設定 ([E023](#)) しておくと、本体の電源オフ時に点滅します。セキュリティインジケータが点滅することにより、盗難を抑制する効果を期待できます。
- 3 SRC (ソースキー)**
AVソースを切り替えます。
 を押すと、ソース切替画面が表示され、出力するAVソースを選択できます。 [E002](#)
約2秒以上押すと、リアソース切り替え画面が表示され、リアモニターに出力する映像ソースを選択できます。 [E056](#)
- 4 リセットキー**
本機をお買い上げ時の状態に戻します。
- 5 (ボリュームキー)**
AVソースの音量を調整します。
- 6 (エービーキー)**
AVモードに切り替えます。 [E001](#)
約2秒以上押すと、USBオフモードになり、USBデバイスを取り外せるようになります。
- 7 (メニューキー)**
ナビおよび各AVソースのメニュー画面を表示します。約2秒以上押すと、タッチ位置の補正が行えます。 [S011](#)
- 8 (ナビキー)**
ナビモードに切り替えます。ナビモード時に押すと、現在地図画面を表示します。 [N001](#)
約2秒以上押すと、画面をオフにします。
- 9 (イジェクトキー)**
フロントパネルを開きます。 [E003](#)
ディスクが入っているときに押すと、フロントパネルが開き、ディスクがイジェクトされます。もう一度押すと、フロントパネルが閉じます。また、約2秒以上押すと、画面(フロントパネル)の角度を調整できます。 [C008](#)

C

共通

N

ナビゲーション

E

エンタテインメント

S

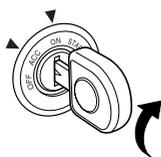
セットアップ

A

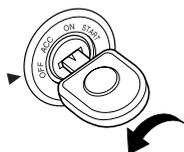
付録

≡ note

- 画面に表示されている[もどる]にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。また、[しまう]にタッチすると、上に重なって表示されている画面が消えて、現在のソース(ナビまたは映像ソース)の画面に戻ります。
- リアモニターにAVソースを出力するためには、リアモニターを正しく接続し、セットアップメニューでリアモニターをオンに設定しておいてください。 S023
- リセットキーを押しても、現在の自転車位置、車速パルスの学習状態、登録した自宅情報およびメモリー地点はリセットされません。
- ナビの音声案内の音量は、ボリュームキーではなく、セットアップメニューで設定します。 S023

C
電源オン

車両のイグニッションキーを"ACC"または"ON"にすると、本機の電源がオンになります。

N
電源オフ

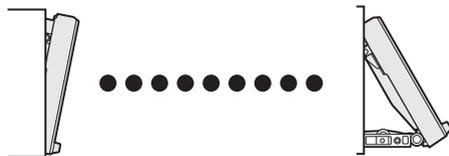
車両のイグニッションキーを"OFF"にすると、本機の電源がオフになります。

≡ note

- 取り付け後に初めて電源をオンにしたときには、起動ウィザード画面が表示されます。このウィザードで基本的な設定を行うことができます。詳しくは別冊の《かんたんナビブック》をご覧ください。
- 取り付け直後などにビット確認の画面が表示されることがあります。このときは、いったんイグニッションキーを"OFF"にして再び"ON"にすると起動ウィザード画面が表示されます。
- セットアップメニュー (P.509) には常に  が表示されています。このボタンにタッチすると、起動ウィザードで基本的な設定を行うことができます。また、起動ウィザードで設定する項目を、個別に設定することもできます。自宅の登録方法 (P.507)、各種の設定方法 (P.508) などをご覧ください。
- 取り付け後に初めて電源をオンにしたときやバッテリーを交換した場合などには、測位に少し時間がかかるため、現在地付近の地図の表示に多少時間がかかります。2回目以降はすぐに表示されます。
- 使用状況や電源電圧の変動等によって、本機の取り付け後に初めて電源をオンにしたときと同じ状態になる場合があります。

フロントパネルの角度を調整する

見やすいように画面の角度を調整できます。

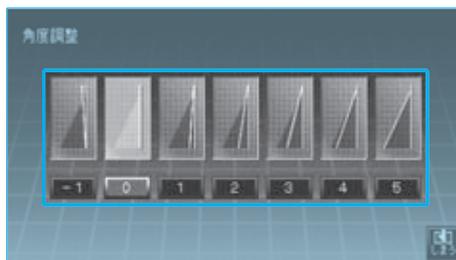


1



 を約2秒以上押し続けます。

2



目的の角度のボタンにタッチします。

3



[しまう]にタッチします。

Complete

■ caution

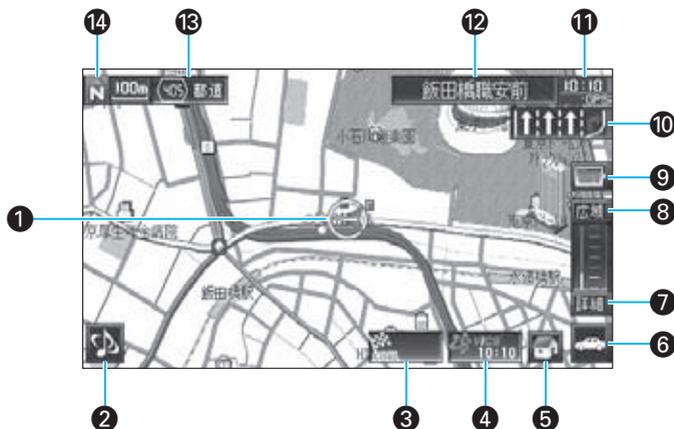
- フロントパネルの動作中やオープン状態のときには、無理な力をかけないでください。故障の原因になります。

■ note

- ナビの電源をオフにするとフロントパネルは"0"の位置に戻ります。しかし、設定したフロントパネルの角度は記憶されており、再び電源をオンにすると設定した角度になります。
- 手順2で、各角度のボタンにタッチするたびにフロントパネルの角度が変わります。
- ディスクをイジェクトしたときの状態では、フロントパネルの角度の調整はできません。

現在の場所の地図を表示する

今いる場所（現在地）の地図が表示されます（現在地図画面）。



- ① 自車マーク
現在地を示します。
- ② サウンド切替ボタン
AVの音声を切り替えます。🔊 N009
- ③ 目的地情報ボタン
ルート案内中には、目的地までの距離と予想到着時刻が表示されます。📏 N037
- ④ VICS情報
地図に表示されているVICS情報の提供時刻を表示します。情報があるときにタッチすると、最新のVICS情報が表示されます。📏 N057
- ⑤ 自宅ボタン
自宅に帰る道を案内します。🏠 N036
- ⑥ くるくるボタン（簡易操作モード）
ナビの操作ボタン、現在選択されているAVソースの操作ボタン、操作ボタン表示オフを順に切り替えます。
AVソースのボタンに切り替えると、ナビの画面を表示したままで、AVソースを操作できます。
🔊 N010
- ⑦ 詳細ボタン
より詳細な地図を表示します。📏 N002
- ⑧ 広域ボタン
より広域の地図を表示します。📏 N002
- ⑨ ランクメニューボタン
ショートカットボタンのあるランクメニューを表示します。📏 N004
- ⑩ レーン案内
次の交差点での通行区分が表示されます。
📏 N037
- ⑪ 時計/GPSマーク
時計には、現在の時刻が表示されます。
GPSマークは、GPS衛星からの電波を受信して測位できているときに表示されます。
- ⑫ 次交差点案内
次の交差点の名称が表示されます。ただし、交差点に名称がない場合は、表示されません。
- ⑬ 道路種別
現在地の道路の種別や名称（番号）を表示します。
- ⑭ コンパスボタン
地図の縮尺と方位を示します。また、地図の向きを切り替えます。📏 N003

≡ note

- 画面に表示されている[もどる]にタッチすると、1つ前の画面に戻ります。また、[しまう]にタッチすると、上に重なって表示されている画面が消えて、現在のソース(ナビまたは映像ソース)の画面に戻ります。
- 地図が表示されていないときは **MAP** を押してください。どんな画面が表示されていても、**MAP** を押すと現在地図画面が表示されます。
- 表示される道路は、地図の縮尺によって異なります。
- 細街路(幅員5.5m未満の道路)は、自転車位置が細街路にあるときや市街地図(10~50mスケール)のときに表示されます。
- 地図を3Dで表示することもできます。**OS** **N005**
- 地図に表示するランドマークを設定することができます。**OS** **N084**
- 3Dランドマークの表示をオン/オフできます。**OS** **N081**
- 方面看板情報のある交差点に近づくと、方面看板が表示されます。



方面看板を表示しないように設定することもできます。**OS** **N085**

- 実際の道路に複数の方面看板があっても、画面に表示されるのは1つだけです。
- 広域ボタン、詳細ボタン、自宅ボタン、VICs情報、目的地情報ボタンは、くるくるボタンがナビに切り替わっているときに表示されます。
- くるくるボタンで操作ボタンの表示をオフすることもできます。



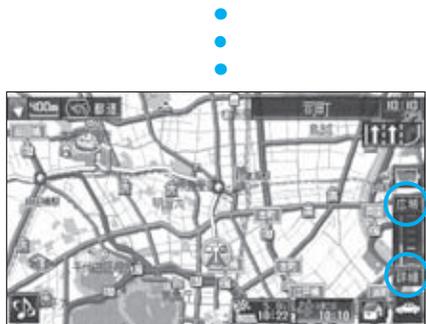
(くるくるボタン表示オフ)

- ルート案内中には、レーンは推奨レーン(水色)、通行可能なレーン(白色)、不適切なレーン(灰色)に分けて表示されます。
- ルート案内中の現在地図画面については **N037** をご覧ください。

地図の縮尺を変える

必要に応じて、地図の縮尺を変えることができます。

C
共通



(400mスケール)

広域 ▲ ● ▼ 詳細

N
ナビゲーション



(100mスケール)

広域 ▲ ● ▼ 詳細

E
エンタテインメント



(10mスケール)

S
セットアップ

A
付録

≡ note

- 使用できる縮尺は、200km～10mスケールです。
- [広域]または[詳細]にタッチし続けると、連続して縮尺を変更できます。
- 市街地図(10～50mスケール)が収録されていない地域もあります。
- 地図の縮尺によって、表示される道路は異なります。
- 設定した縮尺の地図が収録されていない地域に入ると、表示できる縮尺が自動的に切り替わります。
- 同じ方法で、スクロール地図画面([i33](#) **N007**)の縮尺も変更できます。
- 現在地図画面の縮尺は記憶されます。このため、スクロール地図画面で縮尺を変えても、現在地図画面に戻ったときには、直前の現在地図画面と同じ縮尺で表示されます。
- 10mスケールでは、道路によっては、自車位置が道路の中央や左側に表示されることもあります。

地図の向きを変える

地図の向きを切り替えます。



ノースアップ(北上固定)

地図の"北"が画面の"上"になるように地図が表示されます。

ロードマップと同じ感覚で見ることができます。

ヘディングアップ(進行方向上)

進行方向が画面の"上"になるように地図が表示されます。

走行中に地図を見るときに便利です。

note

- ノースアップ時には、自転車マークは画面のほぼ中央に表示されます。
- ヘディングアップ時には、自転車マークは画面の下から1/3の位置に表示され、進行方向の地図が広く表示されます。
- 地図を3D表示 (☞ **N005**) しているときには、地図の向きはヘディングアップに固定されます。
- 同じ方法で、スクロール地図画面 (☞ **N007**) の地図の向きも変更できます。
- 現在地図画面の地図の向きは記憶されます。このため、スクロール地図画面で地図の向きを変えても、現在地図画面に戻ったときには、直前の現在地図画面と同じ向きで表示されます。

ランクメニューを表示する

ショートカットボタンのあるランクメニューを表示します。

C 共通

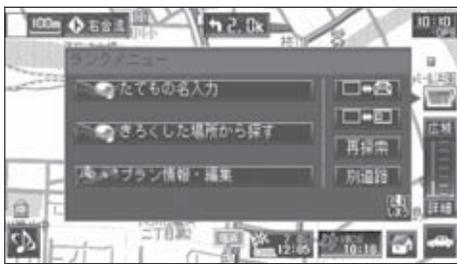
1



ランクメニューボタンにタッチします。

N ナビゲーション

2



使いたいショートカットボタンやランキングショートカットボタンにタッチします。

E エンターテイメント

Complete

ランクメニューに表示されるショートカットボタンは次のとおりです。

S セットアップ

ボタン	説明	
	地図の3D表示/2D表示を切り替えます。	N005
	地図の2画面表示/1画面表示を切り替えます。	N006
	ルートを再探索します。	N043
	自車位置を並行する別の道路に変えます。	N044
ランキング ショートカットボタン	使用頻度の高い上位3つの機能が自動的に登録されます。	

A 付録

note

- ランキングショートカットボタンの登録は自動的に行われ、変更できません。お買い上げ時には、ランキングショートカットボタンには何も登録されていません。
- ランキングショートカットボタンへの登録は、バッテリーを取り外したり、リセットキーを押すとクリアされます。
- ランキングショートカットボタンにタッチすると、すぐにその機能が実行されるか、必要な画面が表示されます。
- ランキングショートカットボタンは停車中のみ表示され、走行中には表示されません。走行中は、ショートカットボタンだけが表示されます。
- ショートカットボタンは、走行中でも操作できます。

地図を3Dで表示する

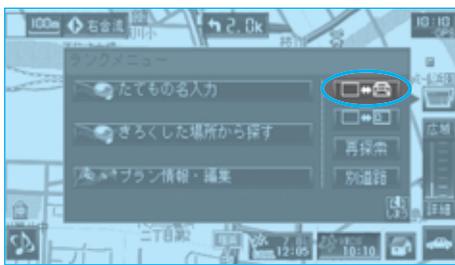
3D（上空から見たような）の地図を表示します。

1

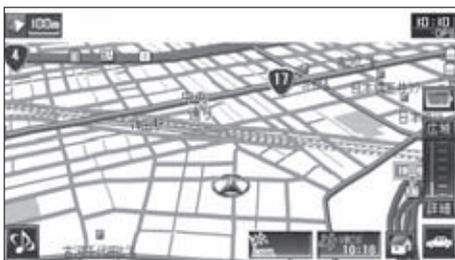


ランクメニューボタンにタッチします。

2



 にタッチします。



地図が3Dで表示されます。

Complete

■ note

- 2D/3D表示の切り替えは、走行中でも操作できます。
- 3D表示のときに再び  にタッチすると、2D表示に切り替えることができます。
- 3D表示の角度を調整できます。[N083](#)
- ランクメニューでの地図の2D/3D表示の設定は、地図表示設定画面の「地図の角度」の設定 ([N083](#)) と共通です。

地図を2画面表示する

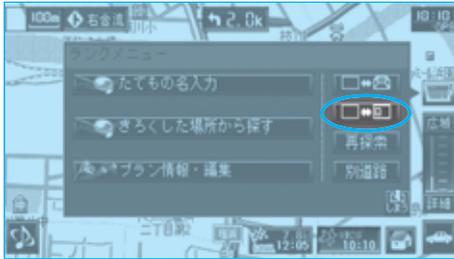
子画面を表示して、2つの地図を同時に表示します。

1



ランクメニューボタンにタッチします。

2



 にタッチします。



地図画面が2画面表示になります。

Complete

note

- スクロール地図画面が表示されているときに、2画面表示に切り替えたり、親画面と子画面を入れ替えたりすると、自車マークが正しく表示されない場合や、自車マークが表示範囲よりも外に出てしまって表示されなくなる場合があります。このようなときは、**SW2** を押して現在地図画面を表示させてください。なお、親画面と子画面を入れ替えている場合は、元の状態に戻してから **SW2** を押してください。
- 1画面/2画面表示の切り替えは、走行中でも操作できます。
- 2画面表示中に再び  にタッチすると、1画面表示に切り替えることができます。
- ランクメニューでの地図の1画面/2画面表示の設定は、地図表示設定画面の「地図の見え方」の設定 (**設定** **N081**) と共通です。
- 子画面にタッチすると、子画面と親画面の地図を入れ替えることができます。
- 子画面にスクロール地図画面を表示することはできますが、スクロールすることはできません。
- 子画面の縮尺や地図の向きを変えることはできません。変更したい場合は、一度親画面と入れ替えて変更し、再び子画面と入れ替えてください。

スクロールしていろいろな場所の地図を表示する

地図をスクロールすると、必要な場所を表示できます(スクロール地図画面)。

1



画面の□内にタッチします。



スクロール地図画面に変わり、タッチした場所が地図画面の中央に位置するように地図が表示されます(ポイントスクロール)。
スクロールボタン(矢印)にタッチすると、地図がその方向にスクロールされます。タッチし続けると、連続してスクロールされます。

Complete

≡ note

- スクロール地図画面と現在地図画面の縮尺は、別々に設定できます。
現在地図画面から切り替えた直後のスクロール地図画面の縮尺は、現在地図画面と同じです。
- スクロール地図画面と現在地図画面の地図の向きは、別々に設定できます。
現在地図画面から切り替えた直後のスクロール地図画面の地図の向きは、現在地図画面と同じです。
- 現在地図画面からスクロール地図画面に切り替えた直後のスクロール地図画面の地図の表示方法(2D/3D)は、現在地図画面と同じです。スクロール地図画面では3D表示しないように設定しておくこともできます。[N081](#)
- マークが重なっている場所では、下のマークが見えなくなる場合があります。
- 走行中でもスクロール地図画面は表示できますが、地図のスクロールはポイントスクロールのみです。
- 子画面にスクロール地図画面を表示することはできませんが、スクロールすることはできません。
- 市街地図(10m~50mスケール)で[情報]にタッチすると、カーソル位置の施設の情報が表示される場合があります。



スクロールしていろいろな場所の地図を表示する

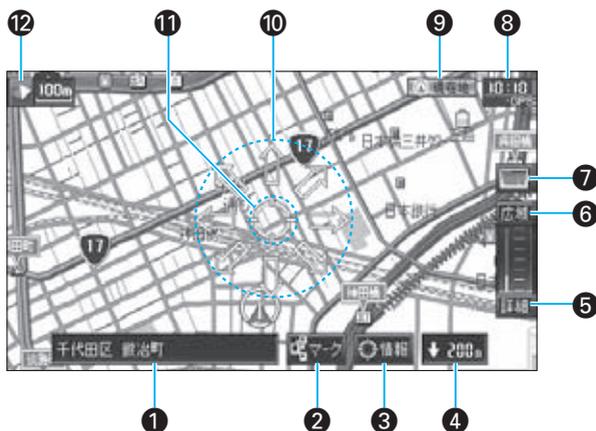
C
共通

N
ナビゲーション

E
エンタテイメント

S
セットアップ

A
付録



- ① 住所表示
カーソル位置のおよその住所が表示されます。
- ② マークボタン
マークを選択します。🔊 N008
- ③ 情報ボタン
カーソル位置の情報を表示し、行き先(目的地または通過点)として設定します。🔊 N026、N027
また、選択したマークの情報を表示します。
🔊 N008
- ④ 距離・方向表示
カーソル位置から現在地への方向と距離が表示されます。
- ⑤ 詳細ボタン 🔊 N002
- ⑥ 広域ボタン 🔊 N002
- ⑦ ランクメニューボタン 🔊 N004
- ⑧ 時計/GPSマーク
- ⑨ 現在地ボタン
現在地図画面に戻ります。
- ⑩ スクロールボタン
タッチしたスクロールボタンの方向に地図がスクロールされます(8方向スクロール)。
また、タッチし続けると、連続してスクロールされます。
- ⑪ カーソル
- ⑫ コンパスボタン 🔊 N003

地図上のマークの情報を表示する

地図上に表示されている各種のマーク(ランドマーク、VICSマーク、メモリー地点)の情報を表示できます。

1



情報を表示するマークのある場所を表示します。

2



[マーク]にタッチします。

3



目的のマークが選択されるまで、◀ または ▶ にタッチします。

Next Page

C
共通

N
ナビゲーション

E
エンタテインメント

S
セットアップ

A
付録

4



[情報]にタッチします。



選んだマークの詳細情報が表示されます。

Complete

検索結果画面に続いて次の操作を行えます。

ボタン	説明	
001 ここに行く	地点検索した場所を目的地に設定します。	N026
002 ここによりみち	地点検索した場所を通過点に設定します。	N027
003 きらく	地点検索した場所をメモリー地点として登録します。	N032
004 くわしくみる	地点検索した施設のテナント情報を表示します。	N028
005 地図を表示	地点検索した場所周辺の地図を表示します。	N029
006 駐車場	地点検索した施設の駐車場を探します。	N030
007 周辺で探す	地点検索した場所周辺で最寄り検索します。	N031

note

- 2画面表示時には、マーク選択はできません。
- 検索結果画面で、カーソルの位置を目的地 (📍 N026)、通過点 (📍 N027)、またはメモリー地点 (📍 N032) に設定することもできます。
- マークが重なっている場所では、下のマークが見えなくなる場合があります。
- 市街地図 (10m~50mスケール) を表示しているときには、目的の施設にカーソルを合わせて[情報]にタッチしても、その施設の情報を表示できる場合があります。

サウンド切替ボタンで音声を切り替える

画面はナビのまま、音声だけを他のAVソースに切り替えることができます。

1



サウンド切替ボタンにタッチします。

2



プレイするソースのボタンにタッチします。

Complete

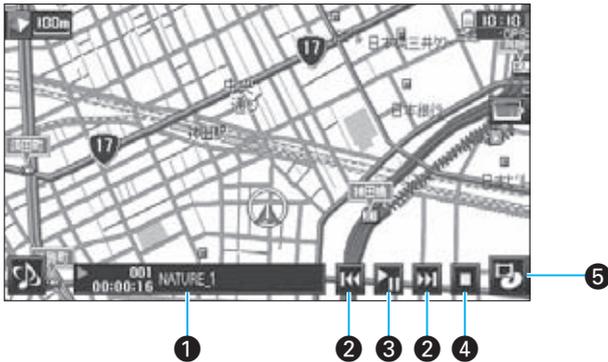
note

- サウンド切替ボタンとくるくるボタンは、現在地図画面にのみ表示されます。これら进行操作するときには、[現在地]または **AV/AVM** で画面を現在地図画面に切り替えてください。
- サウンド切替ボタンのメニューは、約3秒間何も操作しないと自動的に閉じます。
- 表示されるボタンは入っているディスクの種類や設定によって変わります。
- プレイ可能な状態になっていないAVソースはグレーで表示され、選択できません。たとえば、本機にiPodが接続されていないときは、iPodのボタンはグレー表示されます。
- TVやDVDなどの映像のあるAVソースを選択しても、上記の操作で切り替わるのは音声だけです。映像は切り替わりません。映像を観るときは、**AVM** でソースを切り替えてください。E002
- 音声ソースを選択しているときでも、ナビの音声案内を聴くことができます。AVソースのプレイ時にはナビの案内音声が出力されないように設定することもできます。E023

くるくるボタンでAVソースの簡易操作モードボタンを表示すると、現在地を表示したままで現在のAVソースを操作できます。

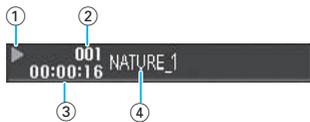
DVDを操作する

DVDを選択しているときには、現在地図画面のくるくるボタン(5)でDVDの簡単な操作ができます。



① DVD情報

DVDの情報(ディスクタイトル、チャプター番号、タイムコード、再生状態など)が表示されます。



① プレイ状態

▶ : プレイ中

⏸ : ポーズ中

■R : レジュームストップ中(ストップしたシーンからプレイされます)

■ : ストップ中(先頭からプレイされます)

② チャプター番号

③ プレイ時間

④ ディスクタイトル

② ◀◀ (チャプターダウン)、▶▶ (チャプターアップ) チャプターを選択します。

③ ▶ (プレイ/ポーズ) プレイ/一時停止します。

④ ■ (ストップ) DVDのプレイをストップします。 ▶ で再びプレイできます。

⑤ ◻ (くるくるボタン) 簡易操作ボタンを切り替えます。 リアモニターがオンのときには、くるくるボタンに“Front”(フロントモニターのソース操作)または“Rear”(リアモニターのソース操作)を表示して区別されます。

≡ note

- くるくるボタンは、現在地図画面でのみ表示されます。くるくるボタンが表示されていないときには、[現在地]または **MAXM** で現在地図画面に切り替えてください。
- DVDがすでに挿入されているときは、**DISC** でDVDソースを選択できます (DISC **E002**)。また、**CD** (DISC **N009**) で切り替えることもできます。
- **■** でプレイを止めたときには、そのシーンは記憶されており、**▶** にタッチすると、プレイを止めたシーンからプレイされます(レジューム機能)。
■ に2回タッチすると、レジューム機能が解除されます。

CDを操作する

CDを選択しているときには、現在地図画面のくるくるボタン(5)でCDの簡単な操作ができます。



1 CD情報

CD情報が次のように表示されます。



1 プレイ状態

▶ : プレイ中

⏸ : ポーズ中

■R : レジュームストップ中(ストップした位置からプレイされます)

■ : ストップ中(先頭からプレイされます)

2 トラック番号

3 プレイ時間

4 トラックタイトル

2 ◀◀ (トラックダウン)、▶▶ (トラックアップ)
トラックを選択します。

3 ▶ (プレイ/ポーズ)
プレイ/一時停止します。

4 ■ (ストップ)
CDのプレイをストップします。
▶▶ で再びプレイできます。

5 🔄 (くるくるボタン)
簡易操作ボタンを切り替えます。

≡ note

- くるくるボタンは、現在地図画面でのみ表示されます。くるくるボタンが表示されていないときには、[現在地]または [MAP] で現在地図画面に切り替えてください。
- CDがすでに挿入されているときは、[SRC]でCDソースを選択できます (G33 E002)。また、[CD] (G33 N009) で切り替えることもできます。
- ▶▶ でプレイを止めたときには、その位置は記憶されており、▶▶ にタッチするとプレイを止めた位置からプレイされます (レジューム機能)。
■ に2回タッチすると、レジューム機能が解除されます。



C オーディオ/ビジュアルファイルディスクを操作する

共通
オーディオファイルディスクまたはビジュアルファイルディスクを選択しているときには、現在地図画面のくるくるボタン(5)でディスクの簡単な操作ができます。



- 1 ディスク情報
ディスク情報が次のように表示されます。



- 1 プレイ状態
▶ : プレイ中
|| : ポーズ中
R : レジュームストップ中(ストップした位置からプレイされます)
■ : ストップ中
2 ファイル番号
3 プレイ時間
4 曲名/ファイル名

- 2 ◀◀ (ファイルダウン)、▶▶ (ファイルアップ)
ファイルを選択プレイします。

- 3 || (プレイ/ポーズ)
プレイ/一時停止します。

- 4 ■ (ストップ)
ファイルのプレイをストップします。
▶▶ で再びプレイできます。

- 5 🔄 (くるくるボタン)
簡易操作ボタンを切り替えます。

- 6 ▼ (フォルダダウン)、▲ (フォルダアップ)
フォルダを選択します。

- 7 フォルダ番号
現在選択されているフォルダの番号が表示されます。

≡ note

- くるくるボタンは、現在地図画面でのみ表示されます。くるくるボタンが表示されていないときには、[現在地]または [SYSTEM] で現在地図画面に切り替えてください。
- ▲ または ▼ にタッチ(フォルダサーチ)したときのファイルのプレイ順や、▶▶ または ◀◀ にタッチ(ファイルサーチ)したときのファイルのプレイ順については、[A010 メディアについて]をご覧ください。
- ■ でプレイを止めたときには、その位置は記憶されており、▶▶ にタッチするとプレイを止めた位置からプレイされます(レジューム機能)。
■ に2回タッチすると、レジューム機能が解除されます。

ワンセグを操作する **HDV-990**

ワンセグを選択しているときには、現在地図画面のくるくるボタン(4)でワンセグの簡単な操作ができます。



① ワンセグ情報

ワンセグ情報が次のように表示されます。



- ① プリセット番号
- ② チャンネル
- ③ 放送局名
- ④ 出力音声

② 音声切替

出力する音声(主音声、副音声)を選択します。

③ ワンセグモード

▲ または ▼ にタッチしたときのチャンネルの選局方法(シークモード)を切り替えます。シークモードについては、「E020 ワンセグ操作ボタンで操作する」をご覧ください。

④ (くるくるボタン)

簡易操作ボタンを切り替えます。

⑤ ▼ (チャンネルダウン)、▲ (チャンネルアップ)

チャンネルを選局します。

⑥ 選局情報

現在のシークモードと、チャンネルメモリが表示されます。

≡ note

- くるくるボタンは、現在地図画面でのみ表示されます。くるくるボタンが表示されていないときには、[現在地]または **MAX** で現在地図画面に切り替えてください。
- 受信中の番組が音声多重放送ではないときは、主音声と副音声は同じです。
- 走行中は、ワンセグの映像は映りません。



C アナログテレビを操作する **HDV-790**

共通
アナログテレビを選択しているときには、現在地図画面のくるくるボタン(4)でアナログテレビの簡単な操作ができます。



- 1 アナログテレビ情報
アナログテレビ情報が次のように表示されます。



- 1 プリセット番号
2 チャンネル
3 放送局名
4 シークモード
5 出力音声
6 ステレオ/モノラル
- 2 音声切替
出力する音声(主音声、副音声)を選択します。

- 3 シークモード
▲ または ▼ (にタッチしたときのチャンネルの選局方法(シークモード)を切り替えます。シークモードについては、「E033 TV操作ボタンで操作する」をご覧ください。

- 4 くるくるボタン
簡易操作ボタンを切り替えます。
- 5 ▼ (チャンネルダウン)、▲ (チャンネルアップ)
チャンネルを選局します。
- 6 選局情報
現在のシークモードと、チャンネルが表示されます。

≡ note

- くるくるボタンは、現在地図画面でのみ表示されます。くるくるボタンが表示されていないときには、[現在地]または **ENVAVE** で現在地図画面に切り替えてください。
- 受信中のテレビ放送が音声多重放送ではないときは、主音声と副音声は同じです。
- 走行中は、テレビの映像は映りません。
- 以下の場合、VICS FMが受信できなくなったり、感度が悪くなる場合があります。
 - 車両のアンテナが格納されているとき
 - フロントでラジオを聴いていて、リアでアナログテレビを見ているとき (HDV-790のみ)

ラジオを操作する

ラジオを選択しているときには、現在地図画面のくるくるボタン(④)でラジオの簡単な操作ができます。



① ラジオ情報

ラジオ情報が次のように表示されます。



- ① プリセットボタン番号
- ② 周波数
- ③ 放送局名
- ④ シークモード
- ⑤ ステレオ/モノラル

② AM/FM切替

バンド (FM/AM) を切り替えます。

③ シークモード

▲ または ▼ にタッチしたときの選局方法 (シークモード) を切り替えます。シークモードについては、「E037 TUNERメニューで操作する」をご覧ください。

④ (くるくるボタン)

簡易操作ボタンを切り替えます。

⑤ ▼ (シークダウン)、▲ (シークアップ)

放送局を選局します。

⑥ 選局情報

現在のシークモードと、受信中の周波数が表示されます。

≡ note

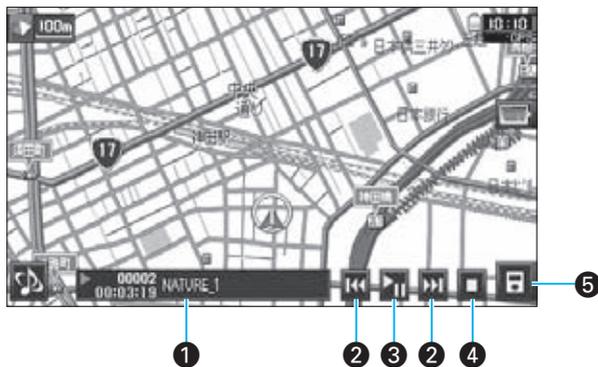
- くるくるボタンは、現在地図画面でのみ表示されます。くるくるボタンが表示されていないときには、[現在地]または [MAX] で現在地図画面に切り替えてください。
- 以下の場合、VICS FMが受信できなくなったり、感度が悪くなる場合があります。
 - 車両のアンテナが格納されているとき
 - フロントでラジオを聴いていて、リアでアナログテレビを見ているとき (HDV-790のみ)
- ラジオを聴いているときにフロントパネルの開閉や角度調整を行うと、フロントパネルが動いている間、音声は一時的に消えます。フロントパネルの動作が終わると、元の音量に戻ります。



C iPodを操作する

共通

iPodを選択しているときには、現在地図画面のくるくるボタン(5)でiPodの簡単な操作ができます。

N
ナビゲーションE
エンタテインメントS
セットアップA
付録

1 iPod情報

iPod情報が次のように表示されます。



① プレイ状態

▶ : プレイ中

|| : ポーズ中

■R : レジュームストップ中(ストップした位置からプレイされます)

■ : ストップ中(先頭の曲からプレイされます)

② 曲番号

③ プレイ時間

④ 曲名

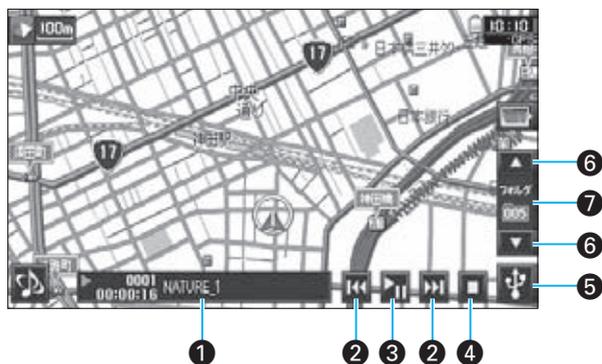
2 ◀◀ (曲ダウン)、▶▶ (曲アップ)
曲を選択します。3 ▶| (プレイ/ポーズ)
プレイ/一時停止します。4 ■ (ストップ)
曲のプレイをストップします。
▶| で再びプレイできます。5 ◻ (くるくるボタン)
簡易操作ボタンを切り替えます。

≡ note

- くるくるボタンは、現在地図画面でのみ表示されます。くるくるボタンが表示されていないときには、[現在地]または  で現在地図画面に切り替えてください。
- iPodは、iPod接続ケーブルKNA-i990 (別売品)で接続します。

USBデバイスを操作する

USBデバイスを選択しているときには、現在地図画面のくるくるボタン(5)で簡単な操作ができます。



- ① ソース情報
ソース情報が次のように表示されます。
 - ① プレイ状態
▶ : プレイ中
⏸ : ポーズ中
⏹R : レジュームストップ中(ストップした位置からプレイされます)
■ : ストップ中
 - ② ファイル番号
 - ③ プレイ時間
 - ④ 曲名/ファイル名
- ② ◀◀ (ファイルダウン)、▶▶ (ファイルアップ)
ファイルを選択します。
- ③ ▶ (プレイ/ポーズ)
プレイ/一時停止します。
- ④ ■ (ストップ)
ファイルのプレイをストップします。
▶▶ で再びプレイできます。
- ⑤ USB (くるくるボタン)
簡易操作ボタンを切り替えます。
- ⑥ ▼ (フォルダダウン)、▲ (フォルダアップ)
フォルダを選択します。
- ⑦ フォルダ番号
現在選択されているフォルダの番号が表示されます。

≡ note

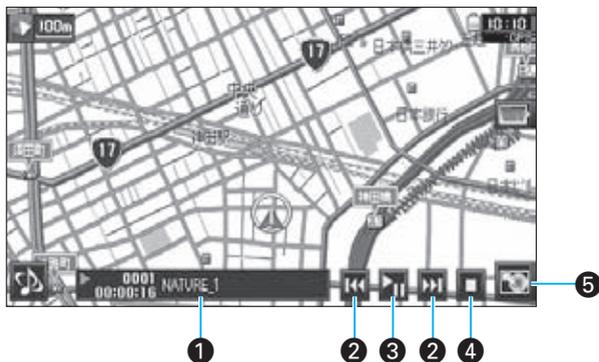
- くるくるボタンは、現在地図画面でのみ表示されます。くるくるボタンが表示されていないときには、[現在地]または [MAP] で現在地図画面に切り替えてください。
- ▲ または ▼ にタッチ(フォルダサーチ)したときのファイルのプレイ順や、▶▶ または ◀◀ にタッチ(ファイルサーチ)したときのファイルのプレイ順については、「A010 メディアについて」をご覧ください。
- ■ でプレイを止めたときには、その位置は記憶されており、▶▶ にタッチするとプレイを止めた位置からプレイされます(レジューム機能)。
- ■ に2回タッチすると、レジューム機能が解除されます。



C **ハードディスクを操作する**

共通

ハードディスクを選択しているときには、現在地図画面のくるくるボタン(5)でハードディスクの簡単な操作ができます。



N
ナビゲーション

E
エンタテインメント

S
セットアップ

A
付録

1 ソース情報

ソース情報が次のように表示されます。



1 プレイ状態

- ▶ : プレイ中
- || : ポーズ中
- R : レジュームストップ中(ストップした位置からプレイされます)
- : ストップ中

- 2 ファイル番号
- 3 プレイ時間
- 4 曲名/ファイル名

2 ◀◀ (ファイルダウン)、▶▶ (ファイルアップ)
ファイルを選択します。

3 ▶|| (プレイ/ポーズ)
プレイ/一時停止します。

4 ■ (ストップ)
ファイルのプレイをストップします。
▶▶ で再びプレイできます。

5 🔄 (くるくるボタン)
簡易操作ボタンを切り替えます。

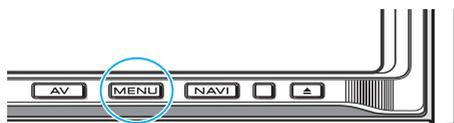
≡ note

- くるくるボタンは、現在地図画面でのみ表示されます。くるくるボタンが表示されていないときには、[現在地]または で現在地図画面に切り替えてください。
- でプレイを止めたときには、その位置は記憶されており、 にタッチするとプレイを止めた位置からプレイされます(レジューム機能)。
- に2回タッチすると、レジューム機能が解除されます。

トップメニューを表示する

本機の多くの機能はトップメニューから操作します。

1



MENU を押します。



トップメニューの画面が表示されます。

Complete

トップメニューに表示されるタブは次のとおりです。

タブ	機能	
ナビメニュー (または各ソース名のタブ)	ナビおよび各AVソースの操作や設定を行います。	
サウンド調整	AVソースのプレイ時の音質や音場を調整します。	S001
セットアップ	本機の各種の設定を行います。	S009

note

- 走行中は、メニュー操作はできません。安全な場所に停車してから操作してください。
- 左端のタブは、**MENU** を押したときのナビおよびAVソースの選択状態によって変わります。

ナビメニューを表示する

ナビの各種の操作を行うナビメニューを表示します。

C
共通

Before Step

 (ナビモードに切り替え)

1



 を押します。

N
ナビゲーション



ナビメニューが表示されます。

E
エンタテインメント

Complete

ナビメニューに表示されるボタンは次のとおりです。

S
セットアップ

ボタン 機能



いろいろな方法で行き先などの場所を探します。

N013



ルートを確認・編集します。

N046



VICS渋滞情報を表示します。また、VICSの各種設定を行います。

N058



地図の表示や案内方法など、ナビの各種の設定を行います。

N080



本機に記憶させた場所(メモリー地点)などを編集します。
また、タッチゲームで遊ぶこともできます。

N064

A
付録

note

- 走行中は、メニューを表示・操作できません。安全な場所に停車してから操作してください。
- [ナビメニュー]タブが表示されていないときは、 を押してナビモードに切り替えてから  を押してください。

探すメニューを表示する

探すメニューで、行きたい場所(目的地/通過点)やナビに記憶させておく場所(メモリー地点)をいろいろな方法で探します。

Before
Step

   (ナビメニューを表示)

1



[探す]を押します。



探すメニューが表示されます。

Complete

C
共通

N
ナビゲーション

E
エンタティメント

S
セットアップ

A
付録

本機では、次の方法で、行きたい場所(目的地/通過点)やナビに記憶させておく場所(メモリー地点)を探せます(地点検索)。

ボタン	説明	
	食事やレジャーなど「したいこと」で場所を探します。 また、ガソリンスタンドや病院など、急を要する場所を探すために「困ったときに!」も用意されています。	N020

	施設名で場所を探します。 件数が多い場合には、エリア(住所)やジャンルで絞り込めます。	N015
	住所で場所を探します。 建物番号まで分かると、ピンポイントで検索できます。	N016
	電話番号で場所を探します。 個人宅の場合には、電話番号のほかに名字の入力が必要です。	N017 N018
	緯度(北緯)と経度(東経)で場所を探します。	N019

	本機に記憶させた場所(メモリー地点)や以前に到達した目的地(過去目的地)の中から探します。	N023 N024
	現在地または目的地/ルートの周辺から「したいこと」で場所を探します。	N025
	地図を見ながら場所を探します。	N022

施設名で探す

会社や施設の場所を名称で探します（例：「ケンウッド丸の内ショールーム」）。
探し出された場所が多い場合には、エリア（所在地）やジャンル（施設の種類）で絞り込むことができます。

Before
Step



1



[わかることから]にタッチします。

2



[たてもの名]にタッチします。

3



施設名(かな)を入力します。

4



[決定]にタッチします。

Next Page

C
共通

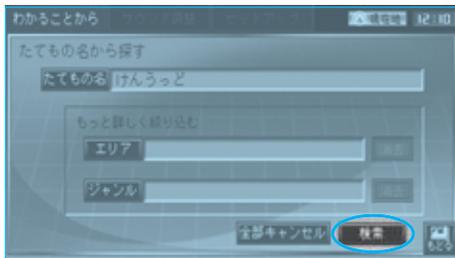
N
ナビゲーション

E
エンタティメント

S
セットアップ

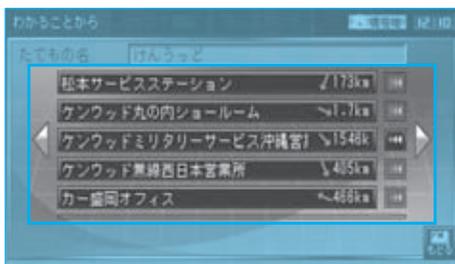
A
付録

5



[検索]にタッチします。

6



目的の施設にタッチします。

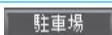
目的の施設が表示されていないときは、表示されるまで ◀または ▶ にタッチしてください。



検索結果画面が表示されます。

Complete

検索結果画面に続いて次の操作を行います。

ボタン	説明	
	地点検索した場所を目的地に設定します。	N026
	地点検索した場所を通過点に設定します。	N027
	地点検索した場所をメモリー地点として登録します。	N032
	地点検索した施設のテナント情報を表示します。	N028
	地点検索した場所周辺の地図を表示します。	N029
	地点検索した施設の駐車場を探します。	N030
	地点検索した場所周辺で最寄り検索します。	N031

note

- 手順3で[消去]にタッチすると、最後の1文字を削除できます。
- 類似した名称の施設が複数ある場合などは、手順5で[エリア]にタッチすると、施設の住所(市区町村)を指定して絞り込むことができます。🔍 N016
- 類似した名称の施設が複数ある場合などは、手順5で[ジャンル]にタッチすると、施設の種類の指定して絞り込むことができます。🔍 N020
- エリアとジャンルの両方を指定することもできます。
- 手順3の画面の「現在の絞り込み件数」に表示されている件数には、エリアとジャンルの指定は考慮されていません。
- 手順6のリストの各ボタンには、その施設までの距離と方向が表示されます。
- 手順6の画面で、ボタン内に名称等を表示しきれない場合は、右側に「◀」が表示されます。このボタンにタッチすると、文字をスクロールできます。
- 検索結果が1件だけの場合、手順6の画面は省略されて検索結果画面が表示されます。

tip

- 手順3で、名称をすべて入力する必要はありません。「現在の絞り込み件数」に表示されているヒット件数が少なくなるまで入力し、あとは手順6でリストから選択するほうが簡単な場合があります。

住所で場所を探します(例:「東京都千代田区丸の内3丁目4番1号」)。
指定できる住所は、都道府県、市区町村、地名、番地(丁目、番、号)です。

Before Step



1



[わかることから]にタッチします。

2



[住所ピンポイント]にタッチします。

3



市区町村名の頭文字のボタンにタッチします。

Next Page

4



市区町村のボタンにタッチします。

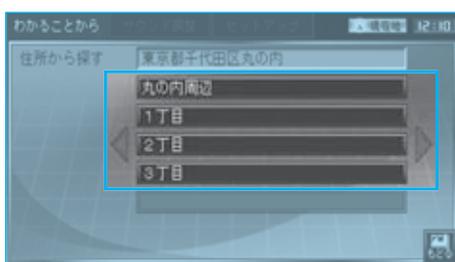
目的の市区町村名が表示されていないときは、表示されるまで ◀ または ▶ にタッチしてください。

5



地名の頭文字のボタンにタッチします。

6



地名のボタンにタッチします。

目的の地名が表示されていないときは、表示されるまで ◀ または ▶ にタッチしてください。

Next Page

C
共通N
ナビゲーションE
エンタティメントS
セットアップA
付録

7



画面に従って、住所の続き(番地など)を入力します。



検索結果画面が表示されます。

Complete

検索結果画面に続いて次の操作を行えます。

ボタン	説明	
ここに行く	地点検索した場所を目的地に設定します。	N026
ここよりみち	地点検索した場所を通過点に設定します。	N027
きらく	地点検索した場所をメモリー地点として登録します。	N032
くわしくみる	地点検索した施設のテナント情報を表示します。	N028
地図を表示	地点検索した場所周辺の地図を表示します。	N029
駐車場	地点検索した施設の駐車場を探します。	N030
周辺を探す	地点検索した場所周辺で最寄り検索します。	N031

note

- 手順3では、現在地の都道府県の市区町村リストが表示されます。現在地以外の都道府県の住所を指定する場合は、近隣の都道府県のボタンまたは[他の県]にタッチし、都道府県リストから選択してください。
- [〇〇主要部]にタッチすると、それ以降の指定を省略して地点検索できます。この場合、都道府県や市区町村の主要な役場やそこまでに指定されている住所の中央部が検索されます。
- [郡]の指定は不要です。都道府県名に続いて町村名を指定してください。
- 住所の表記は場所によって異なります。
- 手順7では、画面の表示に従って、住所の続きを入力してください。
- 手順7で[番号入力]が表示されているときは、そのボタンにタッチすると、番地などを画面に表示されるテンキーで指定できます。

電話番号で施設を探す

電話番号で施設の場所を探します(例：「03-3213-8775」)。

Before
Step



1



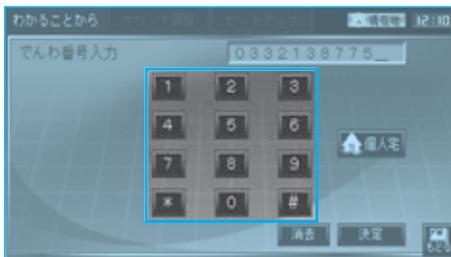
[わかることから]にタッチします。

2



[でんわ]にタッチします。

3



電話番号を市外局番から入力します。

Next Page

C
共通

N
ナビゲーション

E
エンタティメント

S
セットアップ

A
付録

4



[決定]にタッチします。



検索結果画面が表示されます。

Complete

検索結果画面に続いて次の操作を行えます。

ボタン	説明	
	地点検索した場所を目的地に設定します。	N026
	地点検索した場所を通過点に設定します。	N027
	地点検索した場所をメモリー地点として登録します。	N032
	地点検索した施設のテナント情報を表示します。	N028
	地点検索した場所周辺の地図を表示します。	N029
	地点検索した施設の駐車場を探します。	N030
	地点検索した場所周辺で最寄り検索します。	N031

note

- 手順3で[消去]にタッチすると、最後の1文字を削除できます。
- 電話番号は、市外局番から6桁以上入力すると検索できます。
- 指定した電話番号がデータベースに収録されていない場合は、市外局番が使用されている地域の地図が表示されます。
- 電話番号がデータベースに収録されていても、ピンポイントで検索できない場合があります。
- データベースの整備状況によっては、一部のデータが検索できない場合があります。

tip

- いろいろな地点検索の方法の中で、電話番号検索が最も簡単にピンポイントで場所を探し出せる方法です。会社の場所を電話番号検索するときには、代表番号を指定すると比較的確実です。直通番号はデータベースに収録されていない場合が多く、検索できない場合があります。

電話番号と名字で個人宅を探す

電話番号と名字で個人宅の場所を探します(例:「042585XXXX」の「よしかわ」)。

Before
Step



1



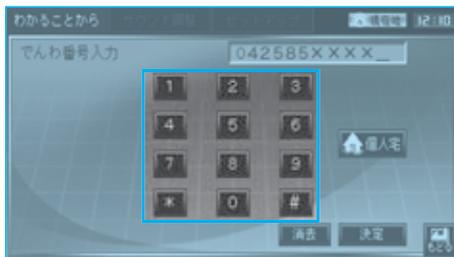
[わかることから]にタッチします。

2



[でんわ]にタッチします。

3



電話番号を市外局番から入力します。

Next Page

C
共通

N
ナビゲーション

E
エンタティメント

S
セットアップ

A
付録

4



[個人宅]にタッチします。

5



名字(かな)を入力します。

6



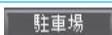
[決定]にタッチします。



検索結果画面が表示されます。

Complete

検索結果画面に続いて次の操作を行います。

ボタン	説明	
 ここに行く	地点検索した場所を目的地に設定します。	N026
 ここによりみち	地点検索した場所を通過点に設定します。	N027
 きろく	地点検索した場所をメモリー地点として登録します。	N032
 くわしくみる	地点検索した施設のテナント情報を表示します。	N028
 地図を表示	地点検索した場所周辺の地図を表示します。	N029
 駐車場	地点検索した施設の駐車場を探します。	N030
 周辺で探す	地点検索した場所周辺で最寄り検索します。	N031

≡ note

- 手順3と手順5で[消去]にタッチすると、最後の1文字を削除できます。
- 個人宅を探す場合は、電話番号は9桁以上入力してください。9桁以上入力されるまで[個人宅]にはタッチできません。
- 指定した電話番号がデータベースに収録されていない場合は、市外局番が使用されている地域の地図が表示されます。
- 電話番号がデータベースに収録されていても、ピンポイントで検索できない場合があります。
- 名字とは電話帳に記載されている名前で、電話の名義人や世帯主とは異なる場合があります。
- データベースの整備状況によっては、一部のデータが検索できない場合があります。
- 個人宅を検索した場合には、検索結果画面に住所や漢字名などの個人情報表示されません。

経緯度で探す

東経と北緯で場所を探します(例：北緯35度40分06秒/東経139度45分55秒)。

C
共通

Before
Step



N
ナビゲーション

1



[わかることから]にタッチします。

E
エンタテインメント

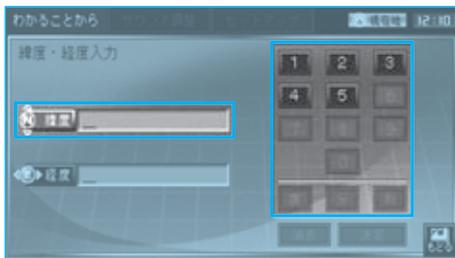
2



[緯度・経度]にタッチします。

S
セットアップ

3



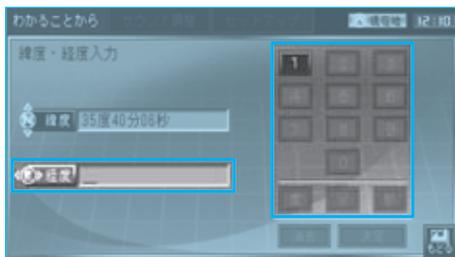
[緯度]にタッチし、緯度を入力します。

例の場合は、35[度]40[分]06[秒]と入力します。

A
付録

Next Page

4



[経度]にタッチし、経度を入力します。

例の場合は、139[度]45[分]55[秒]と入力します。

5



[決定]にタッチします。



検索結果画面が表示されます。

Complete

C
共通N
ナビゲーションE
エンタティメントS
セットアップA
付録

検索結果画面に続いて次の操作を行えます。

ボタン	説明	
	地点検索した場所を目的地に設定します。	N026
	地点検索した場所を通過点に設定します。	N027
	地点検索した場所をメモリー地点として登録します。	N032
	地点検索した施設のテナント情報を表示します。	N028
	地点検索した場所周辺の地図を表示します。	N029
	地点検索した施設の駐車場を探します。	N030
	地点検索した場所周辺で最寄り検索します。	N031

≡ note

- 指定できる範囲は、北緯12度0分0秒/東経104度0分0秒～北緯54度39分59秒/東経167度59分59秒です。
- 度分秒の桁数が少ない場合は、[度]、[分]、または[秒]にタッチして入力を確認させることもできます。たとえば北緯40度1分6秒の場合、[4][0][度][0][1][分][0][6][秒]とタッチするかわりに、[4][0][度][1][分][6][秒]とタッチしても入力できます。

したいことを探す

食事や買い物など、「したいこと」のジャンルを絞り込みながら場所を探します。

Before
Step

NAVI



MENU



1



【したいことから】にタッチします。

2



したいことの大分類のボタンにタッチします。

3



したいことの中分類のボタンにタッチします。

Next Page

C
共通

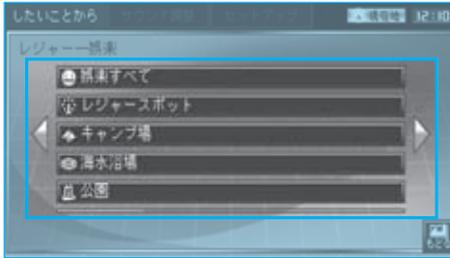
N
ナビゲーション

E
エンタティメント

S
セットアップ

A
付録

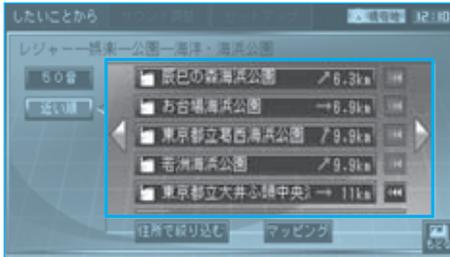
4



したいことの小分類のボタンにタッチします。

目的の分類が表示されていないときは、表示されるまで ◀ または ▶ にタッチしてください。

5



目的の施設にタッチします。

目的の施設が表示されていないときは、表示されるまで ◀ または ▶ にタッチしてください。



検索結果画面が表示されます。

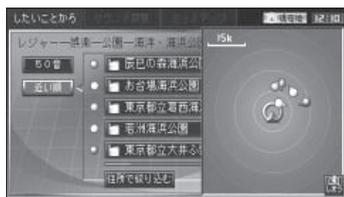
Complete

検索結果画面に続いて次の操作を行えます。

ボタン	説明	
 ここに行く	地点検索した場所を目的地に設定します。	N026
 ここよりみち	地点検索した場所を通過点に設定します。	N027
 きろく	地点検索した場所をメモリー地点として登録します。	N032
 くわしくみる	地点検索した施設のテナント情報を表示します。	N028
 地図を表示	地点検索した場所周辺の地図を表示します。	N029
 駐車場	地点検索した施設の駐車場を探します。	N030
 周辺で探す	地点検索した場所周辺で最寄り検索します。	N031

≡ note

- 手順2で、[困ったときに！]にタッチすると、現在地付近の警察署、消防署、病院などを検索できます。
- 手順4で選択した小分類に該当する件数が多い場合は、手順5の前に住所から探す画面が表示されます。
- 手順5で、[50音]または[近い順]にタッチすると、50音順または距離の近い順に並べ替えることができます。
- [住所で絞り込む]にタッチすると、施設の住所を指定して絞り込むことができます。 **N016**
- 手順5の画面で、ボタン内に名称等を表示しきれない場合は、右側に  が表示されます。このボタンにタッチすると、文字をスクロールできます。
- 手順5で、[マッピング]にタッチすると、検索された施設のうち、リストに表示されているものの位置関係がポジションマップ上に表示されます。



- ポジションマップに表示できる施設は、現在地から半径20km以内のものです。

したいこと(食事や買い物など)は次のように分類されています。
また、最寄りの病院や警察署、ガソリンスタンドなどを簡単に探すこともできます。

大分類

中分類



和食、洋食、中華、テイクアウト、ラーメン、カレー、焼肉、ファーストフード、多国籍料理、ファミレス



食料品、日用品、子供用品、ドラッグストア、ファッション、デパート、ショッピングモール、コンビニ



ビデオ&CD&本、リサイクル&レンタル、くるま用品、ペット用品、インテリア用品、スポーツ&アウトドア用品、その他



IC・SA・PA、ガソリンスタンド、駐車場、くるま用品、ディーラー、中古車販売、カーレスキュー、レンタカー&バイク、免許、ケンウッド・サービス



美容院、理容店、エステティック、ネイルサロン、ペット美容院



カフェ、スイーツ、その他



スポーツ、娯楽、観光、宿泊&温泉、ドライブ



病院、公共&生活、交通機関、金融機関



警察署、消防署、病院、ドラッグストア、トイレ、駐車場、ガソリンスタンド、ロードサービス、レッカーサービス、ケンウッドサービス

≡ note

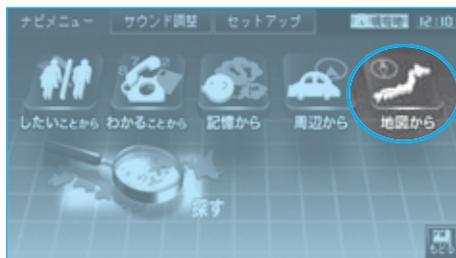
- [困ったときに!]は現在地周辺から検索されます。
- [お食事]~[くらし]は、収録されている全データから検索されます。必要に応じて、住所で絞り込んでください。

場所を知っているときなどは、地図上で探したほうが早い場合があります。

Before
Step



1



[地図から]にタッチします。

2



地図をスクロールして、目的の位置にカーソルを合わせます。

3



[決定]にタッチします。



検索結果画面が表示されます。

Complete

C
共通

N
ナビゲーション

E
エンタテインメント

S
セットアップ

A
付録

検索結果画面に続いて次の操作を行います。

ボタン	説明	
	地点検索した場所を目的地に設定します。	N026
	地点検索した場所を通過点に設定します。	N027
	地点検索した場所をメモリー地点として登録します。	N032
	地点検索した施設のテナント情報を表示します。	N028
	地点検索した場所周辺の地図を表示します。	N029
	地点検索した施設の駐車場を探します。	N030
	地点検索した場所周辺で最寄り検索します。	N031

≡ note

- 手順2の地図は、スクロール地図画面と同様に操作できます。 N007
- 手順2で、[マーク]にタッチするとマークの情報が表示されます。 N008
- 情報のある施設のマークがスクロール地図画面上に表示されている場合は、そのマークを選択して情報を確認したり、目的地などに設定したりすることもできます。 N008

メモリー地点から探す

本機に記録した場所（メモリー地点）から探します。

Before
Step



1



[記憶から]にタッチします。

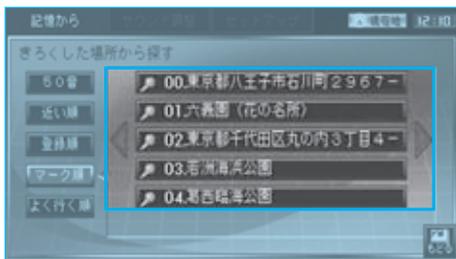
2



[きろくした場所]にタッチします。

Next Page

3



目的のメモリー地点にタッチします。

目的のメモリー地点が表示されていないときは、表示されるまで ◀ または ▶ にタッチしてください。



検索結果画面が表示されます。

Complete

検索結果画面に続いて次の操作を行えます。

ボタン	説明	
ここに行く	地点検索した場所を目的地に設定します。	N026
ここよりみち	地点検索した場所を通過点に設定します。	N027
きろく	地点検索した場所をメモリー地点として登録します。	N032
くわしくみる	地点検索した施設のテナント情報を表示します。	N028
地図を表示	地点検索した場所周辺の地図を表示します。	N029
駐車場	地点検索した施設の駐車場を探します。	N030
周辺を探す	地点検索した場所周辺で最寄り検索します。	N031

≡ note

- メモリー地点が1か所も登録されていないときは、[きろくした場所]にはタッチできません。
- 手順3で、メモリー地点のリストを便利な順に並べ替えることができます。
 - [50音] : メモリー地点の読み仮名を使って、50音順に並べ替えます。
50音順で表示すると上部に[あ][か][さ]などのボタンが表示され、このボタンで頭出しできます。
ただし、メモリー地点に読み仮名が設定されていないと、正しく並べ替えることはできません。☞ N067
 - [近い順] : 現在地からの距離が近い順に並べ替えます。
 - [登録順] : メモリー地点の登録時期が新しい順に並べ替えます。
 - [マーク順] : メモリー地点に付けられているマークごとに並べ替えます。
 - [よく行く順] : 目的地に設定して、到着した回数の多い順に並べ替えます。
- メモリー地点の登録方法については「[N032](#) メモリー地点として登録する」をご覧ください。

本機で目的地に設定し、実際に到達した場所（過去目的地）は、古いものから順に20か所が自動的に記憶されています。それらの過去目的地から場所を探します。

Before Step



1



[記憶から]にタッチします。

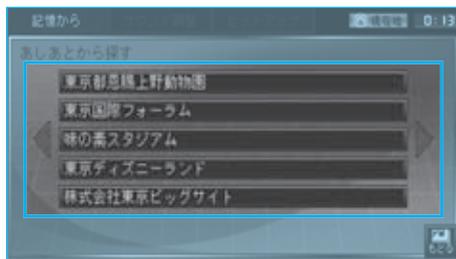
2



[あしあと]にタッチします。

Next Page

3



目的の過去目的地にタッチします。

目的の過去目的地が表示されていないときは、表示されるまで ◀ または ▶ にタッチしてください。



検索結果画面が表示されます。

Complete

検索結果画面に続いて次の操作を行えます。

ボタン	説明	
ここに行く	地点検索した場所を目的地に設定します。	N026
ここよりみち	地点検索した場所を通過点に設定します。	N027
きろく	地点検索した場所をメモリー地点として登録します。	N032
くわしくみる	地点検索した施設のテナント情報を表示します。	N028
地図を表示	地点検索した場所周辺の地図を表示します。	N029
駐車場	地点検索した施設の駐車場を探します。	N030
周辺で探す	地点検索した場所周辺で最寄り検索します。	N031

■ note

- 過去目的地が1か所もないときは[あしあと]にはタッチできません。
- 目的地として設定してルート探索しただけでは過去目的地として記憶されません。
- 最新の20か所よりも古い過去目的地は自動的に消去されます。

周辺から探す

基準地（現在地、目的地、またはルート）周辺の施設をジャンル別に探します（最寄り検索）。

C
共通

Before
Step



N
ナビゲーション

1



[周辺から]にタッチします。

E
エンタテインメント

2



基準とする場所のボタンにタッチします。

S
セットアップ

3

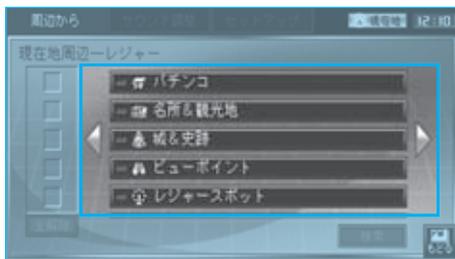


目的のジャンル（大分類）にタッチします。

A
付録

Next Page

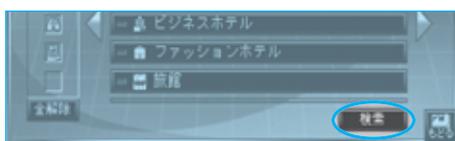
4



目的のジャンル(小分類)にタッチします。

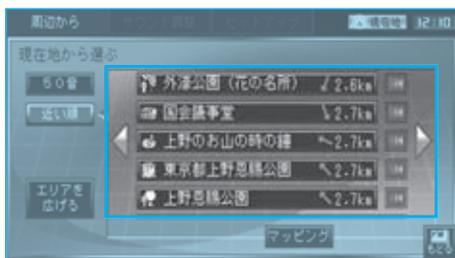
目的のジャンルが表示されていないときは、表示されるまで ◀ または ▶ にタッチしてください。

5



[検索]にタッチします。

6



目的の施設にタッチします。

目的の施設が表示されていないときは、表示されるまで ◀ または ▶ にタッチしてください。



検索結果画面が表示されます。

Complete

C
共通N
ナビゲーションE
エンタテインメントS
セットアップA
付録

検索結果画面に続いて次の操作を行えます。

ボタン	説明	
	地点検索した場所を目的地に設定します。	N026
	地点検索した場所を通過点に設定します。	N027
	地点検索した場所をメモリー地点として登録します。	N032
	地点検索した施設のテナント情報を表示します。	N028
	地点検索した場所周辺の地図を表示します。	N029
	地点検索した施設の駐車場を探します。	N030
	地点検索した場所周辺で最寄り検索します。	N031

≡ note

- 手順2で、[困ったときに!]にタッチすると、現在地付近の警察署、消防署、病院などを検索できます。
- 手順4で、ジャンル(小分類)のボタンにタッチすると、そのジャンルが選択されます。同じボタンにもう一度タッチすると、選択が解除されます。ジャンルは、同時に5種類まで選択できます。
- 手順6で、[50音]または[近い順]にタッチすると、50音順または距離の近い順に並べ替えることができます。
- 手順6の画面で、ボタン内に名称等を表示しきれない場合は、右側に  が表示されます。このボタンにタッチすると、文字をスクロールできます。
- 手順6で、[マッピング]にタッチすると、検索された施設をポジションマップ上に表示できます。 **N020**
手順2で[現在地周辺]または[目的地周辺]を選択した場合、手順6で[エリアを広げる]が表示されます。このボタンにタッチすると、検索エリアを広げて再検索できます。再検索は、2回まで、検索結果の施設が100件になるまで行えます。
- 手順2で[ルート周辺]を選択した場合、手順6で[さらに先も探す]が表示されます。このボタンにタッチすると、検索エリアをルートの目的地の方向に広げて再検索できます。再検索は、検索結果の施設が100件になるまで、または検索エリアが目的地に到達するまで行えます。
- 目的が設定されていないときには[目的地周辺]はタッチできません。
- ルート探索されていないときには[ルート周辺]はタッチできません。
- 目的のジャンル(小分類)を選んだ段階で該当件数が100件以上ある場合には、[エリアを広げる]はタッチできません。

目的地として設定する

地点検索した場所を目的地に設定します。

Before
Step

N015 ~ **N025** (行き先を検索)

1



[ここに行く]にタッチします。



ルート探索され、プランを選ぶ画面が表示されます。

Complete

プランを選ぶ画面に続いて次の操作を行います。

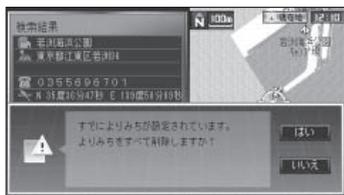
ボタン	説明	
標準 ~ 一般	ドライブプラン(ルート)の種類を選びます。	N033
リスト	ドライブプランの比較表を表示します。	N034
案内開始	ルート案内を開始します。	N035

≡ note

- スクロール地図画面で施設やマークにカーソルを合わせて[情報]にタッチしても、手順1と同じ検索結果画面を表示でき、目的地を設定できます。☞ N007、N008
- 目的地として設定できるのは1か所だけです。すでに目的地が設定されているときにさらに目的地を設定すると、先に設定した目的地が消去され、後から設定した目的地が有効になります。
- 目的地に指定した場所に有料道路(高速道路)と一般道路というように、複数の道路種別がある場合は、行き先の道路の種類を選択する画面が表示されます。道路の種類を選択してください。



- ルート案内中に新しい目的地を設定すると、通過点がある場合は、すべての通過点を削除するかどうかの確認メッセージが表示されます。



削除する場合は[はい]にタッチしてください。

通過点を削除せずに目的地を設定すると、現在地からそれらの通過点を通して目的地へ到達するルートが探索されます。

tip

- 目的地を設定すると自動的にルート探索が開始されます。このため、目的地のほかにも通過点もあるルートを探る場合には、先に通過点を設定することをお勧めします。☞ N027

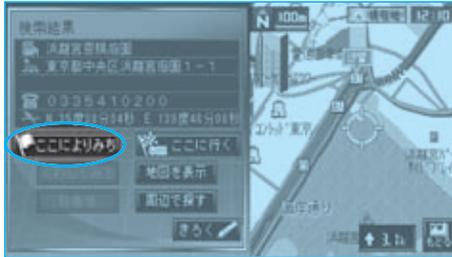
通過点として設定する

地点検索した場所を通過点に設定します。

Before
Step

N015 ~ **N025** (行き先を検索)

1



[ここによりみち]にタッチします。

Complete

C
共通

N
ナビゲーション

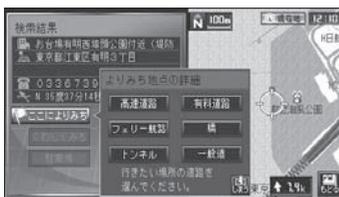
E
エンタティメント

S
セットアップ

A
付録

note

- 通過点は5か所まで設定できます。
- すでに5か所の通過点を設定されているときには、[ここによりみち]にはタッチできません。他の場所を通過点に設定したいときは、先に不要な通過点を削除してください。☞ **N051**
- 通過点は、設定した順に"通過点1"、"通過点2"..."通過点5"となり、この順に通るルートが探索されます。
- 設定した通過点の場所や順番を変更することができます。☞ **N049** ~ **N052**
- 通過点に指定した場所が有料道路(高速道路)と一般道路というように、複数の道路種別がある場合は、行き先の道路の種類を選択する画面が表示されます。道路の種類を選択してください。



- 通過点を設定したときにすでに目的地が設定されていると、自動的にルート探索が開始されます。

地点の詳細を見る

地点検索した場所の詳細情報を表示します。

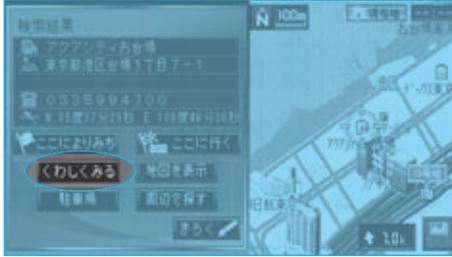
C
共通

Before
Step

N015 ~ N025 (行き先を検索)

N
ナビゲーション

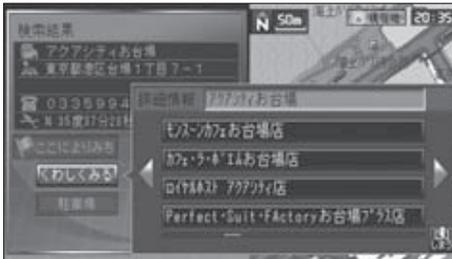
1



【くわしくみる】にタッチします。

E
エンタティメント

2



目的のテナントにタッチします。

目的のテナントが表示されていないときは、表示されるまで ◀または ▶ にタッチしてください。

S
セットアップ

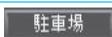


検索結果画面にテナント情報が表示されま
す。

A
付録

Complete

検索結果画面に続いて次の操作を行います。

ボタン	説明	
	地点検索した場所を目的地に設定します。	N026
	地点検索した場所を通過点に設定します。	N027
	地点検索した場所をメモリー地点として登録します。	N032
	地点検索した施設のテナント情報を表示します。	N028
	地点検索した場所周辺の地図を表示します。	N029
	地点検索した施設の駐車場を探します。	N030
	地点検索した場所周辺で最寄り検索します。	N031

≡ note

- スクロール地図画面から探した場合、テナントリストを表示できるスケールは、50m～10mで表示しているときだけです。
- 指定した場所に詳細情報がない場合は[くわしくみる]はタッチできません。
- 検索された施設にテナント情報が1件だけの場合は検索結果画面に表示されます。
- 表示されたテナントリストの[しまう]にタッチすると、詳細情報を閉じることができます。
- 地図上でVICsマークを選択して検索結果画面を表示した場合 (📍 N008)、VICsの詳細情報が表示されます。

tip

- 表示されたテナントリストから行き先(目的地または通過点)を選ぶこともできます。

地図から他の地点を探す

地点検索した場所から、地図上でさらに他の場所を探します。

C
共通

Before
Step

N015 ~ **N025** (行き先を検索)

1



[地図を表示]にタッチします。

N
ナビゲーション

2



目的の場所にカーソルを合わせます。

E
エンタテインメント

3



[決定]にタッチします。

S
セットアップ

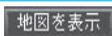
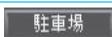
A
付録



検索結果画面が表示されます。

Complete

検索結果画面に続いて次の操作を行えます。

ボタン	説明	
	地点検索した場所を目的地に設定します。	N026
	地点検索した場所を通過点に設定します。	N027
	地点検索した場所をメモリー地点として登録します。	N032
	地点検索した施設のテナント情報を表示します。	N028
	地点検索した場所周辺の地図を表示します。	N029
	地点検索した施設の駐車場を探します。	N030
	地点検索した場所周辺で最寄り検索します。	N031

≡ note

- [地図を表示]で表示される地図では、マークを選択 (H35 N008) することはできません。

tip

- 本機のデータベースに収録されていない場所を探すときには、その近所の目標となる場所を地点検索し、そこから地図を表示して本来の目的の場所を探すということもできます。

地点周辺の駐車場や関連施設を探す

地点検索した施設等の付属駐車場や提携駐車場を探ることができます。

C
共通

Before
Step

N015 ~ **N025** (行き先を検索)

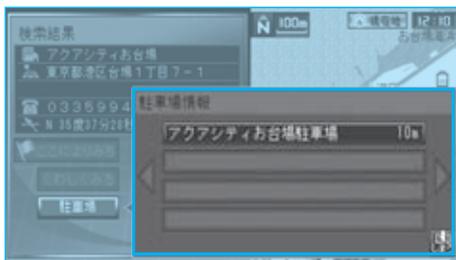
1



[駐車場]にタッチします。

N
ナビゲーション

2



目的の駐車場にタッチします。

E
エンタティメント

S
セットアップ

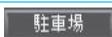


検索結果画面が表示されます。

A
付録

Complete

検索結果画面に続いて次の操作を行います。

ボタン	説明	
 ここに行く	地点検索した場所を目的地に設定します。	N026
 ここよりみち	地点検索した場所を通過点に設定します。	N027
 きろく	地点検索した場所をメモリー地点として登録します。	N032
 くわしくみる	地点検索した施設のテナント情報を表示します。	N028
 地図を表示	地点検索した場所周辺の地図を表示します。	N029
 駐車場	地点検索した施設の駐車場を探します。	N030
 周辺で探す	地点検索した場所周辺で最寄り検索します。	N031

≡ note

- 指定した施設に駐車場情報がない場合は、[駐車場]はタッチできません。
- 駐車場は、検索した施設に近い順に表示されます。
- ◀または▶にタッチすると、駐車場リストをスクロールできます。
- 表示された駐車場リストの[しまう]にタッチすると、駐車場情報を閉じることができます。

tip

- この機能を使って駐車場を行き先(目的地または通過点)として設定しておく、現地に着いてから駐車場を探す手間が省けます。

地点周辺の施設を探す

地点検索した場所付近で最寄り検索できます。

C
共通

Before
Step

N015 ~ N025 (行き先を検索)

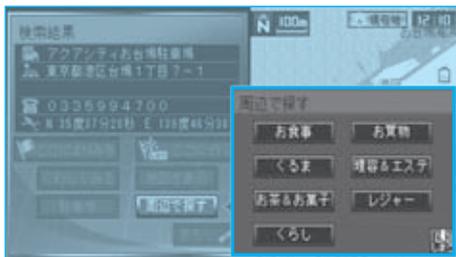
1



[周辺で探す]にタッチします。

N
ナビゲーション

2



目的のジャンルにタッチします。

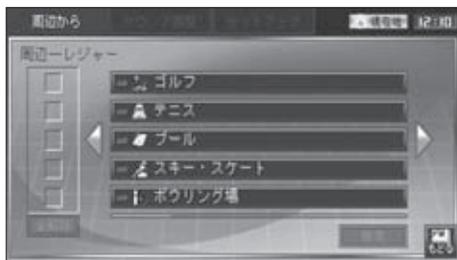
E
エンタテインメント

S
セットアップ

Next Page

A
付録

3



画面に従って操作します。

「N025 周辺から探す」の手順4以降と同じです。



検索結果画面が表示されます。

Complete

検索結果画面に続いて次の操作を行えます。

ボタン	説明	
ここに行く	地点検索した場所を目的地に設定します。	N026
ここよりみち	地点検索した場所を通過点に設定します。	N027
きろく	地点検索した場所をメモリー地点として登録します。	N032
くわしくみる	地点検索した施設のテナント情報を表示します。	N028
地図を表示	地点検索した場所周辺の地図を表示します。	N029
駐車場	地点検索した施設の駐車場を探します。	N030
周辺で探す	地点検索した場所周辺で最寄り検索します。	N031

tip

- この機能を使うと、任意の地点の最寄り検索ができます。

メモリー地点として登録する

地点検索した場所を本機に記憶させます(メモリー地点)。

C
共通

Before
Step

N015 ~ **N025** (行き先を検索)

1



[きろく]にタッチします。

N
ナビゲーション



メモリー地点に  マークがつきます。

E
エンタティメント

S
セットアップ

Complete

A
付録

note

- メモリー地点は100か所まで登録できます。
- すでにメモリー地点が100か所登録されている場合、[きろく]にはタッチできません。新しくメモリー地点を登録したいときは、先に不要なメモリー地点を削除してください。📍 **N073**
- 登録したメモリー地点に名前やマークをつけるなど、各種の編集をすることができます。📍 **N065** ~ **N073**

ルート探索時には4種類のルート(ドライブプラン)が探索されます。この中からルート案内に使用するルートを選べます。

Before
Step

N026 (目的地として設定)、**N027** (通過点として設定)

1



ルートの種類のボタンにタッチします。



選択したルートが地図上に表示されます。

Complete

探索される4種類のルートは次のとおりです。

ボタン	説明
標準	お奨めのルートです。
距離	距離の短さを優先したルートです。ただし、最短距離のルートにならない場合もあります。
有料	有料道路(高速道路)を優先的に使うルートです。ただし、有料道路だけでは目的地に到達できない場合は、一般道も通るルートとなります。
一般	一般道を優先的に使うルートです。ただし、距離が長くなる場合や途中で回避しにくい有料道路がある場合は、有料道路を通るルートとなる場合があります。

≡ note

- **N027** で通過点を設定しても、目的地が設定されていないときには手順1の画面は表示されません。
- 目的地や通過点が鉄道や高速道路、河川の近くなどに設定されていると、ルート探索できない場合があります。近くの別の場所（幹線道路上）などに設定しなおしてください。
- 出発地から探索対象道路までの間と探索対象道路から通過点/目的地の間では、探索対象外道路（幅員5.5m未満の細街路等）もルート探索の対象になります。ただし、探索対象外道路での交通規制（一方通行や時間通行止等）は考慮されません。そのような道路を通行するときには、実際の交通規則に従って通行してください。
- 適切な通行料金を表示するためには、車両種別を正しく設定してください。**S014**
- 期間限定や往復などの割引料金が設定されているルートでは、通行料金が正しく表示されない場合があります。
- 本機の地図データベースには、フェリー航送料金は収録されていません。

ルートを比較する

探索された4種類のルートを一覧表で比較します。

Before
Step

N026 (目的地として設定)、**N027** (通過点として設定)

1



[リスト]にタッチします。



各ルートの詳細の比較リストが表示されます。

Complete

note

- 所要時間は予測であり、実際の所要時間と異なる場合があります。
- 適切な通行料金を表示するためには、車両種別を正しく設定してください。[033](#) **S014**
- 期間限定や往復などの割引料金が設定されているルートでは、通行料金が正しく表示されない場合があります。
- 本機の地図データベースには、フェリー航送料金は収録されていません。

ルート案内を開始する

ルートを決めたらルート案内を開始します。

Before Step

N033 (ルートを選択)

1



[案内開始]にタッチします。



目的地へのルート案内が始まります。

Complete

note

- ルート案内の画面や音声については「**N037** 一般道での案内」以降をご覧ください。
- ルート案内の開始前に[もどる]にタッチしたり本機の電源をオフにすると、探索されたルートは消去されます。ただし、設定した目的地や通過点は消去されませんので、プラン情報・編集画面 (**U53** **N049**) の[探索]でルート探索できます。
- ルート案内開始後は、本機の電源をオフにしてもルートは消去されません。
- 所要時間は予測で、実際の所要時間と異なる場合があります。
- 適切な通行料金を表示するためには、車両種別を正しく設定してください。**U53** **S014**
- 期間限定や往復などの割引料金が設定されているルートでは、通行料金が正しく表示されない場合があります。
- 本機の地図データベースには、フェリー・航送料金は収録されていません。

現在地から自宅へ帰るルートは、ワンタッチで案内を開始できます。

1



[自宅]にタッチします。

2



ルートの種類のボタンにタッチして、ルートを選択します。

3



[案内開始]にタッチします。



自宅へのルート案内が始まります。

Complete

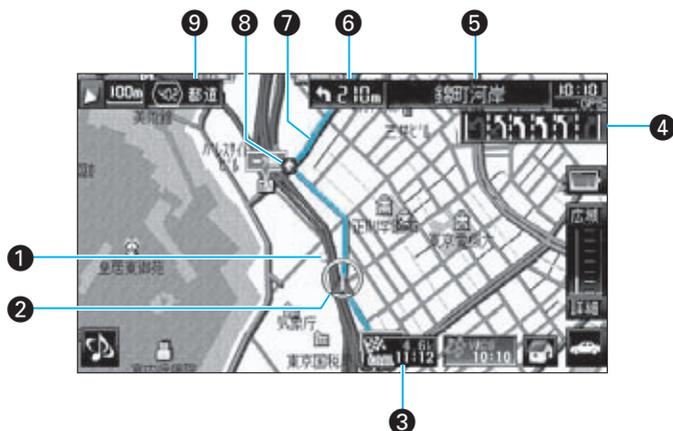
C
共通N
ナビゲーションE
エンタティメントS
セットアップA
付録

≡ note

- [自宅]が表示されていないときは、くるくるボタンで操作ボタンを切り替えてください。🔗 [N001](#)
- あらかじめ自宅の場所を登録しておいてください。自宅が登録されていないときは、自宅を登録する画面が表示されます。
🔗 [N074](#)
- 探索されたルートがある場合、確認のメッセージが表示されます。
- 4種類のルートから選択できます。🔗 [N033](#)

一般道での案内

一般道でのルート案内中には次の情報が表示されます。



- ① 目的地の方向
目的地のおおまかな方向を示します。
- ② 自転車マーク
現在地を示します。
- ③ 目的地情報ボタン
目的地までの距離と予想到着時刻が表示されます。
- ④ レーン案内
次の交差点での通行区分と推奨通過レーンが表示されます。
水色：推奨レーン
白色：通過可能なレーン
灰色：不適切なレーン
- ⑤ 次交差点案内
次の交差点の名称が表示されます。ただし、交差点に名称がない場合は、表示されません。
- ⑥ 次の案内ポイントでの進行方向
次に画面や音声で案内のある場所までの距離と、そこでの進行方向が表示されます。
- ⑦ ルート
ルートが水色(細街路では青色)で表示されます。
- ⑧ 案内ポイント
近づくと画面表示や音声で案内のある場所です。
N039 N040
- ⑨ 道路種別
現在地の道路の種別や名称(番号)を表示します。

≡ caution

- 本機のルート案内と実際の交通規制が異なる場合があります。実際の交通規制に従って走行してください。

≡ note

- 目的地に近づくと、自動的にGOALプレートが表示されます。自動的に表示されないように設定することもできます。 **N085**
- [GOAL]にタッチすると、GOAL到達度画面が表示されます。



GOAL到達度の画面で[GOALプレート]にタッチするとGOALプレートが表示され、目的地情報を見ることができます。

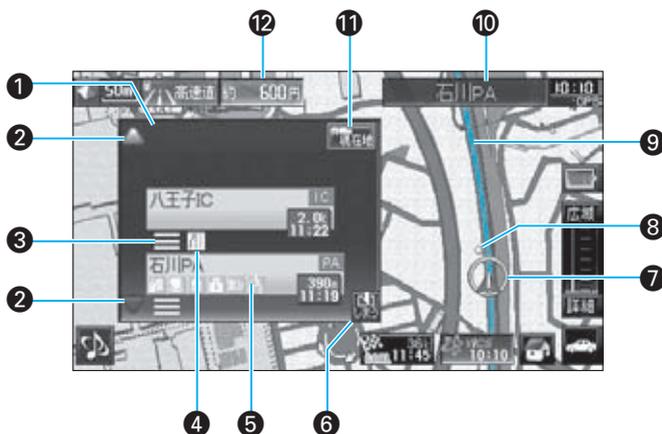
 **N041**

また、[プラン情報/詳細]にタッチすると、プラン情報・編集画面が表示されます。 **N049**

- 通過点や目的地が到達できない場所に設定されているときは、走行できる最も近い地点まで案内されます。
- 細街路を走行中の場合や、マップマッチングが正しく行われていない場合などは、道路名称は表示されません。
- レーン案内で、推奨レーン情報がない場合には、通行可能なレーンが水色で表示されます。
- 料金情報が収録されている料金所では、通過時に通行料金が案内されます。料金は、「**S014** 車両情報を設定する」で設定した情報に従って算出されます。ただし、1ナンバーが設定されているときには中型車の料金が案内されます。
- すべての有料道路の通行料金を表示できるわけではありません。表示できる通行料金は、都市高速道路（首都高速道路など）、都市間高速道路（東名自動車道など）、および本機の地図データベースに料金情報が収録されている有料道路だけです。
- 案内される料金には、各種ETC割引、夜間料金等は考慮されていません。
- 表示される通行料金は地図データベース作成時点のもので、データ整備の状況により、古い料金が表示される場合があります。
- 有料道路の通行中にルート探索または再探索を行った場合には、料金が案内されないことがあります。
-  を押すと、音声案内をもう一度聞きなおせます。ただし、繰り返して案内できないこともあります。

高速道路での案内

有料道路（高速道路）でのルート案内中には次の情報が表示されます。



- ① **ハイウェイモード画面**
高速道路を走行中に、ルート上にある施設の情報を表示します。
- ② **スクロールボタン**
ハイウェイモード画面内の施設情報表示をスクロールします。
- ③ **交通情報表示**
施設間区間の交通情報が表示されます。
緑色：順調・不明
オレンジ色：混雑
赤色：渋滞
- ④ **規制情報表示**
車線規制等の通行規制情報が表示されます（最大4件）。
- ⑤ **次施設案内表示**
進行方向にあるインターチェンジ（IC）/ジャンクション（JCT）、サービスエリア（SA）、パーキングエリア（PA）までの距離、通過予想時刻、および各施設の設備が表示されます。
- ⑥ **しまうボタン**
ハイウェイモード画面を閉じます。
ハイウェイモード画面を閉じた後で、**≡**（ハイウェイモード復帰ボタン）にタッチすると、ハイウェイモード画面が再び表示されます。
- ⑦ **自車マーク**
現在地を示します。
- ⑧ **目的地の方向**
目的地のおおまかな方向を示します。
- ⑨ **ルート**
ルートが水色（細街路では青色）で表示されます。
- ⑩ **次施設案内**
次のインターチェンジ/ジャンクション、サービスエリア/パーキングエリアの名称が表示されます。
- ⑪ **現在地復帰ボタン**
ハイウェイモード画面をスクロールしているときに表示され、現在地の表示までスクロールを戻します。
- ⑫ **料金案内**
料金所に近づくと、音声案内とともに、通行料金が表示されます。

サービスエリア (SA) やパーキングエリア (PA) などの施設の設備は次のマークで表示されます。

記号	名称	記号	名称	記号	名称
	FAX		コーヒー		軽食・自動販売機
	インフォメーション		ドラッグ		身障者施設
	お風呂		ハイウェイ情報ターミナル		授乳室
	温泉		宿泊施設		宝くじ
	銀行		郵便局		名産
	コインシャワー		郵便ポスト		トイレ
	コインランドリー		レストラン		公衆電話
	コイン洗車機		休憩所		身障者用トイレ

※ ガソリンスタンドのマークは各社のロゴで表示されます。

≡ caution

- 本機のルート案内と実際の交通規制が異なる場合があります。実際の交通規制に従って走行してください。

≡ note

- ハイウェイモード画面は、ルート案内中であるかどうかにかかわらず、高速道路を走行中に表示されます。ただし、高速道路によっては表示されない場合があります。また、ルート案内していないときは、ハイウェイモード画面が表示されない場合もあります。
- [しまう]でハイウェイモード画面を閉じて、ACCをオフにした後に再びオンにしたときには再度表示されます。

合流があるときは



高速道路を走行中に進行方向に右または左から合流があるときには、画面と音声で案内があります。

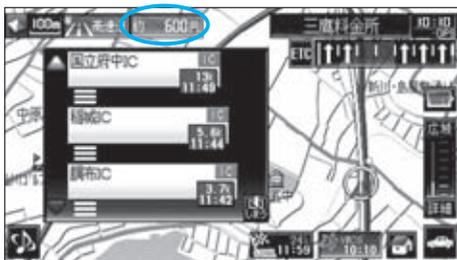
C
共通N
ナビゲーションE
エンタティメントS
セットアップA
付録

≡ note

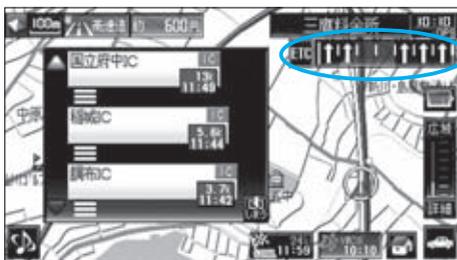
- ジャンクションなどの加速車線から本線に合流する前には「この先合流があります」とアナウンスされます。



料金所に近づくと



料金所に近づくと、通行料金が画面表示と音声で案内されます。



料金所レーン案内(035 N085)で[ETC]を選択しているときには、料金所ゲートのETCレーンが案内されます。

矢印(白)：ETCで通過可能
矢印(灰)：時間によっては通行不可
矢印なし：一般レーン

同様に、料金所レーン案内で[一般]を選択しているときには、料金所ゲートの一般レーンが案内されます。

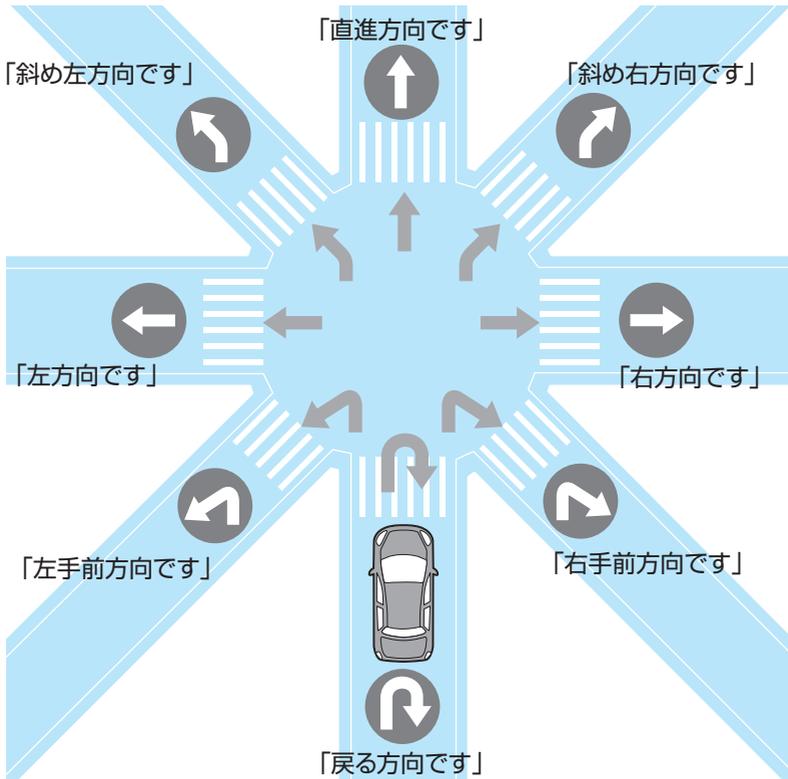
矢印(白)：ETCなしで通過可能
矢印(灰)：時間によっては通行不可
矢印なし：ETC専用レーン

≡ note

- 料金データが地図データベースに収録されていない料金所では、通行料金は案内されません。
- 地図データベース作成後の料金変更は反映されていません。また、ETC割引や夜間割引等の各種の割引は考慮されていません。このため、案内される通行料金と実際の通行料金が異なる場合があります。
- 有料道路(高速道路)の通行中にルート探索や再探索を行った場合には、通行料金は案内されません。
- 通行料金は、設定された車両情報(車両種別)に基づいて算出されます。ただし、車両種別が「1ナンバー」に設定されているときは中型車の料金が案内されます。
- 料金所の先の方面看板のデータが収録されていない場合、模式図で案内される場合や何も表示されない場合があります。
- 表示される通行料金は、地図データベース作成時点のもので、実際の通行料金と異なる場合があります。

案内ポイント付近での音声案内

案内ポイントに近づくと、進行方向が音声で案内されます。



≡ note

- 本線を直進する場合でも、左(または右)に分岐路があると「斜め右(または斜め左)方向です」とアナウンスされる場合があります。
- 道路の形状によっては、実際の進行方向が音声案内と異なる場合があります。

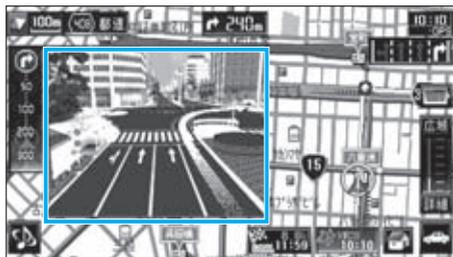
案内ポイント付近での画面案内

案内ポイントに近づくと、進行方向が画面で案内されます。

C
共通

一般道の交差点

一般道では、案内ポイントの約300m手前に近づくと、交差点拡大図が表示されます。



N
ナビゲーション

都市高速道路の入口



都市高速道路の入口に近づくと、入口付近の拡大図(3D)が表示されます。

E
エンタテインメント

高速道路のインターチェンジ(IC) /ジャンクション(JCT)



高速道路では、案内ポイントの約1km手前に近づくと、IC/JCT拡大図が表示されます。

S
セットアップ

A
付録

≡ note

- 一般道の交差点拡大図の2D表示と3D表示の切り替え方法については、**N085** ルート案内時の動作を設定する」をご覧ください。ただし、3D表示に設定していても、場所によっては2D表示になる場合があります。
- 拡大図は、案内ポイントを通過すると自動的に消えます。通過前に消したいときは、拡大図の枠内(□)にタッチしてください。ただし、一度消した拡大図は再表示できません。

目的地の情報を表示する

ルート全体の中での現在の到達度をメーターで見ることができます (GOAL到達度)。また、目的地の詳細情報を見ることができます。

1



[GOAL]にタッチします。

2



[GOALプレート]にタッチします。

全行程での進行度合いがバー表示されます。自動車マークが現時点での到達度です。



目的地の情報が表示されます。

Complete

note

- [プラン情報/詳細]にタッチするとプラン情報・編集画面が表示されます。N049

案内中のルートから外れても、何も操作する必要はありません。自動的に新しいルートが探索され(オートリルート)、案内が再開されます。



ルートから外れると



自動的にルート探索しなおされます。

≡ note

- ルートから外れていると、常にオートリルートが行われます。意図的にルートを外れるときなど、オートリルートを中止したいときは、ルート案内を中止してください。[📍 N055](#)
- 中止したルート案内を再開するには、プラン情報・編集画面([📍 N049](#))の[探索]を使用してください。

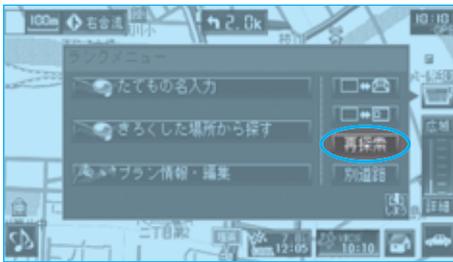
現在地から残りの通過点を通して目的地に行くルートを探しなおすことができます(再探索)。オートリルートで探索されたルートが効率的でないときなどに使用すると便利です。

1



にタッチします。

2



[再探索]にタッチします。



新しいルートで案内が開始されます。

Complete

note

- 再探索時にはルートの種類(標準/距離など)は選択できません。元のルートと同じ種類のルートとなります。ルートの種類を変えて再探索する場合は、プラン情報・編集画面(☰ N049)の[探索]を使用してください。
- 有料道路を走行中にルートを再探索すると、該当区間の料金表示がされなくなる場合があります。

tip

- ルートから外れると、オートリルートされます。このオートリルートでは、元のルートに戻るようにルート探索されます。このため、意図的にルートから外れていくときには、オートリルートで探索されるルートが最適ではない場合があります。再探索では、それまでのルートをいったん消去し、現在地から残りの通過点を通して目的地に行くルートが新しく探索されます。このため、再探索以前に比べて最適なルートになる場合があります。

別の道路に自転車位置を変える

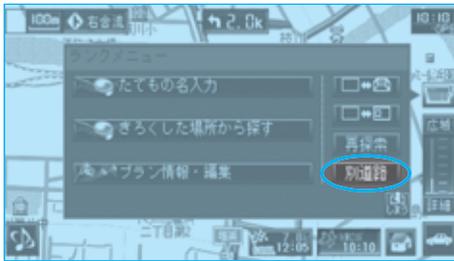
高速道路と一般道が並行している場所などで、自転車位置を強制的に変えます。

1



にタッチします。

2



[別道路]にタッチします。



自転車位置が別の道路上に変わります。

Complete

note

- 並行している道路がないとき、または並行している道路が離れているときには、[別道路]にはタッチできません。
- ルート案内中に別道路に自転車位置を変えると、しばらく走行してから自動的にルート探索が行われます。
- 別道路に自転車位置を変えた直後には、自転車マークが不安定になる場合があります。

tip

- 一般道を走行しているのに頭上の高速道に自転車位置がマップマッチング (038 A014) されているとき、またはその逆の場合など、自転車位置を正しい道路に戻すときに使用できます。

渋滞していたら

VICSで渋滞情報や通行規制情報を受信すると、それらの交通情報を考慮したルートが自動的に探索されます（最適時間考慮探索）。



交通情報を考慮したルートが自動的に探索されて案内されます。

≡ note

- この機能を使用するためには、別売品の光・電波ビーコンVICSユニット(VF-M99)が必要です。ただし、光・電波VICSユニットを接続していても、VICS渋滞情報や通行規制情報を受信しないと再探索は行われません。
- この機能を使用するためには、セットアップメニューの「ナビ最適時間考慮」(機能設定)を「ON」に設定しておいてください。
 **S013**
- 渋滞を進んだほうが早いときや渋滞を回避するルートがないときは、再探索後のルートが同じになる場合や再探索を行わない場合もあります。
- ルートの種類を[距離]にしている( **N033**) 場合は、本機能は使用できません。

ドライブプランメニューを表示する

ルート案内開始後に、ルートの詳細を確認したり、ルートを変更したりします。

C
共通

Before
Step

   (ナビメニューを表示)

N
ナビゲーション

1



[ドライブプラン]にタッチします。

E
エンタテインメント



ドライブプランメニューが表示されます。

S
セットアップ

Complete

ドライブプランメニューに表示されるボタンは次のとおりです。

ボタン	説明	
	出発地から目的地までのルート全体を地図上に表示します。	N047
	使用する道路やICの名称等、ルートの詳細な情報を表示します。	N048 ~ N053
	出発地から目的地までのルートを実況走行(模擬走行)します。ドライブの道筋をあらかじめ確認するのに便利です。	N054
	ルート案内を中止します。	N055

note

- ルート案内中にルートを変更/削除すると、ルート案内は中止されます。
ルートの変更後に、ルートを探索しなおしてください。[N049](#) ~ [N052](#)

ドライブプラン全体を表示する

ルート全体を地図やリストで表示します。

Before
Step



1



[全体を見る]にタッチします。

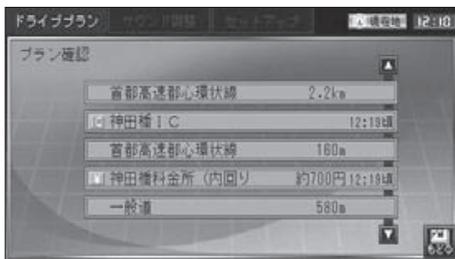
2



[確認]にタッチします。

ドライブプラン全体の地図画面について

038 N048



ドライブプランの情報が表示されます。

ドライブプランの情報表示について

038 N048

Complete

C
共通

N
ナビゲーション

E
エンタティメント

S
セットアップ

A
付録

ドライブプラン全体地図画面と ドライブプラン情報確認画面

ルート全体を地図やリストで確認できます。

Before Step

N047 (ドライブプラン全体を表示)

ドライブプラン全体地図画面



- ① 目的地
- ② 通過点などの予想到着時刻
通過点や主な案内ポイント(ICなど)の予想到着時刻が表示されます。
- ③ 通過点など
通過点や主な案内ポイント(ICなど)の全行程中での位置と距離の割合で表示されます。
- ④ GOAL到達度
- ⑤ 目的地までの残距離/目的地予想到着時刻
- ⑥ プラン確認ボタン
プラン情報確認画面を表示します。
- ⑦ 現在地
現在地を示します。
- ⑧ ルート
ルートが水色(細街路では青色)で表示されます。
- ⑨ 通過点

≡ note

- ドライブプラン全体地図画面では、地図の縮尺は自動的に調整されます。変更することはできません。
- ICや通過点がない場合は、目的地までの残り時間が表示されます。

ドライブプラン情報確認画面



- | | |
|--|---|
| <p>① 走行道路と走行距離/料金
走行する道路の名称と距離が表示されます。</p> <p>② 通過点/ガイドポイント
通過点と主なガイドポイント、およびそこへの到着予想時刻が表示されます。</p> <p>③ 料金所と料金
通過する料金所と通行料金が表示されます。</p> | <p>④ スクロールダウン
リストを出発地の方向にスクロールします。</p> <p>⑤ スクロールアップ
リストを目的地の方向にスクロールします。</p> |
|--|---|

≡ note

- 出発前にドライブプラン情報確認画面を表示したときには、出発地から目的地までの通過点やガイドポイントなどが表示されます。また、出発後にドライブプラン情報確認画面を表示したときには、現在地以降の通過点やガイドポイントなどが表示されます。

行き先の場所を変更する

目的地や通過点の場所を変更します。



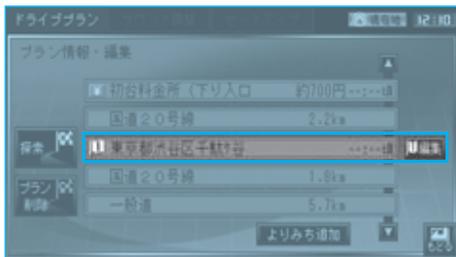
Before Step

1



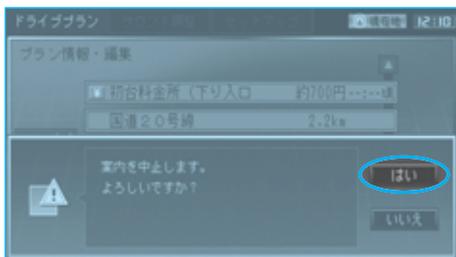
[プラン情報/編集]にタッチします。

2



変更する通過点または目的地の[編集]にタッチします。

3



[はい]にタッチします。

Next Page

4



[場所変更]にタッチします。

5



地図をスクロールして、カーソルを新しい場所に合わせます。

6



[決定]にタッチします。



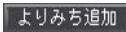
行き先の情報が変更されたドライブプランが表示されます。

Complete

C
共通N
ナビゲーションE
エンタティメントS
セットアップA
付録

行き先の場所を変更する

続いて、プラン情報・編集画面で次の操作を行います。

ボタン	説明
	ルートを探索しなおして、ルート案内を再開します。
	行き先の場所の変更 (F35 N049)、順番の変更 (F35 N050)、行き先の削除 (F35 N051) を行います。
	通過点を追加します。 N052
	ルート全体を削除します。 N053

≡ note

- ルート案内は中止されています。[探索]にタッチしてルート探索しなおしてください。
- 手順2で、変更する目的地または通過点が表示されていないときは、表示されるまで  または  にタッチしてリストをスクロールしてください。

tip

- この機能は、通過点や目的地を少しずらす場合などに便利です。
新しい場所を探す場合は、「通過点を追加する」の方法で新しい通過点を追加し、不要になった通過点を 「行き先を削除する」で削除したほうが簡単です。
- 手順2の画面(プラン情報・編集画面)の[探索]は、行き先の場所を変更しなくてもタッチできます。
これは、ルート案内を中止した後に、ルートを探索し、ルートの種類を選択して、ルート案内を再開するときに利用できます。

行き先の順番を変更する

行き先(通過点/目的地)の順番を変更します。

Before
Step

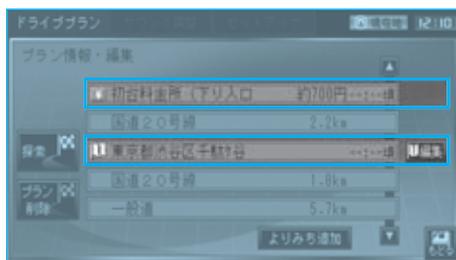


1



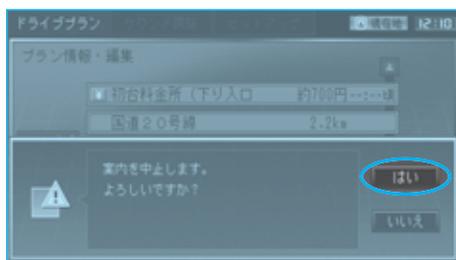
[プラン情報/編集]にタッチします。

2



順番を変える通過点または目的地の[編集]にタッチします。

3



[はい]にタッチします。

Next Page

行き先の順番を変更する

C
共通

4



[順番入替]にタッチします。

N
ナビゲーション

5



挿入先の ◀ にタッチします。

E
エンタテインメント

6



[決定]にタッチします。

S
セットアップ

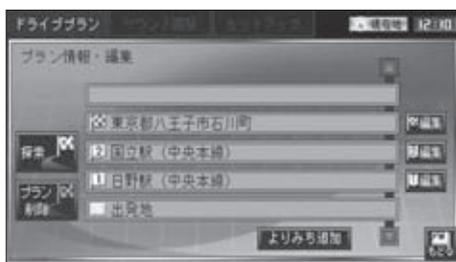
Next Page

A
付録

7



[はい]にタッチします。



行き先の順番が変更されたドライブプランが表示されます。

Complete

続いて、プラン情報・編集画面で次の操作を行えます。

ボタン	説明
	ルートを探索しなおして、ルート案内を再開します。
	行き先の場所の変更 (P. N049)、順番の変更 (P. N050)、行き先の削除 (P. N051)を行います。
	通過点を追加します。 N052
	ルート全体を削除します。 N053

note

- 行き先の順番を変更すると、ルート案内は中止されます。[探索]にタッチしてルート探索しなおしてください。
- 手順2で、変更する目的地または通過点が表示されていないときは、表示されるまで または にタッチしてリストをスクロールしてください。

行き先を削除する

行き先(目的地/通過点)を削除します。



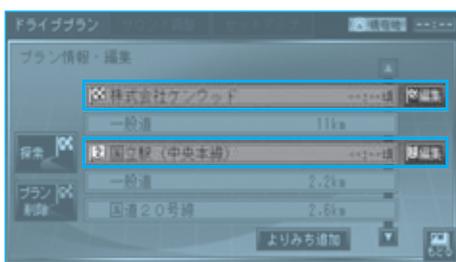
Before Step

1



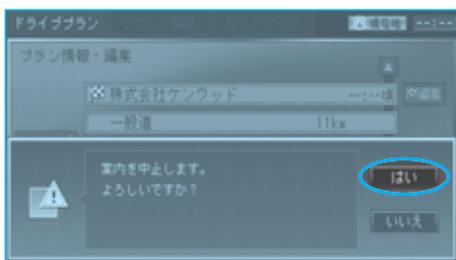
[プラン情報/編集]にタッチします。

2



削除する目的地または通過点の[編集]にタッチします。

3



[はい]にタッチします。

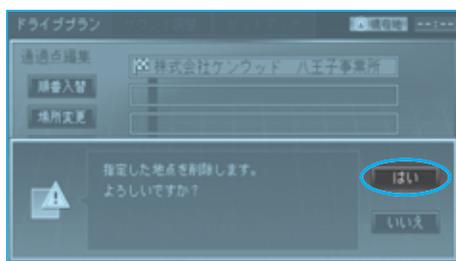
Next Page

4

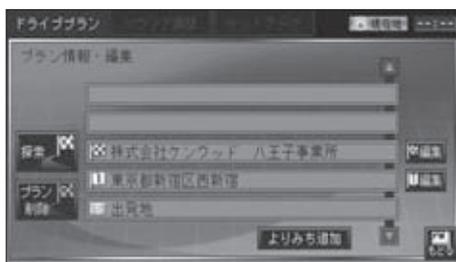


[削除]にタッチします。

5



[はい]にタッチします。



選択した通過点または目的地が削除されたドライブプランが表示されます。

Complete

C
共通N
ナビゲーションE
エンタティメントS
セットアップA
付録

行き先を削除する

C
共通

続いて、プラン情報・編集画面で次の操作を行います。

ボタン	説明
	ルートを探索しなおして、ルート案内を再開します。
	行き先の場所の変更 (☞ N049)、順番の変更 (☞ N050)、行き先の削除 (☞ N051) を行います。
	通過点を追加します。 N052
	ルート全体を削除します。 N053

N
ナビゲーションE
エンタテイメントS
セットアップA
付録

≡ note

- ルート案内は中止されています。[探索]にタッチしてルート探索しなおしてください。
- 手順2で、削除する目的地または通過点が表示されていないときは、表示されるまで  または  にタッチしてリストをスクロールしてください。
- 目的地を削除すると、最後の通過点が自動的に目的地に設定されます。

通過点を追加する

ドライブプランに通過点を追加します。

Before
Step



C
共通

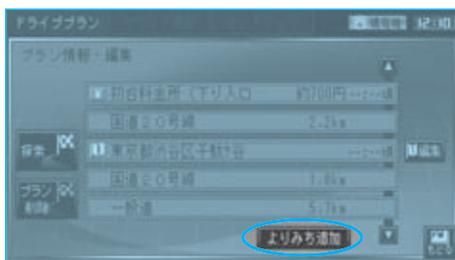
1



[プラン情報/編集]にタッチします。

N
ナビゲーション

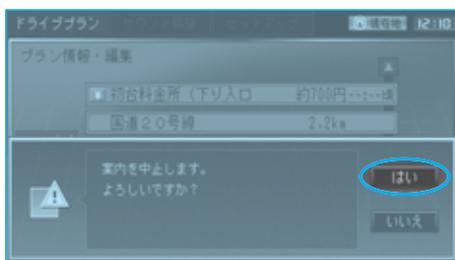
2



[よりみち追加]にタッチします。

E
エンタティメント

3



[はい]にタッチします。

S
セットアップ

A
付録

Next Page

通過点を追加する

C
共通

4



追加する場所を探します。

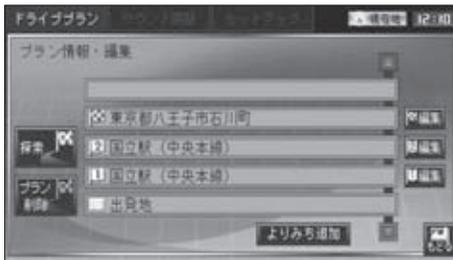
N
ナビゲーション

5



[ここによりみち]にタッチします。

E
エンタテインメント



通過点が追加されたドライブプランが表示されます。

A
付録

Complete

続いて、プラン情報・編集画面で次の操作を行います。

ボタン	説明
	ルートを探索しなおして、ルート案内を再開します。
	行き先の場所の変更 (P38 N049)、順番の変更 (P38 N050)、行き先の削除 (P38 N051) を行います。
	通過点を追加します。 N052
	ルート全体を削除します。 N053

≡ caution

- すでに5か所の通過点が設定されているときには[よりみち追加]にはタッチできません。他の場所を通過点として追加したいときは、不要な通過点を先に削除してください。

≡ note

- 通過点を追加すると、ルート案内は中止されます。[探索]にタッチしてルート探索しなおしてください。
- 追加した通過点は、最後の通過点として挿入されます。必要に応じて、通過点の順番を変更してください。P38 N050

目的地や通過点を含めたルート全体を削除します。

Before Step

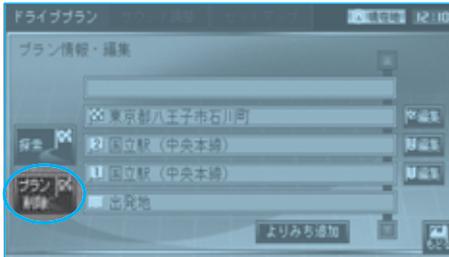


1



[プラン情報/編集]にタッチします。

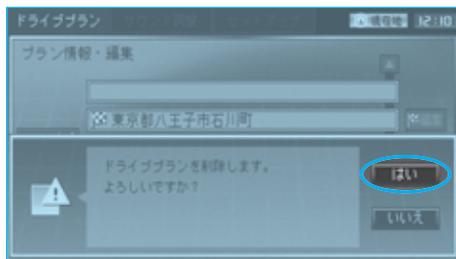
2



[プラン削除]にタッチします。

Next Page

3



【はい】にタッチします。



ドライブプランが削除され、現在地画面に戻ります。

Complete

C
共通N
ナビゲーションE
エンタティメントS
セットアップA
付録

■ caution

- ドライブプランを削除すると、目的地や通過点の設定も削除されます。この方法は、案内中止と異なり、行き先を設定しなおさないとルート探索できません。

tip

- 目的地や通過点の設定を残しておきたい場合は、ドライブプランを削除せず、ルート案内を中止してください。**N055** ルート案内を中止しても目的地や通過点の設定は削除されませんので、必要になったときにルート探索して案内を再開できます。

お試し走行をする

出発地から目的地までのルートをドライブシミュレーションします。

C
共通

Before
Step



N
ナビゲーション

1



[お試し走行]にタッチします。

E
エンタテインメント

2



[はい]にタッチします。

S
セットアップ



お試し走行が開始されます。

お試し走行が終了すると、ドライブプランメニューに戻ります。

A
付録

Complete

note

- ルート案内が開始されていないと[お試し走行]は選択できません。053 **N035**
- ドライブシミュレーション時には、実際の走行時と同様に、画面表示および音声で案内されます。
- **N1** (標準速度、時速約50km)、**N2** (2倍速)、**N3** (3倍速) で、走行速度を選択できます。お試し走行開始時は、**N1** (時速約100km) に設定されています。
- [もどる]にタッチすると、お試し走行を中止してドライブプランメニューに戻ります。
- 車が動いたときや、**ESC**、**ASX**、**EVSENSE**、または **SENSE** が押されたときもお試し走行は中止され、各々の該当画面が表示されます。

ルート案内を中止する

通過点や目的地の設定は残したまま、ルートを消去します。

Before
Step



1



[案内中止]にタッチします。

2



[はい]にタッチします。

Complete

tip

- 目的地や通過点の設定を残しておきたい場合は、この方法でルート案内を中止してください。ルート案内を中止しても目的地や通過点の設定は削除されないため、必要になったときにルート探索して案内を再開できます。
- ルート(ドライブプラン)を削除する(🗑️ **N053**)と、目的地や通過点は削除されてしまいます。

VICIS (Vehicle Information and Communication System) は、財団法人日本道路交通情報通信システムセンターが走行中の車両に交通情報を提供するシステムです。

VICIS情報を受信すると、現在地の地図画面上にVICIS情報が自動的に表示されます。

道路交通情報などのVICIS情報の表示、受信FM局の選局などの設定はVICISメニュー画面から行います。

≡ caution

- VICIS FM局から送られてくるVICIS情報は、本機だけで受信できます。
電波/光ビーコンで送られるVICIS情報を受信するためには、別売品の電波・光VICISユニット(VF-M99)が必要です。

VICIS情報の内容と種類

渋滞情報、事故情報、臨時交通規制情報、所要時間情報、駐車場情報およびその他の緊急情報が提供されます。

提供されるVICISは次の3つのレベルの種類があります。

レベル1 (文字型情報) : 情報が文字で表示されます。

レベル2 (簡易図形型情報) : 道路地図の模式図で情報が表示されます。

レベル3 (地図表示型情報) : ナビゲーション画面の地図上に情報が表示されます。

VICIS情報の提供方法

VICIS情報は、FM多重放送(NHK-FM)、電波ビーコン、光ビーコンの3通りの方法で提供されています。

VICIS情報利用上のご注意

以下の点に注意して利用してください。

FM多重放送

- ・ 各FM放送局のサービスエリア内で受信できます。
- ・ サービスエリア外やトンネル内、電波環境が良くない場所(雑音、マルチパスなどによる)では、受信困難になることがあります。
- ・ 情報は一定周期で更新しています。更新中は情報を蓄積するまで、時間がかかります(情報によっては最大5分周期でデータを更新する場合があります)。
- ・ 放送時間外は利用できません。

電波ビーコン

- ・ 主に高速道路に設置されています。
- ・ 高速道路の高架下の一般道を走行中に、電波ビーコンを受信してしまうことがあります。
- ・ 通信エリア外や外来雑音、大型車並走等で走行環境が良くないとき、ビーコンアンテナ付近に電波を遮断するものがあるとき、法定速度以上で走行しているときは受信が困難になります。
- ・ 低速で走行中は、反対車線のビーコンを受信してしまうことがあります。

光ビーコン

- ・ 主に一般道に設置されています。
- ・ 通信エリア外、雨や雪の影響がある場合、大型車両の併走などでビーコン発信器の光が遮られた場合、ビーコンアンテナ付近に光ビーコンをさえぎる物がある場合、アンテナ受光面が汚れている場合、直射日光がアンテナ受光面に当たっている場合などは受信困難になることがあります。

VICS情報を受信すると、地図画面に表示されます。

地図表示型(レベル3)情報の表示

受信した地図表示型(レベル3)情報は、地図上に表示されます。



- ① 駐車場情報
 赤色：満車
 橙色：混雑
 青色：空車
 黒色：不明
- ② 渋滞情報
 赤色：渋滞
 橙色：混雑
 緑色：渋滞/混雑なし
 灰色：不明

規制情報と駐車場情報で使用される主要なマークは次のとおりです。

イベント	チェーン規制	火災	故障車	工事	作業	事故	車線規制	路上障害	出口制限
徐行	進入禁止	速度規制	対面通行	大型通行止め	注意	通行止め/閉鎖	凍結	入り口制限	入り口閉鎖
片側交互通行	駐車場空車	駐車場満車	駐車場混雑	駐車場不明	駐車場閉鎖	SA/PA空車	SA/PA満車	SA/PA混雑	SA/PA不明
	背景青色	背景赤色	背景橙色	背景黒色		背景青色	背景赤色	背景橙色	背景黒色

※ 車線規制や入口/出口マークの形状は実際の道路と異なります。

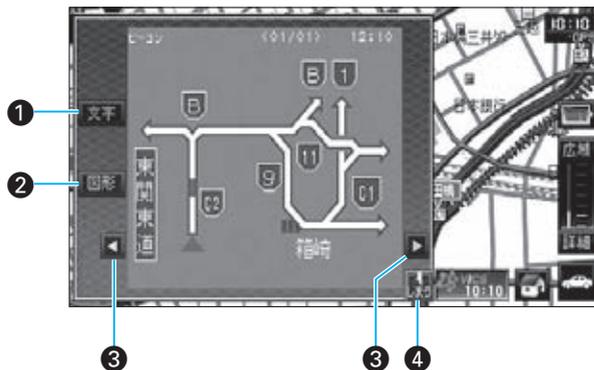
note

- VICSのマークは変更・追加される場合があります。詳しくは、財団法人道路交通情報通信システムセンターのホームページ (<http://www.vics.or.jp/>) をご覧ください。
- 電波の受信状態が良くないときには、FM多重放送によるVICS情報を受信/表示できない場合があります。
- 規制情報および駐車場情報を表示しないように設定することもできます。[U33](#) N063
- 渋滞情報の表示方法(たとえば渋滞のみを表示)を設定することができます。[U33](#) N063
- VICS情報を表示する道路(たとえば高速道路のみ)を設定することができます。[U33](#) N063
- 地図表示型(レベル3)情報を表示できる地図の縮尺は、100m以上 800m以下です。



簡易図形型(レベル2) /文字型(レベル1)情報の表示

光/電波ビーコンで受信した簡易図形型(レベル2) /文字型(レベル1)情報は、地図画面に割り込み表示されます。



① **文字**

文字型(レベル1)情報の表示に切り替えます。

② **図形**

簡易図形型(レベル2)情報の表示に切り替えます。

③ ◀ ▶

表示ページを切り替えます。

④ **閉じる**

VICS情報表示を閉じて、元の地図の画面に戻ります。

≡ note

- ナビモードでは、文字型情報または簡易図形型情報は、地図の画面以外(たとえばメニュー画面など)が表示されているときには割り込み表示されません。
- FM多重放送による文字情報および簡易図形情報は、緊急情報のみが割り込み表示されます。通常の文字情報および簡易図形情報は、「**N059** VICS FM情報を表示する」の方法でご覧ください。
- 緊急情報を受信すると、文字情報または簡易図形情報の表示方法の設定(☞ **N063**)にかかわらず、割り込み表示されます。
- 文字型情報または簡易図形型情報の割り込み表示時間を設定できます。☞ **N063**
- 文字型情報または簡易図形型情報を割り込み表示しないように設定することもできます。☞ **N063**
- VICS情報をAVソースの画面に割り込み表示するように設定することもできます。☞ **S023**
- 以下の場合、VICS FMが受信できなくなったり、感度が悪くなる場合があります。
 - 車両のアンテナが格納されているとき
 - フロントでラジオを聴いていて、リアでアナログテレビを見ているとき(HDV-790のみ)

渋滞メニューを表示する

VICS情報を表示したり、VICS情報受信に関する設定を行います。

Before
Step

   (ナビメニューを表示)

1



[渋滞]にタッチします。



VICSのメニューが表示されます。

Complete

渋滞メニューに表示されるボタンは次のとおりです。

ボタン	説明	
	FM放送で受信したVICS情報を表示します。また、受信に関する設定を行います。	N059 ~ N061
	光ビーコンまたは電波ビーコンで受信したVICS情報を表示します。	N062
	VICSの各種の設定を行います。	N063

note

- VICSビーコン情報を受信するには、別売品の光・電波ビーコンVICSユニット (VF-M99) が必要です。

VICS FM情報を表示する

FM多重放送で受信したVICS情報（文字型情報または簡易図形型情報）を表示します。

C 共通

Before Step



N ナビゲーション

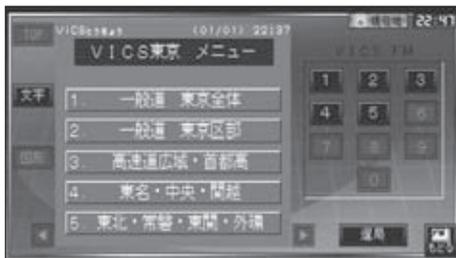
1



[VICS FM]にタッチします。

E エンタテインメント

2



表示する情報のボタンにタッチします。

S セットアップ



選択した情報の詳細が表示されます。

A 付録

Complete

note

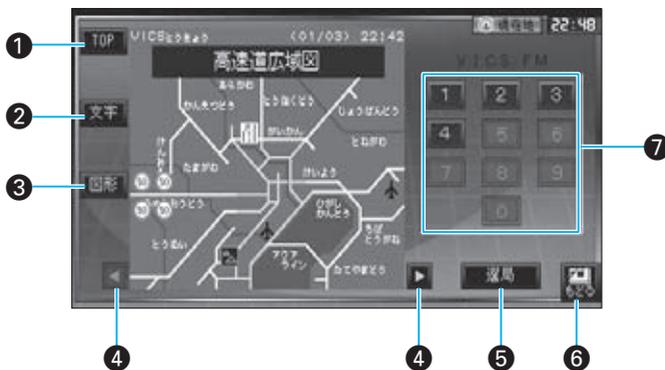
- FM多重放送で受信したVICS情報は、緊急情報以外は自動表示されません。必要に応じて、上記の方法で表示してください。
- 電波の受信状態が良くないときには、FM多重放送によるVICS情報を受信/表示できない場合があります。

VICS情報表示画面

受信したVICS情報（文字型情報または簡易図形型情報）を表示します。

Before
Step

N059 (VICS FM情報を表示)



- ① **TOP**
VICS情報のトップ画面を表示します。
- ② **文字**
文字型情報表示に切り替えます。
- ③ **図形**
簡易図形型情報表示に切り替えます。
- ④ **◀、▶**
複数のページがあるときに、ページを切り替えます。
- ⑤ **選局**
VICS FM局の選局方法を切り替えます。
詳しくは「[N061](#) VICS FM局の選局方法を切り替える」をご覧ください。
- ⑥ **もどる**
1つ前の画面に戻ります。
- ⑦ **テンキー**
VICS情報の内容を番号で選択できるときに表示されます。

≡ note

- 電波の受信状態が良くないときには、FM多重放送によるVICS情報を受信/表示できない場合があります。

VICS FM局の選局方法を切り替える

VICS FM局の選局方法(自動またはエリア固定)を切り替えます。

C
共通

Before
Step



N
ナビゲーション

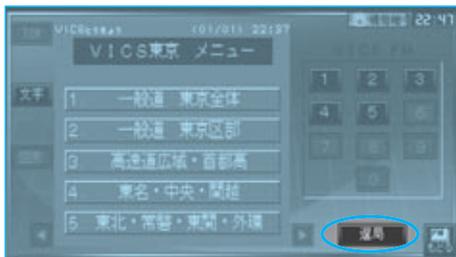
1



[VICS FM]にタッチします。

E
エンタテインメント

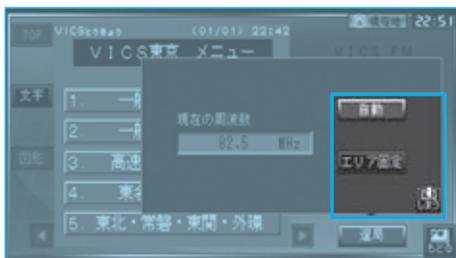
2



[選局]にタッチします。

S
セットアップ

3



[自動]または[エリア固定]にタッチ
します。

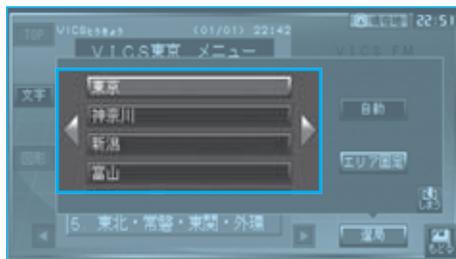
[自動]にタッチしたときは、続いて[しまう]
にタッチしてVICS情報画面に戻ります。

[エリア固定]にタッチしたときは、手順4に
進みます。

A
付録

Next Page

4



固定するエリア（都道府県）のボタンにタッチします。

目的の都道府県名が表示されていないときは、表示されるまで ◀ または ▶ にタッチしてください。

5



[しまう]にタッチします。

VICS情報画面に戻ります。

Complete

C
共通N
ナビゲーションE
エンタテインメントS
セットアップA
付録

note

- 選局方法を「自動」に設定すると、現在地の都道府県に合わせてVICS FM局が自動的に選局されます。「エリア固定」に設定すると、選択した都道府県のVICS FM局に固定されます。

tip

- 広域で移動する場合は「自動選局」の方が便利です。「エリア固定」に設定していると、選択したエリア以外ではVICS情報を受信できなくなります。
- エリア固定は、県境付近を走行中でVICS FM局を自動変更されたくない場合などに便利です。

VICS（ビーコン）情報を表示する

光/電波ビーコンで受信したVICS情報（文字型情報または簡易図形型情報）を表示します。

C
共通

Before
Step



N
ナビゲーション

1



[VICS ビーコン]にタッチします。

E
エンタテインメント



最後に受信したビーコン情報が表示されます。

S
セットアップ

Complete

A
付録

note

- VICS情報表示画面の説明は「**N060** VICS情報表示画面」をご覧ください。

VICS機能を設定する

VICS情報を表示したり、VICS情報受信に関する設定を行います。

Before
Step

NAVI



MENU



1



[VICS 設定]にタッチします。

2



目的の項目を設定します。

目的の項目が表示されていないときは、表示されるまで ◀ または ▶ にタッチします。

3



[もどる]にタッチします。

渋滞メニュー画面に戻ります。

Complete

VICIS機能を設定する

C
共通

設定する機能は次のとおりです。

項目	選択肢	説明
VICIS規制情報表示	ON*	交通規制情報(レベル3)を表示します。
	OFF	表示しません。
VICIS駐車場表示	ON*	駐車場情報(レベル3)を表示します。
	OFF	表示しません。
VICIS表示	高速	高速道路のVICIS情報(レベル3)だけを表示します。
	一般	一般道のVICIS情報(レベル3)だけを表示します。
	両方*	両方を表示します。
VICIS渋滞情報表示	渋滞	渋滞(渋滞および混雑)情報(レベル3)だけを表示します。
	すべて*	すべての渋滞情報(レベル3)を表示します。
	OFF	すべての渋滞情報を表示しません。
文字割込	ON	文字型(レベル1)情報を割り込み表示します。
	OFF*	表示しません。
図形割込	ON*	簡易図形型(レベル2)情報を割り込み表示します。
	OFF	表示しません。
VICIS割込表示時間	10秒	VICIS情報(レベル1およびレベル2)を割り込み表示する時間(秒)を設定します。
	15秒*	
	20秒	

* お買い上げ時の設定です。

S
セッ
アップA
付
録

情報メニューを表示する

メモリー地点など、本機に記憶させた情報を編集します。
また、タッチゲームで遊ぶこともできます。

Before
Step

   (ナビメニューを表示)

1



[情報]にタッチします。



情報メニューが表示されます。

Complete

情報メニューに表示されるボタンは次のとおりです。

ボタン	説明	
	メモリー地点を編集します。	N065 ~ N073
	自宅の場所やマークを編集します。	N074 ~ N076
	過去に目的地に設定した到達場所 (過去目的地) を編集します。	N077 ~ N078
	タッチゲームで遊べます。	N079

メモリー地点情報を表示する

登録されているメモリー地点のリストと登録情報を表示します。

C
共通

Before
Step



N
ナビゲーション

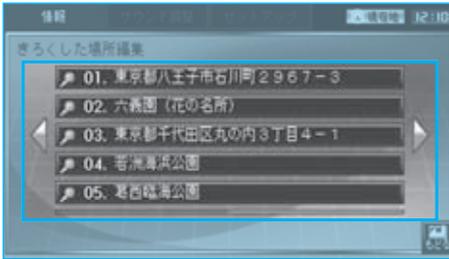
1



[きろくした場所編集]にタッチします。

E
エンタテインメント

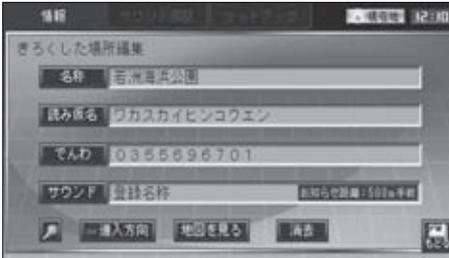
2



目的のメモリー地点のボタンにタッチします。

目的のメモリー地点が表示されていないときは、表示されるまで ◀ または ▶ にタッチしてください。

S
セットアップ



選んだメモリー地点の情報が表示されます。

A
付録

Complete

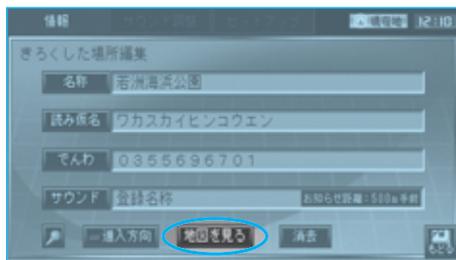
メモリー地点の位置を確認する

登録したメモリー地点の位置を地図で確認します。

Before
Step

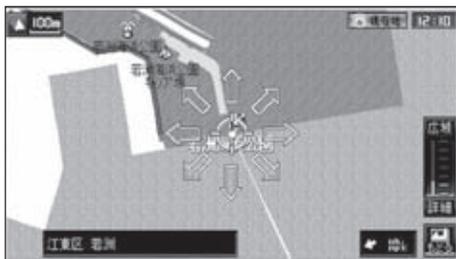
N065 (メモリー地点情報を表示)

1



[地図を見る]にタッチします。

2



登録されている場所を確認します。

3



[もどる]にタッチします。

手順1の画面に戻ります。

Complete

■ note

- メモリー地点の位置は変更できません。変更したいときは、新しいメモリー地点を登録してください。

C
共通N
ナビゲーションE
エンタティメントS
セットアップA
付録

メモリー地点の名称や読み仮名を変更する

登録したメモリー地点の名称をわかりやすいものに変更します。読み仮名を名称に合わせて変更します。

C
共通

Before
Step

N065 (メモリー地点情報を表示)

N
ナビゲーション

1



[名称]または[読み仮名]にタッチします。

E
エンタテイメント

2



名称または読み仮名を入力します。
文字入力の詳細については「**N068** 文字の入力」をご覧ください。

S
セットアップ

3



[決定]にタッチします。
手順1の画面に戻ります。

A
付録

Complete

≡ note

- 名称には、漢字、ひらがな/カタカナ、英字、数字/記号で20文字まで入力できます。また、読み仮名には、カタカナで20文字まで入力できます。
- メモリー地点を登録したときは、「名称」には地図データベースに収録されている名称または付近の名称が設定されます。必要に応じて、消去してから新しい名前を入力してください。
- メモリー地点は、マークとともに、名称が地図に表示されます。表示しないように設定することもできます。[☞ N081](#)
- メモリー地点を50音順に並べ替えたときには、読み仮名の順になります。読み仮名が設定されていないと、正しい順番に並べ替えることはできません。
- 「登録名称」の[サウンド]を選択すると、メモリー地点の名称(読み)がアナウンスされます。ただし、読み仮名が設定されていないときにはアナウンスされません。

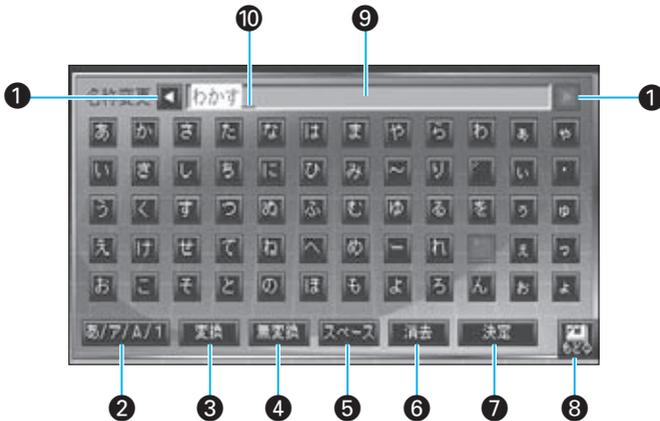
tip

- 読み仮名を設定しておく、メモリー地点に近づいたときのお知らせサウンドでメモリー地点の名称をアナウンスさせることができます。[☞ N071](#)

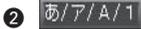
メモリー地点の名称や読み仮名の文字を入力します。

ひらがな/カタカナ/英字/数字/記号を入力する

文字は次の画面で入力します。



カーソルを移動します。



入力する文字の種類を、ひらがな/カタカナ/英字/数字記号の順に切り替えます。



入力したひらがな(未確定)を漢字に変換します。文字種がひらがな以外にはタッチできません。



入力したひらがなをそのまま確定させます。文字種がひらがな以外にはタッチできません。



1文字分のスペースを入力します。



カーソル上の文字または最後の1文字を消去します。



文字列の入力を終了して、元の画面に戻ります。元の画面には、ここで入力した文字が表示されません。



文字列の入力を中止して、元の画面に戻ります。



入力した文字が表示されます。



文字を入力する位置を示します。

≡ caution

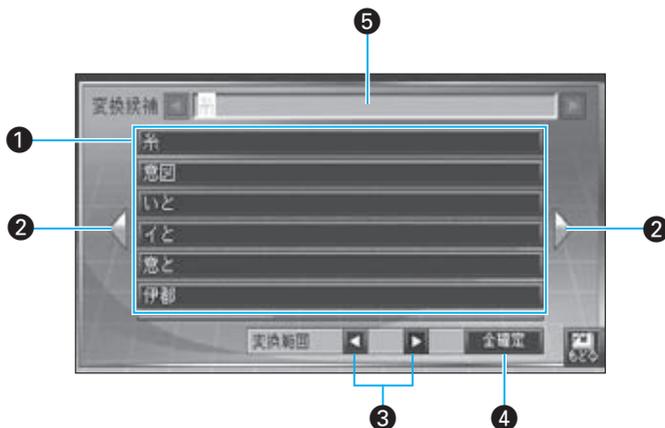
- 文字の入力が完了したら、必ず[決定]にタッチして戻ってください。[もどる]で元の画面に戻ると、入力した文字は無効になりません。

≡ note

- [あ/ア/A/1]、[変換]、[無変換]は、使用可能なときに表示されます。たとえば、読み仮名は文字種がカタカナに固定されているので表示されません。
- 漢字に変換する文字は、ひらがなで入力してください。カタカナは漢字に変換できません。

漢字に変換する

[変換]にタッチすると、変換候補画面に漢字の変換候補が表示されます。



- ① **変換候補**
漢字の候補が表示されます。
- ② 
変換候補のリストをスクロールします。
- ③ 
うまく漢字に変換されていないときに、変換する範囲を変更します。
- ④ **全確定**
表示エリアに表示されている文字列を確定し、ひらがなを入力する画面に戻ります。
- ⑤ **表示エリア**
文字を入力する位置を示します。

≡ note

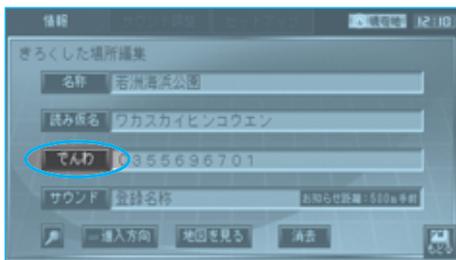
- 入力する名称に漢字が含まれている場合(例:「株式会社ケンウッド」)、漢字にする部分をひらがなで入力して[変換]で漢字に変換した後、[あ/ア/A/1]で次に入力する文字の文字種に切り替えてください。

メモリー地点に電話番号を設定する

登録したメモリー地点に電話番号を設定します。

Before
Step**N065** (メモリー地点情報を表示)

1



[でんわ]にタッチします。

2



電話番号を入力します。

3



[決定]にタッチします。

手順1の画面に戻ります。

Complete

≡ note

- 手順2で、[消去]にタッチすると、最後の1桁を消去できます。

メモリー地点のマークを変更する

登録したメモリー地点のマークを変更します。メモリー地点のマークは地図上に表示されません。

Before
Step

N065 (メモリー地点情報を表示)

1



📍 にタッチします。

2



設定するマークのボタンにタッチします。

3



[決定]にタッチします。

手順1の画面に戻ります。

Complete

■ note

- メモリー地点を登録したときには、📍が設定されています。

C
共通

N
ナビゲーション

E
エンタティメント

S
セットアップ

A
付録

メモリー地点にサウンドを設定する

メモリー地点に近づいたときに鳴らすサウンド(お知らせサウンド)を設定します。サウンドを鳴らす距離(お知らせ距離)も設定できます。

Before Step

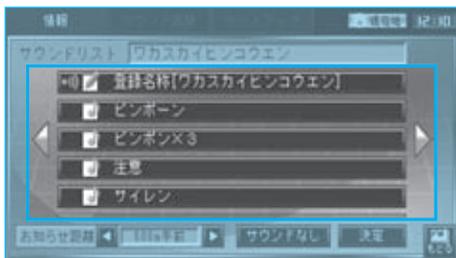
N065 (メモリー地点情報を表示)

1



[サウンド]にタッチします。

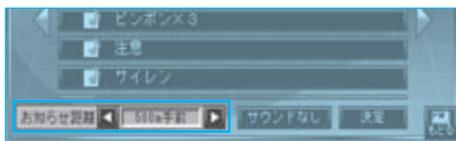
2



設定するサウンドのボタンにタッチします。

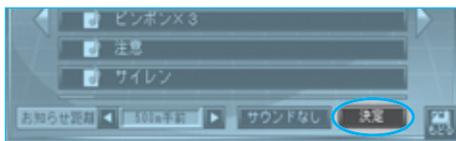
目的のサウンドが表示されていないときは、表示されるまで ◀ または ▶ にタッチします。

3



◀ または ▶ にタッチして、サウンドを鳴らす距離を設定します。

4



[決定]にタッチします。

手順1の画面に戻ります。

Complete

note

- メモリー地点を登録したときには、お知らせサウンドは「登録名称」に設定されており、メモリー地点名称(読み)がアナウンスされます。読み仮名が設定されていないときには、アナウンスされません。なお、読み仮名の設定方法については、[「N067 メモリー地点の名称や読み仮名を変更する」](#)をご覧ください。
- すでに設定されているサウンドを取り消すときは[サウンドなし]にタッチします。
- メモリー地点に特定の方向から近づいたときのみお知らせサウンドを鳴らすように設定することもできます。[「N072](#)

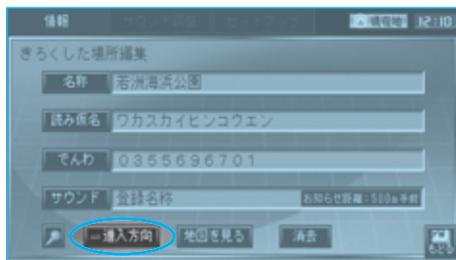
メモリー地点のサウンドを鳴らす 接近方向を設定する

メモリー地点にサウンドを設定しているときに、特定の方向から近づいたときだけにそれを鳴らすように設定できます。

Before
Step

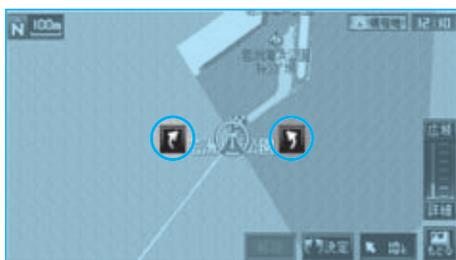
N065 (メモリー地点情報を表示)

1



[進入方向]にタッチします。

2



◀ または ▶ にタッチして、自転車マークを進入方向に合わせます。

3



[決定]にタッチします。

手順1の画面に戻ります。

Complete

note

- すでに進入方向が設定されている場合は、[進入方向]の橙色のインジケーターが点灯しています。設定されている進入方向を取り消すときは、手順3で[解除]にタッチします。
- メモリー地点に設定されている進入方向と実際に近づく方向が異なる場合は、設定されている距離以内に近づいてもお知らせサウンドは鳴りません。ただし、設定されている距離以内にいれば、メモリー地点に近づく方向がメモリー地点に設定されている進入方向と一致した時点でお知らせサウンドが鳴ります。
- メモリー地点に進入方向が設定されていない場合は、どの方向から近づいても、設定されている距離以内に近づくとお知らせサウンドが鳴ります。
- 一度お知らせサウンドが鳴った後は、いったん一定距離以上離れるまで、同じメモリー地点に近づいてもお知らせサウンドは鳴りません。

メモリー地点を消去する

メモリー地点を消去します。

Before
Step

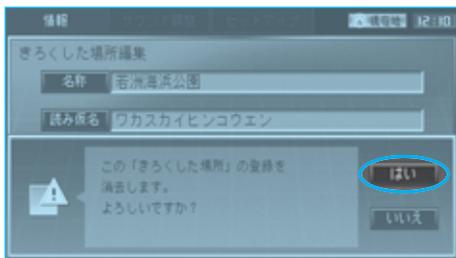
N065 (メモリー地点情報を表示)

1



[消去]にタッチします。
確認のメッセージが表示されます。

2



[はい]にタッチします。
さろくした場所編集画面に戻ります。

Complete

■ caution

- 消去したメモリー地点を元に戻す方法はありません。間違いのないように、慎重に操作してください。

■ note

- メモリー地点の消去を中止する場合は、手順2で[いいえ]にタッチします。

自宅の位置を登録/変更する

自宅の位置を新規登録します。また、登録されている自宅の位置を変更します。

Before
Step

1



[自宅編集]にタッチします。

2



[現在地]または[探す]にタッチします。

自宅に停車しているときは[現在地]にタッチします。手順4に進みます。

自宅以外に停車しているときは[探す]にタッチします。手順3へ進みます。

3



自宅の場所を探します。

Next Page

C
共通N
ナビゲーションE
エンタティメントS
セットアップA
付録

4



[決定]にタッチします。

Complete

note

- 手順3で選択できる地点検索の方法は次のとおりです。
 - [地図] : 地図上で探します。📍 [N022](#)
 - [住所ピンポイント] : 住所で探します。📍 [N016](#)
 - [でんわ] : 電話番号で探します。📍 [N017](#)、[N018](#)
 - [緯度・経度] : 経緯度で探します。📍 [N019](#)
- 自宅を登録しておく、現在地図画面の[自宅]にタッチするだけで、現在地から自宅に帰るルートが探索/案内されます。

tip

- 可能であれば、車を自宅として登録する場所に止め、手順2で[現在地]にタッチして登録する方法が最も簡単です。

自宅のマークを変更する

登録されている自宅のマークを変更します。

Before
Step



1



[自宅編集]にタッチします。

2



設定するマークにタッチします。

Complete

C
共通

N
ナビゲーション

E
エンタテインメント

S
セットアップ

A
付録

note

- 5種類の自宅マークには独自のサウンドが設定されており、自宅に近づくときサウンドが鳴ります。
- 自宅マークとお知らせサウンドの組み合わせは変更できません。また、お知らせサウンドを消すこともできません。

自宅情報を消去する

登録されている自宅情報を消去します。

C
共通Before
StepN
ナビゲーション

1



[自宅編集]にタッチします。

E
エンタテインメント

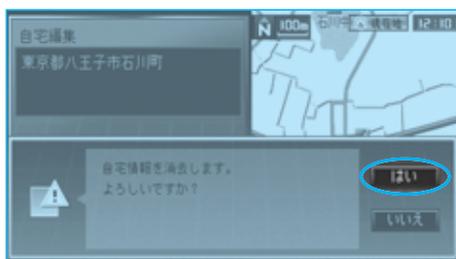
2



[自宅情報消去]にタッチします。
確認のメッセージが表示されます。

S
セットアップ

3



[はい]にタッチします。

A
付録

Complete

≡ caution

- 消去した自宅情報を元に戻す方法はありません。間違いないように、慎重に操作してください。

過去目的地をメモリー地点に登録する

今までに行った目的地(過去目的地)をメモリー地点に登録します。

Before
Step

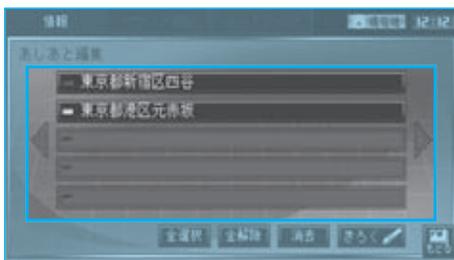


1



[あしあと編集]にタッチします。

2



メモリー地点に登録する過去目的地のボタンにタッチします。

目的の過去目的地が表示されていないときは、表示されるまで ◀ または ▶ にタッチしてください。

3



[きろく]にタッチします。

Next Page

C
共通

N
ナビゲーション

E
エンタティメント

S
セットアップ

A
付録

過去目的地をメモリー地点に登録する

C
共通

4



[決定]にタッチします。

手順2の画面に戻ります。

N
ナビゲーション

Complete

E
エンタテインメントS
セットアップA
付録

■ note

- 目的地として設定してルート探索し、ルート案内を受けながら到達した目的地が過去目的地(あしあと)として記憶されます。ルート探索しても到達していない目的地は記憶されません。
- 手順2で選択した過去目的地には橙色のインジケーターが点灯します。同じボタンにもう一度タッチすると、選択が解除されて橙色のインジケーターが消灯します。[全解除]にタッチしても選択を解除できます。

tip

- 本機に記憶される過去目的地は最新の20か所だけで、20か所を超えると、古い順に消去されます。メモリー地点に過去目的地を登録しておく、残しておくことができます。

過去目的地を消去する

今までに行った目的地(過去目的地)を消去します。

Before
Step

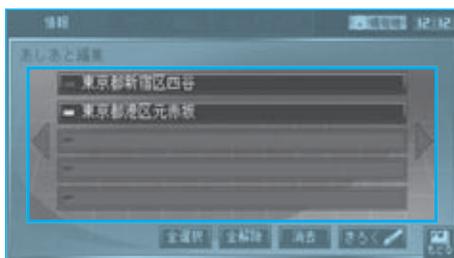


1



[あしあと編集]にタッチします。

2



消去する過去目的地のボタンにタッチします。

目的の過去目的地が表示されていないときは、表示されるまで ◀ または ▶ にタッチしてください。

3

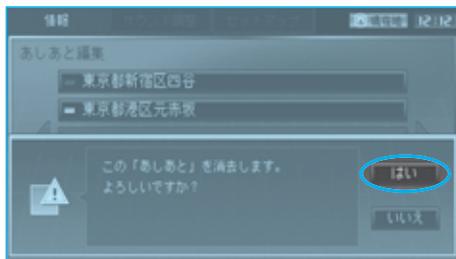


[消去]にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。

Next Page

4



【はい】にタッチします。

手順2の画面に戻ります。

Complete

≡ note

- 手順2で選択した過去目的地には橙色のインジケーターが点灯します。同じボタンにもう一度タッチすると、選択が解除されて橙色のインジケーターが消灯します。[全解除]にタッチしても選択を解除できます。
- 手順2で[全選択]にタッチすると、すべての過去目的地を選択できます。

タッチゲームで遊ぶ

タッチゲーム(リバーシブル/神経衰弱)で遊べます。

Before
Step



1

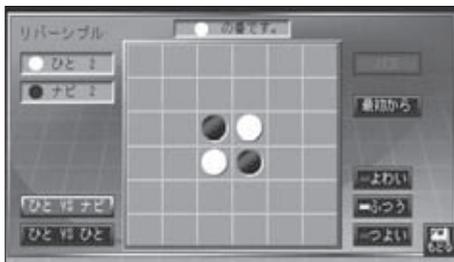


[タッチゲーム]にタッチします。

2



遊ぶゲームのボタンにタッチします。



選んだゲームが始まります。

Complete

note

- ゲームの対戦方法や強さを選択することもできます。

C
共通

N
ナビゲーション

E
エンタティメント

S
セットアップ

A
付録

ナビ設定メニューを表示する

地図の表示方法やルート案内の方法を設定します。

C 共通

Before Step



N ナビゲーション

1



[ナビ設定]にタッチします。

E エンタテインメント



ナビ設定メニュー画面が表示されます。

S セットアップ

Complete

ナビ設定メニューに表示されるボタンは次のとおりです。

ボタン	説明	
	地図表示に関する各種の設定を行います。	N081 ~ N084
	ルート案内に関する各種の設定を行います。	N085

A 付録

地図画面の表示を設定する

地図画面の表示について設定します。

Before
Step



1



[地図表示設定]にタッチします。

2



目的の項目を設定します。

目的の項目が表示されていないときは、表示されるまで ◀ または ▶ にタッチします。

3



[もどる]にタッチします。

ナビ設定メニュー画面に戻ります。

Complete

C
共通

N
ナビゲーション

E
エンタテインメント

S
セットアップ

A
付録

地図画面の表示を設定する

C
共通

設定する機能は次のとおりです。

項目	選択肢	説明	
地図の見え方	1画面*	1画面表示/2画面表示を切り替えます。	N006
	2画面		
地図色	自動*	車両のライト点灯に連動して、昼画面と夜画面が自動的に切り替わります。	—
	昼固定	常に昼画面を表示します。	N082
	色調設定	地図の色調を選択します。	
地図の角度	2D*	地図を2D表示します。	N005
	3D	地図を3D表示します。	
	角度調整	3D表示時の地図の角度を設定します。	N083
地図の向き	進行方向上*	地図を進行方向が画面の上になるように表示します。	N003
	北上	地図を北が画面の上になるように表示します(2D地図表示中のみ)。	
地図スクロール	自動*	スクロール地図画面を現在地図画面と同じ表示方法(2D/3D)で表示します。	N007
	2D	スクロール地図画面を常に2D表示します。	
きろくした場所名表示	ON*	登録されているメモリー地点の名称を地図画面上に表示します。	—
	OFF	表示しません。	—
3Dランドマーク	ON*	3Dランドマークを地図上に表示します。	—
	OFF	表示しません。	—
ランドマーク表示		地図上に表示するランドマークの種類を設定します。	N084

* お買い上げ時の設定です。

N
ナビゲーションE
エンタテインメントS
セットアップA
付録

≡ note

- 手順2では、必要な項目だけを設定できます。
- 「地図の見え方」(1画面/2画面表示)と「地図の角度」(2D/3D表示)の設定は、ランクメニューでの操作(N005 および N006)と共通です。
- [案内設定]にタッチすると、ルート案内の方法などを設定できます。 N085

地図画面の色調を設定する

地図画面の色調を設定します。

Before
Step

N081 (地図表示設定画面を表示)

1



「地図色」の[色調設定]にタッチします。

目的の項目が表示されていないときは、表示されるまで ◀ または ▶ にタッチします。

2



[夜の色を設定]または[昼の色を設定]にタッチします。

3



使用する色調のボタンにタッチします。

Next Page

C
共通

N
ナビゲーション

E
エンタテインメント

S
セットアップ

A
付録

4



[もどる]にタッチします。
地図表示設定画面に戻ります。

Complete

≡ note

- 昼画面の色調と夜画面の色調はそれぞれ別々に設定できます。
- 地図色の設定を[昼固定]にしている場合は、[夜の色を設定]にはタッチできません。[N081](#)
- 手順2で[夜の色を設定]にタッチすると、夜画面の色調を設定できます。また[昼の色を設定]にタッチすると、昼画面の色調を設定できます。

昼画面設定中



[夜の色を設定]



[昼の色を設定]

夜画面設定中



3D地図の角度を設定する

3D表示時の地図の角度を設定します。

Before
Step

N081 (地図表示設定画面を表示)

1



「地図の角度」の[角度調整]にタッチします。

目的の項目が表示されていないときは、表示されるまで ◀ または ▶ にタッチします。

2



[ライト]、[ミドル]、または[ディープ]にタッチします。

3



[もどる]にタッチします。

地図表示設定画面に戻ります。

Complete

note

- 角度は、地図を3D表示しているときに設定できます。 **N005**

ランドマークの表示を設定する

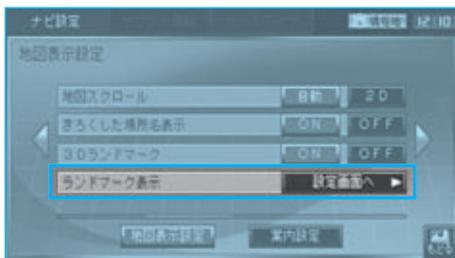
地図に表示するランドマークを設定します。

C
共通Before
Step

N081 (地図表示設定画面を表示)

N
ナビゲーション

1



「ランドマーク表示」の[設定画面へ]にタッチします。

目的の項目が表示されていないときは、表示されるまで ◀ または ▶ にタッチします。

E
エンタテインメント

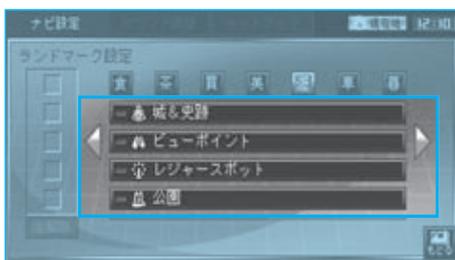
2



大分類のジャンルのボタンにタッチします。

S
セットアップ

3



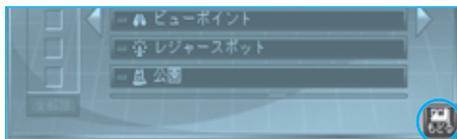
中分類のジャンルのボタンにタッチします。

目的のジャンルが表示されていないときは、表示されるまで ◀ または ▶ にタッチします。

A
付録

Next Page

4



[もどる]にタッチします。

地図表示設定画面に戻ります。

Complete

C
共通N
ナビゲーションE
エンタテイメントS
セットアップA
付録

≡ note

- 手順2と3を繰り返して、同時に5ジャンルまで選択できます。
- ここで設定したランドマークが「**N008** 地図上のマークの情報を表示する」での対象になります。
- ここで設定したランドマークは、200m以下の詳細なスケールの地図上に表示されます。
- [全解除]にタッチすると、現在選択されているジャンルがすべて解除されます。

ルート案内時の動作を設定する

ルート案内時の画面表示や音声を設定します。

C 共通

Before Step



N ナビゲーション

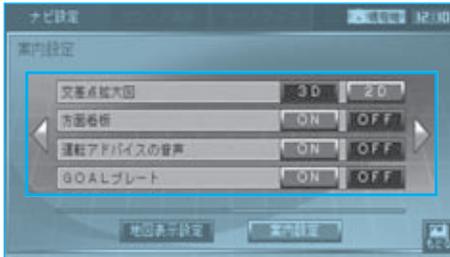
1



[案内設定]にタッチします。

E エンタテインメント

2



目的の項目を設定します。

目的の項目が表示されていないときは、表示されるまで ◀または ▶ にタッチします。

S セットアップ

3



[もどる]にタッチします。

ナビ設定メニュー画面に戻ります。

A 付録

Complete

設定する機能は次のとおりです。

項目	選択肢	説明
交差点拡大図	3D	交差点拡大図の2D表示/3D表示を切り替えます。
	2D*	
方面看板	ON*	方面看板を表示します。
	OFF	表示しません。
運転アドバイスの音声	ON*	警告地点を、画面表示とともに、音声でも案内します。
	OFF	音声では案内しません。
GOALプレート	ON*	目的地に近づいたときに、自動的にGOALプレートを表示します。
	OFF	手動でのみ表示します。
料金表示	ON*	料金所に近づいたときに、通行料金を自動的に表示します（ルート案内中のみ）。
	OFF	料金表示しません。
ナビ表示モード設定	ON*	次交差点案内、通過交差点案内、道路種別、レーン案内を表示します。
	OFF	表示しません。
料金所レーン案内	ETC*	料金所に近づいたときに、選択した料金ゲートのレーンを案内します。
	一般	

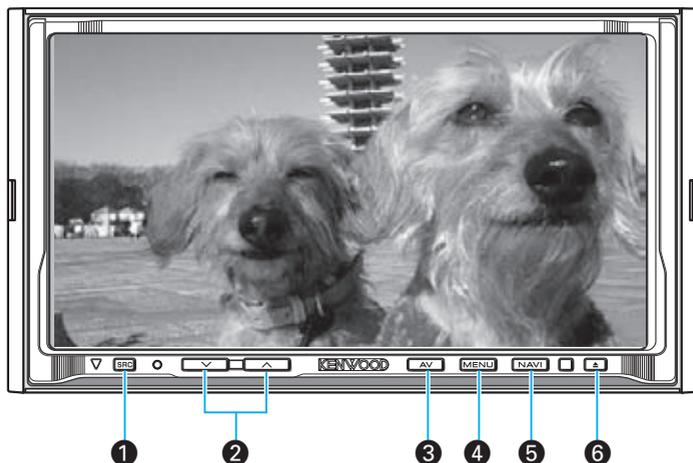
* お買い上げ時の設定です。

≡ note

- 手順2では、必要な項目だけを設定できます。
- 方面看板を"ON"に設定しても、設置されているすべての方面看板が表示されるわけではありません。
- [地図表示設定]にタッチすると、地図の表示方法などを設定できます。  N081

AVモードでのハードキー

ハードキーでのAV関係の操作は下記のとおりです。



1 SRC (ソースキー)

AVソースを切り替えます。

SRCを押すとソース切替画面が表示され、プレイするAVソースを選択できます。☞ E002

また、約2秒以上押すと、別売品のリアモニターに映す映像ソースを選択できるようになります。

☞ E060

2 (ボリュームキー)

AVソースの音量を調整します。

3 AV (エービーキー)

現在のAVソースの画面またはメニュー画面を表示します。

約2秒以上押すと、USBオフモードになり、USBデバイスを安全に取り外せるようになります。

4 MENU (メニューキー)

現在のAVソースのメニュー画面を表示します。また、約2秒以上押すと、タッチ位置の補正を行います。☞ S011

5 NAVI (ナビキー)

画面をナビに切り替え、現在地図画面を表示します。☞ N001

また、約2秒以上押すと、画面をオフにできます。

6 (イジェクトキー)

一度押すと、フロントパネルが開きます。

ディスクが入っているときに押すと、フロントパネルが開き、ディスクがイジェクトされます。

もう一度押すと、フロントパネルが閉じます。

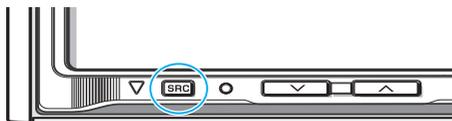
また、約2秒以上押すと、角度調整画面が表示され、画面(フロントパネル)の角度を調整できます。☞ C008

≡ note

- ボリュームキーでは、ナビの音声アナウンスの音量は調整できません。ナビの音量は「☞ S023 システムの詳細を設定する」の方法で設定してください。
- AVソースごとの個別の音量を設定することができます。☞ S008
- AVソースが選択されていないとき、またはソースOFFのときには、AVを押すとソース切替画面が表示されます。
- 別売品のリアモニターを接続したときには、ご使用前にリアモニターをオンに設定しておいてください。☞ S023

本機でプレイするAVソースを切り替えます。

1



SRC を押します。

2



プレイするAVソースのボタンにタッチします。

Complete

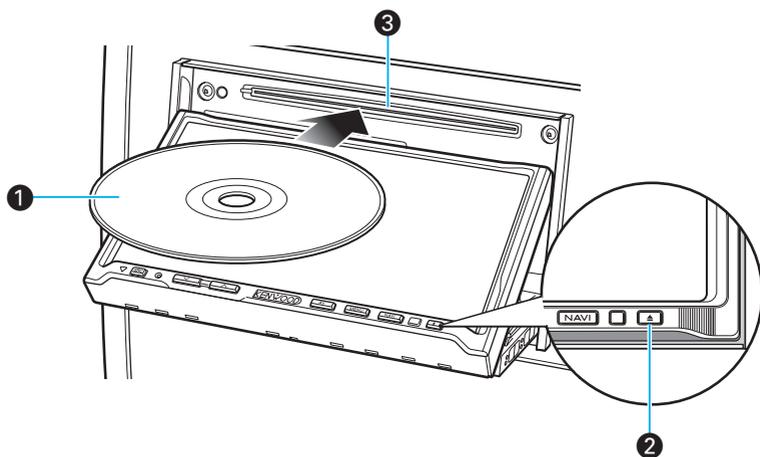
選択したAVソースにより、映像と音声は次のように切り替わります。

画面	DVD	CDメニュー画面 E013	圧縮ファイルメニュー画面 E016	HDDメニュー画面 E052	USBメニュー画面 E047	TUNERメニュー画面 E037
音声	DVD	CD	圧縮ファイル	HDD	USB	TUNER
			[Video] 	[AUX] 		
画面	HDDV-990 ワンセグ E021 HDDV-790 アナログTV E034		外部入力	なし	iPodメニュー画面 E041	ナビ
音声	TV		外部入力	外部入力	iPod	なし (ナビ音声のみ)

≡ note

-  で切り替えられるのは、本機の映像および音声です。リアモニターでの映像と音声は、「E060 リアモニターで映像を観る」をご覧ください。
- 左上のボタン[DISC]は、挿入されているディスクによって変わります。
 - [DVD] : DVD
 - [CD] : 音楽CD
 - [圧縮ファイル] : オーディオファイルまたはビジュアルファイルのディスク
- プレイ可能な状態になっていないAVソースはグレーで表示され、選択できません。たとえば、本機にiPodが接続されていないときは、iPodのボタンはグレー表示になります。
- フロントソースとしてUSBデバイスまたはHDDが選択されている場合には、リアソースとしてDVD、CD、または圧縮ファイルを選択することはできません。
- [HDD]は、曲の転送中や削除中などは操作できず、[編集中]に変わるか、グレーアウトします。
- 本書では、MP3、WMA、またはAACファイルが保存されたCD-R等を「オーディオファイルディスク」と呼びます。また、MPEGファイルまたはJPEGファイルが保存されたCD-R等を「ビジュアルファイルディスク」と呼びます。
- HDV-790にワンセグチューナーを接続している場合、ワンセグを観るときは[AV in]で外部入力に切り替えてから、ワンセグチューナーのリモコンで操作してください。
- 走行中は、DVDなどのビジュアルソースに切り替えても、映像は映りません。
- 音声ソースを選択しているときの、ナビの音声案内の有無は「S023 システムの詳細を設定する」の「ナビ音声割り込み」の設定によります。
- 以下の場合、VICS FMが受信できなくなったり、感度が悪くなる場合があります。
 - 車両のアンテナが格納されているとき
 - フロントでラジオを聴いていて、リアでアナログテレビを見ているとき (HDV-790のみ)
- 車両にオートアンテナが装備され、「オートアンテナ」を[あり]に設定 ( S014) しているときには、ソース切替画面に手動でアンテナを伸長または収納するボタンが表示されます。

DVD、音楽CD、またはオーディオファイル/ビジュアルファイルのディスクを出し入れします。



① ディスク

本機では、DVD、音楽CD、およびオーディオ/ビジュアルファイルディスクをプレイできます。DVDを挿入すると、自動的にDVDのプレイが始まり、映像/音声ともにDVDに切り替わります。音楽CDまたはオーディオ/ビジュアルファイルディスクを挿入すると、自動的に音楽CDまたはオーディオ/ビジュアルファイルディスクのプレイが始まります。

② (イジェクトキー)

一度押すと、フロントパネルが開きます。ディスクが入っているときに押すと、フロントパネルが開き、ディスクがイジェクトされます。もう一度押すと、フロントパネルが閉じます。

③ ディスク挿入口

ディスクを挿入します。

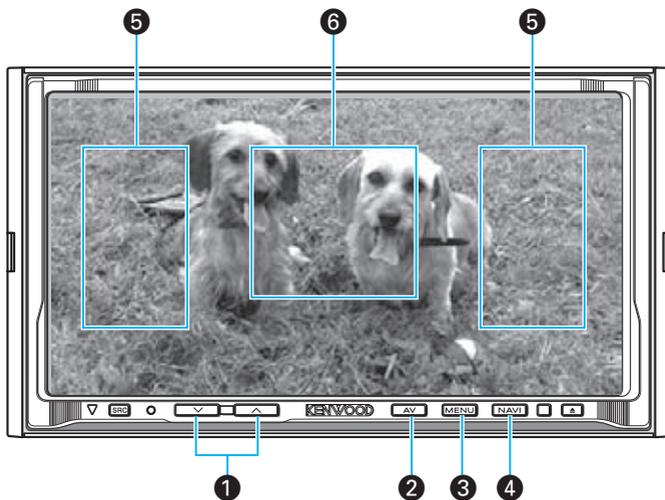
≡ note

- フロントパネルが開いているときは、イジェクトキーとボリュームキー以外のキーは操作できません。
- ナビモードで音楽CDまたはオーディオファイルディスクを挿入しても、画面は変わりません。AVモードで音楽CDまたはオーディオファイルディスクを挿入すると、そのソースのメニュー画面が表示されます。
- 走行中は、DVDなどの映像は映りません。

DVDを挿入すると、DVDのプレイが始まります。

Before
Step

E003 (DVDの挿入)



- 1 (ボリュームキー)
DVDの音量を調整します。
- 2 (エーブイキー)
DVD操作ボタンを表示します。☞ E005
- 3 (メニューキー)
DVD VIDEOメニューを表示します。☞ E007
- 4 (ナビキー)
映像をナビの画面に切り替えます。音声はDVDのまま変わりません。
- 5 (チャプターアップ/チャプターダウン)
チャプターを選択します。
- 6 (DVD操作ボタン表示)
DVD操作ボタンを表示します。☞ E005

≡ note

- すでにDVDが挿入されているときは、 でAVソースをDVDに切り替えてください。☞ E002

DVD操作ボタンで操作する

DVDのプレイ中に画面の中央部にタッチすると、DVD操作ボタンが表示されます。



- ① DVD VIDEOメニュー画面を表示します。
035 E007
- ② コントロール
 ディスクメニューを表示して、本機が表示する操作ボタンで操作します。
- ③ タイレクト
 ディスクメニューを表示して、メニューをタッチパネルからダイレクトに操作します。
- ④ アングル
 アングル切り替えが可能なシーンでカメラアングルを切り替えます。
 アングル切り替えが可能なシーンで が表示されるように設定できます。035 S019
- ⑤ ズーム
 ズーム画面を表示し、画面をズームします。ズーム中は、表示位置を移動できます。
- ⑥ DVD拡張操作ボタン
 DVD拡張操作ボタンを表示します。035 E006

- ⑦ DVD情報
 DVD情報が次のように表示されます。



- ① プレイ状態
 : プレイ中
 : ポーズ中
 : レジュームストップ中(ストップしたシーンからプレイされます)
 : ストップ中(先頭からプレイされます)
- ② プレイ時間
- ③ チャプター番号
- ④ ディスクタイトル
- ⑤ タイトルリピートのオン/オフ
- ⑧ (チャプターダウン)、 (チャプターアップ)
 チャプターを選択します。
- ⑨ (プレイ/ポーズ)
 プレイ/一時停止します。
- ⑩ (ストップ)
 DVDのプレイをストップします。
 で再びプレイできます。
- ⑪ もどる
 DVD操作ボタンを消します。

≡ note

- は、アングル切り替え可能なディスクおよびシーンでのみ表示されて操作できます。

DVD操作ボタンの[もっと]にタッチすると、DVD拡張操作ボタンが表示されます。

Before
Step

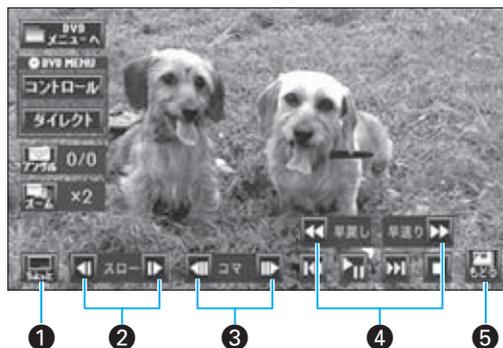
E005 (DVD操作ボタンを表示)

1



[もっと]にタッチします。

Complete



- ① DVD操作ボタンの表示に戻ります。☞ **E005**
- ② (スロー戻し)、(スロー送り)
タッチすると、映像はスロー戻し/スロー送りされます。
通常再生するときは にタッチします。
- ③ (コマ戻し)、(コマ送り)
一度タッチすると、映像は停止します。
さらにタッチすると、タッチするたびに、コマ戻し/コマ送りされます。
通常再生するときは にタッチします。
- ④ (早戻し)、(早送り)
早戻し/早送りします。繰り返しタッチすると、早戻し/早送りのスピードが変わります。
通常再生するときは にタッチします。
- ⑤ (もどる)
DVD操作ボタン/DVD拡張操作ボタンを消します。

≡ note

- DVD-VRフォーマットのDVDではコマ戻しできません。

DVD VIDEOメニュー画面では、DVDや再生状態の情報が表示されます。また、DVDの各種の操作が行えます。

Before
Step

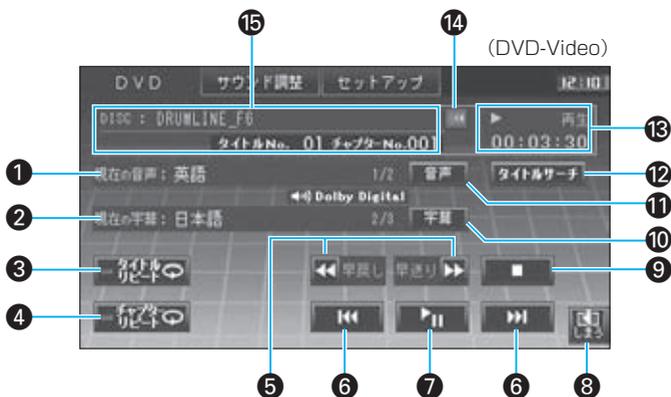
E004 (DVDをプレイ)

1



MENU を押します。

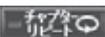
Complete



① **音声情報**
現在の音声に関する情報が表示されます。

② **字幕情報**
現在の字幕に関する情報が表示されます。

③ 
現在のタイトルを繰り返しプレイします。
タッチするたびに、タイトルリピートのオン/オフが切り替わります。
タイトルリピートがオンのときには、インジケータが点灯します。

④ 
現在のチャプターを繰り返しプレイします。
タッチするたびに、チャプターリピートのオン/オフが切り替わります。
チャプターリピートがオンのときには、インジケータが点灯します。

⑤  (早戻し)、
早戻しまたは早送りをします。
早戻しまたは早送り中にタッチすると、早戻しまたは早送りのスピードが変わります(3段階)。

⑥  (チャプターダウン)、
次のチャプター、または現在のチャプターの先頭(もう一度タッチすると前のチャプター)からプレイします。

⑦  (プレイ/ポーズ)
プレイ/一時停止します。

⑧ 
DVD VIDEOメニュー画面を消し、DVDの映像を表示します。

⑨  (ストップ)
DVDのプレイをストップします。
 で再びプレイできます。

⑩ 
タッチするたびに字幕の言語が切り替わります。

⑪ 
タッチするたびに音声の言語が切り替わります。

⑫ 
タイトルサーチします。 

⑬ **プレイ情報**
プレイ状態、プレイモード、プレイ時間が表示されます。

⑭  (スクロール)
ディスク名称をスクロールします。
ディスクタイトルが長くて表示できないときにタッチできます。

⑮ **ディスク情報**
ディスク名称、タイトル番号、チャプター番号が表示されます。

⑯  (DVD-VRのみ)
通常の再生とプレイリストの再生を切り替えます。
プレイリストの再生中にはインジケータが点灯します。

⑰  (DVD-VRのみ)
二か国語以上の音声収録されているときに、音声を切り替えます。

≡ note

- DVD-VRディスクを再生中は、AV-OUTの音声は主音声のみとなります。

タイトル番号を指定してプレイします。

Before
Step

E007 (DVDメニューを表示)

1



[タイトルサーチ]にタッチします。

2



[-1]、[-10]、[+1]、[+10]にタッチして、タイトル番号を入力します。

3



[決定]にタッチします。

指定したタイトル番号からプレイが始まります。

Complete

C
共通

N
ナビゲーション

E
エンタティメント

S
セットアップ

A
付録

映像をズームする

DVDの映像を拡大して観ます。

C 共通 Before Step

E005 (DVD操作ボタンを表示)

1



[ズーム]にタッチします。

タッチするたびに、×2、×3、×4、OFFの順に倍率が切り替わります。

N ナビゲーション

2



▲、▼、◀、▶ にタッチして、表示する位置を選択します。

E エンタテインメント

3



[もどる]にタッチします。

A 付録

Complete

ディスクメニューをダイレクトに操作する

DVD固有のディスクメニューをダイレクトに操作します。

Before
Step

E005 (DVD操作ボタンを表示)

1



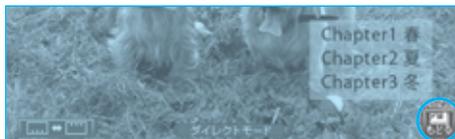
[ダイレクト]にタッチします。

2



ディスクメニューにタッチして操作します。

3



[もどる]にタッチします。

Complete

C
共通

N
ナビゲーション

E
エンタテインメント

S
セットアップ

A
付録

note

- 表示されるディスクメニューはプレイしているDVDに固有のもので、操作できる内容はDVDによって異なります。

ディスクメニューをボタンで操作する

DVD固有のディスクメニューを、本機が表示するボタンで操作します。

C 共通

Before Step

E005 (DVD操作ボタンを表示)

1



[コントロール]にタッチします。

N ナビゲーション

2



各ボタンにタッチして操作します。
各ボタンについては、次ページをご覧ください。

E エンタテインメント

3



[もどる]にタッチします。

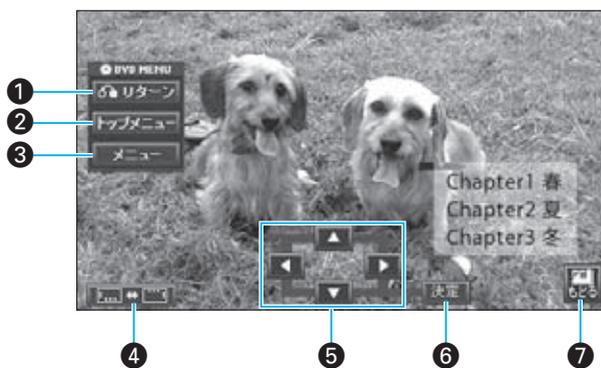
S セットアップ

A 付録

Complete

note

- 表示されるディスクメニューはプレイしているDVDに固有のもので、操作できる内容はDVDによって異なります。



- ① **戻る** リターン
ディスクメニューの階層を1つ上に移動します。
- ② **戻る** トップメニュー
ディスクメニューのトップに戻ります。
- ③ **戻る** メニュー
ディスクメニューを消します。
もう一度タッチすると、再度ディスクメニューを表示します。
- ④ **戻る** 戻る
操作ボタン(コントロール)の表示位置を変えません。
- ⑤ **戻る** 決定
項目ディスクメニューの項目を選択します。
- ⑥ **戻る** 決定
項目の選択を決定します。
- ⑦ **戻る** もどる
DVD操作画面 (R3 E005) に戻ります。

≡ note

- 表示されるディスクメニューはプレイしているDVDに固有のもので、操作できる内容はDVDによって異なります。
- ディスクメニューの操作ボタン(コントロール)が表示されているときは、ディスクメニューに直接タッチしても操作できません。

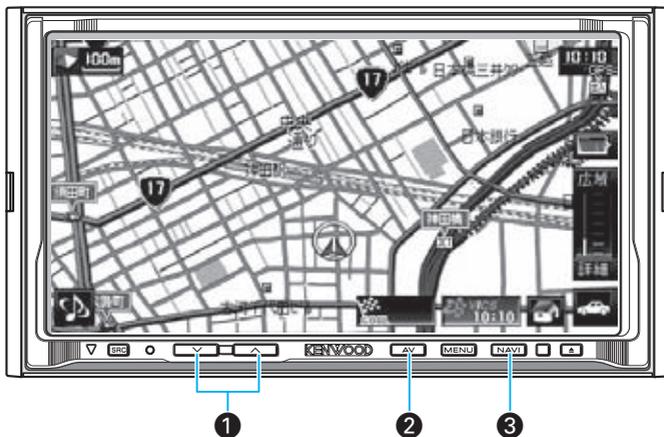
tip

- **戻る**、**戻る**、**戻る**、**戻る** が背景の映像と重なって見にくいときに **戻る** で表示位置を変えると、見やすくなる場合があります。

CDを挿入すると、CDのプレイが始まります。

Before
Step

E003 (CDを挿入)



- ①  (ボリュームキー)
CDの音量を調整します。
- ②  (エーブイキー)
CDメニューを表示します。🔊 **E013**
- ③  (ナビキー)
映像をナビの画面に切り替えます。音声はCDのまま変わりません。

≡ note

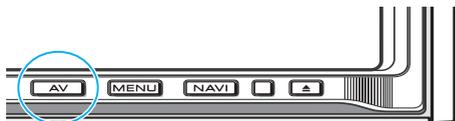
- すでにCDが挿入されているときは、 でAVソースをCDに切り替えてください。🔊 **E002**

CDメニュー画面では、CDのプレイ状態の情報が表示されます。また、CDの各種の操作が行えます。

Before
Step

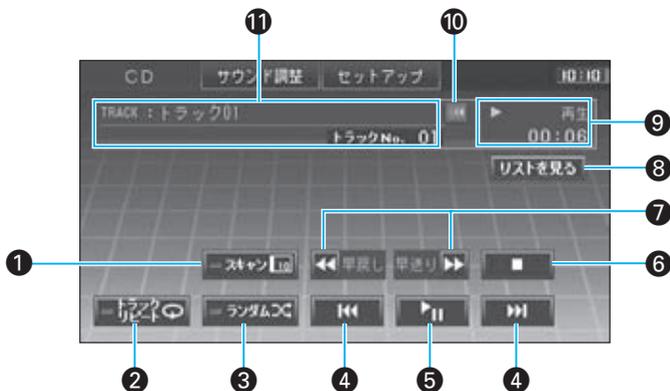
E012 (CDをプレイ)

1



AV を押します。

Complete



- ① **1 スキャン**
CD内の曲の先頭部分を約10秒間ずつプレイします(トラックスキャンプレイ)。もう一度 **1 スキャン** にタッチすると、スキャンが解除されてその曲からプレイされます。トラックスキャンプレイ中は、インジケータが点灯します。
- ② **2 リピート**
現在の曲を繰り返しプレイします(トラックリピートプレイ)。タッチするたびに、トラックリピートのオン/オフが切り替わります。トラックリピートがオンのときには、インジケータが点灯します。
- ③ **3 ランダム**
CD内の曲をランダムな順でプレイします(トラックランダムプレイ)。タッチするたびに、ランダムプレイのオン/オフが切り替わります。トラックランダムプレイ中は、インジケータが点灯します。
- ④ **4 (トラックダウン)、4 (トラックアップ)**
トラックを選択します(トラックサーチ)。
- ⑤ **5 (プレイ/ポーズ)**
プレイ/一時停止します。
- ⑥ **6 (停止)**
- ⑦ **7 (戻る)**
- ⑧ **8 リストを見る**
- ⑨ **9 (再生)**
- ⑩ **10 (設定)**
- ⑪ **11 (サウンド調整)**

CDメニューで操作する

C

共通

- 6  (ストップ)
CDのプレイをストップします。
- 7  (早戻し)、 (早送り)
曲を早戻し/早送りします。
- 8  リストを見る
CD内の曲のリスト(トラックリスト)を表示/選曲します。☞ E014
- 9 プレイ状態
プレイ状態およびプレイ時間が表示されます。

N

ナビゲーション

E

エンタテイメント

S

セットアップ

A

付録

- 10  (スクロール)
曲名(トラックタイトル)をスクロールします。
トラックタイトルが長くて表示できないときにタッチできます。
- 11 トラック情報
曲名(トラックタイトル)とトラック番号が表示されます。
CD-TEXT対応のCDをプレイ中には、ディスクテキストなどの文字が表示されます。

トラックリストで選曲する

CDメニューからトラックリストを表示して選曲します。

Before
Step

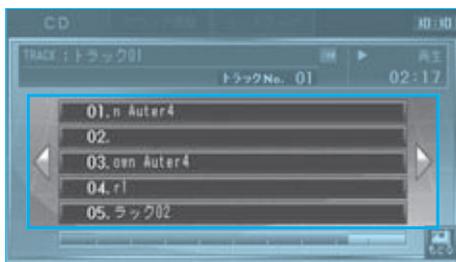
E013 (CDメニューを表示)

1



[リストを見る]にタッチします。

2



曲名のボタンにタッチして選曲します。

目的の曲が表示されていないときは、表示されるまで ◀または▶にタッチします。
選択した曲のプレイが始まります。

Complete

■ note

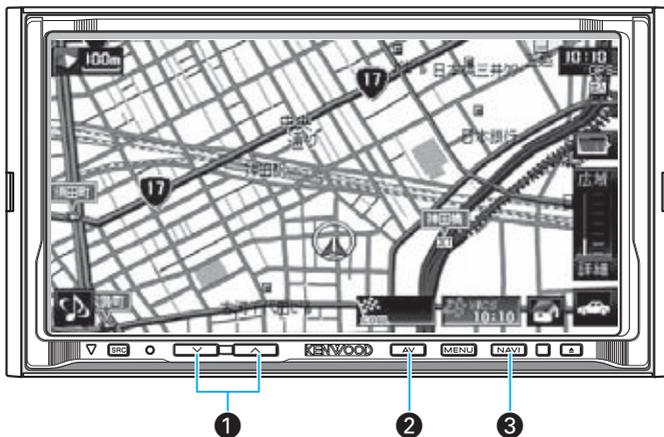
- リストの下のスクロールバーの位置が、選択した曲のCD内での位置を表します。スクロールバーにタッチすると、その位置の曲を選択できます。
ただし、トラックランダムプレイ (**E013**) 中は、トラックリストは表示できません。

オーディオファイルディスクを聴く/ ビジュアルファイルディスクを観る

オーディオファイルディスクやビジュアルファイルディスクを挿入すると、ディスク内のファイルがプレイされます。

Before Step

E003 (オーディオ/ビジュアルファイルディスクを挿入)



- ① (ボリュームキー)
オーディオファイルディスクの音量を調整します。
- ② (エーブイキー)
圧縮ファイルメニューを表示します。 **E016**
- ③ (ナビキー)
映像をナビの画面に切り替えます。音声は変わりません。

≡ note

- ディスクがすでに挿入されている場合は、 (**E002**) で[圧縮ファイル]を選んでプレイすることができます。また、 (**N009**) で[圧縮ファイル]を選んでプレイすることもできます。
- すでにオーディオ/ビジュアルファイルディスクが挿入されているときは、 でAVソースを圧縮ファイルに切り替えてください。 **E002**
- 本機でプレイできるオーディオファイルは、MP3ファイル(*.mp3)、WMAファイル(*.wma)およびAACファイル(*.m4a)です。また、本機でプレイできるビジュアルファイルは、MPEGファイル(*.mpg)、JPEGファイル(*.jpg、*.jpeg、*.jpe)およびDivXファイル(*.divx、*.div、*.avi)です。詳しくは「**A009** オーディオ/ビジュアルファイルについて」をご覧ください。
- 本機でプレイするオーディオファイルおよびビジュアルファイルには、正しい拡張子をつけられている必要があります。
- ディスクを挿入したときには、ルートディレクトリの先頭のファイルからプレイされます。ルートディレクトリにファイルがない場合は、先頭のフォルダの先頭のファイルからプレイされます。
- MP3、WMAまたはAACファイルの場合は、音声(曲など)がプレイされます。MPEGまたはDivXファイルの場合は、映像と音声(曲など)がプレイされます。JPEGファイルの場合は、写真が次々とスライドショーでプレイされます。

圧縮ファイルメニューで操作する

圧縮ファイルメニュー画面では、オーディオファイルディスクやビジュアルファイルディスクのプレイ状態の情報が表示されます。また、オーディオファイルディスクやビジュアルファイルディスクの各種の操作が行えます。

Before
Step

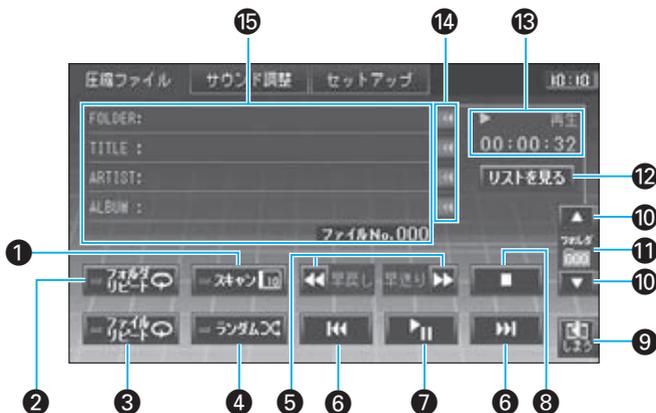
E015 (オーディオ/ビジュアルファイルディスクをプレイ)

1



AV を押します。

Complete



- 1** **スキャン**

ディスク内の各曲の先頭部分を約10秒間ずつプレイします(ファイルスキャンプレイ)。もう一度 **スキャン** にタッチすると、スキャンが解除されてその曲からプレイされます。ファイルスキャン中は、インジケータが点灯します。
- 2** **フォルダリピート**

現在のフォルダ内のファイルを繰り返しプレイします(フォルダリピートプレイ)。タッチするたびに、フォルダリピートのオン/オフが切り替わります。フォルダリピートがオンのときには、インジケータが点灯します。
- 3** **ファイルリピート**

現在の曲を繰り返しプレイします(ファイルリピートプレイ)。タッチするたびに、ファイルリピートのオン/オフが切り替わります。ファイルリピートがオンのときには、インジケータが点灯します。
- 4** **ランダム**

ディスク内の曲をランダムな順でプレイします(ファイルランダムプレイ)。タッチするたびに、ランダムプレイのオン/オフが切り替わります。ランダムプレイがオンのときには、インジケータが点灯します。

圧縮ファイルメニューで操作する

- 5  (早戻し)、 (早送り)
ファイルを早戻し/早送りします。
- 6  (ファイルダウン)、 (ファイルアップ)
ファイルを選択します (ファイルサーチ)。

- 7  (プレイ/ポーズ)
プレイ/一時停止します。

- 8  (ストップ)
プレイをストップします。

- 9  (閉じる)
圧縮ファイルメニュー画面を消します。圧縮ファイルの映像 (ビジュアルファイルのプレイ中) に戻ります。

- 10  (フォルダダウン)、 (フォルダアップ)
フォルダを選択します (フォルダサーチ)。

- 11 **フォルダ番号**
現在選択されているフォルダの番号が表示されます。

- 12  **リストを見る**
ディスク内のファイルのリストを表示/選択します。 **E017**

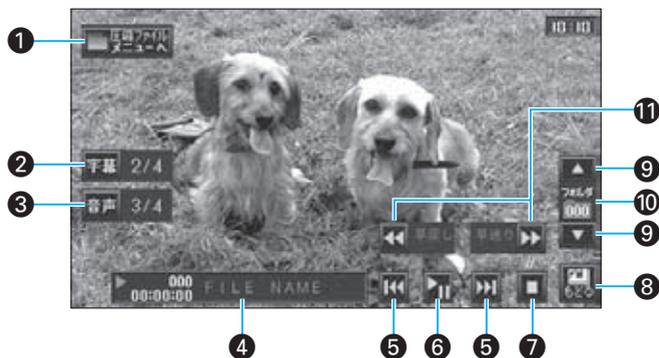
- 13 **プレイ状態**
プレイ状態およびプレイ時間が表示されます。

- 14  (スクロール)
各項目をスクロールします。
フォルダ名や曲名などが長くて表示できないときにタッチできます。

- 15 **曲情報**
フォルダ名、曲名、アーティスト名、アルバム名、およびファイル番号が表示されます。

DivXファイルのプレイ中に、圧縮ファイルメニューで[もどる]にタッチすると、DivXファイルのプレイ画面に戻ります。

DivXファイルのプレイ画面で、画面の中央部分にタッチすると、DivX操作ボタンが表示されます。



- ①  圧縮ファイルメニューを表示します。
- ②  字幕を切り替えます。
- ③  音声を切り替えます。
- ④ DivX情報
DivX情報が次のように表示されます。

 - ① プレイ状態
▶ : プレイ中
|| : ポーズ中
■R : レジュームストップ中(ストップしたシーンからプレイされます)
■ : ストップ中(先頭からプレイされます)
 - ② ファイル番号
 - ③ プレイ時間
 - ④ ファイル名
- ⑤  (ファイルダウン)、 (ファイルアップ) ファイルを選択します。
- ⑥  (プレイ/ポーズ) プレイ/一時停止します。
- ⑦  (ストップ) DivXのプレイをストップします。
 で再びプレイできます。
- ⑧  もどる DivX操作ボタンを消します。
- ⑨  (フォルダダウン)、 (フォルダアップ) フォルダを選択します。
- ⑩ フォルダ番号
現在選択されているフォルダの番号が表示されます。
- ⑪  (早戻し)、 (早送り) ファイルを早戻し/早送りします。

ファイルリストで選択する

プレイするファイルをリストで選択します。

C 共通

Before Step

E016 (圧縮ファイルメニューを表示)

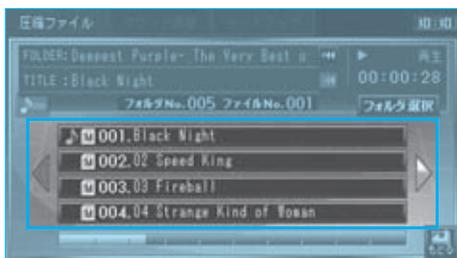
1



[リストを見る]にタッチします。

N ナビゲーション

2



ファイルのボタンにタッチして、プレイするファイルを選択します。

選択したファイルがプレイされます。

目的のファイルが表示されていないときは、表示されるまで ◀または▶にタッチします。リストの下のスクロールバーにタッチしても、リストをスクロールできます。

E エンタテインメント

S セットアップ

Complete

A 付録

note

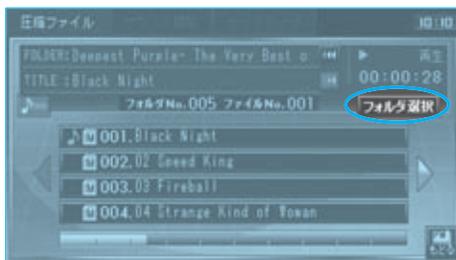
- ♪の付いているファイルがプレイ中(または選択されている)のファイルです。
- 各ファイルのボタンファイルの種類がマークで表示されます。
 - 📁 : MP3ファイル
 - 📁 : WMAファイル
 - 📁 : AACファイル
 - 📁 : JPEGファイル
 - 📁 : MPEGファイル
 - 📁 : DivXファイル
- 🎵 にタッチすると、プレイ中のファイルが含まれるページが表示されます。

プレイするファイルの入っているフォルダをリストで選択できます。

Before
Step

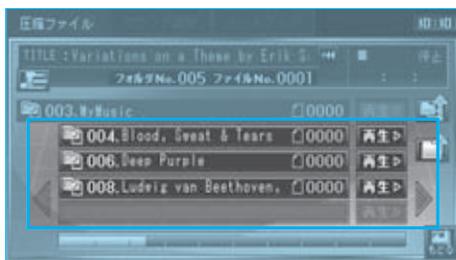
E017 (ファイルリストを表示)

1



[フォルダ選択]にタッチします。

2



フォルダ名のボタンにタッチして、フォルダを選択します。

目的のフォルダが表示されていないときは、表示されるまで ◀または ▶にタッチします。フォルダ内のファイルのリストが表示されます。

リストの下のスクロールバーにタッチしても、リストをスクロールできます。

Next Page

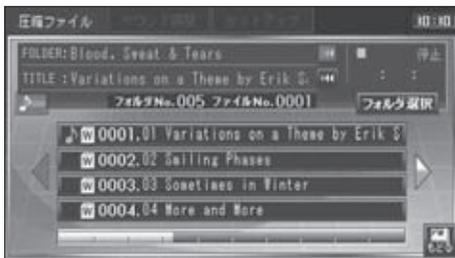
note

- 各フォルダのボタンには、フォルダの区別が表示されます。
- : カレントフォルダ
- : その他のフォルダ

3



[再生]にタッチします。



フォルダ内のファイルリスト (E017) が表示され、先頭のファイルからプレイされます。

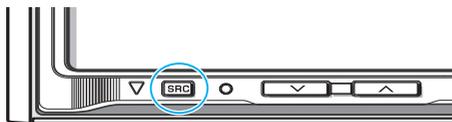
Complete

note

- 手順2で、下位のフォルダが含まれないフォルダにはタッチできません。
-  にタッチすると、ディスクのルート(最上位)フォルダに移動します。
-  にタッチすると、1階層上のフォルダに移動します。
-  にタッチすると、プレイ中のファイルが含まれるページが表示されます。

ワンセグの基本的な操作について説明します。

1



SRC を押します。

2

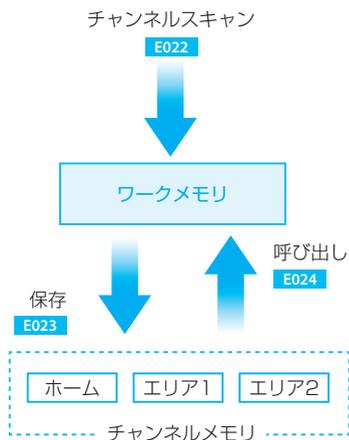


[ワンセグ]にタッチします。

映像と音声ワンセグに切り替わります。

Complete

ワンセグの受信とチャンネルリスト



ワンセグを受信するには、まず現在の場所で受信できるワンセグの放送局を探します(チャンネルスキャン)。

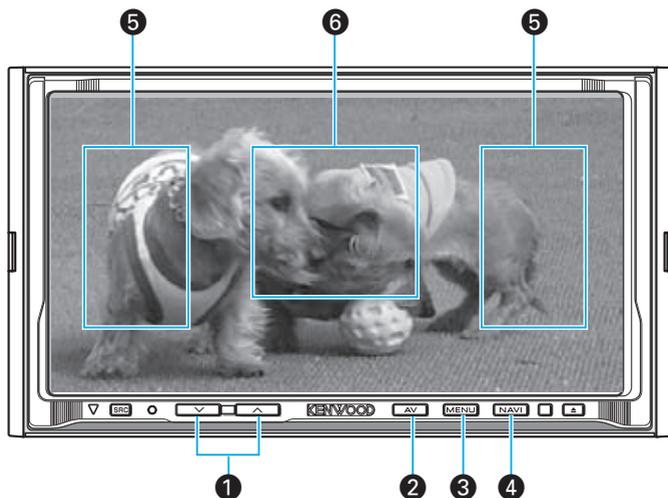
探し出された放送局はチャンネルリストに書き込まれ、「ワークメモリ」に保存されます。ワンセグの受信は、「ワークメモリ」に保存されているチャンネルリストの放送局を呼び出します。ワークメモリに保存されているチャンネルリストは、再度チャンネルスキャンを行ったときに書き換えられます。

チャンネルリストを書き換えたくないときは、チャンネルメモリに保存してください。なお、チャンネルメモリに保存されているチャンネルリストは、ワークメモリに呼び出すと選局に使えるようになります。

caution

- お買い上げ後、初めてワンセグに切り替えたときには、まずチャンネルスキャンを実行してください。**E022** チャンネルスキャンを行わないと、ワンセグは受信できません。





- ① (ボリュームキー)
ワンセグの音量を調整します。

- ② (エービーキー)
ワンセグ操作ボタンを表示します。🔊 E020

- ③ (メニューキー)
ワンセグメニューを表示します。🔊 E021

- ④ (ナビキー)
映像をナビの画面に切り替えます。音声はワンセグのまま変わりません。

- ⑤ (チャンネルアップ/チャンネルダウン)
チャンネルを選局します。

- ⑥ (ワンセグ操作ボタン表示)
ワンセグ操作ボタンを表示します。🔊 E020

ワンセグを観ているときに画面の中央部にタッチすると、ワンセグ操作ボタンが表示されます。

Before Step

E019 (ワンセグを観る)



- ① **ワンセグメニューへ**
ワンセグメニューを表示します。E021
- ② **表示**
受信情報/番組情報の表示を切り替えます。
- ③ **メモリ呼出**
チャンネルメモリに保存されているチャンネルリストを呼び出します。E024
- ④ **番組表**
現在視聴している放送局の番組表を表示します。
- ⑤ **字幕**
複数の字幕が同時に放送されているときに、画面に表示する字幕の設定を切り替えます。
- ⑥ **音声切替**
複数の音声と同時に放送されている番組で、スピーカーから出力する音声の設定を切り替えます。
- ⑦ **シークモード**
▲ または ▼ にタッチしたときのチャンネルの選局方法(シークモード)を切り替えます。シークモードについては下記をご覧ください。
- ⑧ **もどる**
ワンセグ操作ボタンを消します。
- ⑨ ▼ (チャンネルダウン)、▲ (チャンネルアップ) チャンネルを選局します。
- ⑩ **チャンネルリスト情報**
- ⑪ **シークモード**
現在のシークモードが表示されます。
- ⑫ **受信情報/番組情報**
放送局名や受信レベルなどの受信情報や、番組名などの番組情報が表示されます。

≡ note

- 本機では次の2種類のシークモードを切り替えることができます。

シークモード	選局動作
オート	▲ (チャンネルアップ) または ▼ (チャンネルダウン) にタッチするたびに、電波状態の良いチャンネルを探して受信します。放送チャンネルがわからないときに便利です。
プリセット	▲ (チャンネルアップ) または ▼ (チャンネルダウン) にタッチするたびに、ワークメモリに呼び出されているチャンネルリストのチャンネルを順に受信します。 チャンネルリストについては「E021 ワンセグメニューを表示する」をご覧ください。

ワンセグメニューを表示します。

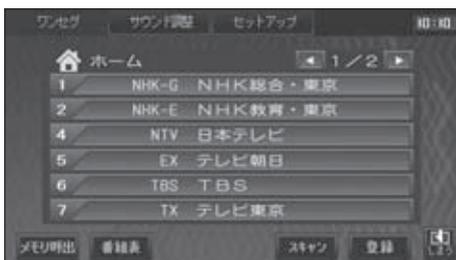
Before Step

E020 (ワンセグ操作ボタンを表示)

1



[ワンセグメニューへ]にタッチします。



Complete

≡ caution

- お買い上げ後、初めてワンセグに切り替えたときには、まずチャンネルスキャンを実行してください。**E022**
チャンネルスキャンを行わないと、ワンセグは受信できません。

≡ note

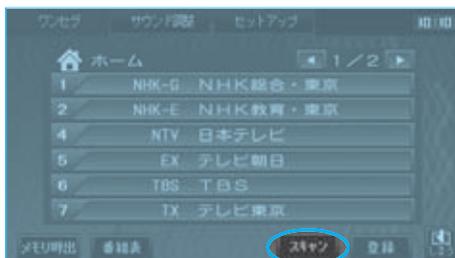
- ワンセグメニューに表示されるチャンネルリストは、ワークメモリにあるものです。**E019**

現在の場所で受信できるチャンネルを探し(チャンネルスキャン)、チャンネルリストを作成します。

Before Step

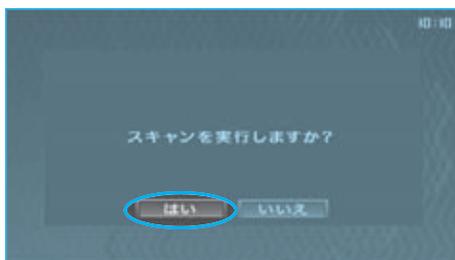
E021 (ワンセグメニューを表示)

1



[スキャン]にタッチします。

2



[はい]にタッチします。



現在地で受信可能な放送局のリスト(チャンネルリスト)が表示されます。

Complete

■ note

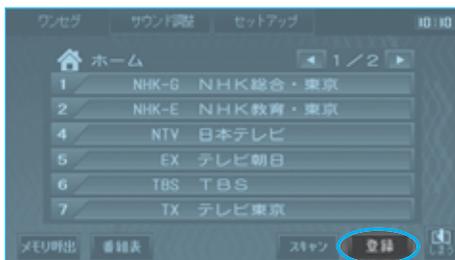
- チャンネルスキャンしないと、ワンセグを受信できません。
- 初めてワンセグに切り替えたときには、チャンネルスキャンを促すメッセージが表示されます。上記の手順に従って、チャンネルスキャンしてください。
- チャンネルスキャンした結果は、チャンネルリストとしてワークメモリに保存され、選局等に使用できます。
- ワークメモリにあるチャンネルリストは、再びチャンネルスキャンを行ったとき、またはチャンネルメモリからチャンネルリストを呼び出したときに書き換えられます。
- チャンネルスキャンした結果をチャンネルメモリに登録しておく、いつでも呼び出して選局に使えます。E024

チャンネルスキャンして作成されたチャンネルリストをメモリ（チャンネルメモリ）に保存します。

Before
Step

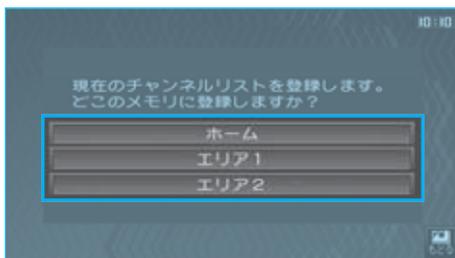
E022 (チャンネルをスキャン)

1



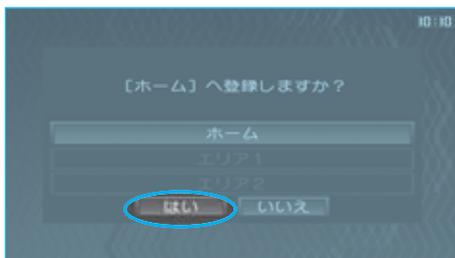
[登録]にタッチします。

2



登録先のメモリにタッチします。

3



[はい]にタッチします。

Complete

≡ note

- チャンネルメモリに登録されているチャンネルリストは、チャンネルスキャンを行っても変化しません。

tip

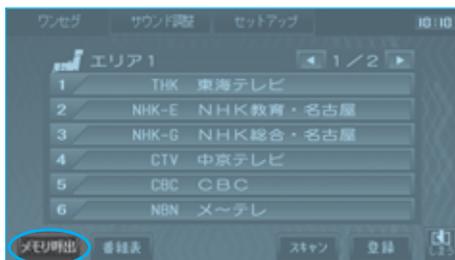
- チャンネルメモリは、「ホーム」、「エリア1」、「エリア2」の3種類が用意されています。いつも走行する地域のチャンネルリストは「ホーム」に登録し、出かけた先のチャンネルリストは「エリア1」または「エリア2」に登録するといった使い分けをすると便利です。

チャンネルメモリに保存されているチャンネルリストをワークメモリに呼び出します。

Before
Step

E021 (ワンセグメニューを表示)

1



[メモリ呼出]にタッチします。



Complete

note

- [メモリ呼出]にタッチするたびに、呼び出すメモリが「ホーム」→「エリア1」→「エリア2」の順に切り替わります。
- チャンネルメモリに保存されていないチャンネルリストがワークメモリにあるときに[メモリ呼出]にタッチすると、確認のメッセージが表示されます。



[はい]を選択すると、メモリのチャンネルリストが表示されます。

[いいえ]を選択すると、メモリのチャンネルリストの呼び出しは中止されます。

- 選局にチャンネルリストを使う場合 (E025) には、使用するチャンネルリストをワークメモリに呼び出しておいてください。

なお、ワークメモリには、最後にチャンネルスキャンして作成されたチャンネルリストまたは最後にチャンネルメモリから呼び出したチャンネルリストが入っています。

C
共通

N
ナビゲーション

E
エンタティメント

S
セットアップ

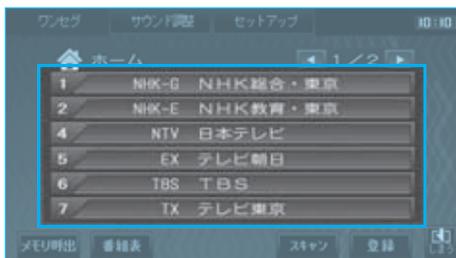
A
付録

チャンネルリストを見ながら、受信する放送局を選局します(チャンネルリスト選局)。

Before
Step

E021 (ワンセグメニューを表示)

1



放送局のボタンにタッチします。

Complete

≡ note

- ワンセグメニューに表示されるチャンネルリストは、ワークメモリにあるものです。他のチャンネルリストを使う場合には、使用するチャンネルリストをチャンネルメモリからワークメモリに呼び出してください。**E024**
なお、ワークメモリには、最後にチャンネルスキャンして作成されたチャンネルリストまたは最後にチャンネルメモリから呼び出したチャンネルリストが入っています。
- チャンネルリストに複数のページがあるときには、**◀** または **▶** で表示するページを切り替えます。
- 1つのチャンネルに複数の放送サービスが含まれている場合、チャンネルリスト選局ではサービス番号の最も小さい放送サービスしか選択できません。他の放送サービスを選択するときは、プリセット選局で選局してください。**E026**

チャンネルリストに記載されている順番に従って、チャンネルを切り替えます（プリセット選局）。

Before
Step

E022 (チャンネルをスキャンする)、 **E024** (チャンネルリストを呼び出す)

1



シークモードをプリセットモードに切り替えます。

[シークモード]にタッチするたびに、プリセットモードとオートモードが切り替わります。

2



▲ または ▼ にタッチします。

▲ : チャンネルリストの1つ上の放送局を選局します

▼ : チャンネルリストの1つ下の放送局を選局します。

Complete

■ note

- 1つのチャンネルに複数の放送サービスが含まれている場合には、この方法でのみ選択できます。
- ワークメモリには、最後にチャンネルスキャンして作成されたチャンネルリストまたは最後にチャンネルメモリから呼び出したチャンネルリストが入っています。

チャンネル順に切り替えて、放送局を受信します(オート選局)。

Before Step

E022 (チャンネルをスキャンする)

1



シークモードをオートモードに切り替えます。

[シークモード]にタッチするたびに、プリセットモードとオートモードが切り替わります。

2



▲ または ▼ にタッチします。

▲ : チャンネル番号の昇順に選局します。

▼ : チャンネル番号の降順に選局します。

Complete

≡ note

- 1つのチャンネルに複数の放送サービスが含まれている場合、オート選局ではサービス番号の最も小さい放送サービスしか選択できません。他の放送サービスを選択するときは、プリセット選局で選局してください。E025

スピーカに出力する音声を設定します。

1



画面の中央部にタッチします。

2



[音声切替]にタッチします。

タッチするたびに、出力する音声の設定が切り替わります。

Complete

■ note

- この機能により、多言語放送番組の音声言語（たとえば日本語/英語/日本語+英語）の出力を設定しておくことができます。ただし、設定されている音声で現在視聴している番組で放送されていない場合は、出力可能な音声に切り替わります。

- [音声切替]にタッチするたびに、設定する音声は次の順に切り替わります。

【音声1主音声】→【音声1副音声】→【音声1主音声+副音声】→【音声2主音声】→【音声2副音声】→【音声2主音声+副音声】

出力する字幕を設定します。

1



画面の中央部にタッチします。

2



[字幕]にタッチします。

タッチするたびに、出力する音声の設定が切り替わります。

Complete

note

- [字幕切替]にタッチするたびに、表示する字幕の設定は次の順に切り替わります。
【OFF】→【字幕1】→【字幕2】
- 設定されている字幕が現在視聴している番組で放送されていない場合は、字幕は表示されません。
- 番組によって、放送されている字幕は異なります。
- 字幕の表示位置や大きさは変更できません。

現在受信している放送局の番組表や番組の詳細情報を表示します。

Before
Step

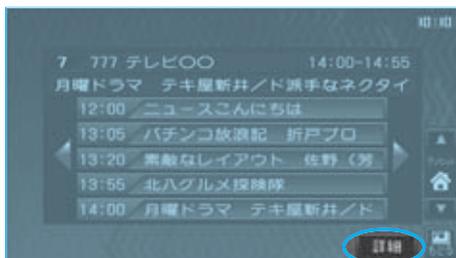
E020 (ワンセグ操作ボタンを表示)

1



[番組表]にタッチします。

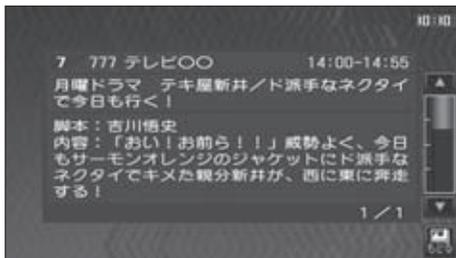
2



番組表が表示されます。

番組の詳細情報を表示する場合は、番組のボタンにタッチしてから[詳細]にタッチします。

番組表が複数ページある場合は、◀ または ▶ でページを切り替えることができます。



詳細情報が表示されます。

詳細情報が複数ページある場合は、▲ または ▼ でページを切り替えることができます。

Complete

C
共通

N
ナビゲーション

E
エンタティメント

S
セットアップ

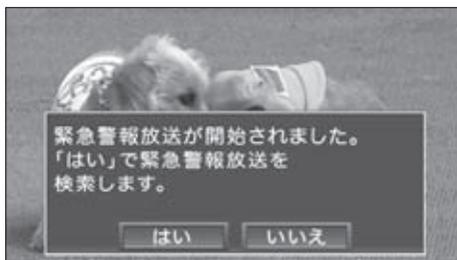
A
付録

緊急放送が開始されると、画面にメッセージが表示されます。

C

共通

1



【はい】にタッチします。

N

ナビゲーション

Complete

E

エンタテイメント

S

セットアップ

A

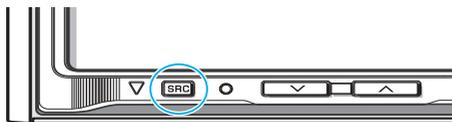
付録

≡ note

- 【いいえ】を選択すると、緊急放送のチャンネルには切り替わりません。
- ワンセグ以外の画面を表示しているときにワンセグの緊急放送を受信すると、割り込み画面で通知されます。ワンセグの画面に切り替えて受信してください。

アナログテレビの基本的な操作について説明します。

1



SRC を押します。

2

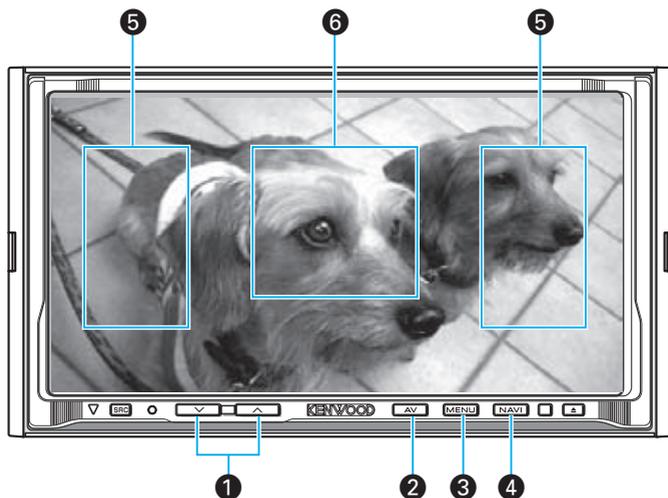


[TV]にタッチします。

映像と音声アナログテレビに切り替わります。

Complete

アナログテレビを観る

C
共通N
ナビゲーションE
エンタテインメントS
セットアップA
付録

- ① (ボリュームキー)
アナログテレビの音量を調整します。

- ② (エービーキー)
TV操作ボタンを表示します。☞ E033

- ③ (メニューキー)
TVメニューを表示します。☞ E034

- ④ (ナビキー)
映像をナビの画面に切り替えます。音声はアナログテレビのまま変わりません。

- ⑤ チャンネルアップ、チャンネルダウン
チャンネルを選局します。

- ⑥ TV操作ボタン表示
TV操作ボタンを表示します。☞ E033

アナログテレビを観ているときに画面の中央部にタッチすると、TV操作ボタンが表示されます。

Before Step

E032 (テレビを映す)



- ①  TVメニュー画面を表示します。☞ E034
- ② **テレビ情報**
受信中のチャンネルの情報(プリセット番号、チャンネル、放送局名、シークモード、音声など)が表示されます。☞ N010
- ③  **音声切替**
出力する音声(主音声、副音声)を選択します。
- ④  **シークモード**
 または  にタッチしたときのチャンネルの選局方法(シークモード)を切り替えます。シークモードについては下記をご覧ください。
- ⑤  **もどる**
TV操作ボタンを消します。
- ⑥  (チャンネルダウン)、 (チャンネルアップ)チャンネルを選局します。
- ⑦ **選局情報**
現在のシークモードと、受信中のチャンネルが表示されます。

≡ note

- 本機では次の3種類のシークモードを切り替えることができます。

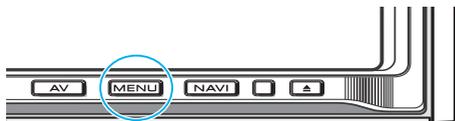
シークモード	選局動作
オート	 (チャンネルアップ) または  (チャンネルダウン) にタッチするたびに、電波状態の良いチャンネルを探して受信します。放送チャンネルがわからないときに便利です。
プリセット	 (チャンネルアップ) または  (チャンネルダウン) にタッチするたびに、TVメニュー画面に表示されるプリセットチャンネルリストのチャンネルを順に受信します。プリセットチャンネルリストについては「E034 TVメニューで操作する」をご覧ください。
マニュアル	 (チャンネルアップ) または  (チャンネルダウン) にタッチするたびに、1チャンネルずつチャンネルを変えて受信します。電波の受信状態の良い放送局も受信できます。

TVメニュー画面では、TVの受信状態の情報が表示されます。また、TVの各種の操作が行えます。

Before Step

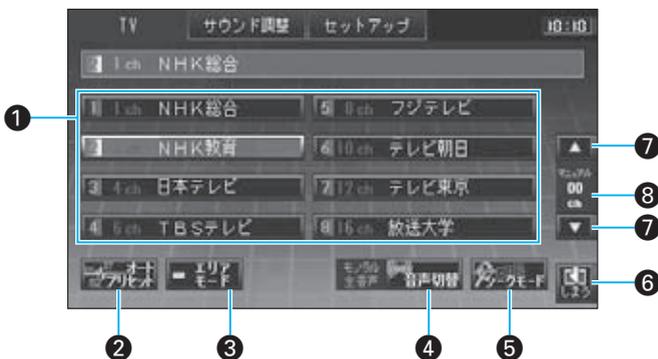
E032 (テレビを映す)

1



MENU を押します。

Complete



① プリセットチャンネルリスト

現在記憶されているチャンネルのリストが表示されます。
チャンネルのボタンにタッチすると、そのチャンネルに変わります。

② 電波受信状態の良いチャンネルを探して、8つのプリセットボタンに次々に設定します(オートプリセット)。

8つのプリセットボタンすべてにチャンネルがプリセットされたとき、またはテレビ放送のすべてのチャンネルを一巡したときにオートプリセットは終了します。

③ エリアモード

エリアモードをオン/オフします。
エリアモードがオンのときには、現在地の市区町村ごとに登録されているデータに基づいて、プリセットボタンにチャンネルを表示します(エリア別プリセット)。

④ 音声切替

出力する音声(主音声、副音声)を選択します。

⑤ シークモード

▲ または ▼ (にタッチしたときのチャンネルの選局方法(シークモード)を切り替えます。
シークモードについては「E033 TV操作ボタンで操作する」をご覧ください。

⑥ (しまう)

TVメニュー画面を消し、テレビの映像に戻ります。

⑦ (チャンネルダウン)、(チャンネルアップ)チャンネルを選局します。

⑧ 選局情報

現在のシークモードと、受信中のチャンネルが表示されます。

≡ caution

- オートプリセット、エリアモード、マニュアルプリセットのうち、最後の操作による設定がプリセットチャンネルリストに表示されます。
- エリアモードがオンのときには、オートプリセットは行えません。エリアモードをオフにしてからオートプリセットを行ってください。

≡ note

- オートプリセットは、現在受信中のチャンネルから開始されます。
- 地上デジタル放送の開始にともない、一部の地域でアナログ放送のチャンネルが変更され、エリア別プリセットチャンネルを選択できなくなる場合があります。詳しくは「[A011](#) アナログ放送からデジタル放送への移行について」をご覧ください。
- エリアモードでプリセットボタンにエリア別プリセットチャンネルが表示されていても、電波の受信状態によっては受信できない場合があります。
- テレビを選択しているときにフロントパネルの開閉や角度調整を行うと、フロントパネルが動いている間、音声は一時的に消されます。フロントパネルの動作が終わると、元の音量に戻ります。

tip

- オートプリセットで希望のチャンネルがプリセットされなかったときは、マニュアルでプリセットできます。☞ [E035](#)

オートプリセット (E034) で登録されなかったチャンネルを手動で登録します。

1

プリセットするチャンネルを映します。

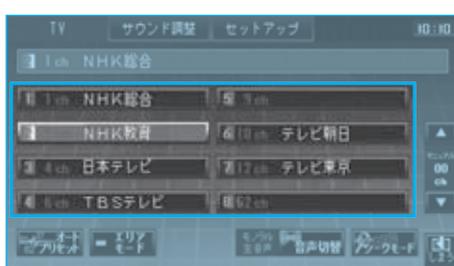
詳しくは「E032 アナログテレビを観る」をご覧ください。

2

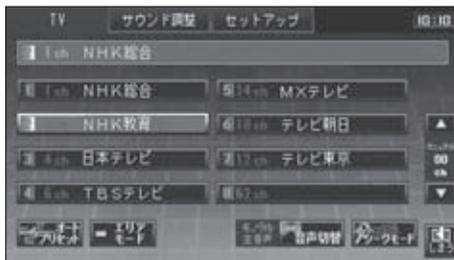


MENU を押します。

3



記憶させるプリセットボタンに約2秒以上タッチします。



タッチしたプリセットボタンに受信していたチャンネルが登録されます。

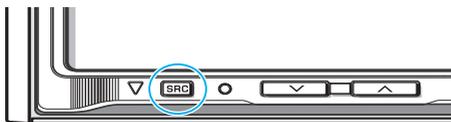
Complete

note

- 現在地によっては、チャンネル名(放送局名)が異なっていたり、表示されない場合があります。
- 地上デジタル放送の開始にともない、一部の地域でアナログ放送のチャンネルが変更されるため、エリア別プリセットチャンネルを選局できなくなる場合があります。詳しくは「A011 アナログ放送からデジタル放送への移行について」をご覧ください。
- エリアモードがオンのときにはマニュアルプリセットできません。

ラジオの基本的な操作について説明します。

1



SRC を押します。

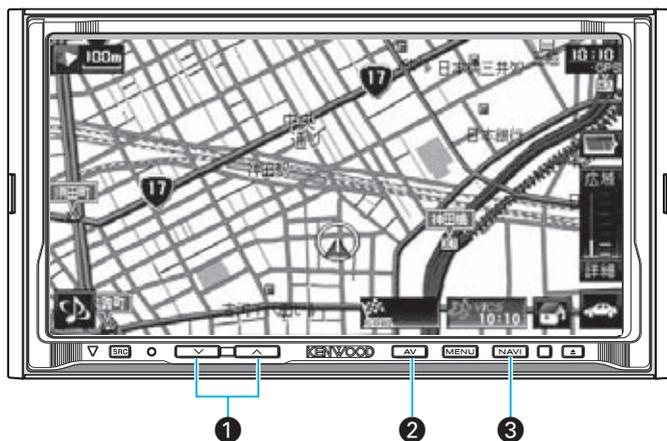
2



[TUNER] にタッチします。

音声はラジオに切り替わり、TUNER×
ニュー画面が表示されます。

Complete



①  (ボリュームキー)
ラジオの音量を調整します。

②  (エーブイキー)
TUNERメニューを表示します。E037

③  (ナビキー)
映像をナビの画面に切り替えます。音声はラジオのまま変わりません。

TUNERメニュー画面では、ラジオの受信状態の情報が表示されます。また、ラジオの各種の操作が行えます。

Before
Step

E036 (ラジオを聴く)

1



AV を押します。

Complete



1 プリセットステーションリスト

現在記憶されている放送局のリストが表示されます。
放送局のボタンにタッチすると、その放送局に変わります。

2 オートプリセット

電波の受信状態の良い放送局を探して、8つのプリセットボタンに次々に設定します(オートプリセット)。
8つのプリセットボタンすべてにチャンネルがプリセットされたとき、またはラジオ放送の周波数帯を一巡したときにオートプリセットは終了します。

3 エリアモード

エリアモードをオン/オフします。
エリアモードがオンのときには、現在の市区町村ごとに登録されているデータに基づいて、プリセットボタンに放送局を表示します。

4 モノラル

FM放送をモノラルで受信します。

5 AM/FM切替

バンド (FM/AM) を切り替えます。
プリセットステーションリストも切り替わります。

6 シークモード

▲ または ▼ にタッチしたときの選局方法(シークモード)を切り替えます。
シークモードについては次ページをご覧ください。

TUNERメニューで操作する

C
共通

- 7  (シークダウン)、 (シークアップ)
放送局を選局します。
- 8 選局情報
現在のシークモードと、受信中の周波数が表示されます。

- 9  交通情報
交通情報を受信します。
もう一度タッチすると、FM/AM放送の受信に戻ります。

N
ナビゲーションE
エンタテインメントS
セットアップA
付録

≡ caution

- オートプリセット、エリアモード、マニュアルプリセットのうち、最後の操作による設定がプリセットチャンネルリストに表示されます。
- エリアモードがオン有的时候には、オートプリセットは行えません。エリアモードをオフにしてからオートプリセットを行ってください。

≡ note

- 本機では次の3種類のシークモードを切り替えることができます。

シークモード	選局動作
オート	 (シークアップ) または  (シークダウン) にタッチするたびに、電波の受信状態の良い放送局を探して受信します。放送局の周波数がわからないときに便利です。
プリセット	 (シークアップ) または  (シークダウン) にタッチするたびに、TUNERメニュー画面に表示されるプリセットステーションリストのチャンネルを順に受信します。
マニュアル	 (シークアップ) または  (シークダウン) にタッチするたびに、周波数を変えて受信します。電波の受信状態の良い放送局も受信できます。

- オートプリセットは、受信中の放送局から開始されます。
- FM放送とAM放送を別々にプリセットできます。オートプリセットするときは、先に[AM/FM切替]でバンドを選択してください。
- オートプリセットでは受信できなかった放送局をプリセットボタンに設定するときは、マニュアルモードで放送局を選んでプリセットしてください。 E038
- エリアモードでプリセットボタンに放送局が表示されていても、電波状態によっては受信できない場合があります。
- 1620kHz以外の周波数の交通情報を受信するときは、周波数を変更してください。 S023

tip

- オートプリセットで希望のチャンネルがプリセットされなかったときは、マニュアルでプリセットできます。 E038

オートプリセット (E037) で登録されなかった放送局を手動で登録します。

1

プリセットする放送局を受信します。

詳しくは「E036 ラジオを聴く」をご覧ください。

2



AV を押します。

3



記憶させるプリセットボタンに約2秒以上タッチします。



タッチしたプリセットボタンに受信していた放送局が登録されます。

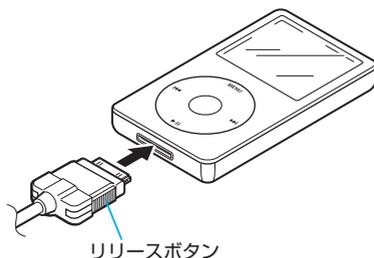
Complete

note

- 現在地によっては、放送局名が異なっていたり、表示されない場合があります。
- エリアモードがオンのときにはマニュアルプリセットできません。

iPodを接続する

iPodをプレイするときは、別売品のiPod接続ケーブル(KNA-i990)を使ってiPodを本機に接続します。



正しく接続すると、「ピッピッ」と音が鳴ります。
音が鳴らない場合は、もう一度接続しなおしてください。

iPodを取り外すときは、iPodの画面に接続解除可能であることを示すメッセージが表示されているときに行ってください。

≡ caution

- iPodを取り外すときには、iPod Dockコネクタの両側のリリースボタンをしっかりと押しながら抜いてください。無理に引き抜くと破損の原因になります。
- iPodをiPod接続ケーブル(KNA-i990)に接続する前に、iPodのEQ機能はオフにしてください。iPodのEQ機能をオンにしたままiPod接続ケーブル(KNA-i990)に接続すると、音が歪むことがあります。
- iPodを接続ケーブル(KNA-i990)に接続する前に、iPodに取り付けているヘッドフォンなどのすべての機器を取り外してください。機器を取り付けたままiPod接続ケーブル(KNA-i990)に接続すると、iPodのコントロールができなくなる場合があります。
- iPodを車内に放置しないようにしてください。直射日光や高温などの影響により、iPodが故障する場合があります。
- リピートをオフにすることはできません。

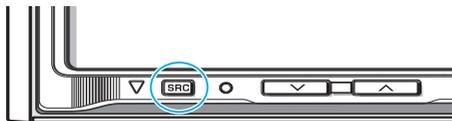
≡ note

- 本機の取り付け時に、iPod接続ケーブル(KNA-i990)は本機に接続しておいてください。
- iPodを本機に接続している間、iPodの画面には「KENWOOD」または「✓」と表示され、iPod側では操作できません。本機の画面で操作してください。
- iPodの画面に表示される接続解除可能のメッセージは、iPodの表示言語の設定によって異なります。
- 操作音がオフに設定されているとき(ⓘ [S023](#))には、iPodを接続しても「ピッピッ」と音は鳴りません。

iPod内の曲を聴く/iPodビデオを観る

iPodの基本的な操作について説明します。

1



[SRC] を押します。

2



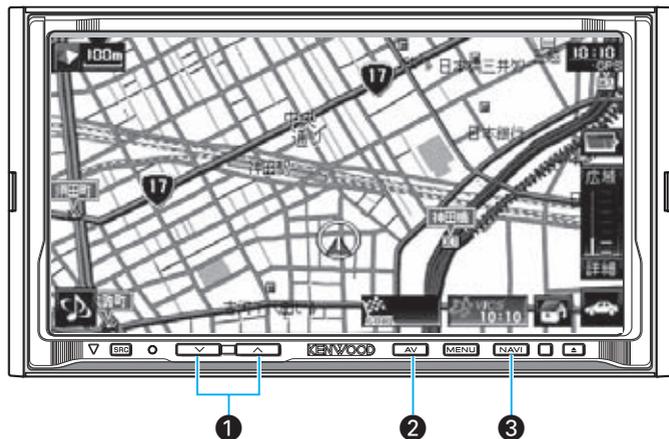
[iPod] にタッチします。
ソースがiPodに切り替わります。

Complete

≡ note

- ソースをiPodに切り替えたとき、iPod Videoが接続されていて、直前の再生が「ビデオ」カテゴリだった場合は、画面はiPod Videoの映像に切り替わります。
これ以外の場合は、iPodメニューの画面が表示されます。





①  (ボリュームキー)
iPodの音量を調整します。

②  (エーブイキー)
iPodメニューを表示します。E041

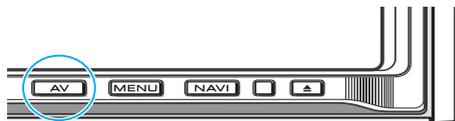
③  (ナビキー)
映像をナビの画面に切り替えます。音声はiPodのまま変わりません。

iPodメニュー画面では、iPodの再生状態の情報が表示されます。また、iPodの各種の操作が行えます。

Before Step

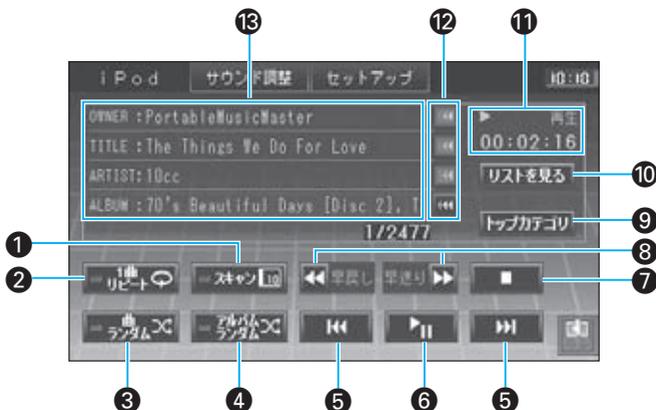
E040 (iPod内の曲を聴く/iPodビデオを観る)

1



AV を押します。

Complete



- 1** **1曲 スキャン**

iPod内の曲の先頭部分を約10秒間ずつプレイします(曲スキャンプレイ)。
もう一度 **1曲 スキャン** にタッチすると、スキャンが解除されてその曲からプレイされます。
曲スキャンプレイ中は、インジケータが点灯します。
- 2** **1曲 リピート**

現在の曲を繰り返しプレイします(1曲リピートプレイ)。
タッチするたびに、1曲リピートのオン/オフが切り替わります。
1曲リピートがオンのときには、インジケータが点灯します。
- 3** **曲 ランダム**

現在のカテゴリ内の曲をランダムな順でプレイします(曲ランダムプレイ)。
タッチするたびに、曲ランダムプレイのオン/オフが切り替わります。
曲ランダムプレイがオンのときには、インジケータが点灯します。
- 4** **アルバム ランダム**

iPod内のアルバムをランダムな順でプレイします(アルバムランダムプレイ)。
アルバムランダムプレイでは、アルバム内の曲は収録されているとおりの曲順でプレイされます。
タッチするたびに、アルバムランダムプレイのオン/オフが切り替わります。
アルバムランダムプレイがオンのときには、インジケータが点灯します。

- 5  (曲ダウン)、 (曲アップ)
現在の曲の先頭/前の曲、または次の曲をプレイします。
- 6  (プレイ/ポーズ)
プレイ/一時停止します。
- 7  (ストップ)
iPodのプレイをストップします。
- 8  (早戻し)、 (早送り)
曲を早戻し/早送りします。
- 9  (トップカテゴリ)
iPodのトップカテゴリを表示します。
iPodで操作するのと同様に、カテゴリで曲を絞り込んでプレイできます。[E042](#)

- 10  (リストを見る)
現在のカテゴリの曲をリストで表示し、選曲/プレイします。[E043](#)
- 11 **プレイ状態**
プレイ状態およびプレイ時間が表示されます。
- 12  (スクロール)
各項目をスクロールします。
曲名やアルバム名などが長くて表示できないときにタッチできます。
- 13 **曲情報**
オーナー、曲名、アーティスト名、アルバム名が表示されます。

≡ note

- アルバムランダムプレイでは、iPod内のアルバムがランダムな順でプレイされ、アルバム内の曲のプレイ順はランダムではありません。
- ビデオをプレイ中は、曲ランダムプレイ機能およびアルバムランダムプレイ機能は使用できません。

iPodのトップカテゴリからカテゴリを選択してプレイします。

Before
Step

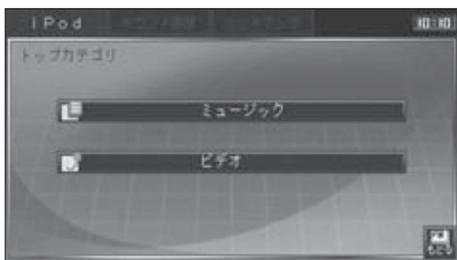
E041 (iPodメニューを表示)

1



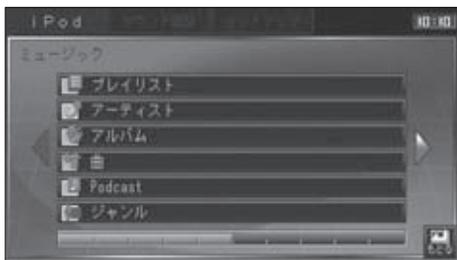
[トップカテゴリ]にタッチします。

2



トップカテゴリを選択します (iPod Videoのみ)。

3



以降、iPodでの操作と同様にカテゴリを選択します。

目的のカテゴリが表示されていないときは、表示されるまで ◀ または ▶ にタッチします。

リストの下のスクロールバーにタッチしても、リストをスクロールできます。

Next Page

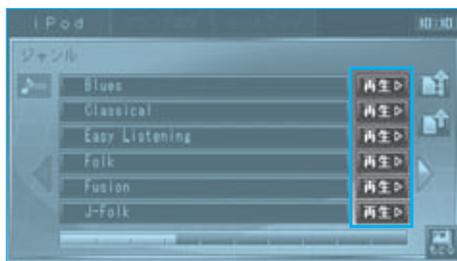
C
共通

N
ナビゲーション

E
エンタテインメント

S
セットアップ

A
付録



プレイするカテゴリの[再生]にタッチします。

選択したカテゴリ内の先頭の曲からプレイされます。

Complete

note

- 手順4で、 にタッチするとトップカテゴリにジャンプします。また、 にタッチすると、1階層上のカテゴリリストに移動できます。
- 手順4で、カテゴリのボタンにタッチすると、そのカテゴリ内の曲のリストが表示されます。[E043](#)
-  にタッチすると、プレイ中の曲が含まれるページが表示されます。

曲リストで選曲する

現在のカテゴリ内の曲のリストで選曲してプレイします。

Before
Step

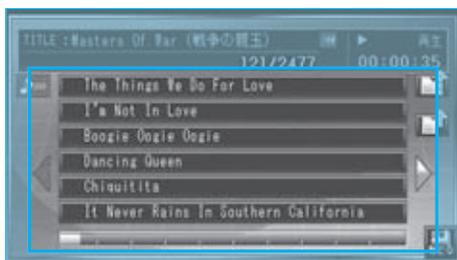
E041 (iPodメニューを表示)

1



[リストを見る]にタッチします。

2



プレイする曲のボタンにタッチします。

目的の曲が表示されないときは、表示されるまで ◀または ▶ にタッチしてください。リストの下のスクロールバーにタッチしても、リストをスクロールできます。

Complete

note

- 手順2で、 にタッチするとトップカテゴリにジャンプします。また、 にタッチすると、1階層上のカテゴリリストに移動できます。
- iPodを接続して初めて[リストを見る]にタッチしたときには、トップカテゴリのリストが表示されます。2回目以降は、最後に表示したリストが表示されます。
-  にタッチすると、プレイ中のファイルが含まれるページが表示されます。
- 曲リストのカテゴリを変えることもできます。[E042](#)

C
共通

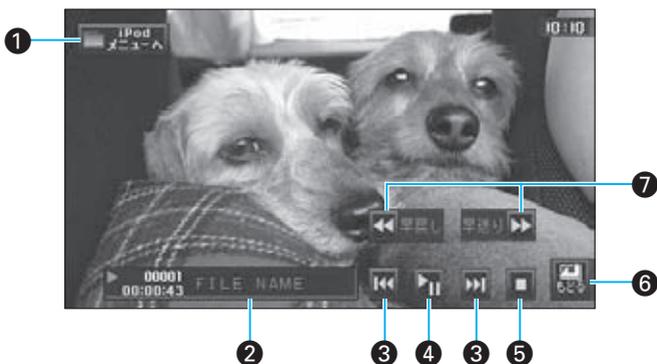
N
ナビゲーション

E
エンタティメント

S
セットアップ

A
付録

iPodビデオのプレイ中に画面の中央部にタッチすると、iPodビデオ操作ボタンが表示されます。



1 iPodメニュー

iPodメニューを表示します。E041

2 プレイ情報

プレイ情報が次のように表示されます。



① プレイ状態

- ▶: プレイ中
- ||: ポーズ中
- R: レジュームストップ中(ストップした位置からプレイされます)
- : ストップ中
- ▶▶: 早送り
- ◀◀: 早戻し

② トラック番号

③ プレイ時間

④ ファイル名

③ ◀◀(ファイルダウン)、▶▶(ファイルアップ)
ファイルを選択します。

④ ||(プレイ/ポーズ)
プレイ/一時停止します。

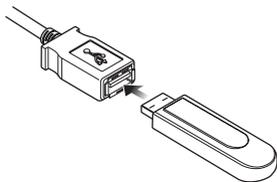
⑤ ■(ストップ)
ファイルのプレイをストップします。
▶▶で再びプレイできます。

⑥ ◀◀もどる
iPod操作ボタンを消します。

⑦ ◀◀(早戻し)、▶▶(早送り)
ファイルのプレイを早戻し/早送りします。

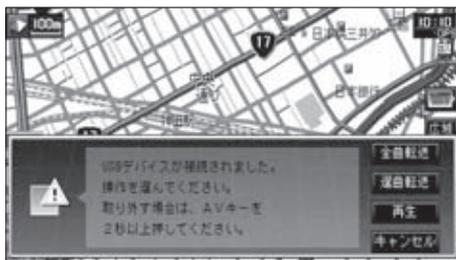
オーディオファイルを保存したUSBデバイスを実機に接続すると、オーディオファイルをプレイしたり、ハードディスクに転送したりできます。

1



USBデバイスを接続します。

2



操作を選択します。

[全曲転送]：USBデバイス内のすべてのオーディオファイルやプレイリストをハードディスクに転送します。

[選曲転送]：選択した曲をハードディスクに転送します。

[再生]：先頭の曲からプレイします。

[キャンセル]：操作選択の画面を閉じます。

Complete

USBデバイスを取り外すときは

1



AV を約2秒以上押します。

USBオフモードになり、USBデバイスを取り外せる状態になります。

Complete

≡ caution

- USBデバイスを取り外す場合は、必ず **AV** を約2秒以上押し、USBオフモードにしてください。これを行わないと、USBデバイス内のオーディオデータが破壊される場合があります。

≡ note

- 使用できるUSBデバイスについては、「**A010** メディアについて」をご覧ください。
- 「USBが接続されていません」と表示されているときに接続すると、再生が自動的に始まります。
- 手順2で、「全曲転送」にタッチすると、オーディオファイルの転送がすぐに始まります。転送時の注意などについては「**E050** オーディオファイルをハードディスクに転送する」をご覧ください。
- 手順2で、「選曲転送」にタッチした場合は、「**E050** オーディオファイルをハードディスクに転送する」の手順3から操作してください。
- オーディオファイルをハードディスクに転送しても、USBデバイス内のファイルは削除されません。

USBデバイスの基本的操作について説明します。

1



SRC を押します。

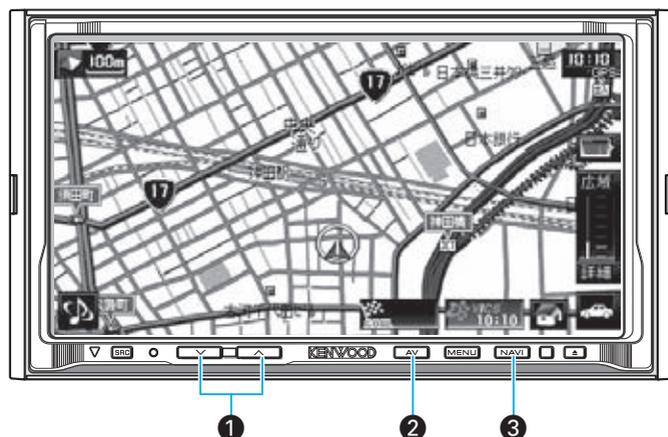
2



[USB] にタッチします。

音声はUSBデバイスに切り替わり、USBメニュー画面が表示されます。

Complete



① (ボリュームキー)
音量を調整します。

② (エーブイキー)
USBメニューを表示します。E047

③ (ナビキー)
映像をナビの画面に切り替えます。音声はUSBデバイスのまま変わりません。

≡ note

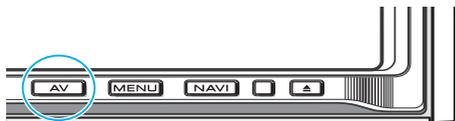
- 本機でプレイできるオーディオファイルは、MP3ファイル(*.mp3)、WMAファイル(*.wma)およびAAC(*.m4a)です。これら以外の形式のファイルはスキップされます。詳しくは「A009 オーディオ/ビジュアルファイルについて」をご覧ください。
- 本機でプレイするオーディオファイルには、正しい拡張子(*.mp3、*.wmaまたは*.m4a)がつけられている必要があります。
- USBデバイスを接続したときには、ルートのディレクトリの先頭のファイルからプレイされます。ルートディレクトリにファイルがない場合は、先頭のフォルダの先頭のファイルからプレイされます。
- USBデバイス内のオーディオファイルを本機に内蔵のハードディスクに転送することもできます。E050

USBメニュー画面では、オーディオファイルのプレイ状態の情報が表示されます。また、オーディオファイルの各種の操作が行えます。

Before Step

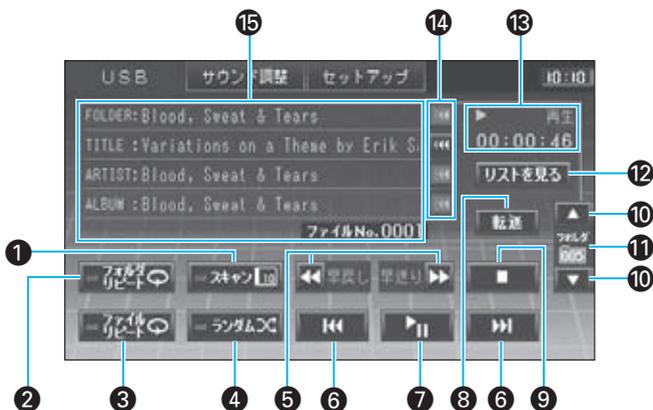
E046 (USBデバイス内の曲を聴く)

1



AV を押します。

Complete



- ① 

USBデバイス内の各曲の先頭部分を約10秒間ずつプレイします(ファイルスキャンプレイ)。もう一度  にタッチすると、スキャンが解除されてその曲からプレイされます。ファイルスキャン中は、インジケーターが点灯します。
- ② 

現在のフォルダ内の曲を繰り返しプレイします(フォルダリピートプレイ)。タッチするたびに、フォルダリピートのオン/オフが切り替わります。フォルダリピートがオンのときには、インジケーターが点灯します。
- ③ 

現在の曲を繰り返しプレイします(ファイルリピートプレイ)。タッチするたびに、ファイルリピートのオン/オフが切り替わります。ファイルリピートがオンのときには、インジケーターが点灯します。
- ④ 

USBデバイス内の曲をランダムな順でプレイします(ファイルランダムプレイ)。タッチするたびに、ランダムプレイのオン/オフが切り替わります。ランダムプレイがオンのときには、インジケーターが点灯します。
- ⑤  (早戻し)、 (早送り)

ファイルを早戻し/早送りします。
- ⑥  (ファイルダウン)、 (ファイルアップ)

ファイルを選択します(ファイルサーチ)。
- ⑦  (プレイ/ポーズ)

プレイ/一時停止します。
- ⑧ 

USBデバイス内の曲をハードディスクに転送します。 E050
- ⑨  (ストップ)

プレイをストップします。
- ⑩  (フォルダダウン)、 (フォルダアップ)

フォルダを選択します(フォルダサーチ)。
- ⑪ フォルダ番号

現在選択されているフォルダの番号が表示されます。
- ⑫ 

ディスク内の曲のリストを表示/選択します。 E048
- ⑬ プレイ状態

プレイ状態およびプレイ時間が表示されます。
- ⑭  (スクロール)

各項目をスクロールします。フォルダ名や曲名などが長くて表示できないときにタッチできます。
- ⑮ 曲情報

フォルダ名、曲名、アーティスト名、アルバム名、およびファイル番号が表示されます。

≡ note

-  でプレイを止めたときには、その位置は記憶されており、 にタッチすると、プレイを止めた位置からプレイされます(レジューム機能)。
-  に2回タッチすると、レジューム機能が解除されます。この場合、 にタッチすると、ストップした曲の先頭からプレイされます。

プレイするファイルをUSBデバイスのリストで選択します。

Before Step

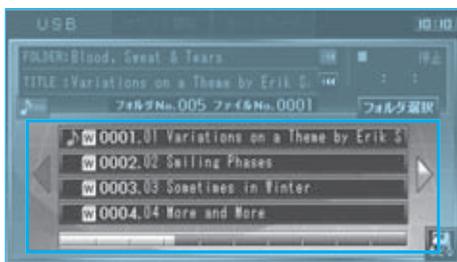
E047 (USBメニューを表示)

1



[リストを見る]にタッチします。

2



ファイルのボタンにタッチして、プレイするファイルを選択します。

選択したファイルがプレイされます。

目的のファイルが表示されていないときは、表示されるまで ◀ または ▶ にタッチします。

リストの下のスクロールバーにタッチしても、リストをスクロールできます。

Complete

note

- ♪の付いているファイルがプレイ中(または選択されている)のファイルです。
- 各ファイルのボタンには、ファイルの種類がマークで表示されます。
 - 📁 : MP3ファイル
 - 📁 : WMAファイル
 - 📁 : AACファイル
- 📁 にタッチすると、プレイ中のファイルが含まれるページが表示されます。

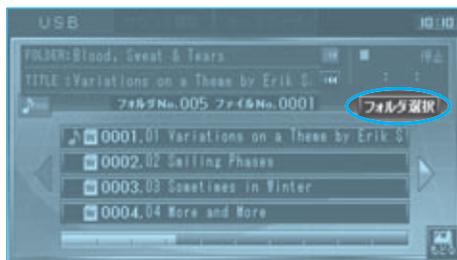
USBデバイスのフォルダを選択する

プレイするファイルの入っているフォルダをUSBデバイスのリストで選択します。

Before
Step

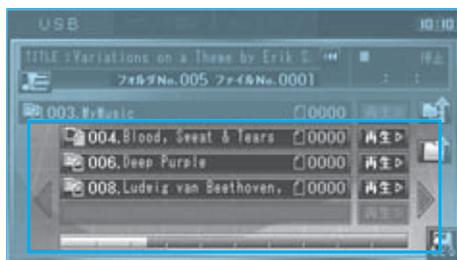
E048 (ファイルリストを表示)

1



[フォルダ選択]にタッチします。

2



フォルダ名のボタンにタッチして、フォルダを選択します。

目的のフォルダが表示されていないときは、表示されるまで ◀ または ▶ にタッチします。

フォルダ内のファイルのリストが表示されます。

リストの下のスクロールバーにタッチしても、リストをスクロールできます。

Next Page

note

- 各フォルダのボタンには、フォルダの区別が表示されます。
- : カレントフォルダ
- : その他のフォルダ

C
共通

N
ナビゲーション

E
エンタティメント

S
セットアップ

A
付録

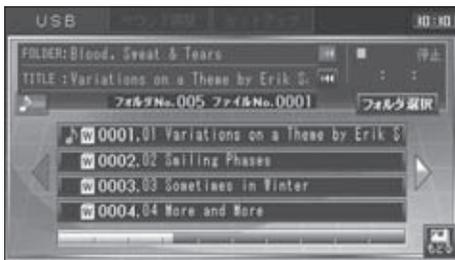
USBデバイスのフォルダを選択する

C
共通

3



[再生]にタッチします。

N
ナビゲーション

フォルダ内のファイルリスト (E048) が表示され、先頭のファイルからプレイされます。

E
エンタテインメント

Complete

S
セットアップA
付録

note

- 手順2で、下位のフォルダが含まれないフォルダにはタッチできません。
-  にタッチすると、ディスクのルート(最上位)フォルダに移動します。
-  にタッチすると、1階層上のフォルダに移動します。
-  にタッチすると、プレイ中の曲が含まれるページが表示されます。

オーディオファイルをハードディスクに転送する

USBデバイス内の曲を本機のハードディスクに転送します。

Before
Step

E043 (USBメニューを表示)

1



[転送]にタッチします。

2



[選曲転送]にタッチします。

3



転送する曲の[選択]にタッチします。

フォルダ単位で選択することもできます。

4



[転送開始]にタッチします。

Next Page

C
共通

N
ナビゲーション

E
エンタティメント

S
セットアップ

A
付録

オーディオファイルをハードディスクに転送する

C
共通

5

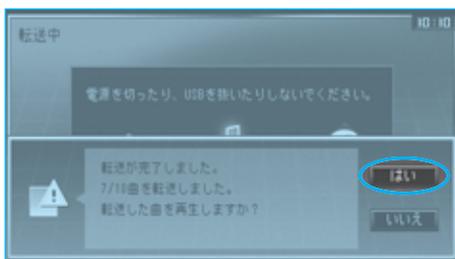


[はい]にタッチします。

転送が開始されます。

N
ナビゲーション

6



[はい]にタッチします。

転送した曲が再生されます。

E
エンタテインメント

Complete

S

≡ note

セットアップ

- [全解除]にタッチすると、ファイルやフォルダのすべての選択を解除できます。
- 手順2で、[全曲転送]または[この曲を転送]にタッチすると、すぐに転送が開始されます。
- オーディオファイルの転送前にハードディスクの空き容量がチェックされ、不足している場合には転送前にメッセージが表示されます。[はい]にタッチしてメッセージを消した後、転送するオーディオファイルを減らすか、ハードディスク内の不要なオーディオファイルを削除してください。
- 選択インジケータが緑色に点灯しているときは、フォルダ内の一部の曲のみが選択されています。
- オーディオファイルの転送中には、下記の画面が表示されます。[中止]にタッチすると、ファイル転送を中止できます。

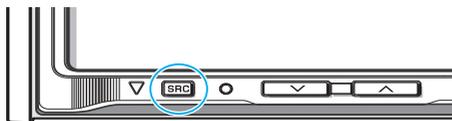


- USBデバイスの接続後、すぐに転送することもできます。E045
- 同じ曲は転送されませんので、USBデバイスにある曲数と実際にハードディスクに転送された曲数が異なる場合があります。
- 曲の転送時に、次の条件を満たす画像データが、アルバムアートとして曲と一緒にハードディスクに転送されます。E052
 - JPEGファイル(*.jpeg、*.jpg、*.jpe)
 - 縦横共300ピクセル以下
 - オーディオファイルと同一フォルダ内に存在する
 - ファイル名がフォルダ名と同じ、または"Folder"である
- ハードディスクに転送したファイルを、ハードディスクから他のメディアに転送することはできません。

A
付録

ハードディスクの基本的な操作について説明します。

1



[SRC] を押します。

2

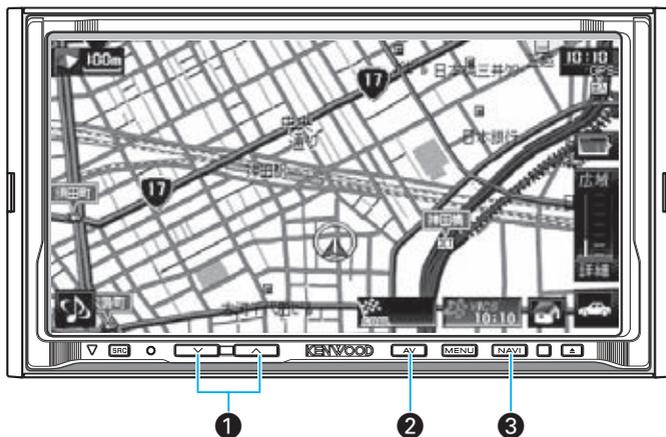


[HDD] にタッチします。

音声ハードディスクに切り替わり、HDDメニューが表示されます。

Complete

ハードディスク内の曲を聴く

C
共通N
ナビゲーションE
エンタテインメントS
セットアップA
付録

①  (ボリュームキー)
ハードディスクの音量を調整します。

②  (エーブイキー)
HDDメニューを表示します。E052

③  (ナビキー)
映像をナビの画面に切り替えます。音声はハードディスクのまま変わりません。

≡ note

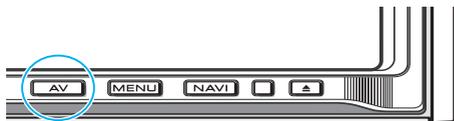
- 本機でプレイできるオーディオファイルは、MP3ファイル(*.mp3)、WMAファイル(*.wma)およびAAC(*.m4a)です。詳しくは「A009 オーディオ/ビジュアルファイルについて」をご覧ください。
- 本機でプレイするオーディオファイルには、正しい拡張子(*.mp3、*.wmaまたは*.m4a)がつけられている必要があります。

HDDメニュー画面では、オーディオファイルのプレイ状態の情報が表示されます。また、オーディオファイルの各種の操作が行えます。

Before Step

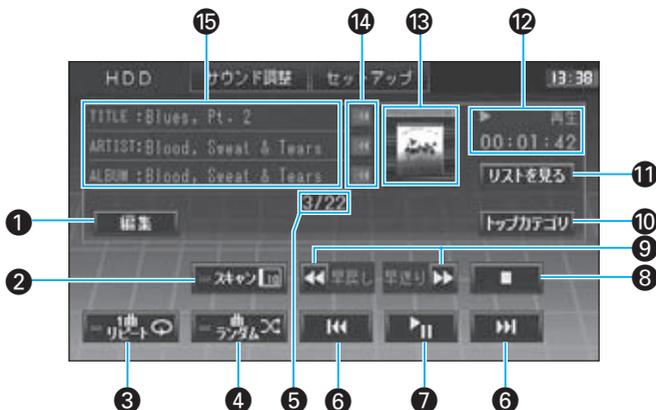
E051 (ハードディスク内の曲を聴く)

1



AV を押します。

Complete



① 編集

ハードディスクから再生中のオーディオファイルを削除します。☞ E056
また、プレイリストへの登録を行います。

☞ E055

② 1曲スキャン

ハードディスク内の各曲の先頭部分を約10秒間ずつプレイします(ファイルスキャンプレイ)。もう一度 **1曲スキャン** にタッチすると、スキャンが解除されてその曲からプレイされます。ファイルスキャン中は、インジケーターが点灯します。

③ 1曲リピート

現在の曲を繰り返しプレイします(1曲リピートプレイ)。タッチするたびに、1曲リピートのオン/オフが切り替わります。1曲リピートがオンのときには、インジケーターが点灯します。

④ ランダム

現在のカテゴリ内の曲をランダムな順でプレイします(ファイルランダムプレイ)。タッチするたびに、ランダムプレイのオン/オフが切り替わります。ランダムプレイがオンのときには、インジケーターが点灯します。

ハードディスク(HDD)メニューで操作する

C
共通

- ⑤ **曲数**
曲数が“トラック番号/現在のカテゴリ内の曲数”で表示されます。
ランダムプレイ中は、プレイされた曲数が分子に表示されます。

- ⑥  (曲ダウン)、 (曲アップ)
現在の曲の先頭/前の曲、または次の曲をプレイします(ファイルサーチ)。

- ⑦  (プレイ/ポーズ)
プレイ/一時停止します。

- ⑧  (ストップ)
プレイをストップします。

- ⑨  (早戻し)、 (早送り)
曲を早戻し/早送ります。

- ⑩ **トップカテゴリ**
ハードディスクのトップカテゴリを表示します。
カテゴリで曲を探せます。☞ E053

N
ナビゲーションE
エンタティメントS
セットアップA
付録

- ⑪ **リストを見る**
最後に表示していた曲のリストの画面を表示します。
- ⑫ **プレイ状態**
プレイ状態およびプレイ時間が表示されます。
- ⑬ **アルバムアート**
アルバムの画像などが表示されます。
USBデバイスから曲を転送するときに、一定の条件を満たす画像データ(E050)がアルバムアートとして曲と一緒に転送されます。
- ⑭ **◀◀ (スクロール)**
各項目をスクロールします。
曲名やアーティスト名などが長くて表示できないときにタッチします。
- ⑮ **曲情報**
曲名、アーティスト名、およびアルバム名が表示されます。

ハードディスクの曲をカテゴリで選択します。

Before
Step

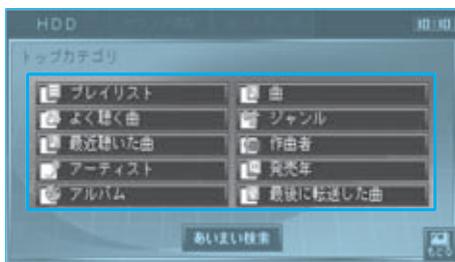
E048 (HDDメニューを表示)

1

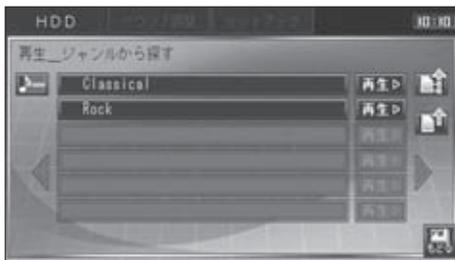


[トップカテゴリ]にタッチします。

2



プレイしたい曲のカテゴリを選択します。

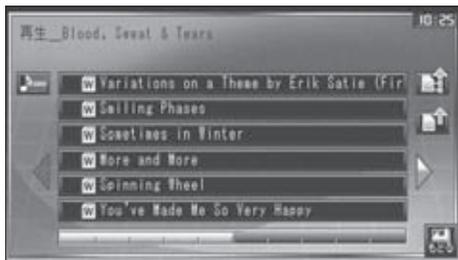


サブカテゴリのリストが表示されます。サブカテゴリの[再生]にタッチすると、そのサブカテゴリ内の曲がプレイされます。

サブカテゴリのボタンにタッチすると、その下位のサブカテゴリのリストが表示されます。サブカテゴリの階層数は、カテゴリによって異なります。



Next Page



サブカテゴリを選んでゆくと、曲のリストが表示されます。

曲のボタンにタッチすると、曲がプレイされます。

目的の曲が表示されていないときは、表示されるまで ◀ または ▶ にタッチします。

リストの下のスクロールバーにタッチしても、リストをスクロールできます。

Complete

≡ note

- ♪の付いているファイルがプレイ中(または選択されている)のファイルです。
- 各ファイルのボタンには、ファイルの種類がマークで表示されます。
 - 📁 : MP3ファイル
 - 📁 : WMAファイル
 - 📁 : AACファイル
- 📁 にタッチすると、ディスクのルート(最上位)フォルダに移動します。
- 📁 にタッチすると、1階層上のフォルダに移動します。
- 📁 にタッチすると、プレイ中の曲が含まれるページが表示されます。

カテゴリの文字列を指定して、ハードディスク内にある曲を検索します。

Before
Step

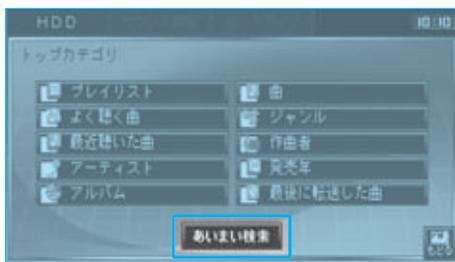
E052 (HDDメニューを表示)

1



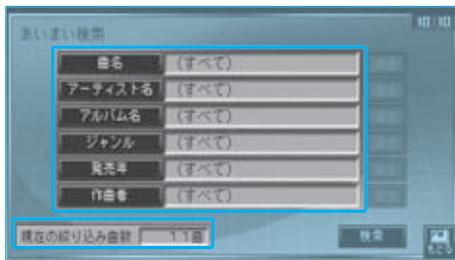
[トップカテゴリ]にタッチします。

2



[あいまい検索]にタッチします。

3



文字列と指定するカテゴリのボタンにタッチします。

絞り込まれた曲数が表示されます。

Next Page

C
共通

N
ナビゲーション

E
エンタテインメント

S
セットアップ

A
付録

ハードディスク内の曲を検索する

C
共通

4



検索する文字列などを指定し、[決定]にタッチします。

文字の入力方法については、「[N068](#) 文字の入力」をご覧ください。

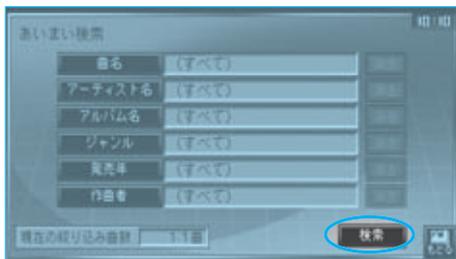
N
ナビゲーション

5

カテゴリを変えながら、手順3と4を繰り返します。

E
エンタテインメント

6



[検索]にタッチします。

S
セットアップ

7



プレイする曲のボタンにタッチします。

選択した曲がプレイされます。

A
付録

Complete

■ note

- あいまい検索条件のうち、「ジャンル」と「発売年」は表示されるリストから選択し、完全に一致する曲が検索されます。その他の条件では、手順4で入力した文字列が含まれる曲が検索されます。
- 手順3または6の画面で、[消去]にタッチすると、入力した検索文字列を削除できます。

プレイ中の曲をプレイリストに追加します。

Before
Step

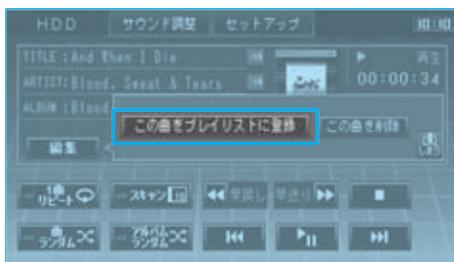
E052 (HDDメニューを表示)

1



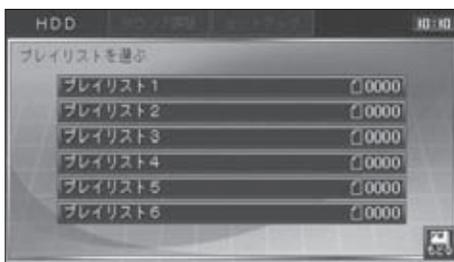
[編集]にタッチします。

2



[この曲をプレイリストに登録]にタッチします。

3



追加先のプレイリストのボタンにタッチします。

Next Page

C
共通

N
ナビゲーション

E
エンタティメント

S
セットアップ

A
付録

4

[はい]にタッチします。

再生中の曲がプレイリストに追加され、HDDメニューに戻ります。

Complete

≡ note

- すでに同じ曲がプレイリストにある場合は追加されません。

ハードディスク内の再生中の曲を削除する

不要になったハードディスク内の曲を削除します。

Before
Step

E052 (HDDメニューを表示)

1



[編集]にタッチします。

2



[この曲を削除]にタッチします。

3

[はい]にタッチします。

再生中の曲がハードディスクから削除されます。

4

[はい]にタッチします。

HDDメニューに戻ります。

Complete

■ caution

- 削除した曲を元に戻すことはできません。間違いのないように、慎重に操作してください。

■ note

- 手順3で、[いいえ]にタッチすると、曲の削除を中止できます。

C
共通

N
ナビゲーション

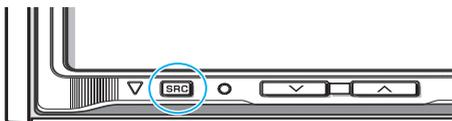
E
エンタティメント

S
セットアップ

A
付録

外部入力に接続したビデオ機器の映像を表示します。

1



[SRC] を押します。

2



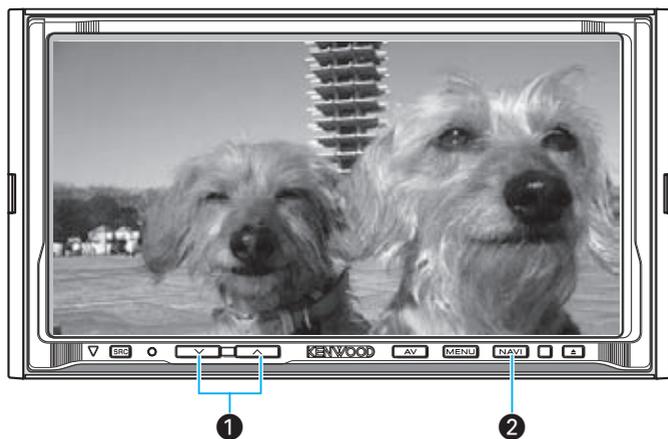
[AV in] にタッチします。

映像と音声は外部ビデオに切り替わります。

Complete

note

- **[MAXI]** を押すと、画面は現在地図画面に戻ります。この際、音声は切り替わりません。



① 、 (ボリュームキー)
ビデオの音量を調整します。

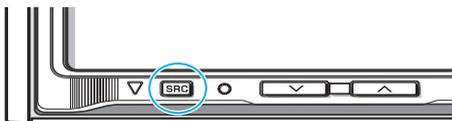
②  (ナビキー)
映像をナビの画面に切り替えます。
音声は変わりません。

≡ note

- 外部ビデオソースの映像を映すためには、外部入力選択を外部ビデオ機器 (VIDEO) に設定しておいてください。 5023
- 本機からは外部ビデオ機器を操作できません。ビデオ機器側で操作してください。
- 走行中は、外部ビデオの映像は映りません。

外部入力に接続されたオーディオ機器の音声を出力します。

1



 を押します。

2



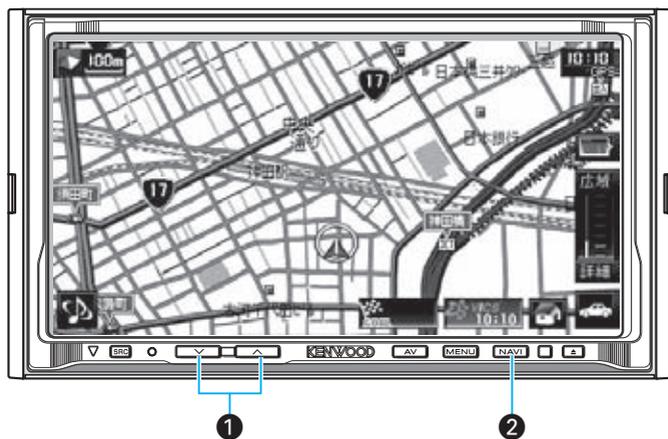
[AV in]にタッチします。

音声が外部オーディオに切り替わります。

Complete

note

- 音声が外部オーディオに切り替わると同時に、画面には壁紙が表示されます。 を押すと、画面は現在地図画面に戻ります。この際、音声は切り替わりません。



- ① 、 (ボリュームキー)
オーディオの音量を調整します。

- ②  (ナビキー)
映像をナビの画面に切り替えます。音声は外部オーディオのまま切り替わりません。

≡ note

- 外部オーディオソースをプレイするためには、外部入力選択を外部オーディオ機器 (AUX) に設定しておいてください。
 S023
- 本機からは外部オーディオ機器を操作できません。オーディオ機器側で操作してください。

バック時にリアビューカメラ(別売品)の画像を映すことができます。

1



車のセレクトターをリバースにします。



Complete

≡ caution

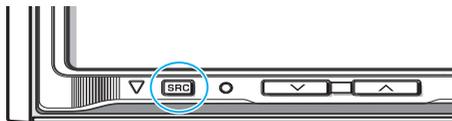
- リアビューカメラ(別売品)の映像は、あくまで後方確認の補助として使用し、実際に目視して運転してください。

≡ note

- 画像が表示されない場合は、バックセンサーとリアビューカメラ(別売品)の接続を確認してください。
- 車のセレクトターをリバースにすると、ナビやオーディオの音量が一時的に小さくなるように設定することもできます。 **S023**

別売品のリアモニターが接続されている場合には、リアモニターのAVソースを選択できません。

1



約2秒間以上 **SRC** を押します。

2



プレイするソースのボタンにタッチします。

Complete

≡ note

- リアモニターを使用する前に、リアモニターの設定をオンにしておいてください。 **S023**
- リアモニターの使用時には、リアのAVソースの操作ボタンもくるくるボタンに表示されます。このため、切り替わるソースと順番がフロントモニターだけを使用している場合と異なります。目的のボタンが表示されるまで、くるくるボタンに何回かタッチしてください。
- フロントソースとしてハードディスク (HDD) またはUSBデバイスが選択されている場合には、リアソースとしてディスク (DVD、CD、または圧縮ファイル) は選択できません。
- ナビ、ラジオ、USB、およびハードディスクの画面や音声は、リアモニターに出力できません。
- 選択したソースの音声は、リアモニターのスピーカーから出力してください。
- 以下の場合、VICS FMが受信できなくなったり、感度が悪くなる場合があります。
 - 車両のアンテナが格納されているとき
 - フロントでラジオを聴いていて、リアでアナログテレビを見ているとき (HDV-790のみ)

サウンド調整メニューを表示する

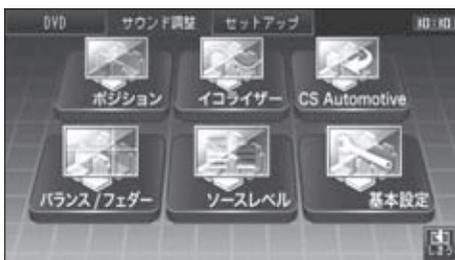
サウンドの各種の調整を行うサウンド調整メニューを表示します。

C
共通Before
StepN
ナビゲーション

1



[サウンド調整]にタッチします。

E
エンタテインメント

サウンド調整メニュー画面が表示されます。

S
セットアップ

Complete

サウンド調整メニューに表示されるボタンは次のとおりです。

ボタン	説明	
	オーディオシステムの構成を設定します。	S002
	リスニングポジションを設定します。	S003
	音楽のジャンルに合わせた音質を設定します。	S004
	サラウンドと音場を設定します。	S005
	左右および前後の音量バランスを調整します。	S007
	AVソースごとの音量の違いを調整します。	S008

A
付録

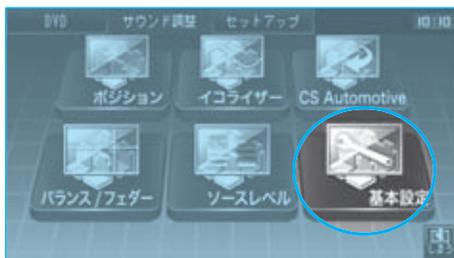
オーディオ構成を設定する

最適な音場を作り出すために、オーディオシステムの構成を設定します。

Before
Step

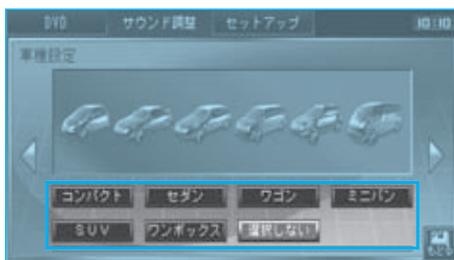
S001 (サウンド調整メニューを表示)

1



[基本設定]にタッチします。

2



車種のボタンにタッチします。

3



▶にタッチします。

Next Page

C
共通N
ナビゲーションE
エンタテインメントS
セットアップA
付録

オーディオ構成を設定する

C
共通

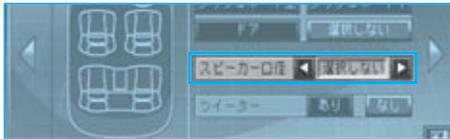
4



フロントスピーカー位置のボタンにタッチします。

N
ナビゲーション

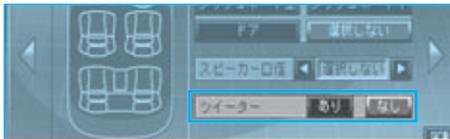
5



◀ または ▶ にタッチして、フロントスピーカーの口径を選択します。

E
エンタテインメント

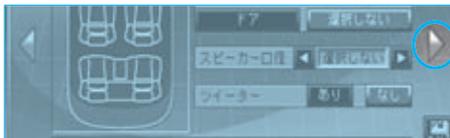
6



[あり]または[なし]にタッチして、ツイーターの有無を選択します。

S
セットアップ

7

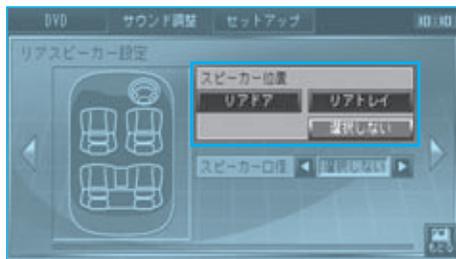


▶ にタッチします。

A
付録

Next Page

8



リアスピーカー位置のボタンにタッチします。

9



◀ または ▶ にタッチして、リアスピーカーの口径を選択します。

10



[もどる]にタッチします。

Complete

C
共通N
ナビゲーションE
エンターテインメントS
セットアップA
付録

note

- オーディオ構成を変更すると、SRS WOWの設定は自動的に「USER」に変わります。S005
- 手順2で、自分の車種に一致するものがない場合は、似ている車種を選択してください(例：クーペ→[セダン]など)。
- 手順5および9で、スピーカーの口径がわからない場合は「選択しない」を選択してください。

ポジションを設定する

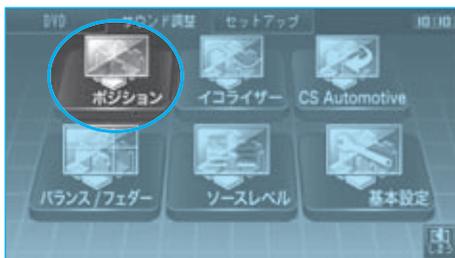
リスニングポジションを設定します。

C
共通

Before
Step

S001 (サウンド調整メニューを表示)

1



[ポジション]にタッチします。

N
ナビゲーション

2



リスニングポジションのボタンに
タッチします。

E
エンタテインメント

3



[もどる]にタッチします。

S
セットアップ

A
付録

Complete

note

- ソースOFFの場合は、設定できません。

イコライザーを設定する

音楽のジャンルに合わせて音質を設定します。

Before
Step

S001 (サウンド調整メニューを表示)

1



[イコライザー]にタッチします。

2



ジャンルのボタンにタッチします。

3



[もどる]にタッチします。

Complete

C
共通

N
ナビゲーション

E
エンタテインメント

S
セットアップ

A
付録

イコライザーを設定する

C
共通

設定できるジャンルは次のとおりです。

ボタン	説明
NATURAL	自然でフラットなサウンドを再現します。
ROCK	スピーディーで力強いアタック音を再現します。
POPS	中高域をメインにしたリズムカルな音を再現します。
EASY	中高域をベースにした味わいの深いサウンドを再現します。
JAZZ	ウッドベースの音階やボーカルの質感を鮮明に再現します。
FLAT	トーンカーブをフラットにして、原音のままに出力します。

N
ナビゲーションE
エンタテインメントS
セットアップA
付録

≡ note

- ソースOFFの場合は、設定できません。
- イコライザーは、AVソースごとに個別に設定できます。設定を始める前に設定するAVソースを選択してください。なお、設定するAVソース名は画面(手順2の画面など)に表示されます。

サラウンドと音場を選択する

サラウンドと音場を設定します。

Before
Step

S001 (サウンド調整メニューを表示)

1



[CS Automotive]にタッチします。

2



◀ または ▶ にタッチして、SRS Circle Surround IIの種類を選択します。

3



◀ または ▶ にタッチして、MIX to Rearのレベルを選択します。

Next Page

4



[OFF]～[USER]にタッチして、SRS WOW音場を選択します。

5



[もどる]にタッチします。

Complete

■ note

- Circle Surround IIは、マルチチャンネルサラウンドの音場を作る機能です。MIX to Rearは、フロントスピーカーの音をリアスピーカーからも出す機能です。SRS WOWは、立体的な音場や迫力のある低音を作る機能です。詳しくは、**[A015]** AV用語集」をご覧ください。
- SRS Circle Surround IIおよびMIX to Rearは、AVソースごとに個別に設定できます。設定を始める前に設定するAVソースを選択してください。なお、設定するAVソース名は画面(手順2の画面など)に表示されます。
- SRS Circle Surround IIの設定がオフのときには、「MIX to Rear」は設定できません。
- SRS Circle Surround II WOWのプリセット値は次のとおりです。

プリセット	FOCUS	TruBass	SRS 3D
[OFF]	OFF	OFF	OFF
[LOW]	3	2	1
[MID]	6	3	2
[HIGH]	8	4	4
[USER]	[S006 きめ細かく音場を調整する]での設定		

- ソースOFFの場合は、設定できません。

きめ細かく音場を調整する

きめ細かくSRS WOWの音場を調整します。

Before
Step

S005 (CS Automotiveを表示)

1



[ADJUST]にタッチします。

2



◀ または ▶ にタッチして、各項目のレベルを調整します。

3



[もどる]にタッチします。

Complete

■ note

- SRS 3Dは、立体的な音場を作ります。
FOCUSは、フロントスピーカーからの音像を上に移動します。
TruBassは、重低音を再現します。
詳しくは、「**A015** AV用語集」をご覧ください。
- 上記の操作で音場を調整すると、SRS WOWの設定は自動的に[USER]に変わります。
- ソースがラジオまたはテレビの場合、SRS 3Dは設定できません。
- SRS Circle Surround IIの設定がオフのときは、SRS 3D (リア)とFOCUS (リア)は設定できません。
- フロントスピーカーの位置やツイーターの有無設定を変更すると、FOCUS (フロント)の値が変わることがあります。
- リアスピーカーの位置設定を変更すると、FOCUS (リア)の値が変わることがあります。
- スピーカーの口径の設定を変更すると、TruBassの値が変わることがあります。
- ソースOFFの場合は、設定できません。

C
共通N
ナビゲーションE
エンタテインメントS
セットアップA
付録

バランスを調整する

左右および前後の音量バランスを調整します。また、サブウーファーのレベルも調整できます。

C
共通

Before Step

S001 (サウンド調整メニューを表示)

N
ナビゲーション

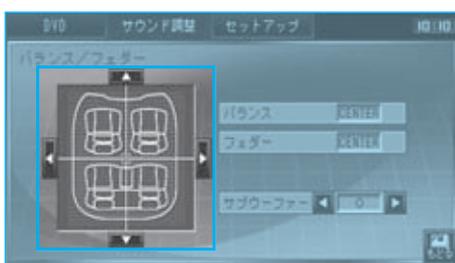
1



[バランス/フェダー]にタッチします。

E
エンタテインメント

2



◀、▶、▲、▼ にタッチして、左右および前後の音量バランスを調整します。

S
セットアップ

3



◀ または ▶ にタッチして、サブウーファーのレベルを設定します。

A
付録

4



[もどる]にタッチします。

Complete

≡ note

- ソースOFFの場合は、設定できません。

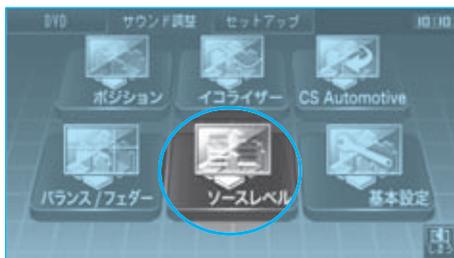
ソースごとの音量バランスを設定する

AVソースごとの音量の違いを調整します。音量の基準はCDソースです。

Before
Step

S001 (サウンド調整メニューを表示)

1



[ソースレベル]にタッチします。

2



各ソースの **+** または **-** にタッチして、CDソースとの音量の差を調整します。

3



[もどる]にタッチします。

Complete

■ note

- [初期値へ戻す]にタッチすると、全ソースの設定を“0”に戻せます。
- AV-INソースのボリュームのレベルの設定はできません。常にCDソースと同じ音量レベルとなります。
- ソースOFFの場合は、設定できません。

C
共通

N
ナビゲーション

E
エンタテインメント

S
セットアップ

A
付録

セットアップメニューを表示する

本機の全般的な設定を行うセットアップメニューを表示します。

C
共通Before
StepN
ナビゲーション

1



[セットアップ]にタッチします。

E
エンタテインメント

セットアップメニュー画面が表示されます。

S
セットアップ

Complete

セットアップメニューに表示されるボタンは次のとおりです。

ボタン	説明	
	画質の設定やタッチ位置の認識補正、画像の表示位置設定などを行います。	S010 ~ S012
	車両情報の設定や接続状態の確認などを行います。	S013 ~ S017
	音声サポートの口調を設定します。	S018
	DVDやCDに関する各種の設定を行います。	S019 ~ S022
	システムの動作に関する各種の設定を行います。	S023 ~ S026
	HDDに関する各種の編集を行います。	S027 ~ S035
	本機を使うための基本的な設定を行います。	「かんたんナビブック」をご覧ください。

画質を調整する

AVソースやナビの画質と画面モードを調整します。

Before
Step

S009 (セットアップメニューを表示)

1



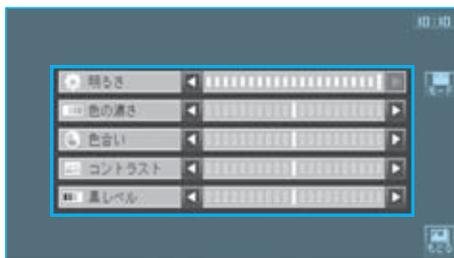
[画面設定]にタッチします。

2



[画質]にタッチします。

3

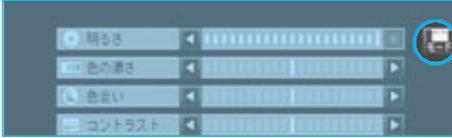


◀ または ▶ にタッチして、各項目を調整します。

Next Page

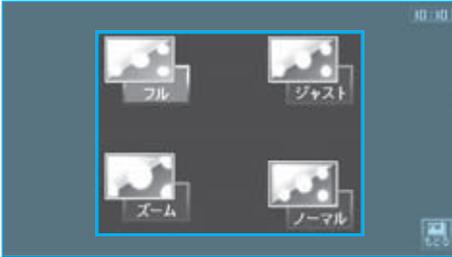
C
共通N
ナビゲーションE
エンタテインメントS
セットアップA
付録

4



[モード]にタッチします。

5



画面モードのボタンにタッチします。

6



[もどる]にタッチします。

Complete

設定できる画質は次のとおりです。

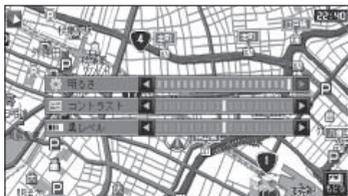
項目	説明
明るさ	明るさを調整します。 ◀にタッチすると暗く、▶にタッチすると明るくなります。
色の濃さ	色の濃淡を調整します。 ◀にタッチすると淡く、▶にタッチすると濃くなります。
色合い	色相を調整します。 ◀にタッチすると緑が強くなり、▶にタッチすると赤が強くなります。
コントラスト	コントラストを調整します。 ◀にタッチするとコントラストが弱くなり、▶にタッチするとコントラストが強くなります。
黒レベル	黒のレベルを調整します。 ◀にタッチすると黒が濃くなり、▶にタッチすると黒が淡くなります。

設定できる画面モードは次のとおりです。

ボタン	説明
	映像を横方向に一定の比率で拡大して、画面にピッタリと合わせます。映像ソースによっては横長に見える場合があります。
	画面の中心から映像の横拡大率を徐々に大きくして、画面にピッタリと合わせます。映像ソースによっては、左右に不自然に伸びて見える場合があります。
	映像を縦横ともに一定の比率で拡大して、画面に横方向をピッタリと合わせます。映像ソースによっては、上下が少し切れる場合があります。
	映像の縦方向を画面にピッタリと合わせます。映像によっては、左右に空白ができる場合があります。

≡ note

-  は、現在のソースがDVD、ワンセグ、またはアナログテレビのときにのみ表示されます。
- DVD、ワンセグ、アナログテレビ、外部ビデオなど、映像ソースごとに調整できます。
- ナビモード時に上記の操作を行うと、次の画質調整画面が表示されます。「色の濃さ」と「色合い」はナビモードでは設定できません。



- お買い上げ時やメニュー画面表示中は「フル」に設定されています。
- ナビモードでは、画面モードは常に「フル」に固定されます。

タッチ位置を補正する

画面にタッチして認識する位置を補正します。

C
共通

Before
Step

S009 (セットアップメニューを表示)

1



[画面設定]にタッチします。

N
ナビゲーション

2



[タッチパネル]にタッチします。

E
エンタテインメント

3



⊗ 右上のマーク ⊗ にタッチします。

S
セットアップ

A
付録

Next Page

4

左下のマーク  にタッチします。

Complete

C
共通N
ナビゲーションE
エンタテインメントS
セットアップA
付録

note

- タッチ位置の補正は、画面のボタンなどに正しくタッチしたのに認識されないときなどに行ってください。
- 正確なタッチ位置を指定するために、できるだけ  の中心にタッチしてください。
- 手順3または4で[リセット]にタッチすると、お買い上げ時の状態に戻ります。
- 手順3または4で[もどる]にタッチすると、タッチ位置の認識補正を中止できます。
-  を約2秒間以上押し続けても、タッチ位置の補正が行えます。

画面の位置を調整する

地図や映像などの表示位置を調整します。

C
共通
Before
Step

S009 (セットアップメニューを表示)

1



[画面設定]にタッチします。

N
ナビゲーション

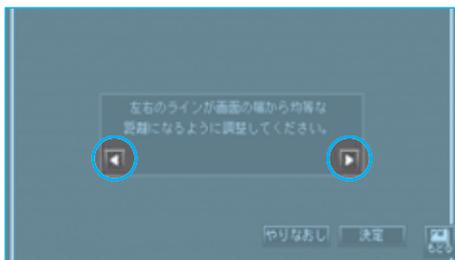
2



[画面位置]にタッチします。

E
エンタテインメント

3



◀ または ▶ にタッチして、位置を調整します。

S
セットアップ

4

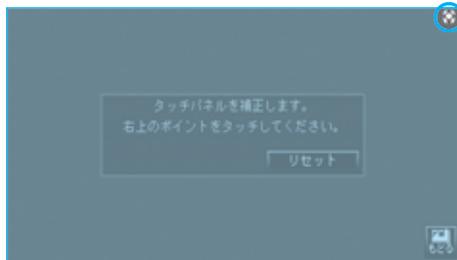


[決定]にタッチします。
タッチ位置を補正する画面が表示されます。

A
付録

Next Page

5

● 右上のマーク  にタッチします。

6

● 左下のマーク  にタッチします。

Complete

C
共通N
ナビゲーションE
エンタテインメントS
セットアップA
付録

note

- 手順3で[もどる]にタッチすると、位置調整を中止して手順2へ戻ります。
- 手順3では、左右の縦線が画面の枠から等間隔になるように調整してください。
- 手順4では、[決定]にタッチする前であれば、[やりなおし]にタッチして調整前の状態に戻せます。
- 上記の手順で画面の位置を調整したときには、続けてタッチ位置を補正してください。  S011

ナビ機能を設定する

ナビの機能を設定します。

C
共通

Before
Step

S009 (セットアップメニューを表示)

N
ナビゲーション

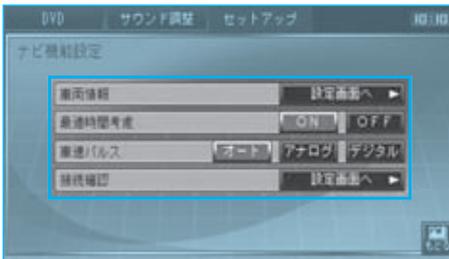
1



[ナビ機能設定]にタッチします。

E
エンタテインメント

2



各項目を設定します。

S
セットアップ

3



[もどる]にタッチします。

A
付録

Next Page

設定する機能は次のとおりです。

項目	選択肢	説明	
車両情報		車両の種類を設定します。	S014
最適時間考慮	ON*	VICS渋滞情報を考慮したルート探索を行います。	—
	OFF	考慮しません。	—
車速パルス	オート*	車速パルスの方式を設定します。 通常は「オート」を選択してください。	—
	アナログ		
	デジタル		
接続確認		各種ケーブルの接続状態を表示します。 また、車速パルスの学習のリセットや、現在地を補正します。	S015 ~ S017

* お買い上げ時の設定です。

≡ note

- 車速パルスの種類(オート、アナログ、デジタル)の設定を変更すると、パルス学習はリセットされます。

車両情報を設定する

車両情報(車両種別)を設定します。

C
共通Before
Step

S013 (ナビ機能設定画面を表示)

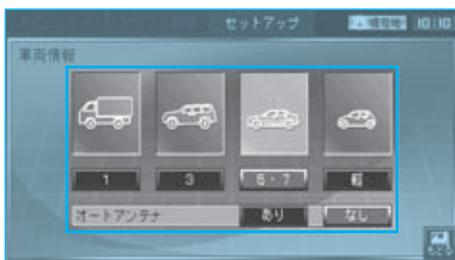
1



「車両情報」の[設定画面へ]にタッチします。

N
ナビゲーション

2



車両種別とオートアンテナの有無を設定します。

- 1 : 大型貨物自動車
- 3 : 普通乗用自動車
- 5・7 : 小型乗用自動車
- 8 : 軽自動車

E
エンタテインメント

3



[もどる]にタッチします。

S
セットアップA
付録

Complete

note

- 車種の設定は、有料道路(高速道路)の通行料金の計算に利用されます。
- 1ナンバーを選択した場合は、中型車の料金が案内されます。
- 車両にオートアンテナが装備され、手順2で「オートアンテナ」を[あり]に設定すると、ソース切替画面 (E002) にオートアンテナを手動で伸展または収納するボタンが表示されます。

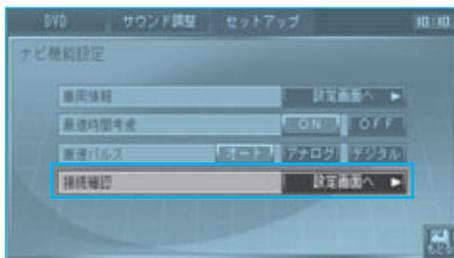
接続状態を確認する

本機の各種のケーブルの接続状態を表示します。

Before
Step

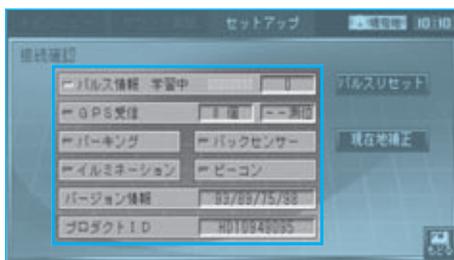
S013 (ナビ機能設定画面を表示)

1



「接続確認」の[設定画面へ]にタッチします。

2



接続を確認します。

3



[もどる]にタッチします。

Complete

設定する機能は次のとおりです。

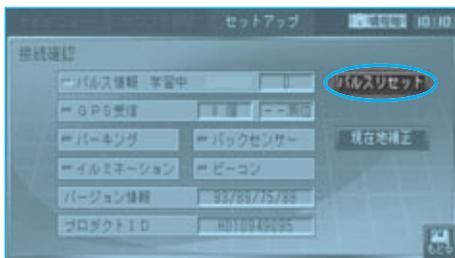
項目	説明
パルス学習	パルス学習の状態が表示されます。 「学習中」と表示されている場合は、本機取り付け直後またはパルスリセット後のパルス学習がまだ完了していない状態であることを示します。
GPS受信	受信中のGPS衛星の数と測位レベル(2D/3D)が表示されます。 「2D測位」と表示されている場合は、受信できるGPS衛星の数が少ないか、GPS衛星の配置が悪いため、「3D測位」ができない状態であることを示します。
パーキング、バックセンサー、イルミネーション、ビーコン	パーキング検出コード、リバース検出コード、イルミネーションの各ケーブル、および別売品の電源・光ビーコンVICSユニット(VF-M99)が正しく接続されて動作しているときに、橙色のインジケータが点灯します。
バージョン情報、プロダクトID	バージョン情報やプロダクトIDが表示されます。

パルス学習をリセットする

タイヤを交換したときなどに、車速パルスの学習をリセットします。

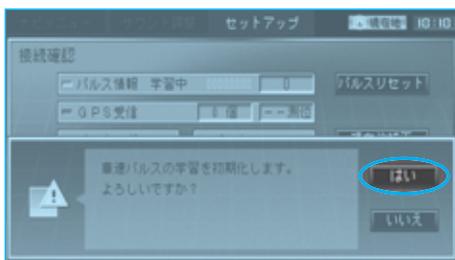
C 共通
Before Step
S013 (ナビ機能設定画面を表示)

1



[パルスリセット]にタッチします。

2



[はい]にタッチします。

3



[もどる]にタッチします。

A Complete

note

- 本機では、車速パルスと走行距離の関係を学習することによって、自車位置の測位を最適化しています。
- 通常は、車速パルス数をリセットする必要はありません。タイヤを交換したときなどに行ってください。
- 車速パルスをリセットすると、車速パルスの学習が完了するまでの間、自車位置がずれる場合があります。

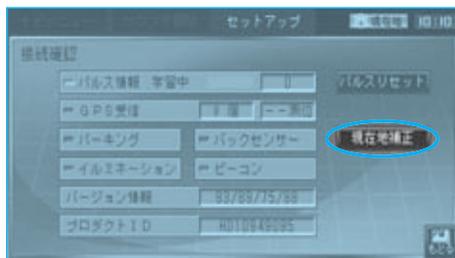
現在地を補正する

GPS衛星からの電波を受信できないときに、地図上の自転車マークの位置を実際の位置に合わせます。

Before
Step

S015 (接続確認画面を表示)

1



[現在地補正]にタッチします。

2



検索する方法のボタンにタッチして、現在地を地点検索します。

地図 ☞ **N022**

住所 ☞ **N016**

でんわ ☞ **N017**、**N018**

経度・緯度 ☞ **N019**

3



[決定]にタッチします。

Next Page

C
共通

N
ナビゲーション

E
エンタティメント

S
セットアップ

A
付録

4



◀ または ▶ にタッチして、自車の向きを設定します。

5



[決定]にタッチします。

Complete

≡ note

- GPS衛星からの電波を受信して測位できるようになると、ここでの補正は無効になり、GPSでの測位位置が現在地となります。
- マップマッチングによって自車位置が変わることがあります。

音声サポートの口調などを設定する

画面が切り替わったときのガイダンス（音声サポート）の口調や速さを設定します。

Before
Step

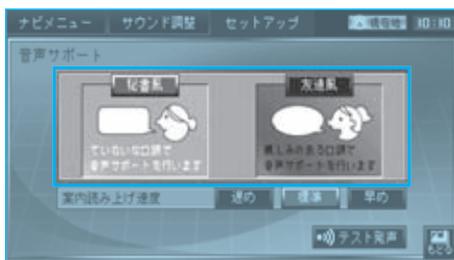
S009 (セットアップメニューを表示)

1



「音声サポート」にタッチします。

2



口調のボタンにタッチして、口調を選択します。

3



「案内読み上げ速度」のボタンにタッチして、スピードを設定します。

Next Page

C
共通

N
ナビゲーション

E
エンタテインメント

S
セットアップ

A
付録

4



[テスト発声]にタッチして、アナウンスの設定を確認します。

5



[もどる]にタッチします。

Complete

note

- ここでの設定はボイスアドバイザー (IC37 S023) の音声に対してのみ有効で、ルート案内やメモリー地点に設定したサウンドの音声には影響しません。
- お買い上げ時には、口調は「秘書風」、早さは「普通」に設定されています。

DVDやCDの機能を設定する

DVDやCDに関する機能を設定します。

Before
Step

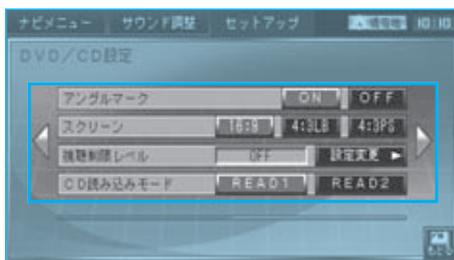
S009 (セットアップメニューを表示)

1



[DVD/CD設定]にタッチします。

2



各項目を設定します。

3



[もどる]にタッチします。

Complete

C
共通

N
ナビゲーション

E
エンタテインメント

S
セットアップ

A
付録

DVDやCDの機能を設定する

C
共通

設定する機能は次のとおりです。

項目	選択肢	説明	
音声言語変更		DVDの音声の優先言語を設定します。	S020
字幕言語変更		DVDの字幕の優先言語を設定します。	S020
メニュー言語変更		DVDのディスクメニューの優先言語を設定します。	S020
DivX登録コード		DivX登録コードが表示されます。	
アングルマーク	ON*	アングル切り替えが可能なシーンでアングルマークを表示します。	—
	OFF	表示しません。	—
スクリーン	16:9*	通常、この設定でお使いください。	
	4:3LB	ワイド版の映像をレターボックス (LB) 方式で表示します。	—
	4:3PS	ワイド版の映像をパン&スキャン (PS) 方式で表示します。	
視聴制限レベル		子供に有害なコンテンツの視聴制限を設定/解除します。	S021
CD読み込みモード	READ1*	音楽CDとオーディオファイル等のデータディスクを自動的に識別します。	
	READ2	強制的に音楽CDとみなします。	

* お買い上げ時の設定です。

N
ナビゲーションE
エンタテインメントS
セットアップA
付録

≡ caution

- 本機にディスクが入っているときには、DVD/CD設定は行えません。

≡ note

- DivX登録コードは、DRM (デジタル著作権管理) のかかったコンテンツを購入するときに必要です。なお、コピー防止のため、表示されるDivX登録コードは記録されたコンテンツが再生されるたびに変わります。
- 「スクリーン」の設定は、本機とオプションのリアモニターで共通です。
- 「CD読み込みモード」は、通常は[READ1]でお使いください。音楽CDが正常に認識されないときのみ[READ2]に設定してください。
- 詳しくは、**[A015 AV用語集]**をご覧ください。

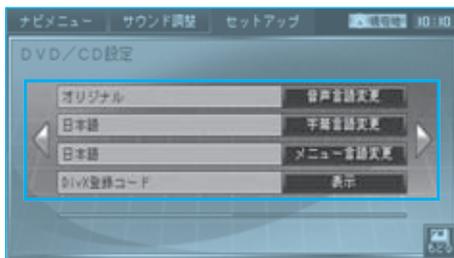
DVDの優先言語を設定する

DVDの音声、字幕、およびメニューの優先言語を設定します。

Before
Step

S019 (DVD/CD設定画面を表示)

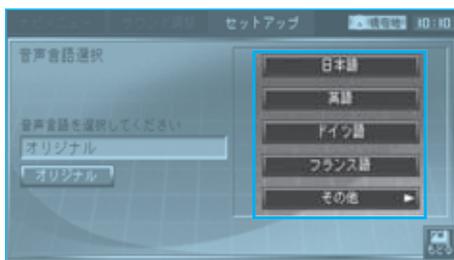
1



[音声言語変更]、[字幕言語変更]、または[メニュー言語変更]にタッチします。

[音声言語変更]、[字幕言語変更]、または[メニュー言語変更]が表示されていないときは、表示されるまで ◀ または ▶ にタッチしてください。

2



使用する言語のボタンにタッチします。

目的の言語のボタンが表示されていないときは[その他]にタッチします(→手順4へ)。

3



[もどる]にタッチします。

Next Page

C
共通

N
ナビゲーション

E
エンタテインメント

S
セットアップ

A
付録

4



使用する言語の言語コード(2文字)を入力します。

言語コードは「A008 DVDの言語コード」をご覧ください。

5



[決定]にタッチします。

6



[もどる]にタッチします。

Complete

note

- ここで設定した言語をDVDのプレイ時に変更することもできます。D3E E007
- [オリジナル]は、音声言語でのみ選択できます。
- 設定した優先言語がプレイするDVDに収録されていない場合は、DVDに収録されている言語になります。

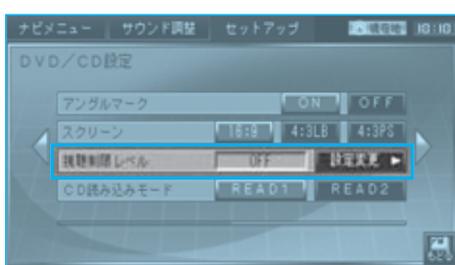
DVDの視聴制限レベルを設定/変更する

子供に見せたくないディスクやシーンを視聴制限レベル(パレンタルレベル)で制限します。

Before
Step

S019 (DVD/CD設定画面を表示)

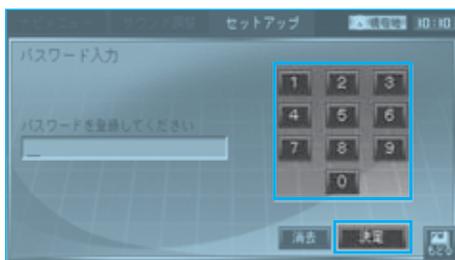
1



「視聴制限レベル」の[設定変更]にタッチします。

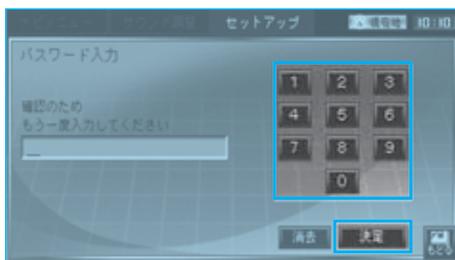
「視聴制限レベル」が表示されていないときは、表示されるまで ◀ または ▶ にタッチしてください。

2



4桁の暗証番号(パスワード)を入力し、[決定]にタッチします。

3



手順2と同じ暗証番号を入力し、[決定]にタッチします。

Next Page

C
共通

N
ナビゲーション

E
エンタテインメント

S
セットアップ

A
付録

DVDの視聴制限レベルを設定/変更する

C
共通

4



◀ または ▶ にタッチして、視聴制限レベルを選択します。

N
ナビゲーション

5



[もどる]にタッチします。

E
エンタテインメント

Complete

S
セットアップA
付録

■ note

- 暗証番号(パスワード)は忘れないようにメモしておいてください。
- 本機をリセットすると、設定した視聴制限レベルと暗証番号はお買い上げ時の状態に戻ります。
- 視聴制限レベルの変更時には手順3は不要です。
- 視聴制限レベルは8段階あり、数字が大きいほど、視聴制限レベルが高くなります。[OFF]に設定すると、視聴制限は解除されます。
- ディスクによっては、設定した視聴制限レベルよりも高いレンタルレベルが設定されているシーンになると、暗証番号の入力が要求される場合があります。暗証番号を入力すると、プレイが再開されます。

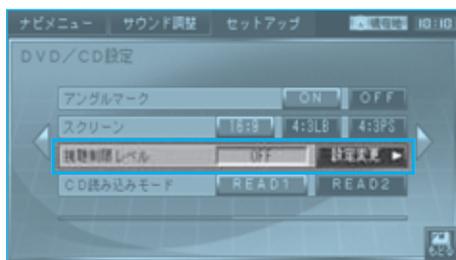
暗証番号を変更する

視聴制限レベルを変更/解除するための暗証番号（パスワード）を変更します。

Before
Step

S019 (DVD/CD設定画面を表示)

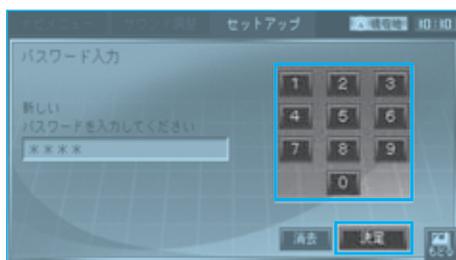
1



「視聴制限レベル」の[設定変更]にタッチします。

「視聴制限レベル」が表示されていないときは、表示されるまで ◀ または ▶ にタッチしてください。

2



4桁の暗証番号（パスワード）を入力し、[決定]にタッチします。

3



[パスワード変更]にタッチします。

Next Page

C
共通

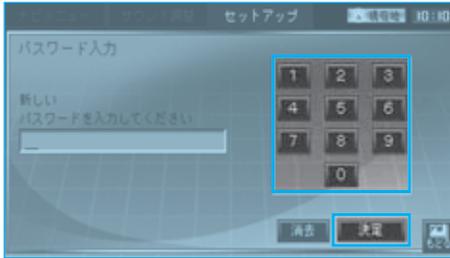
N
ナビゲーション

E
エンタテインメント

S
セットアップ

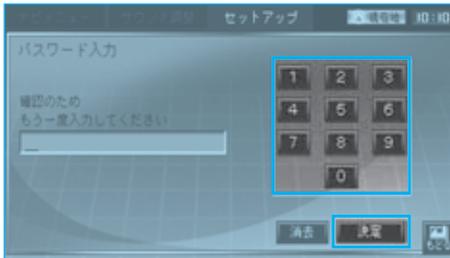
A
付録

4



4桁の暗証番号を入力し、[決定]にタッチします。

5



手順4と同じ暗証番号を入力し、[決定]にタッチします。

手順3の画面に戻ります。

Complete

≡ note

- 暗証番号は忘れないようにメモしておいてください。
- 本機をリセットすると、設定した視聴制限レベルと暗証番号はお買い上げ時の状態に戻ります。

システムの詳細を設定する

本機のシステム構成やナビとAVの関係等を設定します。

Before
Step

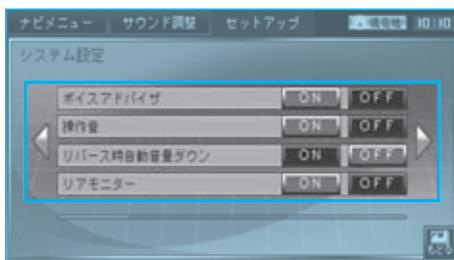
S009 (セットアップメニューを表示)

1



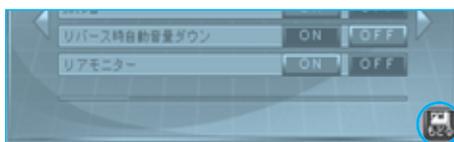
[システム設定]にタッチします。

2



各項目を設定します。

3



[もどる]にタッチします。

Complete

C
共通

N
ナビゲーション

E
エンタテインメント

S
セットアップ

A
付録

システムの詳細を設定する

C
共通

設定する機能は次のとおりです。

項目	選択肢	説明	
ボイスアドバイザ	ON*	メニュー画面や機能画面に切り替わったときに操作などを音声で案内します。	—
	OFF	案内しません。	—
操作音	ON*	操作時にビツと音を出します。	—
	OFF	音を出しません。	—
リバース時自動音量ダウン	ON	車のシフトをリバースにすると、オーディオの音量を一時的に小さくします。	—
	OFF*	音量を小さくしません。	—
リアモニター	ON	リアモニターを接続して使用するときに"ON"に設定します。	—
	OFF*		—
AV-IN設定	VIDEO*	外部入力にビデオ機器を接続しているときに選択します。	—
	AUX	外部入力にオーディオ機器を接続しているときに選択します。"AUX"に設定すると、映像入力端子に映像が入力されても表示されません。	—
リアビューカメラ	ON	リアビューカメラを接続して使用するときに"ON"に設定します。	—
	OFF*		—
オーディオ画面へのナビ表示割込	交差点案内+ビーコン	オーディオ画面に、交差点案内やVICS情報(ビーコン)を割り込み表示します。	—
	交差点案内のみ	オーディオ画面に、交差点案内のみを割り込み表示します。	—
	割込なし*	割り込み表示しません。	—
ナビ音声割り込み	ON*	AVソースの音声にナビのルート案内の音声を割り込みます。	—
	OFF	音声割り込みしません。	—
ナビ音声時オーディオ音量ダウン	全スピーカー	ナビの音声案内時に、全スピーカーのAVソースの音量を一時的に小さくします。	—
	フロントスピーカー	ナビの音声案内時に、フロントスピーカーのAVソースの音量を一時的に小さくします。	—
	OFF*	小さくしません。	—
ナビ音量		ナビの音量を設定します。	—
セキュリティコード設定	設定	セキュリティコードを設定します。	S024 ~
	解除*	セキュリティコードを解除します。	S025
セキュリティインジケータ	ON	電源オフ時にセキュリティインジケータが点滅します。	—
	OFF*	点滅しません。	—
交通情報受信局選択	522kHz		—
	1620kHz*	交通情報を受信する周波数を選択します。	—
	1629kHz		—

N
ナビゲーションE
エンタテインメントS
セットアップA
付録

項目	選択肢	説明	
ワンセグアップデート (HDV-990のみ)	開始	ワンセグチューナー部のファームウェアをアップデートします。	A012
ワンセグ設定初期化 (HDV-990のみ)	開始	ワンセグチューナーの設定をお買い上げ時の状態に戻します。	—

* お買い上げ時の設定です。

≡ caution

- ナビの案内画面が割り込み表示されているときにAVソースの画面を操作するときは、必ず[しまう]でナビの案内画面の割り込み画面を閉じてから操作してください。
ナビの案内画面の割り込み画面を閉じる前に割り込み画面以外の操作をすると、元のAVソースの画面に戻れなくなります。

≡ note

- 「リアモニター」を「ON」に設定すると、くるくるボタンでリアのAVソースの操作ボタンも表示できるようになります。目的のボタンが表示されるまで、くるくるボタンに何回かタッチしてください。
- 「オーディオ画面へのナビ表示割込」が[交差点案内+ビーコン]または[交差点案内のみ]に設定されていないと、AVソースの映像を表示しているとき、ガイドポイントに近づいてもナビのルート案内の画面は表示されません。お買い上げ時には[割込なし]に設定されています。
- 「ナビ音声割り込み」を[OFF]に設定すると、AVソースの音声をプレイしているときでもナビのルート案内はアナウンスされません。

セキュリティコードを設定する

セキュリティコード(暗証番号)を設定して、盗難を抑制します。

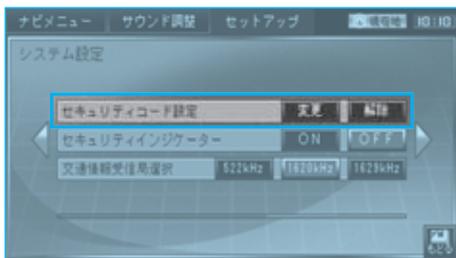
C
共通

Before
Step

S023 (システム設定画面を表示)

N
ナビゲーション

1

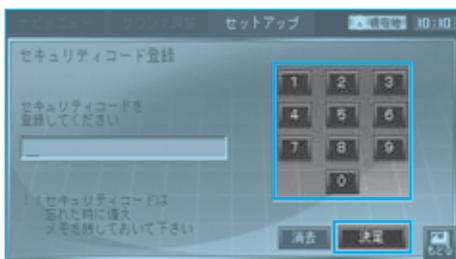


「セキュリティコード設定」の[変更]にタッチします。

「セキュリティコード設定」が表示されていないときは、表示されるまで ◀または ▶ にタッチしてください。

E
エンタテインメント

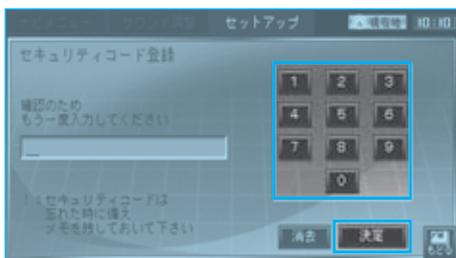
2



4桁の暗証番号(パスワード)を入力し、[決定]にタッチします。

S
セットアップ

3



手順2と同じ暗証番号(パスワード)を入力し、[決定]にタッチします。

A
付録

Next Page

4



[もどる]にタッチします。

Complete

C
共通N
ナビゲーションE
エンタテインメントS
セットアップA
付録

■ caution

- 設定したセキュリティコードは、忘れないように必ずメモしておいてください。忘れると、リセット後などに本機を使用できなくなります。忘れてしまった場合は、ケンウッドサービスセンターにご相談ください。

■ note

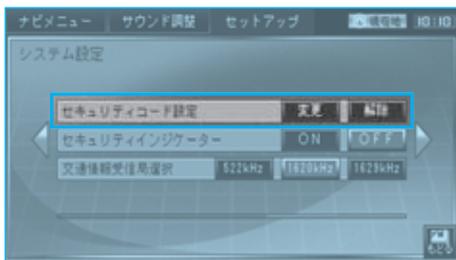
- 手順2および3で、[消去]にタッチすると、最後の1桁を消去できます。
- 手順3で入力した暗証番号が手順2での入力と異なっている場合は、手順2に戻ります。
- セキュリティコードの設定を解除することもできます。[038](#) [S025](#)
- セキュリティコードが設定されている場合は、リセットしたとき、またはバッテリーから取り外した後で電源をオンしたときにセキュリティコードの入力が必要になります。[038](#) [S026](#)

セキュリティコードを解除する

設定されているセキュリティコード(暗証番号)を解除します。

C 共通
Before Step
S023 (システム設定画面を表示)

1

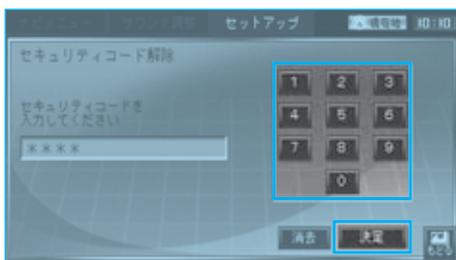


「セキュリティコード設定」の[解除]にタッチします。

「セキュリティコード設定」が表示されていないときは、表示されるまで ◀または ▶ にタッチしてください。

N ナビゲーション

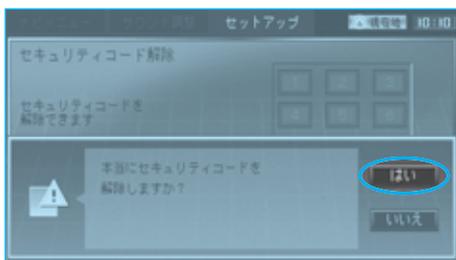
2



4桁の暗証番号を入力し、[決定]にタッチします。

E エンタテインメント

3



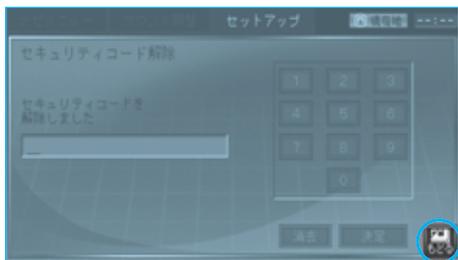
[はい]にタッチします。

S セットアップ

A 付録

Next Page

4



[もどる]にタッチします。

Complete

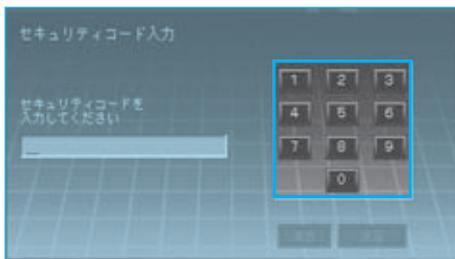
C
共通N
ナビゲーションE
エンタテインメントS
セットアップA
付録

note

- 手順2で、[消去]にタッチすると、最後の1桁を消去できます。
- セキュリティコードは、リセットしたり、バッテリーを外しても解除されません。

セキュリティコードが設定されているときには、リセット後などにセキュリティコードを入力しないと、本機を使用できません。

1



セキュリティコードを入力します。

2



[決定]にタッチします。

Complete

note

- セキュリティコードが設定されている場合は、リセットしたとき、またはバッテリーから取り外した後で電源をオンしたときにセキュリティコードの入力が必要になります。
- 入力したセキュリティコードが間違っていると、正しいセキュリティコードが入力されるまで、手順1から繰り返されます。
- セキュリティコードの設定を解除することもできます。🔗 S025

ハードディスクのデータを編集する

ハードディスク内の曲や管理データを編集します。

Before
Step

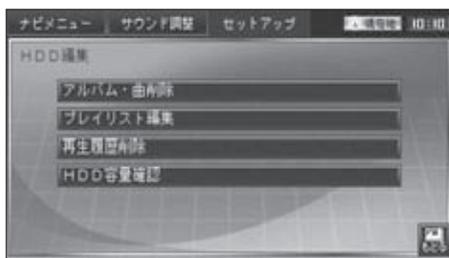
S009 (セットアップメニューを表示)

1



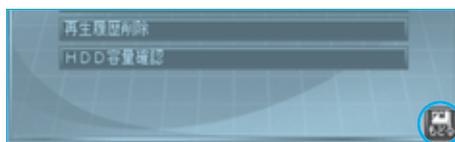
[HDD編集]にタッチします。

2



各項目を編集します。

3



[もどる]にタッチします。

セットアップ画面に戻ります。

Complete

編集する機能は次のとおりです。

項目	説明	
アルバム・曲削除	ハードディスク内に保存されている曲を削除します。	S028
プレイリスト編集	プレイリストへの曲の追加/削除や、プレイリストの名前の変更などを行います。	S029 ~ S033
再生履歴削除	ハードディスク内の曲をプレイした履歴データを消去します。	S034
HDD容量確認	ハードディスクの空き容量を表示します。	—

■ caution

- ソースがハードディスクのとき、USBデバイスからハードディスクに曲を転送しているとき、およびハードディスクから曲を削除しているときには、ハードディスク編集は行えません。

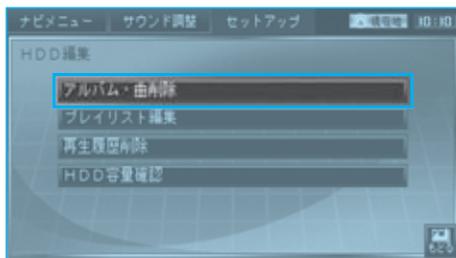
ハードディスク内の曲を削除する

ハードディスクに保存されている曲またはアルバムを削除します。

C
共通
Before
Step

S027 (HDD編集画面を表示)

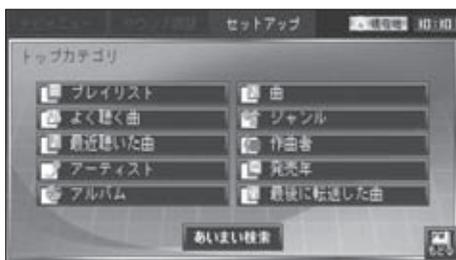
1



[アルバム・曲削除]にタッチします。

N
ナビゲーション

2

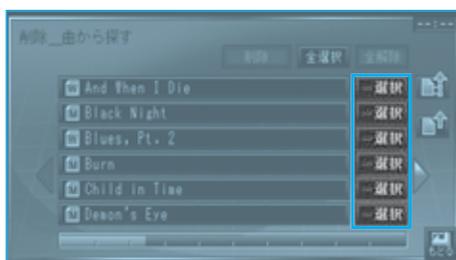


各種の方法で、削除する曲またはアルバムを探します。

曲やアルバムを探す方法については「[E049](#) 曲やアルバムを探す方法について」をご覧ください。

E
エンタテインメント

3

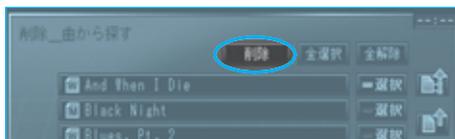


削除する曲またはアルバムの[選択]にタッチします。

S
セットアップA
付録

Next Page

4



[削除]にタッチします。

5

[はい]にタッチします。

選択した曲やアルバムが削除されます。

6

[はい]にタッチします。

HDD編集画面に戻ります。

Complete

C
共通N
ナビゲーションE
エンタテインメントS
セットアップA
付録

■ caution

- 削除した曲やアルバムを元に戻すことはできません。間違いのないように、慎重に操作してください。

■ note

- 手順3で、アルバムの[選択]のインジケータが赤色に点灯しているときは、アルバム自体とアルバム内のすべての曲が削除されます。また、緑色に点灯している場合は、アルバム内の一部の曲だけが削除されます。
- 手順3で、アルバムのリストでアルバムのボタンにタッチすると、そのアルバム内の曲のリストが表示されます。
- 手順3で、曲のリストで曲のボタンにタッチすると、曲の詳細画面が表示されます。



[画像を削除]にタッチすると、アルバムアートを削除できます。また、[この曲を削除]にタッチすると、表示されている曲を削除できます。

プレイリストの名前を変える

ハードディスクに保存されているプレイリストの名前を変えます。

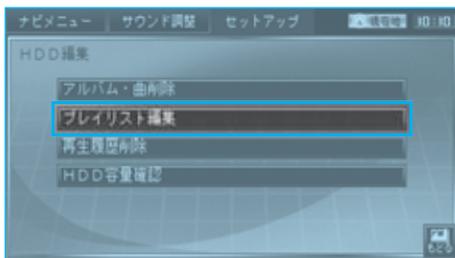
C
共通

Before Step

S027 (HDD編集画面を表示)

N
ナビゲーション

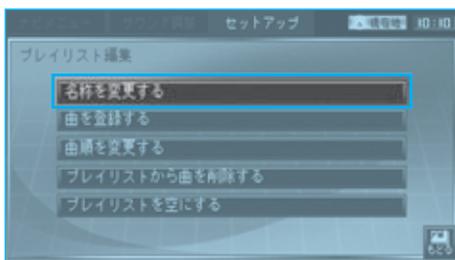
1



[プレイリスト編集]にタッチします。

E
エンタテインメント

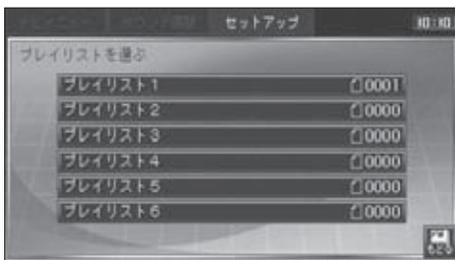
2



[名称を変更する]にタッチします。

S
セットアップ

3



名前を変えるプレイリストのボタンにタッチします。

A
付録

Next Page

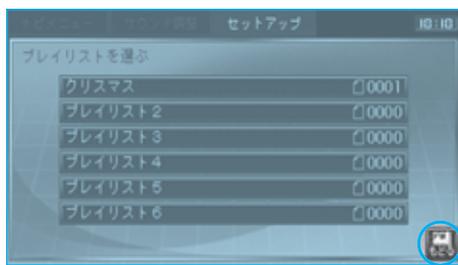
4



新しい名前を入力し、[決定]にタッチします。

文字の入力方法については、「[N068](#) 文字の入力」をご覧ください。

5



[もどる]にタッチします。

プレイリストを選ぶ画面に戻ります。

Complete

note

- 手順3で、文字入力画面を表示したときには、現在のプレイリスト名が入力された状態になっています。必要に応じて、「消去」にタッチして文字を消去してください。

プレイリストに曲を追加する

ハードディスクに保存されている曲をプレイリストに登録します。

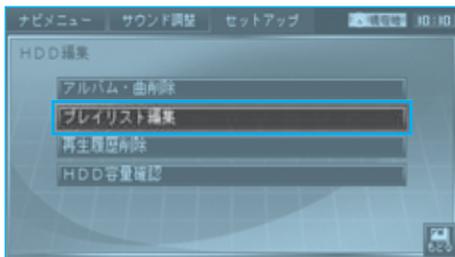
C
共通

Before
Step

S027 (HDD編集画面を表示)

N
ナビゲーション

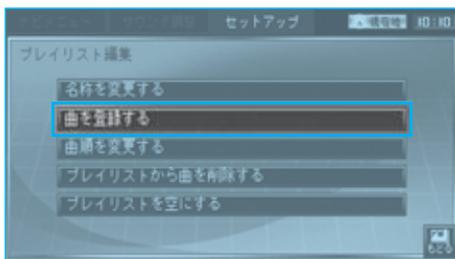
1



[プレイリスト編集]にタッチします。

E
エンタテインメント

2



[曲を登録する]にタッチします。

S
セットアップ

3



各種の方法で、プレイリストに登録する曲を探します。

曲やアルバムを探す方法については「**E053** カテゴリで選曲する」をご覧ください。

A
付録

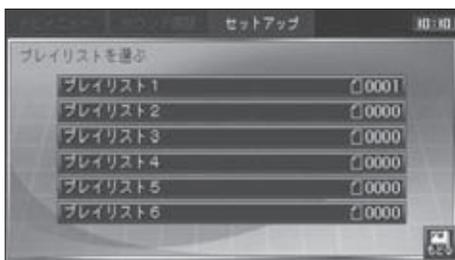
Next Page

4



登録する曲の[選択]にタッチします。

5



登録先のプレイリストのボタンにタッチします。

選択した曲がプレイリストに登録されます。

6

[はい]にタッチします。

プレイリスト編集画面に戻ります。

Complete

■ note

- 手順4で、[選択]にタッチするたびに、選択状態と選択解除状態が交互に切り替わります。
- 複数の曲を選択するときは、必要に応じて、手順3～4を繰り返します。
- 1つのプレイリストには4,500曲まで登録できます。

C
共通N
ナビゲーションE
エンタティメントS
セットアップA
付録

プレイリスト内の曲順を変更する

ハードディスクに保存されているプレイリスト内の曲順を変更します。

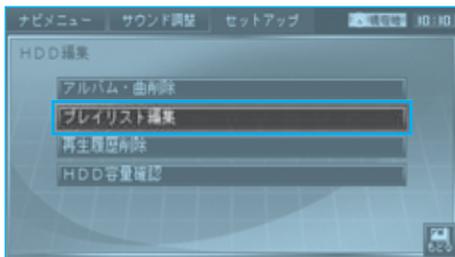
C
共通

Before Step

S027 (HDD編集画面を表示)

N
ナビゲーション

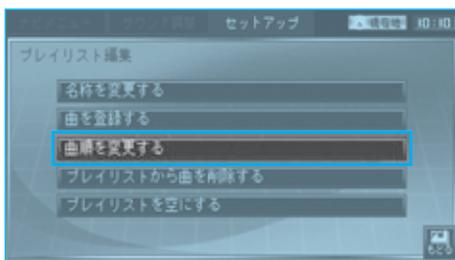
1



[プレイリスト編集]にタッチします。

E
エンタテインメント

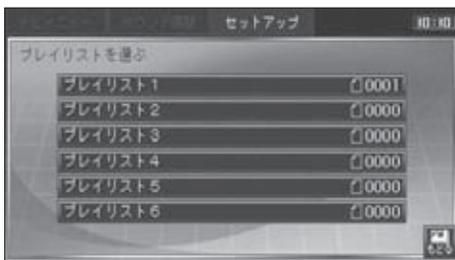
2



[曲順を変更する]にタッチします。

S
セットアップ

3

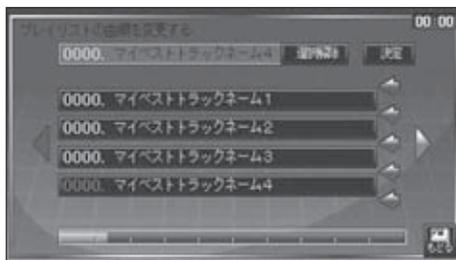


編集するプレイリストのボタンにタッチします。

A
付録

Next Page

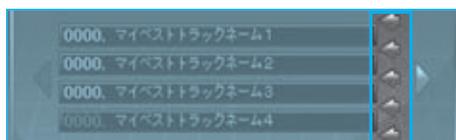
4



順番を変更する曲のボタンにタッチします。

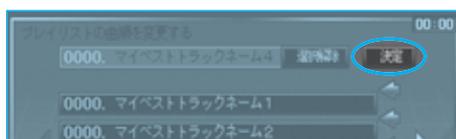
目的の曲が表示されていないときは、表示されるまで ◀ または ▶ にタッチしてください。

5



移動先の矢印にタッチします。

6



[決定]にタッチします。

7

[はい]にタッチします。

曲順が変更されます。

8

[もどる]にタッチします。

プレイリストを選ぶ画面に戻ります。

9

[もどる]にタッチします。

プレイリスト編集画面に戻ります。

Complete

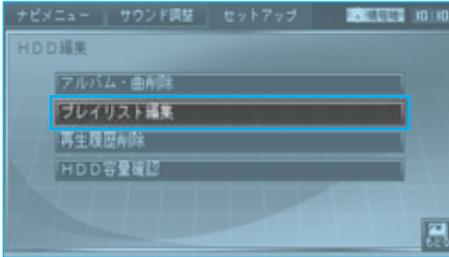
■ note

- プレイリスト内の曲順を変更すると、プレイされる曲の順番が変わります。
- 複数の曲の曲順を変えるときは、手順4と5を繰り返してください。
- 続けて他のプレイリストの曲順も変更するときは、手順7でプレイリストを選ぶ画面に戻ってから、手順3から繰り返してください。

プレイリストに登録されている曲を削除します。

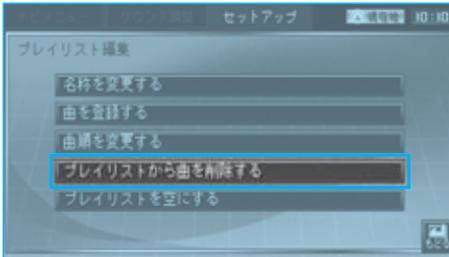
Before
Step**S027** (HDD編集画面を表示)

1



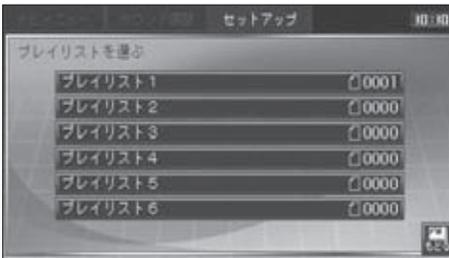
[プレイリスト編集]にタッチします。

2



[プレイリストから曲を削除する]にタッチします。

3



編集するプレイリストのボタンにタッチします。

Next Page

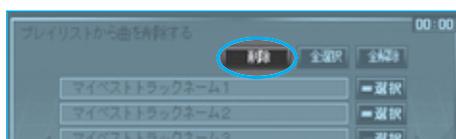
4



削除する曲の[削除]にタッチします。

目的の曲が表示されていないときは、表示されるまで ◀ または ▶ にタッチしてください。

5



[削除]にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。

6

[はい]にタッチします。

選択した曲がプレイリストから削除されます。

7

[はい]にタッチします。

プレイリスト編集画面に戻ります。

Complete

■ note

- この操作でプレイリスト内の曲を削除しても、ハードディスクに保存されている曲(オーディオファイル)自体は削除されません。曲自体を削除するときは、「E056 ハードディスク内の再生中の曲を削除する」または「S028 ハードディスク内の曲を削除する」をご覧ください。
- 手順4で、曲のボタンにタッチすると、曲の詳細情報を確認して削除することができます。
- 手順4で、[全選択]にタッチするとすべての曲をワンタッチで選択できます。また、[全解除]にタッチすると、すべての選択をワンタッチで解除できます。
- プレイリスト内のすべての曲を削除しても、プレイリスト自体は削除されません。

C
共通N
ナビゲーションE
エンタテインメントS
セットアップA
付録

プレイリスト内のすべての曲を削除する

プレイリストに登録されているすべての曲を削除して、プレイリストを空にします。

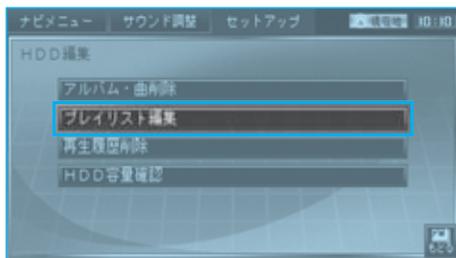
C
共通

Before Step

S027 (HDD編集画面を表示)

N
ナビゲーション

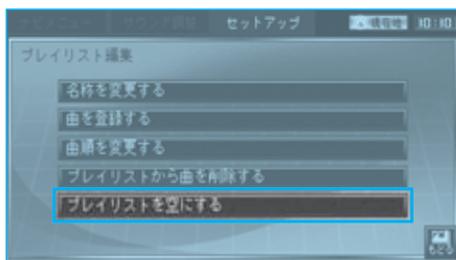
1



[プレイリスト編集]にタッチします。

E
エンタテインメント

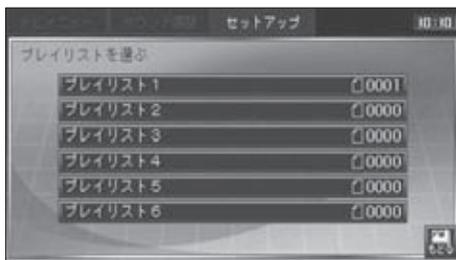
2



[プレイリストを空にする]にタッチします。

S
セットアップ

3



空にするプレイリストのボタンにタッチします。

確認のメッセージが表示されます。

A
付録

Next Page

4

[はい]にタッチします。
選択した曲がプレイリストから削除されます。

5

[はい]にタッチします。
プレイリスト編集画面に戻ります。

Complete

C
共通N
ナビゲーションE
エンタテイメントS
セットアップA
付録

≡ note

- プレイリスト内の曲を削除しても、ハードディスクに保存されている曲（オーディオファイル）自体は削除されません
曲自体を削除するときは、「[E056](#) ハードディスク内の再生中の曲を削除する」や「[S028](#) ハードディスク内の曲を削除する」をご覧ください。
- プレイリスト内のすべての曲を削除しても、プレイリスト自体は削除されません。

ハードディスク内の曲の再生履歴を削除する

ハードディスク内の曲の再生履歴（プレイ回数や最後にプレイした日時）を削除します。

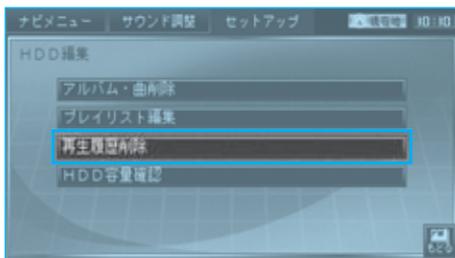
C
共通

Before Step

S027 (HDD編集画面を表示)

N
ナビゲーション

1



[再生履歴削除]にタッチします。
確認のメッセージが表示されます。

E
エンタテイメント

2

[はい]にタッチします。
再生履歴が削除されます。

3

[はい]にタッチします。
HDD編集画面に戻ります。

S
セットアップ

Complete

A
付録

note

- 再生履歴を削除した直後は、カテゴリ「最近聴いた曲」や「よく聴く曲」では選曲できません。

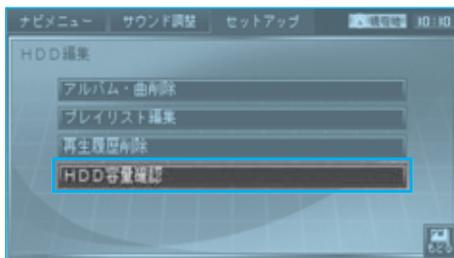
ハードディスクの容量を確認する

ハードディスクに保存されている全曲数、ハードディスクの残容量および保存可能な曲数(目安)を表示します。

Before
Step

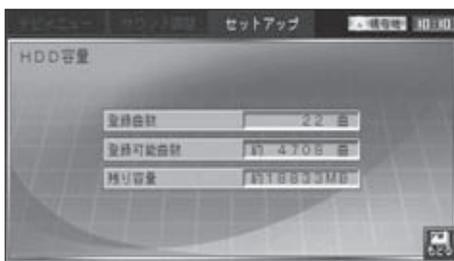
S027 (HDD編集画面を表示)

1



[HDD容量確認]にタッチします。

2



見終わったら、[もどる]にタッチします。

HDD編集画面に戻ります。

Complete

note

- ハードディスクには、オーディオファイルを約18GBまで保存できます。
- 保存可能曲数は、演奏時間が4分の曲をMP3 128kpbsで圧縮した曲を基準にしています。
- 保存可能曲数は、目安としてお使いください。

C
共通

N
ナビゲーション

E
エンタティメント

S
セットアップ

A
付録

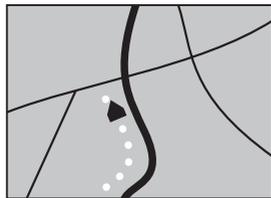
C マップマッチング機能について

共通

マップマッチングとは、自転車の位置が道路から外れた場合に、道路から外れた自転車の位置を論理的に地図画面の道路に合わせる機能のことです。

GPSや自律航法による測位には誤差が生じることがあり、現在地を道路以外の場所(川や海の上など)に表示してしまうことがあります。このような場合に、「車が海や川の上を走るはずがない」と論理的に判断し、現在地近くの道路に自動修正します。

マップマッチングしていない場合



マップマッチングしている場合



本機は、GPSと自律航法を併用し、精度の高い測位をした上でマップマッチング機能が動作するため、より正確な現在地を表示することができます。

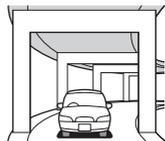
N
ナビゲーションE
エンタティメント

誤差について

本機は、GPSと自律航法を併用した精度の高い測位を元に、さらにマップマッチング機能を動作させて、最大限誤差を小さくしておりますが、さまざまな条件や状況によって、これらの機能が正しく動作せず、誤差が大きくなることもあります。

■ GPS測位不可により生じる誤差について

- 1) 次のような場所にいるときは、GPS衛星の電波が遮断され、電波を受信できないため、GPSによる測位ができないことがあります。

トンネルの中や
ビル内の駐車場2層構造の
高速道路の下

高層ビルの群衆地帯



密集した樹木の間

S
セットアップA
付録

- 2) 次のような場合は、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星からの電波を受信できなくなるため、GPSによる測位ができないことがあります。
 - 56チャンネル(UHF)のテレビを受信している場合。
 - GPSアンテナの近くで、自動車電話や携帯電話を使っている場合。
 - 3) 2基以下のGPS衛星の電波しか受信できない場合は、GPSによる測位ができないことがあります。
 - 4) GPSアンテナに、ベンキや車のワックスを塗った場合は、電波の感度が低下したり、電波を受信できなくなり、GPSによる測位ができないことがあります。
- GPSアンテナにベンキや車のワックスを塗らないでください。また、アンテナやアンテナ付近に雪が積もっている場合も電波の感度が低下します。雪が積もったときは、雪を取り除いてください。

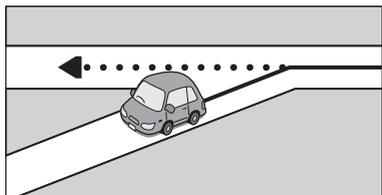
■ GPS衛星自体の原因により生じる誤差について

- 1) 電波を受信しているGPS衛星の配置が悪いとき（衛星が同じような方向や同じような高さにあるとき）には、十分な精度が得られないことがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 2) GPS衛星による測位の高さ方向に関する精度は、水平方向に対して、誤差がやや大きくなります。自車の高さよりも上にある衛星の電波は受信できますが、下（地球の裏側）に位置している衛星の電波は物理的に受信できないため、高さに関して十分な比較ができません。
- 3) 三次元測位のときは、約10m～100mの誤差で現在地を測位しますが、二次元測位のときは、三次元測位のときよりも誤差がやや大きくなります。
- 4) GPS衛星は米国防総省によって管理されているため、GPS衛星自体が意図的に誤った位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。

■ その他の誤差について

以下に示す状況の場合も、測位の誤差が大きくなります。

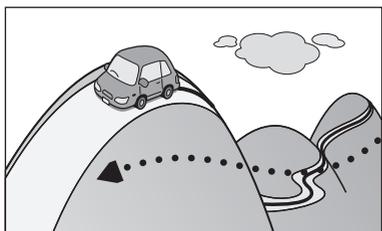
角度の小さいY字路を走行した場合



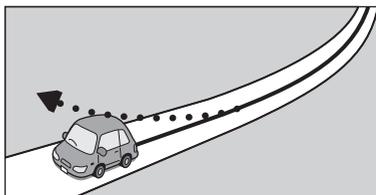
砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合



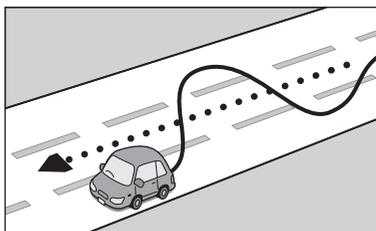
勾配の急な山道や、高低差のある道路を走行した場合



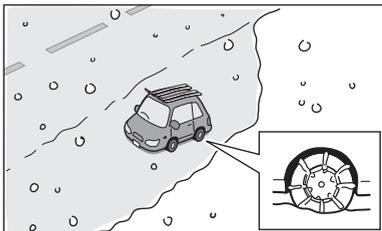
直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後



蛇行運転をした場合



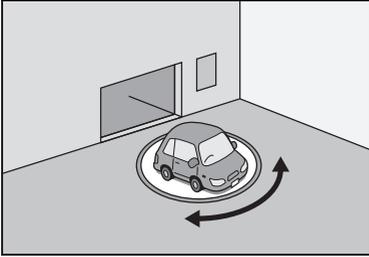
チェーンを装着したときや、タイヤを交換した場合



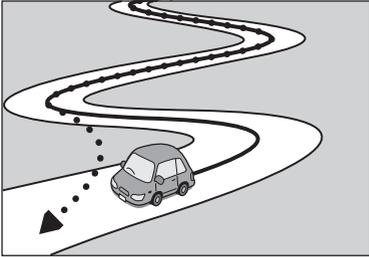
自転車位置の測位精度について

C
共通

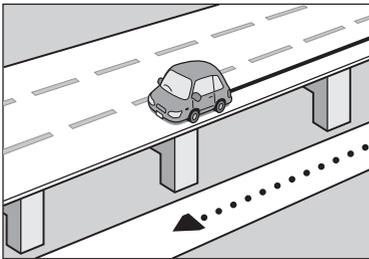
駐車場などのターンテーブルで旋回した場合



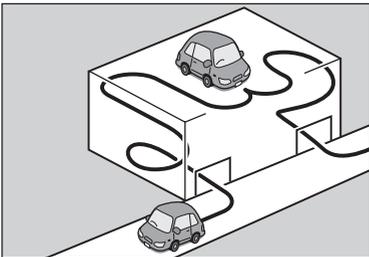
ヘアピンカーブが続いた場合



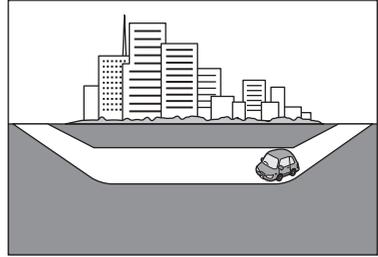
高速道路と側道などが隣接している場合



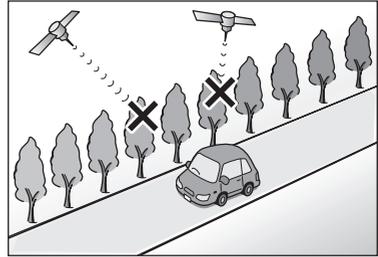
立体駐車場などで、旋回や切り返しを繰り返した場合



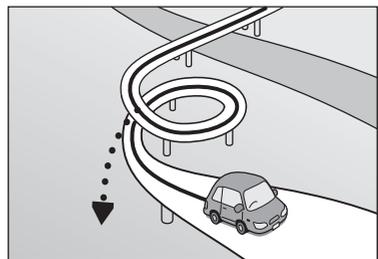
地下駐車場やトンネルなど、GPS衛星による測位ができない場合



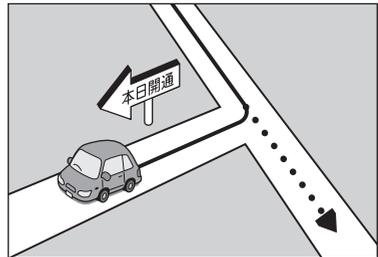
GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合



ループ橋などを走行した場合



地図データにはない、新設道路を走行した場合



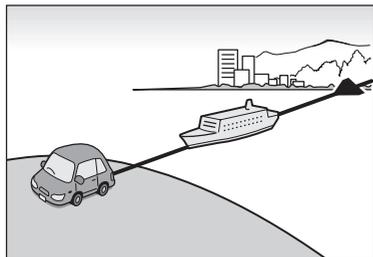
N
ナビゲーション

E
エンタテインメント

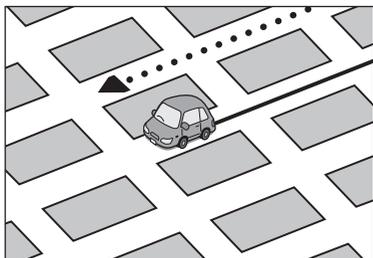
S
セットアップ

A
付録

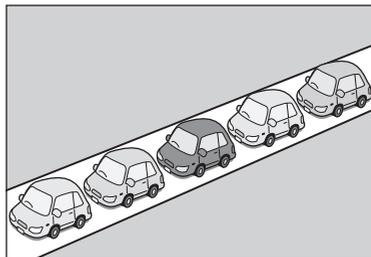
フェリーや車両運搬車などで移動した場合



碁盤の目状の道路を走行した場合



渋滞などで、低速で発進や停車を繰り返した場合



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合
- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合

低速時の測位精度について

車種によっては、時速数km程度の低速時に、車速パルス信号が出力されないものもあります。そのような車種では、渋滞中や駐車場などで時速数km程度の低速走行が続くと、自転車位置が正確に表示されない場合があります。

地図の道路データについて

地図画面に道路が表示されていても、その道路をルート探索できない場合があります。そのような道路にはマップマッチングもできない場合があります。

地図記号の凡例

画面に表示される地図では、次の地図記号を使用しています。

	記号	名称	記号	名称	記号	名称
C 共通		山頂		病院		公園
		工場		運動施設		マリナー
		一方通行記号		サッカースタジアム		史跡・旧跡、観光名所
		交差点		海水浴場・(湖水、池) 水泳場		神社
N ナビゲーション		サービスエリア		その他目標施設		仏閣、寺
		パーキングエリア		JRA競馬場・ウィンズ		教会
		インターチェンジ		デパート・スーパー・ ショッピング施設		城・城跡
		ジャンクション		ガソリンスタンド		美術館
E エンタテインメント		料金所		カー用品店		博物館
		ランプ(出入口)		ホテル・旅館・宿泊施設		郵便局
		ランプ(出口専用)		展望タワー		小学校
		駐車場		動物園		中学校
S セットアップ		飛行場・空港		植物園		高等学校
		港		水族館		短大
		フェリーターミナル		ゴルフ場		大学
		墓地		温泉		養護・盲・聾学校
A 付録		都道府県庁舎・ 北海道支庁庁舎		スキー場		高等専門学校
		市役所・特別区庁舎		遊園地・テーマパーク		冬季通行止め
		町村役場・ 政令指定都市区役所庁舎 (出張所)		テーマパークゲート	(青)	高速道・都市道・有料道
		官公署・市町村役場支所 (出張所)		キャンプ場	(赤)	国道
		消防署 (含む:分署・支署・出張所)		スタジアム	(緑)	都道府県道・主要地方道
		自衛隊		警察署・交番・駐在所		
		学校		図書館		

note

- 表示されるマークの位置は、実際と異なることがあります。
また、複数の施設を代表して1つのマークで表示されることもあります。

株式会社ゼンリンからお客様へのお願い

HDV-990/HDV-790（「機器」）に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ（「本ソフト」）の製作にあたって、毎年新しい情報を収集・調査していますが、膨大な情報の改訂作業を行うため収録内容に誤りが発生する場合や情報の収集・調査時期によっては新しい情報の収録がなされていない場合など、収録内容が実際と異なる場合がありますので、ご了承ください。

≡ caution

- 本使用規定（「本規定」）は、お客様と株式会社ゼンリン（「弊社」）間のHDV-990/HDV-790（「機器」）に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ（「本ソフト」）の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトをご使用になる前に必ずお読みください。本ソフトをご使用になった場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

■ 使用規定

- 1) 弊社は、お客様に対し、機器の取扱説明書（「取説」）に従い本ソフトを機器で使用する権利を許諾します。
- 2) お客様は、本ソフトの使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
 - ・ 必ず安全な場所に車を停車させて本ソフトを使用すること。
 - ・ 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意しそれらを優先して行うこと。
- 3) お客様は、以下の事項を了承するものとします。
 - ・ 本ソフトの著作権は弊社または弊社に著作権にもとづく権利を許諾した第三者に帰属すること。
 - ・ 本ソフトおよび本ソフトを使用することによってなされる案内などは必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなくまた全て正確かつ完全ではないこと。弊社は、これらがあっても本ソフトの交換・修補・代金返還その他の責任を負わないこと。
 - ・ 本ソフトに関する弊社のお客様に対する損害賠償責任は、故意または重過失による場合を除き、直接的かつ通常の損害の賠償に限られ、また、本ソフトと同等の機能を有する弊社商品の標準価格を限度とすること。この規定は、本ソフトに関する弊社の損害賠償責任の全てを規定したものとすること。
- 4) お客様は以下の行為をすることはできません。
 - ・ 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの一部でも、複製、抽出、転記、改変、送信することまたは同時に2台以上の機器で使用すること。
 - ・ 第三者に対し、有償無償を問わず、また、方法の如何を問わず、本ソフト（形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。）の一部でも使用させること。
 - ・ 本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
 - ・ その他本ソフトについて本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

地図データベースについて

- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用しています。(承認番号 平17総使、第598-53号)
- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。(承認番号 国地企調発第78号 平成16年4月23日)
- 本ソフトに使用している交通規制データは、道路交通法に基づき設立された全国交通安全活動推進センターが作成した交通規制番号図を用いて、(財)日本交通管理技術協会(TMT)が作成したものを使用したものを使用しています。(承認番号06-11)
- 本ソフトに使用している交通規制データは、2005年4月現在のものであります。本データが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・標示等にしてください。
- 本ソフトに使用している交通規制データの著作権は、(財)日本交通管理技術協会が有し、弊社は二次的著作物作成の使用実施権を取得しています。
- 本ソフトに使用している交通規制データを無断で複製・複製・加工・改変することはできません。
- 本ソフトに使用している電話番号検索はタウンページ2006年3月のものを使用しています。
- 本ソフトに使用している個人宅電話番号検索は株式会社ダイケイのテレデータを使用しています。
- 「VICs」は財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
- 本ソフトで表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。

<ご注意>

- 道路データは、高速、有料道路についてはおおむね2006年4月、国道、都道府県道についてはおおむね2006年3月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。ご了承ください。
 - 経路探索は、2万5千分の1地形図(国土地理院発行)の主要な道路において実行できます。但し、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難な時がありますのでご注意ください。現場の状況を優先して運転してください。
 - 交通規制は、普通自動車に適用されるもののみです。また、時間・曜日指定の一方通行が正確に反映されない場合もありますので、必ず実際の交通規制に従って運転してください。
 - 「市街地図」データは弊社発行の住宅地図に基づき作成しております。なお、「市街地図」は地域により作成時期が異なるため、一部整合が取れていない地域があります。また、「市街地図」には、データの整備状況により一部収録されていない地域があります。ご了承ください。
 - 電話番号検索データはタウンページ(2006年3月発行)をもとに作成しています。タウンページは、NTT東日本およびNTT西日本の商標です。
個人宅電話番号検索は、株式会社ダイケイのテレデータを使用しています。公開「電話番号」および公開電話番号登録者「名字」の入力で、地域に格差がありますが全国で地図検索が可能です。
なお、検索された物件の一部では周辺までの表示になる場合があります。ご了承ください。
 - VICsリンクデータベースの著作権は、(財)日本デジタル道路地図協会、(財)日本交通管理技術協会に帰属しております。なお、本ソフトは、全国47都道府県のVICsレベル3対応データを収録しております。VICsによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印等)の地図上への表示は毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。
- ※ 収録エリアには2007年2月時点でVICsサービスが開始されていないエリアも含まれております。VICsサービスの開始時期については(財)道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

【VICSに関するお問い合わせ】

(財)道路交通情報通信システムセンター

窓口 : 東京センター
電話番号 : 0570-00-8831 (全国)
PHS専用 : 03-3592-2033 (東京) / 06-6209-2033 (大阪)
FAX : 03-3592-5494

【本ソフトの情報について】

本ソフトは、おおむね以下の年月までに収集された情報に基づいて作成されております。

- ・ 道路 : 2006年4月(高速・有料道路) / 2006年3月(国道・都道府県道)
- ・ 交通規制※1 : 2005年4月
- ・ 住所検索 : 2006年3月
- ・ 電話番号検索 : 2006年3月
- ・ 個人宅電話番号検索 : 2006年2月
- ・ ジャンル検索 : 2006年3月
- ・ 高速・有料道路料金 : 2006年4月
- ・ 市街地図 : 2006年1月

※1 : 交通規制は普通自動車に適用されるもののみです。

【VICSレベル3対応データ収録エリア】

全国47都道府県

- ※ 但し、収録エリアには2007年2月時点でVICSサービスが開始されていないエリアも含まれております。
VICSサービスの開始時期については(財)道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

【本ソフトについてのお問い合わせ先】

フリーダイヤル : 0120-210-616

受付時間 : 10:00 ~ 17:00 月~金(祝日・弊社指定休日は除く)

2007年2月発行

製作・発行 / 株式会社ゼンリン

© 2005.TMT

© 2006 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION

© 2006 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION

© 2006 ZENRIN CO., LTD.

© ジオ技術研究所

■ ソフトウェア使用許諾書

- 本ソフトを株式会社ケンウッドに無断で複写、複製、加工、改変または解析することはできません。
- 本ソフトを有償で第三者に譲渡、レンタル、再使用許諾することはできません。
- 本ソフトを使用、または使用できなかったことによる派生的、付随的、間接的損害については何らの責を負いません。
- 本ソフトを業務用として使用することはできません。
- 本ソフト内容は予告なく変更または改変されることがあります。
- 本ソフトの使用許諾条件は、購入者および使用者、無償で譲り受けた転得者にも適用されます。

■ 施設情報及び個人情報(電話番号)について

- 電話番号検索は、タウンページのデータを使用しています。
個人宅電話番号検索には、株式会社ダイケイのテレデータを使用しております。
- これらの情報は本ソフト作成後、変更されている場合があります。
- 本ソフトに格納されるあらゆるデータ、個人情報については、購入者の責任において使用するものとし、当社は何らの責を負いません。また、これらの情報に誤りがあった場合でも、当社は何らの責を負いません。

なお、個人情報の削除・掲載・修正に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンター（裏表紙）にご連絡ください。

VICSサービスに関するお問い合わせについては、内容によって次の問い合わせ先にご連絡ください。

- VICSの仕組みやサービスエリアなどについて
- 文字情報(レベル1)、簡易図形情報(レベル2)の情報表示について

<問い合わせ先>

(財) VICSセンター(東京センター)

電話受付時間 9:30～17:45 (但し土曜、日曜、祝祭日、年末年始のセンター休日を除く)
 電話番号 0570-00-8831 (ナビダイヤルでは全国から市内通話料金でご利用になれます)

PHSから
 (東京) 03-3592-2033
 (大阪) 06-6209-2033
 FAX受付時間 24時間
 FAX番号(全国) 03-3592-5494

- VICS関連商品の機能や使用方法について
- サービスエリア内の受信可否について
- 地図表示(レベル3)の情報表示について

<問い合わせ先>

カスタマーサポートセンター

ナビダイヤル 0570-010-114
 (一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です)
 携帯電話、PHS、IP電話からは 045-933-5133
 FAX 045-933-5553
 住所 〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山1-16-2
 受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00
 土曜 9:30～12:00、13:00～17:30
 (日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- VICSの最新情報について

VICSの最新情報やFM多重放送局の周波数の情報などは、下記ホームページをご覧ください。

インターネットURL <http://www.vics.or.jp/>

なお、お問い合わせ先の判断に迷う場合は、(株)ケンウッド・カスタマーサポートセンター(またはお買い上げの販売店)までご連絡ください。

VICSセンターでは、レベル3の情報の収集と提供に、VICSLINK（主要交差点毎に道路を区切った単位）というデータ方式を採用しています。道路の新設や改築、信号機の設置等により道路交通状況が変化する場合は、VICSLINKの追加や変更を行って、適切な情報を提供できるようにしています。

この結果、新しいVICSLINKによる情報の提供が行われると、変更前のVICSLINKでは情報が提供されなくなります。ただしユーザに対する情報提供サービスを維持するため、変更前のVICSLINKに対しても変更後3年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。

≡ note

- VICSLINKの更新は、地図データの更新が必要です。地図更新についてはケンウッド・カスタマーサポートセンターやお買い上げの販売店にご相談ください。

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。)は、放送法(昭和25年法律第132号)第52条の4の規定に基づき、このVICIS情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。)を定め、これによりVICIS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICIS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) VICISサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICISサービス契約
当センターからVICISサービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者
当センターとVICISサービス契約を締結した者
- (4) VICISデスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICISサービスの種類)

第4条 VICISサービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICISサービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICISサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICISデスクランブラー1台毎に1のVICISサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICISサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。

ただし、そのサービス提供区域内であっても、電波の状況によりVICISサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICISサービスは、VICIS対応FM受信機(VICISデスクランブラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICISサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICISサービスの種類に対応したVICIS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICISサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICISサービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICISデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICISデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

- 第12条 1. 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICsサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICsサービス契約は、解除されたものと見なされます。
2. 第11条又は第12条の規定により、VICsサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICsサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

- 第13条 加入者は、当センターが提供するVICsサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

- 第14条 当センターは、当センターが提供するVICsサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

- 第15条 1. 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICsサービスの利用を中止することがあります。
2. 当センターは、前項の規定によりVICsサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

- 第16条 加入者は、当センターが提供するVICsサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

- 第17条 1. 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICsサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
- また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICsサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。
- 但し、当センターは当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICsサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
2. VICsサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICsサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICsサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]

視聴料金 315円(うち消費税15円)
ただし、車載機購入価格に含まれております。

コード	言語	コード	言語	コード	言語
aa	アファル語	fa	ペルシャ語	kn	カンナダ語
ab	アブハジア語	ff	フラ語	ko	韓国語
ae	アヴェスタ語	fi	フィンランド語	kr	カヌリ語
af	アフリカース語	fj	フィジー語	ks	カシミール語
ak	アカン語	fo	フェロー語	ku	クルド語
am	アムハラ語	fr	フランス語	kv	コミ語
an	アラゴン語	fy	フリジア語	kw	コーンウォール語
ar	アラビア語	ga	アイルランド語	ky	キルギス語
as	アッサム語	gd	スコットランドゲール語	la	ラテン語
av	アヴァル語	gl	ガルシア語	lb	ルクセンブルク語
ay	アイマラ語	gn	グアラニ語	lg	ガンダ語
az	アゼルバイジャン語	gu	グジャラート語	li	リグリア語
ba	バシキール語	gv	マン島語	ln	リンガラ語
be	ベラルーシ語	ha	ハウサ語	lo	ラオス語
bg	ブルガリア語	he	ヘブライ語	lt	リトアニア語
bh	ビハリー語	hi	ヒンディー語	lu	ルバ語
bi	ビスラマ語	ho	ヒリ・モツ語	lv	ラトビア語、レット語
bm	バンバラ語	hr	クロアチア語	mg	マダガスカル語
bn	ベンガル語、バングラ語	ht	ハイチ語	mh	マーシャル語
bo	チベット語	hu	ハンガリー語	mi	マオリ語
br	ブルトン語	hy	アルメニア語	mk	マケドニア語
bs	ボスニア語	hz	ヘレロ語	ml	マラヤーラム語
ca	カタロニア語	ia	国際語	mn	モンゴル語
ce	チェチェン語	id	インドネシア語	mo	モルダビア語
ch	チャモロ語	ie	国際語	mr	マラータ語
co	コルシカ語	ig	イボ語	ms	マレー語
cr	クリー語	ii	四川語	mt	マルタ語
cs	チェコ語	ik	イヌピアック語	my	ミャンマー語
cu	教会スラブ語	io	イド語	na	ナウル語
cv	チュヴァッシュ語	is	アイスランド語	nb	ブークモール語
cy	ウェールズ語	it	イタリア語	nd	北ンデベレ語
da	デンマーク語	iu	イヌイット語	ne	ネパール語
de	ドイツ語	ja	日本語	ng	ンドンガ語
dv	ディベヒ語	jv	ジャワ語	nl	オランダ語
dz	ブータン語	ka	グルジア語	nn	ニューノルスク語
ee	エウエ語	kg	コンゴ語	no	ノルウェー語
el	ギリシャ語	ki	キクユ語	nr	南ンデベレ語
en	英語	kj	クワンヤマ語	nv	ナヴァホ語
eo	エスペラント語	kk	カザフ語	ny	ニャンジャ語
es	スペイン語	kl	グリーンランド語	oc	プロバンス語
eu	バスク語	km	カンボジア語	oj	オジブワ語

DVDの言語コード

C

共通

コード	言語
om	(アフアン)オロモ語
or	オリヤー語
os	オセト語
pa	パンジャブ語
pi	パーリ語
pl	ポーランド語
ps	パシュトー語
pt	ポルトガル語
qu	ケチュア語
rm	ラエティ=ロマン語
rn	キルンディ語
ro	ルーマニア語
ru	ロシア語
rw	キニヤルワンダ語
sa	サンスクリット語
sc	サルディニア語
sd	シンド語
se	北サミ語
sg	サンゴ語
si	シンハラ語
sc	サルディニア語
sd	シンド語
se	北サミ語
sg	サンゴ語
si	シンハラ語
sk	スロバキア語
sl	スロベニア語
sm	サモア語
sn	シヨナ語
so	ソマリ語
sq	アルバニア語
sr	セルビア語
ss	シスワティ語
st	セストゥ語
su	スンダ語
sv	スウェーデン語
sw	スワヒリ語
ta	タミール語
te	テルグ語
tg	タジク語
th	タイ語

コード	言語
ti	ティグリニャ語
tk	トゥルクメン語
tl	タガログ語
tn	セツワナ語
to	トンガ語
tr	トルコ語
ts	ツォンガ語
tt	タタール語
tw	トウィ語
ty	タヒチ語
ug	ウイグル語
uk	ウクライナ語
ur	ウルドゥー語
uz	ウズベク語
ve	ベンダ語
vi	ベトナム語
vo	ボラピュク語
wa	ワロン語
wo	ウォロフ語
xh	コーサ語
yi	イディッシュ語
yo	ヨルバ語
za	チワン語
zh	中国語
zu	ズール語

N

ナビゲーション

E

エンタテイメント

S

セットアップ

A

付録

本機でプレイできるオーディオ/ビジュアルファイルに関する注意事項を説明します。

本機でプレイできるオーディオ/ビジュアルファイルは次のとおりです。

- MP3ファイル
- WMAファイル
- AACファイル
- MPEGファイル
- JPEGファイル
- DivXファイル

(1) MP3ファイル

本機で再生できるMP3ファイルは、MPEG 1 Audio Layer 3、MPEG 2 Audio LSP Layer 3規格のもので。

- 拡張子："mp3"
- サンプル周波数：8、16、32、44.1、48kHz
ただし、USBデバイスまたはハードディスク以外では、32、44.1、48kHzのみが使用可能です。
- ビットレート：8~320kbps（可変ビットレート（VBR）対応）

(2) WMAファイル

本機で再生できるWMAファイルは、以下のフォーマットのもので。

- 拡張子："wma"
- Windows Media® Audio 準拠
- サンプル周波数：32、44.1、48 kHz
- ビットレート：48~192 kbps（可変ビットレート（VBR）対応）

Windows Media® Player 9以上の一部の機能を使用すると、正常に再生できない場合があります。

詳しい対応フォーマットに関する情報は、下記URLをご覧ください。

URL：http://www.kenwood.com/j/products/car_audio/q_and_a.html

(3) AACファイル

本機で再生できるAACファイルは、以下のフォーマットのもので。

- 拡張子："m4a"
- サンプル周波数：16 ~ 48kHz
- ビットレート：32~320kbps（可変ビットレート（VBR）対応）

(4) MPEGファイル

本機で再生できるMPEGファイルは、以下のフォーマットのもので。

- 拡張子："mpg"、または"mpeg"
- ビデオフォーマット：MPEG1、MPEG2
- ビクチャサイズ
MPEG1：320×240、352×240（NTSC）
MPEG2：720×480（NTSC）
- 音声フォーマット：MPEG1 Audio Layer 2
- 音声サンプリング周波数：32、44.1、48 kHz
- 音声ビットレート：32 ~ 384 kbps（固定ビットレート（CBR）のみ）

(5) JPEGファイル

本機で再生できるJPEGファイルは、以下のフォーマットのもので。

- 拡張子："jpg"、"jpe"、または"jpeg"
- ビクチャサイズ
Baseline format：
8,192（W）×7,680（H）ピクセル（最大*1）
Progressive format：
1,600（W）×1,200（H）ピクセル（最大*2）
- *1 最大ピクセル数を越えた部分は表示されません。
- *2 最大ピクセル数を越えた画像は表示されません。

(6) DivXファイル

本機で再生できるDivXファイルは、以下のフォーマットのもので。

- 拡張子："divx"、"div"、または"avi"
- 映像プロファイル：
176×144（15fps）~1280×720（30fps）
- 音声フォーマット：
MP3（MPEG2 Audio Layer 3）、AC3

(7) ご使用上の注意事項

- CDとオーディオファイルを1枚のディスクに記録した場合、最初に記録された形式のみが再生可能です。
- USBデバイスまたはハードディスク内のオーディオ/ビジュアルファイルは、破損する場合があります。必ずバックアップを作成しておいてください。ファイルが失われたことによる損害につきましては、当社は一切補償いたしません。

本機で再生するオーディオ/ビジュアルファイルを記録するメディアに関する注意事項を説明します。

(1) 使用できるメディア

使用できるディスク

使用できるオーディオファイルやビジュアルファイルを取録するためのメディアは、CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R/RW、およびDVD+R/RWです。ただし、MPEG-2ビデオファイルはDVD (R/RWを含む) に限ります。また、DVDは、「Disc at Once」で書き込んでください。

使用できるUSBデバイス

本機で使用できるUSBデバイスは、以下のフォーマットです。

- USB 1.1/2.0
 - MSC (USBマストレージクラス) 対応品
 - 最大消費電流が500mA以下
- 上記を満たしていないUSBデバイスは接続しないでください。正しくプレイや転送を行えません。また、上記を満たしているUSBデバイスでも、機種や状況によって、正しくプレイや転送を行えない場合があります。なお、さらに詳細な情報については、<http://usb.kenwood.co.jp/carnavi/> をご覧ください。

(2) 使用できるフォーマット

ディスクフォーマット

本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。

- ISO 9660 Level 1
- ISO 9660 Level 2
- Joliet
- Romeo

使用できる文字は、ライティングソフトの説明書および下記「(4)ファイル名とフォルダ名の入力」をご覧ください。

ただし、本機で再生できるディスクには以下の制限があります。

- 最大ディレクトリ階層：8階層
- 1フォルダ中の最大ファイル数：255
- 最大フォルダ数：254
- 最大フォルダ名：200文字

前記のフォーマット以外で書き込まれたオーディオファイルやビジュアルファイルは、正常に再生されなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

USBデバイスのフォーマット

本機で使用できるUSBデバイスは、以下のフォーマットです。

- FAT32またはFAT16

ただし、本機で再生できるUSBデバイスには以下の制限があります。

- 最大ディレクトリ階層：8階層
- 1フォルダ中の最大ファイル数：1024
- 最大フォルダ数：512
- 最大ファイル数：15,000

(3) 圧縮ソフトとライティングソフトの設定

オーディオファイルに圧縮するとき、圧縮ソフトの転送ビットレートの設定は「128kbps」の「固定」を推奨します。

何も記録されていないメディアに一度で最大容量まで記録する場合は、「Disc at Once」の設定をしてください。

(4) ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数文字、カナ文字、または日本語で入力できます。これら以外の文字で入力されたファイル名およびフォルダ名は、正常に表示されません。また、使用するライティングソフトやディスクフォーマットによって、表示できる文字が制限される場合があります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。

また、オーディオファイルやビジュアルファイルと認識されて再生されるファイルは、「.mp3」、「.wma」、「.m4a」、「.mpeg」（「*.mpeg」）、「.jpg」（「*.jpe」、「*.jpeg」）、または「.divx」（「*.div」、「*.avi」）の拡張子が付いたものだけです。各形式のファイルには、正しく拡張子を付けてください。

なお、本機で表示できる文字数はファイル名によって異なります。



禁止

MP3/WMA/AACファイル以外に「mp3」などの拡張子を付けると、MP3/WMA/AACファイルと誤認識して再生されてしまい、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損する恐れがあります。

MP3/WMA/AACファイル以外に、「mp3」、「wma」、または「m4a」拡張子を付けないでください。

(5) ID3/WMA Tagについて

本機で表示できるID3 Tagは、ID3 Tag v1.x、2.2、2.3、または2.4規格で記録された曲名、アーティスト名、およびアルバム名です。また、表示できる文字種は英数文字、カタカナ、日本語(シフトJIS)です。

(6) メディアに収録するファイルについて

本機での再生に使用するディスクやUSBデバイスには、オーディオファイルまたはビジュアルファイル以外のファイルは保存しないでください。

オーディオファイルやビジュアルファイルが収録されているメディアを挿入/接続すると、最初にメディア内のすべてのファイルをチェックします。このため、再生するメディアに多くのフォルダやオーディオファイルやビジュアルファイル以外のファイルを書き込むと、再生するまで長時間必要になります。

また、次のオーディオファイルやビジュアルファイルの再生に移るまで時間がかかったり、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

(7) 著作権保護されたファイルについて

本機では、コピープロテクトや著作権管理が設定されているオーディオファイルは、再生できません。

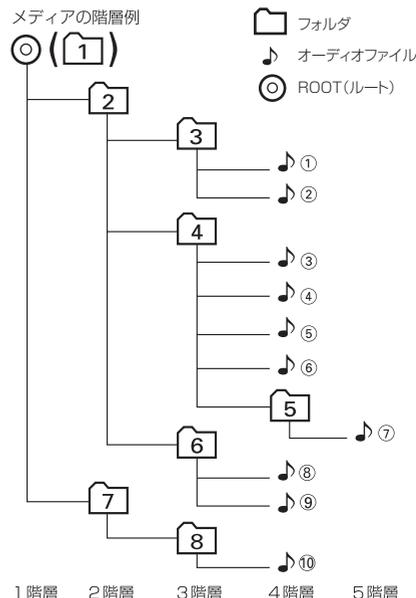
個人的に楽しむなどの場合を除き、音楽や映像などの著作物を著作権者の許諾を得ずに複製(録音)、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

(8) オーディオ/ビジュアルファイルを プレイする順番

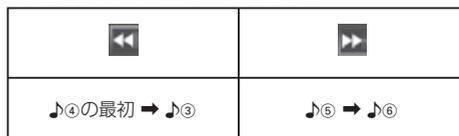
プレイ、フォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトでファイルやフォルダが選択される順番は、ディスクではライティングソフトで書き込まれた順番、USBデバイスではファイル名の昇順です。このため、再生されると予想していた順番と実際に再生される順番が一致しないことがあります。

ライティングソフトにもよりますが、“01”~“99”などとファイル名の頭に再生する順番を入力してからCD-Rなどに書き込むことで、再生する順番を設定することができます。

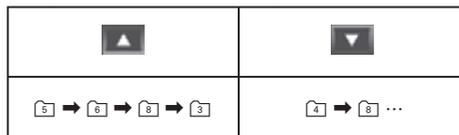
以下のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでフォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトを行った場合は、次のようになります。



♪④再生中にファイルサーチを行うと…



♪④再生中にフォルダサーチを行うと…



(9) ご使用上の注意事項

- 本機にはUSBデバイスは付属していません。別途、市販品をご購入ください。
- 本機でプレイまたは本機に転送するオーディオデータは、必ずバックアップを作成しておいてください。予期せぬ自体で、データが破壊される場合があります。
- USBケーブルを延長する場合は、CA-UTEX（別売品）をご使用ください。USB規格以外のケーブルを使用したり、総延長が5mを超えると、USBデバイスが正常に動作しなくなる場合があります。
- USBデバイスは、車内に放置しないでください。直射日光や高温で、USBデバイスの変形や故障の原因になります。
- 使用するUSBデバイスがUSBマスストレージクラス規格に対応しているかは、USBデバイスの販売メーカーにお問い合わせください。
- USBハブを介してUSBデバイスを認識させることはできません。
- リセットキーを押す前にUSBデバイスを取り外してください。USBデバイスを接続したままリセットキーを押すと、USBデバイスのデータが破損する場合があります。

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地では、2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月に終了することが、国の法令によって定められています。

地上デジタルテレビジョン放送開始に伴うアナログテレビ放送のチャンネル変更に関するお願い

2003年末から順次、地上デジタルテレビジョン放送が開始されており、それに伴いアナログテレビジョン放送のチャンネル変更が2003年2月9日より一部地域で順次、実施されております。このため、車載用テレビチューナに予めプリセットされているエリア別プリセットチャンネルがチャンネル変更されていた場合に、「エリアモードチャンネルを選択しても受信できない」「放送局名が正しく表示されない」などの現象が起こります。

「エリア別プリセットチャンネルを選択しても受信できない」場合は、マニュアルプリセット(035 E035)をご覧ください。のうえご希望のチャンネルを再設定してください。

地上デジタルテレビジョン放送とアナログテレビジョン放送のチャンネル変更詳細につきましては、下記の総務省関連ホームページ等をご参照ください。(アナログテレビジョン放送のチャンネル変更については各地域受信センターにお問い合わせください。)地上デジタルテレビジョン放送は、HDV-790では受信できません。

総務省関連サイト

【地上デジタルテレビジョン放送】

http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/whatsnew/digital-broad/index.html

【関東総合通信局(放送部放送課)】

<http://www.kanto-bt.go.jp/>

【東海総合通信局(放送部放送課)】

<http://www.tokai-bt.soumu.go.jp/>

【近畿総合通信局(放送部放送課)】

<http://www.ktab.go.jp/>

【報道資料アナログ周波数変更の受信対策の開始について】

http://www.soumu.go.jp/s-news/2003/030130_1.html

<電波産業会サイト>

<http://www.arib.or.jp/>

<JEITAサイト>

<http://www.jeita.or.jp>

HDV-790でワンセグを観るには

HDV-790でワンセグを観るには、ワンセグTVチューナーKNA-DT1(別売品)を用意し、次の作業/操作を行ってください。

1. KNA-DT1のAV OUTPUTと本機のAV INをAVケーブルで接続します。
2. 「AV-IN設定」を[VIDEO]に設定します。035 S023
3. ソースを[AV in]に切り替えます。035 E002
4. 以降の操作は、KNA-DT1のリモコンで行います。

≡ note

- RCA出力端子を持つ市販のワンセグチューナーも接続できます。操作は、ワンセグチューナーに付属の取扱説明書を参照してください。

C アナログテレビチャンネル変更対策各地域受信対策センター

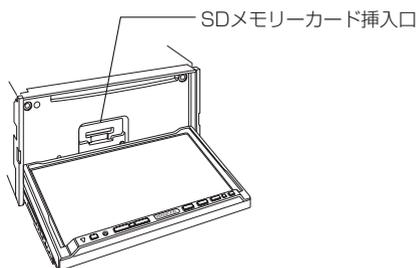
共通

名称	コールセンター	住所	対応時間
茨城地域受信対策センター	TEL: 0120-771797 FAX: 0120-038268 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用: 029-835-8267	〒300-0037 茨城県土浦市桜町1-16-12 住友生命ビル7F	平日9:00～21:00 土日祝9:00～18:00
栃木地域受信対策センター	TEL: 0120-401293 FAX: 0120-401014 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用: 044-829-2713	〒329-2162 矢板市末広町4-8	平日9:00～21:00 土日祝9:00～18:00
群馬地域受信対策センター	TEL: 0120-357488 FAX: 0120-357886 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用: 027-210-9381	〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-41-9 尾瀬林業ビル3F	平日9:00～21:00 土日祝9:00～18:00
埼玉地域受信対策センター	TEL: 0120-401035 FAX: 0120-401014 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用: 044-829-2713	〒350-1122 川越市脇田町18-6 川越小川ビル4F	平日9:00～21:00 土日祝9:00～18:00
千葉地域受信対策センター	TEL: 0120-401398 FAX: 0120-401014 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用: 044-829-2713	〒260-0028 千葉市中央区新町22番地1 新町55ビル4F	平日9:00～21:00 土日祝9:00～18:00
東京・神奈川地域受信対策センター	TEL: 0120-401350 FAX: 0120-401014 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用: 044-829-2713	〒215-0004 川崎市麻生区万福寺1-1-1 新百合ヶ丘シティビルディング4F	平日9:00～21:00 土日祝9:00～18:00
岐阜地域受信対策センター	TEL: 0120-124820 FAX: 0120-124989 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用: 052-968-7300	〒500-8812 岐阜市美江寺町2-3	平日9:00～21:00 土日祝9:00～18:00
愛知・三重地域受信対策センター	TEL: 0120-124826 FAX: 0120-124851 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用: 052-968-7370	〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-6-41 リブビル 5F	平日9:00～21:00 土日祝9:00～18:00
滋賀・京都地域受信対策センター	TEL: 0120-252639 FAX: 0120-252682 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用: 075-602-1826	〒612-8386 京都市伏見区烏羽瀨女町13番地 イクタ電気通信3F	平日9:00～21:00 土日祝9:00～18:00
大阪・奈良地域受信対策センター	TEL: 0120-623522 FAX: 0120-807404 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用: 06-6920-9276	〒530-0037 大阪市北区松が枝町3番11号	平日9:00～21:00 土日祝9:00～18:00
兵庫地域受信対策センター	TEL: 0120-540700 FAX: 0120-807804 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用: 06-6966-7180	〒651-0083 神戸市中央区浜辺通2-1-30 三宮国際ビル7F	平日9:00～21:00 土日祝9:00～18:00
和歌山地域受信対策センター	TEL: 0120-815108 FAX: 0120-548070 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用: 06-6966-7184	〒648-0073 和歌山県橋本市市脇1-1-6 紀北川上農業協同組合内	平日9:00～21:00 土日祝9:00～18:00
香川地域受信対策センター	TEL: 0120-112064 FAX: 0120-661271 携帯電話/PHS/公衆電話 着信専用: 087-851-7880	〒760-0036 高松市城東町1-6-26 蓮井ビル3F	平日9:00～21:00 土日祝9:00～18:00

N
ナビゲーションE
エンタテイメントS
セットアップA
付録

地上デジタルテレビ放送のソフトウェアに関して、アップデートの必要性が発生する場合があります。このような場合は、弊社ウェブサイト <http://www.kenwood.co.jp/faq/> にてご案内いたします。バージョンアップは、次の手順で行います。

1. 弊社ウェブサイトからアップデートをダウンロードします。
2. アップデータをSDメモリーカードにコピーします。
3. セットアップメニューの[システム設定]の[ワンセグアップデート]で[開始]を選択します。🔊 S023
4. SDメモリーカードを本機に挿入します。



詳しいバージョンアップの方法や使用できるSDメモリーカードの詳細は、弊社ウェブサイトで案内されます。

なお、SDメモリーカードは別途お客様に用意していただく必要があります。

また、弊社ウェブサイトからアップデートをダウンロードし、SDメモリーカードにコピーすることが不可能なお客様は、カスタマーサポートセンター、サービスセンター、サービスステーション、またはお買い上げの販売店にご相談ください。

≡ note

- SDメモリーカードに記録されている音楽や画像を本機で再生することはできません。
- バージョンアップの操作時以外は、SDメモリーカードを本機に挿入したままにしないでください。
- **SD** SDロゴは商標です。

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。
解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ナビ機能

症状	考えられる原因	対処方法
地図の向きを変更できない。	3Dの表示中は、地図の向きを変更できません。	2D表示にしてから、地図の向きを変更してください。
市街地図を表示できない。	表示中の地域に市街地図がない。	表示できる最も詳細なスケールで使用してください。
ルート探索の結果が消去された。	[案内開始]を選択する前に、[もどる]を選択したり、電源がオフになった。	目的地や通過点は保持されていますので、プラン情報・編集の[探索]を選択して、ルート探索をなおしてください。📶 N043
テナント情報が表示されない。	地図のスケールが不適切。	テナント情報を表示する場合は、50m以下のスケールに切り替えてください。
ランドマークが表示されない。	地図のスケールが不適切。	ランドマーク情報が表示されるのは200m以下(3Dランドマークの場合は800m以下)のスケールです。
	ランドマークを6種類以上表示させようとしている。	表示できるランドマークは5種類までです。
メモリー地点を登録できない。	すでに100か所登録されている。	不要なメモリー地点を消去してください。📶 N073
通過点を設定できない。	すでに5か所が設定されている。	不要な通過点を消去してください。📶 N051
名称検索時に漢字が入力できない。	—	ひらがなで入力してください。
目的地が書き替えられた。	すでに目的地が設定されているときに、さらに目的地を設定した。	目的地を設定しなおしてください。
4種類のルートが同じになる。	出発地と目的地の位置関係による。	出発地と目的地の位置関係によっては、同じになる場合があります。
住所検索で戸建番号を指定できない。	地域によっては戸建番号を指定できない場合がある。	付近を検索して、地図上で探してください。
ルート探索したが目的地が[あしあと]に記憶されていない。	目的地に到着していない。	到着していない目的地は、過去目的地として[あしあと]に記憶されません。
	目的地に到着したのが、最近の20か所よりも古い。	過去目的地として記憶されるのは、20か所までです。
緯度経度検索で位置がずれる。	世界測地系(日本測地系2000)に対応した緯度経度を入力した。	日本測地系に対応した緯度経度を入力してください。

症状	考えられる原因	対処方法
自車マークが走行中の道路と異なる道路上にある。	Y字路等を通じたときに、実際と異なる道路にマップマッチングされた。	しばらく走行すると正しい位置に表示されます。
	テレビの56チャンネルを受信している。	56チャンネルの2倍の高調波がGPS衛星の受信周波数に近いいため、影響を受けやすくなります。56チャンネル以外のチャンネルを受信してください。
	GPSの測位誤差。	4個以上のGPS衛星からの電波を受信できている状態で、現在地は3D測位（三次元測位）されます。3個のGPS衛星からの電波しか受信できないときは、2D測位（二次元測位）されます。この状態では、3D測位（三次元測位）時よりも誤差は大きくなります。2個以下のGPS衛星からの電波しか受信できないときは測位できません。
自車マークが道路外や反対車線に表示される。	市街地図（50m～10mスケール）を表示している。	市街地図のまま走行すると、地図データ等の誤差により道路外に表示されてしまう場合があります。
自車マークの方向が実際と異なる。	本機の電源がオフのときに車両の向きが変わった。	しばらく走行すると、正しい方向に表示されます。
VICsの地図表示情報（レベル3）が表示されない。	地図のスケールが不適切。	VICsの地図表示情報（レベル3）を表示できるのは、100m以上800m以下のスケールです。
	—	VICsの受信状態が悪い場合は、表示できません。
車速断線のメッセージが表示される。	車速検出コードが接続されていない。	お買い上げの販売店で、車速検出コードを正しく接続してください。
VICs情報が割込表示されない。	割込表示がオフに設定されている。	VICs設定画面で、割込表示をオンに設定してください。▶ N063
	ビーコンアンテナが接続されていない。	別売品の光・電波ビーコンVICsユニット（VF-M99）を接続してください。
VICs情報表示画面にVICs情報を表示できない。	VICs局からの電波を受信できていない。	自動選局に切り替えてください。
最適時間考慮をオンに設定しているが、渋滞している道路が回避されない。	他の道路よりも、現在のルート上の道路を通るほうが渋滞していても早い。	最適時間考慮は、渋滞道路を回避するのではなく、渋滞を考慮に入れた上で最短時間になるように探索されます。
	ビーコンアンテナが接続されていない。	別売品の光・電波ビーコンVICsユニット（VF-M99）を接続してください。
	現在提供されているVICs情報が少なく、別のルートが探索できない。	—

故障かなと思ったら

C

共通

症状	考えられる原因	対処方法
夜地図色が表示されない。	「昼固定」に設定されている。	「自動」に設定してください。  N082
	イルミネーションコードが接続されていない。	お買い上げの販売店で、正しく接続してください。
音声ガイドされない。	音量が0に設定されている。	音声ガイドの音量を調整してください。  S023
	ボイスアッドバイザなどの読み上げ設定が「OFF」に設定されている。	「ON」に設定してください。  S023

N

ナビゲーション

[きろくした場所]または[記録した場所編集]を選択できない。	メモリー地点を1件も登録していない。  N032	メモリー地点を登録してください。
[あしあと]または[あしあと編集]を選択できない。	目的地に到着していない。	過去の到着地点がない場合は、[あしあと]や[あしあと編集]は選択できません。
ナビゲーションの画面が表示されない。	ナビゲーション以外の画面になっている。	 を押してナビゲーション画面に切り替えてください。

E

エンターテインメント

表示中の地図画面が回転する。	地図の向きが進行方向に設定されている。	進行方向上に設定すると、地図を回転して進行方向を常に上方向に表示します。
自転車マークの位置が実際と異なる。	GPSアンテナの設置場所が悪い。	GPSアンテナの設置場所を確認して、アンテナの設置場所を変更してください。
	車速検出コードが接続されていない。	お買い上げの販売店で、車速検出コードを正しく接続してください。
	ナビゲーション本体がしっかりと固定されていない。	お買い上げの販売店で、ナビ本体をしっかりと取り付けをしておいてください。
	タイヤ交換などを行った。	タイヤ交換などを行った場合は、パルスの学習状態をリセットしてください。  S016

S

セットアップ

自転車位置が移動しても、地図画面が変わらない。	スクロール地図画面を表示している。	スクロール地図画面を表示中は、自転車位置が移動しても、スクロールした地図を表示し続けます。自転車位置を表示させる場合は、ナビキーを押してください。
-------------------------	-------------------	---

A

付録

音声案内をしない。	細街路(幅員5.5m以下の道路)を走行中やルートから外れている。	細街路を走行中やルートから外れている場合は、音声案内を行いません。
実際の道路と案内が違う。ランドマークの表示が実際と違う。	—	地図データ作成時期により、実際の道路状況と異なる場合があります。また、目印となるランドマークを省略して表示する場合があります。
遠回りなルートを探そう。	細い道や整備されていない道路の近くにいる。	大きな道路や整備されている道路を優先して探索するため、遠回りなルートを案内する場合があります。
入口/出口IC付近で拡大図(3D/2D)表示が表示されない。	高速道路を使うルートがひかれていない。	入口/出口IC付近で拡大図(3D/2D)表示するのは、高速道路を使うルートが探索されている場合です。

症状	考えられる原因	対処方法
交差点名称などの固有名称が聞き取りづらい。	—	交差点名称などの固有名称は素片合成処理を行っているため、聞き取りにくい場合があります。
「きろくした場所」のリストが50音順に並ばない。	メモリー地点の名称に読み仮名を付けていない。	メモリー地点の名称に読み仮名を付けてください。 🔊 N067
検索結果が実際の場所と違う。	—	地図データの収録状況により、実際の場所と住所表示が異なる場合があります。
ランクメニューに何も登録されていない。	—	ランキングショートカットボタンには、よく使われる機能が登録されます。ナビメニューを何度か使用してください。
自宅ボタンや地図の拡大縮小ボタンが表示されない。	くるくるボタンがナビになっていない。	くるくるボタンを選択してナビの操作ボタンを表示させてください。 🔊 N001
地点の詳細情報が表示されない。	市街地図 (50m~10mスケール) 以外を表示している。	詳細情報は市街地図を表示中のみ表示されます。
ルート案内時にレーン案内が表示されない。	ナビ表示モードを「OFF」に設定している。	ナビ表示モードを「ON」に設定してください。 🔊 N085
案内音声が小さい。	—	ナビ音量を大きくしてください。 🔊 S023
フェリー航路を走行するシミュレーションが表示されない。	—	お試し走行では、フェリー航路の走行を省略します。
音声案内の割り込みが行われない。	ナビ音声割込を「OFF」に設定している。 ナビ音声時オーディオ音量ダウンを「OFF」に設定している。	ナビ音声割り込みを「ON」に設定してください。 🔊 S023 ナビ音声時オーディオ音量ダウンを「ON」に設定してください。 🔊 S023
ナビメニューの「ドライブプラン」で選択できるボタンがない。	ルートが探索されていない。	ドライブプランはルート探索が行われている場合に選択できます。
最初の設定をもう一度行いたい。	—	ナビ設定メニュー (🔊 N080) やセットアップメニュー (🔊 S009) から各種設定が行えます。
車速パルスの学習が完了しない。	車速パルスの設定が正しくない。 車速検出コードが接続されていない。	車速パルスは通常は「オート」に設定してください。ただし、車種により「アナログ」または「デジタル」に設定する場合があります。 🔊 S013 お買い上げの販売店で、車速検出コードを正しく接続してください。

AV機能

症状	考えられる原因	対処方法
音が出ない。	入出力ケーブルなどの接続が間違っている。	お買い上げの販売店で、接続を確認してください。
キーを押しても動作しない。	内蔵のマイコンが誤動作している。	リセットキーを押してください。  C006
音質が悪い(音がひずむ)。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
映像が出ない。	走行している。	走行中は映像を見るできません。
映像が乱れる。	コードやケーブルが干渉している。	モニターの配線の時は、コードやケーブルを束ねないようにしてください。
テレビの感度が悪い。	アンテナが正しく接続されていない。	お買い上げの販売店で、接続を確認してください。
テレビやラジオで自動選局(オートプリセット)ができない。	電波の状況がよくない。	手動で選局してください。
AV操作のショートカットボタンが表示されない。	くるくるボタンがAVになっていない。	くるくるボタンを選択してAVの操作ボタンを表示させてください。  N010
リアモニターに何も表示されない。	リアモニターのソースがオンになっていない。	AV出力キーでリアモニターのソースを選択してください。  E060

ディスク再生

症状	考えられる原因	対処方法
ディスクをプレイできない。	ディスクが入っていない。	プレイするディスクを入れてください。
ディスクが入らない。	すでにディスクが入っている。	入っているディスクを取り出してから入れてください。
ディスクのプレイ中に振動で映像や音が切れる。	取り付け角度が30°を超えている。 取り付けが不安定になっている。	30°以下になるように取り付けしなおしてください。 しっかりと取り付け直してください。なお、駐停車中でも音飛びする場合やディスクの同じところで音飛びする場合は、ディスクに原因があります。
ディスクをプレイできない。	ディスクが裏返しになっている。 ディスクが異常に汚れている。 本機内部が結露している。	レーベル面を上にして入れなおしてください。 イジェクトキーを押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。 イジェクトキーを押してディスクを取り出し、しばらく放置(約1時間)してから使用してください。
映像が乱れる。	ディスクが内部的に検出されていない。	イジェクトキーを押してディスクを取り出し、再度ディスクを挿入してください。
音声言語/字幕言語/アングルが切り替わらない/優先言語にならない。	早送り/早戻ししている。 複数の言語/字幕/アングルが記録されていない。	多少乱れることがありますが、故障ではありません。 ディスクメニューで切り替えられる場合がありますので、ディスクのマニュアルをご覧ください。
DVDをプレイできない。	視聴制限がされている。	視聴制限を解除、または規制レベルを変更してください。▶ S021
選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない。	ランダムプレイがオンになっている。	ランダムプレイをオフにしてください。
同じ曲を繰り返し再生するだけで、次の曲に進まない。	トラックリピートプレイがオンになっている。	トラックリピートプレイをオフにしてください。▶ E013
曲の先頭しか再生されない。	スキャンプレイがオンになっている。	スキャンプレイをオフにしてください。▶ E016、E041
曲が順に再生されない。	ランダムプレイがオンになっている。	ランダムプレイをオフにしてください。▶ E016、E041
ディスクがイジェクトできない。	ディスクがイジェクト途中で止まっている。	ディスクが取り出されるまでイジェクトキーを押し続けてください。
CD-R、CD-RWが再生できない。	ファイナライズ処理を行っていない。	CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーのマニュアルをご覧ください。

故障かなと思ったら

C

共通

症状	考えられる原因	対処方法
VRモードで録画されたDVD-VRが再生できない。	DVD-Rで録画している。	DVD-RWで録画してください。
リピートプレイ、スキャンプレイ、ランダムプレイがオフされない。	ディスクを取り出さない限り、各機能は電源をオフにしても自動的にオフされません。	各機能をボタンでオフにするか、ディスクをイジェクトしてください。
ディスクを取り出せない。	車両のACCスイッチをオフにしてから10分以上経過している。	ACCスイッチをオフにしてからディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンにしてからイジェクトボタンを押してください。
映像が映らない。	走行中、またはナビ画面を表示中。	走行中、またはナビ画面を表示中は映像を見ることはできません。
DVDの視聴制限を解除できない。	パスワードが間違っている。	正しいパスワードを入力してください。パスワードを忘れた場合は、リセットキーを押すと視聴制限とそのパスワードは、お買い上げ時の状態に戻ります。
DVDの禁止マーク  が画面に表示されて、操作ができない。	ディスクが禁止している操作や、無効な操作を行っている。	ディスクが禁止している操作や、無効な操作をしたときは、禁止マークが表示されません。禁止マークの表示中は操作はできません。
映像が途中で停止し、操作ができない。	ディスクプレイ中にデータが読み取れなくなった。	イジェクトキーを押してディスクを取り出し、ディスクに傷や汚れがないか確認してください。
画面モードで設定した比率にならない。	ディスクにより比率が固定されています。	比率の変更はできません。
視聴制限を設定しているのに、再生が制限されない。	—	ディスクにより視聴制限をかけられない場合があります。
トラックなどの名称が正しく表示されない。	本機で表示できない文字が名称に含まれている。	本機では、半角英数字と日本語が表示できます。これ以外の特殊な文字は、表示できない場合があります。

N

ナビゲーション

E

エンタテインメント

S

セットアップ

A

付録

ファイル再生

症状	考えられる原因	対処方法
ファイルをプレイできない。	ISO9660 level1/2, Joliet, または Romeoに準拠して記録されていない。	ISO9660 level1/2, Joliet, または Romeoに準拠したディスクを使用してください。
	ファイルに拡張子が付いてない。	正しい拡張子を付けてください。  A009
	ディスクに傷や汚れがある。	イジェクトキーを押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
ファイルをプレイ中に音飛びする。	ディスクに傷や汚れがある。	イジェクトキーを押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
MP3ファイルをプレイ時に雑音が入る/音が出なくなる。	MP3ファイル以外のファイルに".mp3"拡張子が付いている。	MP3ファイル以外のファイルに付いている".mp3"拡張子を消去してください。
WMAファイルをプレイ時に雑音が入る/音が出なくなる。	WMAファイル以外のファイルに".wma"拡張子が付いている。	WMAファイル以外のファイルに付いている".wma"拡張子を消去してください。
フォルダネーム/ファイルネームが正しく表示されない。	ISO9660 level1/2, Joliet, または Romeoに準拠して記録されていない。	ISO9660 level1/2, Joliet, または Romeoに準拠したディスクを使用してください。
	ライティングソフトで扱えない文字を使用して記録した。	ライティングソフトのマニュアルをご覧のうえ、使用できる文字で記録してください。
演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない。	MP3/WMAファイルの記録された状況により、演奏時間が一致しないことがある。	—
ファイルのプレイが始まるまで時間がかかる。	ディスクに記録されているフォルダ/ファイル/階層が多い。	最初にディスク内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると、プレイされるまで長時間かかる場合があります。
ファイルが順番どおりにプレイされない。	プレイさせたい順番どおりにライティングソフトで書き込まれなかった。	ライティングソフトにより異なりますが、ファイル名の頭に"00"~"99"などと入力してから書き込むことで、順番を設定できる場合もあります。
ID3 Tag情報が正しく表示されない。	対応していないID3 Tagで記録されている。	ID3 Tagをv1.x, 2.2, 2.3または2.4に準拠して記録してください。
CD-RWに記録したファイルをプレイできない。	CD-RWのフォーマットを簡易フォーマットで行った。	CD-RWをフォーマットするときは、フルフォーマットで行ってください。
ファイルサーチできない。	最初の曲で前の曲へ、最後の曲で先の曲へファイルサーチしようとした。	フォルダリピート中などを除き、最初の曲から最後の曲へ、最後の曲から最初の曲へはファイルサーチできません。

C ワンセグ

共通

症状	考えられる原因	対処方法
映像や音声が出ない(または、ときどき出なくなる)。映像が静止する(または、ときどき静止する)。	車の場所や方向、周辺環境(建物、車、人など)により受信状態が変化します。	—
	ソースがワンセグになっていない。	ソースをワンセグにしてください。 E002
地上デジタル放送が受信できない。	車の場所が、地上デジタルテレビ放送の放送エリアではない。 地上デジタルテレビ放送は、現在のアナログテレビ放送との混信を避けるために受信エリアが限られています。また、順次拡大される予定です。また、受信障害がある環境では、放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
	付属のアンテナを使用していない。	取付説明書を参照して、付属のアンテナを正しく接続してください。
特定のチャンネルが受信できなくなった。	使用しているチャンネルリストが車の場所のエリアの放送チャンネルと合っていない。	再度、チャンネルをスキャンしてください。E022
	放送周波数が変更になった可能性があります。	再度、チャンネルをスキャンしてください。E022
音声切り替えモードどおりの音声が出力されない。	音声切り替えの設定を行っても、放送されている番組にその音声サービスが行われていない場合があります。	—
字幕が出ない。	字幕切り替えの設定を行っても、放送されている番組にその字幕サービスが行われていない場合があります。	—

A
付録

iPod

症状	考えられる原因	対処方法
iPodが認識されない。	別売品のiPod接続ケーブル (KNA-i990) が正しく接続されていないか、iPodが正しく動作していない。	別売品のiPod接続ケーブル (KNA-i990) を接続してください。それでもiPodが認識されない場合は、iPodをリセットしてください。
iPodをコントロールできない。	iPodにヘッドフォンなどが接続されたまま、本体に接続した。	iPodを本体から取り外し、iPodからすべての機器を取り外してから接続しなおしてください。
レスポンスが悪くなった。	1つのカテゴリ内の曲数が多い。	1つのカテゴリ内の曲数が多くなると、レスポンスが悪くなる場合があります。特に、曲数が多くシャッフルをオンにしていると、iPodの動作自体の反応が悪くなる場合があります。
iPodの曲をプレイできない。	コネクタが正しく接続されていない。	カチッと音がするまでしっかり接続してください。
曲再生の音が途切れる。	iPodの取り付けが不安定で、振動により音飛びしている。	走行中にiPodが転がらないよう、車内にしっかりと取り付けしなおしてください。
音が歪む。	iPodのEQ機能 (イコライザー機能) がオンになっている。	オフにしてください。
充電完了までに時間がかかる。	—	充電を目的とする場合は、iPodの再生を停止することをお勧めします。
iPodの充電ができない。	本機の電源が入っていない。	本機の電源を入れてください。
ナビゲーションシステムに接続すると、iPodの操作ができなくなる。	—	本機と接続中は、iPodの操作はナビゲーションシステム側から行ってください。
「すべて」 (例：アーティストのアルバムすべて) がリスト中に表示されない。	本機では「すべて」で再生開始することができない。	アルバムやアーティストの名前の右側にある再生ボタンにて、そのカテゴリに属する曲をすべて再生することができます。
Videoが表示されない	KNA-i770を使用して接続している。	KNA-i990を使用して接続してください。

USB

症状	考えられる原因	対処方法
USBデバイスを認識しない。	USBコネクタが正しく接続されていない。 USB延長ケーブルが長い場合、データの品質が悪くなっている。	USBデバイスやUSBケーブルのコネクタを確実に接続してください。 USB延長ケーブルを使用しない接続をしてください。
USBデバイスのオーディオファイルが再生できない。	オーディオファイルが本機で再生できるフォーマットで記録されていない。	再生できるフォーマットを確認してください。  A009

HDD

症状	考えられる原因	対処方法
曲がUSBからHDDに転送されない。	HDD内に同一曲があります。	タグ情報を変更して転送してください。

共通

症状	考えられる原因	対処方法
本機が動作しない。	本機の温度が低い。	冬季などに本機の温度が下がりにすぎると、保護機能が働いて作動しなくなる場合があります。周囲の温度が上がれば、保護機能が解除され通常動作に戻ります。
電源がオンにならない。	ヒューズが切れている。	コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。

	入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。	お買い上げの販売店で接続を確認してください。
画面にタッチしても反応しない。	タッチ位置がズれている。	タッチ位置の補正をしてください。  S011
モニター画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。

画面が暗い。	モニターの温度が低い。	モニターの温度が下がっているときは、電源をオンにしたときに液晶パネルの特性上、通常より暗い場合があります。電源をオンにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。
	画質設定の明るさが低い。	画質設定の明るさを調整してください。  S010

画面が見にくい。	見る角度によってコントラスト、明るさが変わります。	コントラスト、明るさを調整してください。  S010
映像の色調がおかしい。	—	画質を調整してください。  S010
映像がギザギザに表示される。	—	ワイド画面特有の現象です。故障ではありません。
リアビューカメラに切り替わらない。	リアビューカメラが正しく接続されていない。 リアビューカメラの設定が"OFF"になっている。	取付説明書を参照して、正しく接続してください。 リアビューカメラの設定を"ON"にしてください。  S023
電源がオンにならない。	セキュリティコードが設定されている。	設定したセキュリティコードを入力してください。  S026
音が出ない/音が小さい。	バランス、フェーダーが片方に寄っている。	バランスやフェーダーを正しく調整してください。

症状	考えられる原因	対処方法
操作キーを押しても動作しない。	—	リセットキーを押してください。
音質が悪い(音がひずむ)。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
	スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。	スピーカーの配線を確認してください。
	スピーカーの配線が間違っている。	スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

メッセージ

次のメッセージが表示された場合は、一覧に従って対処してください。

共通

表示	対象ソース	説明	対処方法
本体内部が高温になりました。	—	高温のため装置が動作できません。	本体内部が高温になると、保護回路が働いて再生ができなくなります。車内の温度を下げてください。もし、正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ナビ画面のメッセージ

メッセージ	対処
車速パルスの接続を確認してください。車速パルスの断線が発生しました。	車速パルスの接続を確認してください。確認後、自車の動作がおかしい場合は、パルスリセットを行ってください。
GPSアンテナが外れています。 GPSアンテナがショートしています。	GPSアンテナの接続を確認してください。

AV画面のメッセージ

表示	対象ソース	説明	対処方法
リージョンエラーです。	DVD	地域コード不一致により再生できません。	正しいディスクと交換してください。再生できるコードは2またはALLです。
読み取りエラーです。	DVD/CD/ 圧縮ファイル	読み込み不可のディスク、ディスクのアクセスエラーです。	正しいファイルを再生してください。
未知のディスクです。	DVD/CD	ディスク (DVD、CD) の形式が不明です。	
パレンタルレベルエラーです。	DVD	現在の視聴制限設定のため再生できません。	再生するためには視聴制限を変更してください。
メカエラーです。	DVD/CD/ 圧縮ファイル	装置の異常です。	本機のリセットキーを押してください。正常な使用で繰り返し発生する場合はお近くのケンウッドサービス窓口にご相談ください。
動作エラーです。	DVD/CD/ 圧縮ファイル	その他のエラーが発生しました。	

ワンセグのメッセージ

メッセージ	考えられる原因	対策
現在使用中のチャンネルリストは登録されていません。 現在のチャンネルリストを破棄してチャンネルリストを切り替えますか？	保存されていないチャンネルリストがワークメモリにあるときに、チャンネルメモリを呼び出した。	<ul style="list-style-type: none"> ● ワークメモリのチャンネルリストを破棄して指定したチャンネルメモリのチャンネルリストを呼び出す場合は[はい]を選択してください。 ● ワークメモリのチャンネルリストを破棄しない場合は、[いいえ]を選択してから、ワークメモリのチャンネルリストをチャンネルメモリに保存してください。
プリセットチャンネルが存在しません。 スキャンを実行して下さい。	現在使用しているチャンネルリストに受信可能な放送局が一つも登録されていない状態で、プリセット選局した。	<ul style="list-style-type: none"> ● チャンネルスキャンを実行してください。 ● シークモードをオートモードに切り替えて選局してください。
受信可能なチャンネルがありません。	オートモードで全チャンネルをシークしたが、受信可能なチャンネルがなかった。	受信状態が良い場所に移動してください。
番組表データを受信できません。	ワンセグを受信できない状態で番組表を表示しようとした。	番組表は、受信可能なチャンネルに切り替えてから表示してください。
受信できません。	受信レベルが低下した。	受信状態が良い場所に移動してください。
アンテナに不良が発生しました。 ワンセグ放送は視聴できません。 サービスへお問い合わせください。	アンテナに不具合が発生した。	お買い上げの販売店やケンウッドサービスセンター等へご連絡ください。
休止中	ワンセグが放送休止中です。	放送されているチャンネルに切り替えてください。
このチャンネルはありません。	選局したチャンネルでワンセグが放送されていない。	放送されているチャンネルに切り替えてください。

ナビ関係の主な用語を解説します。
ここで解説されていない用語は、巻末のキーワードインデックスから説明ページを探すことができます。

GPS

GPSは、Global Positioning System（グローバル・ポジショニング・システム）の略称です。GPSは、米国防総省が開発運用しているシステムで、3つ以上のGPS衛星から地上に放射される電波を同時に受信して、現在の位置を知ることができます。

VICS

VICSは、Vehicle Information and Communication System（道路交通情報通信システム）の略称です。事故の情報や渋滞状況、駐車場の空き情報などを表示することができます。

オートリルート

ルート案内中に、おすすめのルートから外れてしまったとき、自動的にルートを探す機能です。

ランドマーク

お店や施設を、地図上で見やすくするためにマークで表した目印です。

車速パルス

自動車から出力される信号で、ナビは走行距離の計測に利用しています。

また、車速パルスと本機に内蔵されているジャイロスコープによって、トンネル等のGPS衛星からの電波を受信できないところでも測位できるようになっています。

自転車

本機を取り付けているお客様のお車のことです。

測位

GPS衛星からの電波を受信して、自転車の位置を測定することです。

3個のGPS衛星からの電波を受信できれば二次元測位できます。また、4個以上のGPS衛星からの電波を受信できれば三次元測位できます。

目的地/通過点

本機では、6か所までの行き先を設定して、ルート探索/ルート案内できます。6か所の行き先のうち、最後に行く場所を目的地といいます。

通過点は、設定した順に、通過点1、通過点2・・・通過点5となり、この順に通るようにルート探索されます。

画面では、目的地が「行き先」、通過点が「よりみち」などと表示される場合もあります。

マップマッチング

測位誤差があっても、自転車位置が道路から外れにくくする処理です。

AV用語集

AV関係の主な用語を解説します。

ここで解説されていない用語は、巻末のキーワードインデックスから説明ページを探すことができます。

AAC

「Advanced Audio Coding」の略称で、高圧縮かつ高音質が特長の音声圧縮方式です。

本機では、拡張子`*.m4a`の付いたAACファイルをプレイできます。

CD読み込みモード

通常は「READ1」に設定しておく、音楽CDとオーディオファイルを記録したCD-ROMなどは自動的に識別されます。音楽CDのフォーマットが特殊で正常にプレイできないときに「READ2」に設定するとプレイできる場合があります。

ただし、「READ2」に設定した状態では、オーディオ/ビジュアルファイルディスクはプレイできません。

Circle Surround II (サークルサラウンドトゥ)

Circle Surround IIは、最大6.1chのサラウンド音場を作り出します。CD、MD、AM/FMラジオ、TV音声、圧縮ファイル、DVD等、すべての音源をマルチチャンネルサラウンドで再生できます。さらに、カーオーディオ用のCS Automotiveを搭載し、4つのスピーカーで5.1chに相当する音場を作り出します。

MUSIC : フロントチャンネルのステレオ感を損なわないように配慮されます。

CINEMA : センター (ダイアログ) チャンネルを有効に活用して、映画素材の再現性が重視されます。

MONO : モノラル音源でも広がり感が感じられるような効果があります。

DivX (ディビックス)

米国DivX社が開発したビデオの圧縮伸張技術です。圧縮率が高い割には画質の劣化が少ないとされています。

DivXファイルには、字幕やメニューなども含まれているものもあります。

本機では、拡張子`*.avi`または`*.div`の付いたDivXファイルをプレイできます。

DRM

Digital Rights Management (デジタル著作権管理) の略で、音楽や映像等のデジタルデータを正当なユーザー以外がコピーや再生することを制限する技術です。

JPEG (ジェーベグ)

規格を作成した組織「Joint Photographic Experts Group」の略称で、もっともポピュラーな静止画圧縮方法のひとつです。

本機では、拡張子`*.jpg`、`*.jpeg`、または`*.jpe`の付いたJPEGファイルをプレイできます。詳しくは「**A009** オーディオ/ビジュアルファイルについて」をご覧ください。

MIX to Rear (ミックストゥーリア)

リアチャンネルにフロントチャンネルの音を漏らすレベルです。

FM/AM放送やテレビ放送の電波の弱いところでは、ステレオとモノラルが頻繁に切り替わり、音が前後4chとフロント2chのように変わってしまいます。

「MIX to Rear」を1~4にすることで、上記のような不自然な音になることを防ぎます。

通常は「OFF」で使用し、電波が弱い際に使用すると効果があります。

MP3 (エムピースリー)

「MPEG Audio Layer 3」の略称で、DVDなどに使用されている画像圧縮方法のうち、音声部分のみの圧縮規格です。

本機では、拡張子`*.mp3`の付いたMP3ファイルをプレイできます。詳しくは「**A009** オーディオ/ビジュアルファイルについて」をご覧ください。

MPEG (エムベグ)

規格を作成した組織「Moving Picture Experts Group」の略称で、ビデオ、オーディオ、およびシステムまで含めた国際規格です。

通常は、動画ファイルを指します。

本機では、拡張子`*.mpeg`の付いたMPEGファイルをプレイできます。詳しくは「**A009** オーディオ/ビジュアルファイルについて」をご覧ください。

MSC (マストレージクラス)

追加プログラムなしで、パソコンに外部記憶装置として認識されるUSBデバイスの規格です。

SRS WOW

本機では、米国SRS社のWOW回路により、サウンドに大迫力の重低音を付加したり、立体的な音場にして再生することができます。

SRS WOWの効果は、「**S005** サラウンドと音場を選択する」で設定することができます。

TruBass : 原音に含まれている信号からバランスのとれた重低音を再現することができます。

FOCUS : フロントスピーカーの音像の位置を縦方向(上方向)に移動するとともに音の輪郭を調節します。

SRS 3D : 奥行き感のある立体的な音場にすることができます。

SRS WOW : "TruBass"、"FOCUS"および"SRS 3D"の値を一括で設定することができます。

WMA (Windows Media™ Audio)

「Windows Media™ Audio」の略称で、米国Microsoft社が開発した音声圧縮符号化方式です。

本機では、拡張子*.wmaの付いたWMAファイルをプレイできます。詳しくは「**A009** オーディオ/ビデオリアルファイルについて」をご覧ください。

イコライザー

ジャンルに合わせたトーンカーブを設定します。

NATURAL : 自然でフラットなサウンドを再現します。

ROCK : スピーディーで力強いアタック音を再現します。

POPS : 中高域をメインにしたリズムカルな音を再現します。

EASY : 中高域をベースにした味わいの深いサウンドを再現します。

JAZZ : ウッドベースの音階やボーカルの質感を鮮明に再現します。

FLAT : トーンカーブをフラットにして、原音のままに出力します。

シークモード (チューニングモード)

放送局の探しかたを設定することができます。

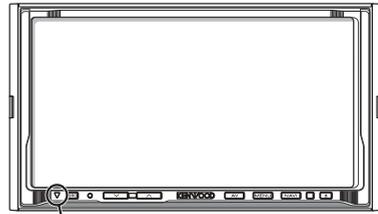
オート : 放送局を自動的に見つけ出します。

プリセット : メモリーされている放送局を順番に受信します。

マニュアル : 1ステップずつ周波数が変わります。

セキュリティインジケーター機能

この機能をオンにしておくと、エンジンキーがオフのときにLEDが点滅します。LEDが点滅することにより盗難を抑制する効果があります。



セキュリティインジケーター

タイトル

DVDビデオディスクに記載されている映像や曲などを区切るいちばん大きな単位です。

チャプター

DVDビデオディスクにタイトルの内容を場面や曲ごとにさらに小さく区切った単位です。

トラック

CDに収録されている曲の区切り(曲分)をトラックと呼びます。各トラックに付けられた番号をトラックナンバーと呼びます。

操作音

ボタンを押したときに、押されたことが確認できるように"ピッ"音がする機能です。

押してすぐ離れたときには"ピッ"と鳴ります。うるさく感じたときには、"OFF"に設定することにより消すことができます。

視聴規制（パレンタルロック）

視聴年齢制限をするためのDVDの機能。DVDにより制限のしかたは異なり、まったく再生できない場合や、過激な場面をとばしたり、差し替えたりして再生をします。

ワンセグ

日本の地上デジタルテレビ放送は、約6MHzの帯域を13個のセグメントに分けて放送されます。そのうち、12個のセグメント（12セグ）は高画質・高音質の放送に使用され、残りの1個のセグメント（ワンセグ）で行われる携帯や移動体向けの放送サービスです。

ワンセグは、12セグに比べると画質や音質は劣りますが、電波の到達範囲は12セグよりも広く、また移動時でも安定した受信が可能です。

C

共通

N

ナビゲーション

E

エンタテインメント

S

セットアップ

A

付録

C

共通

ナビゲーション部

アンテナ方式	マイクロストリップ平面アンテナ
受信方式	パラレル12チャンネル
受信周波数	1575.42MHz (C/Aコード)
受信感度	-130dBm以下
VICS	3メディア対応 (FM多重：内蔵、光・電波ビーコン：別売)

N

ナビゲーション

モニター部

画面サイズ	7.0V型ワイド 156.2 (幅) × 82.4 (高さ) × 176.6 (対角) mm
表示方式	透過TN型
駆動方式	TFTアクティブマトリクス
画素数	336,960個 480H×RGB×234V
画素配列	RGBストライプ配列
使用光源 (照明方式)	冷陰極管

E

エンタテインメント

オーディオ部

最大出力	50W×4	
定格出力	29W×4 (4Ω、1kHz、10%THD)	
プリアウトレベル (Subwoofer)	2.0Vrms/10kΩ (FM)	
D/Aコンバータ	24bit	
A/Dコンバータ	24bit	
AV入力端子 (RCA×1)	映像入力レベル 音声最大入力レベル	1Vp-p/75Ω 2.0Vrms/50kΩ
AV出力端子 (RCA×1)	映像出力レベル (RCA) 外部音声出力レベル (RCA)	1Vp-p/75Ω 1.0Vrms/10kΩ (CD)

A

付録

デジタルTV部 **HDV-990**

受信方式	地上デジタル放送の1セグ受信
受信チャンネル (UHF)	13 ~ 62ch
映像符号化方式	MPEG4-AVC/H.264
音声符号化方式	MPEG2-AVC/AAC-SBR
ワンセグ(地上デジタルTV)用アンテナ	2ダイバシティ対応・ワンセグ専用アンテナコネクター
入力信号レベル	-95dBm~+0dBm

アナログTV部 **HDV-790**

受信チャンネル (VHF)	1 ~ 12ch
(UHF)	13 ~ 62ch
アンテナ入力(入力インピーダンス)	4ch ダイバシティ (75Ω/φ3.5mmミニジャック)

FMチューナー部

受信周波数範囲(周波数ステップ)	76.0MHz~ 90.0MHz (0.1MHz)
実用感度(S/N : 30 dB)	8dBf (0.7μV/75Ω)
周波数特性(±3.0 dB)	30Hz~ 15kHz
S/N比	70dB (MONO)
選択度	80dB以上(±400 kHz)
ステレオセパレーション	40dB (1kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲(周波数ステップ)	522kHz~ 1629kHz (9kHz)
感度	27dBμ

USB I/F部

対応USB	USB1.1/2.0
ファイルシステム	FAT16/32
最大供給電流	1200mA
MP3デコード	MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠
WMAデコード	Windows Media™ Audio準拠
AACデコード	AAC-LC形式 "m4a" ファイル

HDD部

MP3デコード	MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠
WMAデコード	Windows Media™ Audio準拠
AACデコード	AAC-LC形式 "m4a" ファイル

C

共通

DVD/CD部

ワウ/フラッター	測定限界以下
周波数特性	20 ~ 24,000Hz
S/N比	97dB
ダイナミックレンジ	95dB
対応ディスク	DVD-Video、DVD-R (Video Mode)、DVD-RW (Video Mode/VR Mode)、DVD+R/RW (Video Mode)、CD-DA、CD-R/RW、SACD (CD Layer only)

N

ナビゲーション

リージョン番号	2
サンプリング周波数	8kHz/11.025kHz/12kHz/16kHz/22.05kHz/24kHz/ 32kHz/44.1kHz/48kHz/88.2kHz/96kHz
量子化ビット数	16/20/24bit
音声フォーマット	Dolby Digital、DTS、LPCM、CD-DA、DTS-CD、 MPEG-1.0/2.0 Audio Layer-3、Windows Media™ Audio、 MPEG4、AAC

E

エンタテインメント

静止画フォーマット (JPEG)	Baseline DCT Frame	MIN Size : 32 (W) × 32 (H) MAX Size : 8192 (W) × 7680 (H)
	Progressive DCT Frame	MIN Size : 32 (W) × 32 (H) MAX Size : 1600 (W) × 1200 (H)
動画フォーマット (MPEG)	Video Format	MPEG1、MPEG2、DivX
	MPEG1 Size	320×240、352×240
	MPEG2 Size	640×480、704×480
	DivX Version	Ver.3、Ver.4、Ver.5
ステレオセパレーション		90dB

S

セットアップ

iPod I/F部

最大供給電源	16V/1A
--------	--------

電源/寸法/重量

A

付録

電源電圧	14.4V (10.5V~16V)	
最大消費電流	15A	
使用温度範囲	-10 ~ +60℃	
保存温度範囲	-30 ~ +85℃	
本体	外形寸法 (W×H×D)	180mm×100mm×181.5mm
	埋込寸法 (W×H×D)	178mm×100mm×160mm
	重量 (HDV-990)	3,000g
	重量 (HDV-790)	2,900g
GPSアンテナ	外形寸法 (W×H×D)	30.4mm×11.7mm×35.5mm
	ケーブル長	5m
	重量	97g

TVアンテナ (付属品) **HDV-990**

受信チャンネル	(UHF帯)	13 ~ 62ch
周波数範囲	(UHF帯)	470.0 ~ 770.0MHz
ブースターゲイン	(UHF帯)	9 ~ 12.5dB
ケーブル長	アンテナケーブル	(右用/左用共) 3m
電源電圧		DC8V
消費電流		40mA以下
プリントアンテナ部	エレメント寸法	10cm
重量		約140g (付属品含む)

TVアンテナ (付属品) **HDV-790**

受信チャンネル	(FM帯)	VICS
	(VHF帯)	1 ~ 12ch
	(UHF帯)	13 ~ 62ch
周波数範囲	(FM帯)	76.0 ~ 90.0MHz
	(VHF帯)	90.0 ~ 222.0MHz
	(UHF帯)	470.0 ~ 770.0MHz
ブースターゲイン	(FM帯)	10dB
	(VHF帯)	10dB
	(UHF帯)	7dB
ケーブル長	アンテナケーブル	(右用/左用共) 3m
	電源ケーブル	(右用/左用共) 3m
電源電圧		DC8±0.5V
消費電流		80 ~ 84mA
プリントアンテナ部	エレメント寸法	347mm×95mm
RFアンプ部	外形寸法 (W×H)	40mm×20mm
	重量	約247g (付属品含む)

C

共通

KENWOODワンセグTVチューナーのソフトウェアライセンスについて

KENWOODワンセグTVチューナーに組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれにKENWOODまたは第三者の著作権が存在します。

KENWOODワンセグTVチューナーは、KENWOOD及び第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメント（以下、「EULA」といいます）に基づくソフトウェアコンポーネントを使用しております。

N

ナレゲーション

「EULA」の中には、フリーソフトウェアに該当するものがあり、GNU General Public LicenseまたはLesser General Public License（以下、「GPL/LGPL」といいます）のライセンスに基づき実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするように求めています。当該「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧ください。よろしくお願いいたします。

ホームページアドレス <http://www.kenwood.co.jp/gpl>

E

エンタテインメント

なお、ソースコードの内容等についてのご質問はお答えしかねますので、予め御了承ください。

また、KENWOODワンセグTVチューナーのソフトウェアコンポーネントには、KENWOOD自身が開発もしくは作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェア及びそれに付帯したドキュメント類には、KENWOODの所有権が存在し、著作権法、国際条約及び他の準拠法によって保護されています。

S

セットアップ

KENWOOD自身のソフトウェアコンポーネントの取扱いについては、添付の「ソフトウェア使用許諾契約書」を参照ください。なお、「GPL/LGPL」の適用を受けない「EULA」に基づくソフトウェアコンポーネント及びKENWOOD自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

「GPL/LGPL」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は、明示かつ黙示であるかを問わず一切ありません。

適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「GPL/LGPL」をお読みください。

A

付録

KENWOODワンセグTVチューナーに組み込まれた「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用頂く場合は、対応するライセンスをよく読んでから、ご利用くださるようお願い致します。なお各ライセンスはKENWOOD以外の第三者による規定のため、原文（英文）を記載します。

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE**Version 2, June 1991**

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.
59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software—to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or

any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
- c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way,

to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

- a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sub license, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sub license or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License.

Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of

following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>

Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

```
Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY;
for details type `show w'. This is free software, and you are
welcome to redistribute it under certain conditions; type
`show c' for details.
```

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items-- whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

```
Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the
program `Gnomovision' (which makes passes at compilers)
written by James Hacker.
```

```
<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice
```

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

C
共通

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages—typically libraries—of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because

it does less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers less of an advantage over competing non-free programs.

These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this license"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

N
ナビゲーションE
エンタテイメントS
セットアップA
付録

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it).

Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) The modified work must itself be a software library.
- b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
- d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work.
(Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library.

(It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a

special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive

copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE

OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change.

You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>

Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library 'Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

保証について

- 保証書 この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間 お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

【A013】故障かなと思ったら」を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、ケンウッドサービスステーション、営業所にお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、ケンウッドサービスステーション、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は…

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、ケンウッドサービスステーション、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。

（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

● 持込修理 この製品は持込修理とさせていただきます。

製品を修理のために、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、ケンウッドサービスステーション、営業所にお持ちになるときは、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください（本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）。

● 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要になります。）

技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。

技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

部品代：修理に使用した部品代です。

その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、ケンウッドサービスステーション、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

ハードキー

(AVキー)

.....	C006	E001	E004	E012	E013
	E015	E016	E019	E032	E036
	E037	E038	E040	E041	E045
	E046	E047	E051	E052	

(MENUキー)

.....	C006	N011	N012	N013	N046
	N058	N064	N080	E001	E004
	E007	E019	E032	E034	E035
	S001	S009	S011		

(NAVIキー)

.....	C006	N012	E001	E004	E012
	E015	E019	E032	E036	E040
	E046	E051	E057	E058	

(SRCキー)

.....	C006	E001	E019	E032	E036
	E040	E046	E051	E057	E058
	E060				

(イジェクトキー)

.....	C006	C008	E003
-------	-------------	-------------	-------------

(ボリュームキー)

.....	C006	E001	E004	E012	E015
	E019	E032	E036	E040	E046
	E051	E058			

リセットキー **C003**

英数字

1画面/2画面表示を切り替える	N006	N081	
1画面表示	N004	N006	N081
1曲リピートプレイ (iPod)	E041		
1曲リピートプレイ (ハードディスク)	E052		
2D地図	N004	N005	N081
2画面表示	N004	N006	N081
3D地図	N004	N005	N081
3D地図画面の角度を設定する	N083		
3D地図の角度調整	N081	N083	
4つのルートを比較する	N034		
8方向スクロール	N007		
AUX	E058	S023	
AV in	E057		
AVソースをAUXに切り替える	E002	E058	
AVソースをCDに切り替える	E002		

AVソースをDVDに切り替える	E002		
AVソースをiPodに切り替える	E002	E040	
AVソースをUSBデバイスに切り替える	E002	E046	
AVソースをVideoに切り替える	E002	E057	
AVソースを圧縮ファイルに切り替える	E002		
AVソースをアナログテレビに切り替える	E002		
AVソースを外部オーディオに切り替える	E002		
AVソースを外部ビデオに切り替える	E002		
AVソースをハードディスクに切り替える	E002	E051	
AVソースをラジオに切り替える	E002	E036	
AVソースをワンセグに切り替える	E002	E019	
CD	E012		
CDの音声に切り替える (サウンド切り替えボタン) ...	N009		
CDメニューを表示する	E013		
CD読み込みモード	S019		
CDを入れる	E003		
CS Automotive	S005		
DivX	E015	E016	A009
DivX操作ボタン	E016		
DivX登録コードを表示する	S019		
DivXファイルディスクを入れる	E003		
DVD	E004		
DVD VIDEOメニューを表示する	E007		
DVD音声の優先言語	S020		
DVD拡張操作ボタンを表示する	E006		
DVD言語コード	A008		
DVD視聴制限レベル	S021		
DVD字幕の優先言語	S020		
DVD操作ボタン	E005		
DVDの音声に切り替える (サウンド切り替えボタン)	N009		
DVDの優先言語を設定する	S020		
DVDメニューの優先言語	S020		
DVDを入れる	E003		
DVDを観る	E004		
ETCレーン案内	N038		
ETCレーン案内を表示する	N085		
FM多重放送	N056		
FOCUS	S005	S006	
GOAL到達度	N041		
GOALプレート	N037	N041	

キーワードインデックス

C 共通	GOALプレートの表示方法を切り替える	N085
	GPS受信（接続確認）	S015
	GPSマーク	N001
	HDD編集メニューを表示する	S027
	iPod	E040
	iPodの音声に切り替える （サウンド切り替えボタン）	N009
	iPodビデオ操作ボタン	E044
	iPodメニューを表示する	E041
	iPodを接続する	E039
	JPEG	E015、A009
N ナビゲーション	JPEGファイルを見る	E002、E003、E015
	MIX to Rearを設定する	S005
	MP3	E015、E016、A009
	MPEG	E015、E016、A009
	MPEGファイルを観る	E002、E003、E015
	SRS 3D	S005、S006
	SRS Circle Surround II	S005
	SRS WOW	S005、S006
	TruBass	S005、S006
	TUNERメニュー	E037
E エンターテインメント	TUNERメニューを表示する	E037
	TV操作ボタン	E033
	TV操作ボタンを表示する	E033
	TVメニュー	E034
	TVメニューを表示する	E034
	USBデバイス	E045、A010
	USBデバイスの音声に切り替える （サウンド切り替えボタン）	N009
	USBデバイスを接続する	E045
	USBデバイスを取り外す	E045
	USBメニューを表示する	E047
S セットアップ	VICS FM局選局	N061
	VICS FM局の選局方法を切り替える	N061
	VICS (FM) 情報	N059
	VICS FM情報を表示する	N059
	VICS (ビーコン) 情報	N062
	VICS (ビーコン) 情報を表示する	N062
	VICS機能	N063
	VICS機能を設定する	N063

VICS交通規制情報（レベル3）を 表示する/表示しない	N063
VICS渋滞情報	N045
VICS渋滞情報表示	N063
VICS渋滞情報を考慮してルート探索する	S013
VICS情報とは	N056
VICS情報の表示	N057
VICS情報の割り込み表示時間を設定する	N063
VICS情報表示画面	N060
VICS情報を地図上に表示する	N057
VICS情報を割り込み表示する	N057
VICS情報	N001、N056
VICS駐車場情報（レベル3）を 表示する/表示しない	N063
VICSマークの情報を表示する	N008
WMA	E015、A009

あ行

明るさを調整する	S010
圧縮ファイルメニューを表示する	E016
アナログテレビ	E032
アナログテレビの音声に切り替える （サウンド切り替えボタン）	N009
アルバムランダムプレイ（iPod）	E041
アングルマーク	E005、S019
暗証番号（視聴制限レベル）	S021、S022
案内設定	N085
案内ポイント	N037
案内ポイント付近での音声案内	N039
案内ポイント付近での画面案内	N040
行き先を探す	N013、N014
行き先を削除する	N051
イコライザーを設定する	S004
以前に行った場所から探す	N024
位置関係をポジションマップに表示する	N020
一般道でのルート案内	N037
一般道のVICS情報を表示する/表示しない	N063
一般道の交差点での案内	N040
一般道優先ルート	N033
一般道を主に使うルートを選ぶ	N033

一般道でのレーン案内.....	N038
イルミネーション（接続確認）.....	S015
色合いを調整する.....	S010
いろいろな場所の地図を表示する.....	N007
色の濃さを調整する.....	S010
運転アドバイスの音声のオン/オフを切り替える.....	N085
運転アドバイスを音声でも案内する/案内しない.....	N085
英字を入力する.....	N068
映像をズームする（DVD）.....	E009
エリア固定選局（VICS）.....	N061
エリアモード（アナログテレビ）.....	E034
エリアモード（ラジオ）.....	E037
オーディオ画面にナビの案内画面やVICS情報画面を 割り込み表示する.....	S023
オーディオ画面へのナビ表示割込.....	S023
オーディオ構成.....	S002
オーディオ構成を設定する.....	S002
オーディオのプレイ時に、ナビの案内などを アナウンスする.....	S023
オーディオファイル.....	A009
オーディオファイルディスク.....	E003、E015
オーディオファイルディスクの音声に切り替える （サウンド切り替えボタン）.....	N009
オーディオファイルディスクを入れる.....	E003
オートアンテナ.....	E002、S014
オートプリセット（アナログテレビ）.....	E034
オートプリセット（ラジオ）.....	E037
オートモード（アナログテレビ）.....	E033
オートモード（ラジオ）.....	E037
オートモード（ワンセグ）.....	E020
オートリルート.....	N042
お知らせサウンド（メモリー地点）.....	N071
お試し走行.....	N054
お試し走行をする.....	N054
親画面.....	N006
音楽のジャンルに合わせた音質に調整する.....	S004
音声案内.....	N039
音声案内をもう一度聞く.....	N037
音声言語を切り替える（DVD）.....	E007
音声サポート.....	S018
音声サポートの口調などを設定する.....	S018

音声をAUXに切り替える.....	N009
音声をCDに切り替える.....	N009
音声をDVDに切り替える.....	N009
音声をiPodに切り替える.....	N009
音声をUSBデバイスに切り替える.....	N009
音声をVideoに切り替える.....	N009
音声をアナログテレビに切り替える.....	N009
音声を切り替える（ワンセグ）.....	E020
音声を切り替える（アナログテレビ）.....	E034
音声を設定する.....	E028
音声をハードディスクに切り替える.....	N009
音声をラジオに切り替える.....	N009
音声をワンセグに切り替える.....	N009
音場を選択する.....	S005
音場を選択する（CS Automotive）.....	S005
音場を選択する（SRS Circle Surround II）.....	S005
音場を選択する（SRS WOW）.....	S005

か行

カーソル.....	N007
外部オーディオ.....	E058
外部オーディオを聴く.....	E058
外部入力選択.....	S023
外部入力ソースとしてオーディオ（AUX）を 選択する.....	S023
外部入力ソースとしてビデオ（VIDEO）を選択する.....	S023
外部入力ソースを選択する.....	S023
外部入力の音声に切り替える （サウンド切り替えボタン）.....	N009
外部入力のソースを切り替える.....	S023
外部ビデオ.....	E057
外部ビデオの映像を表示する.....	E057
角度（3D地図）.....	N083
過去目的地.....	N024
過去目的地から探す.....	N024
過去目的地検索.....	N024
過去目的地.....	N078、N079
過去目的地を消去する.....	N078
過去目的地をメモリー地点に登録する.....	N077
画質を設定する.....	S010

キーワードインデックス

C 共通	カタカナを入力する	N068
	カテゴリで選曲する (iPod)	E042
	カテゴリで選曲する (ハードディスク)	E053
	画面位置	S012
	画面設定	S010
	画面モードを設定する	S010
	簡易図形型VICS情報	N057
	簡易操作モード	N001
	漢字を入力する	N068
	記号を入力する	N068
N ナビゲーション	規制情報表示	N038、N055
	北を上に表示する	N003、N081
	起動ウィザードで設定する	S009
	きめ細かく音場を調整する	S006
	曲アップ/曲ダウン	E041、E052
	曲スキャンプレイ (iPod)	E041
	曲ランダムプレイ (iPod)	E041
	曲ランダムプレイ (ハードディスク)	E052
	曲リスト選曲 (iPod)	E043
	曲リストで選曲する	E043
E エンタテイメント	曲を検索する (ハードディスク)	E054
	曲をハードディスクに転送する	E045、E050
	曲をプレイリストに登録する (ハードディスク)	E055
	距離の短いルートを選ぶ	N033
	距離・方向表示	N007
	距離優先ルート	N033
	緊急放送を受信する (ワンセグ)	E031
	くるくるボタン (CD)	N010
	くるくるボタン (DVD)	N010
	くるくるボタン (iPod)	N010
S セットアップ	くるくるボタン (USBデバイス)	N010
	くるくるボタン (アナログテレビ)	N010
	くるくるボタン (オーディオファイルディスク)	N010
	くるくるボタン (ナビ)	N001
	くるくるボタン (ハードディスク)	N010
	くるくるボタン (ビジュアルファイルディスク)	N010
	くるくるボタン (ラジオ)	N010
	くるくるボタン (ワンセグ)	N010
	黒レベルを調整する	S010
	経緯度検索	N019

A 付録	経度と緯度で探す	N019
	現在地	N001
	現在地の地図を表示する	N001
	現在地復帰ボタン (ハイウェイモード)	N038
	現在地ボタン	N007
	現在地補正	S017
	現在地を補正する	S017
	検索した地点周辺の駐車場や関連施設を探す	N030
	検索した場所の情報を見る	N028
	広域の地図を表示する	N002
E エンタテイメント	広域ボタン	N001、N002
	交差点拡大図	N040
	交差点拡大図の2D/3D表示を切り替える	N085
	高速道路でのルート案内	N038
	高速道路のVICS情報を表す/表示しない	N063
	高速道路のインターチェンジ/ジャンクション	N040
	高速道路のインターチェンジやジャンクションでの案内	N040
	高速道路を主に使うルートを選ぶ	N033
	交通情報	E037
	交通情報周波数選択	S023
S セットアップ	交通情報の周波数を選択する	S023
	交通情報表示 (ハイウェイモード)	N038
	交通情報を聞く	E037
	合流案内	N038
	子画面	N006
	個人宅を電話番号で探す	N018
	コントラストを調整する	S010
	コンパスボタン	N001

さ行

細街路	N001
再生中の曲を削除する (ハードディスク)	E056
再探索	N043
最適時間考慮	S013
最適時間考慮探索	N045
サウンド切り替えボタン	N001、N009
サウンド切替ボタンで音声を切り替える (サウンド切り替えボタン)	N009
サウンド調整メニュー	S001、N011

サウンド調整メニューを表示する.....	S001、 N011	視聴制限レベルを設定/変更する.....	S021
サウンドを設定する (CS Automotive)	S005	自動選局 (VICS)	N061
サウンドを設定する (SRS Circle Surround II)	S005	字幕言語を切り替える (DVD)	E007
サウンドを設定する (SRS WOW)	S005	字幕を切り替える (ワンセグ)	E020
探した場所の周辺施設を探す	N031	字幕を設定する (ワンセグ)	E029
探すメニュー	N013	車速/パルス	S013
探すメニューを表示する	N013	車両種別	S014
サブウーファー	S007	車両情報設定	S014
サブウーファースのレベルを調整する.....	S007	車両情報を設定する.....	S014
サラウンド	S005	住所検索	N016
シークモード (アナログテレビ)	E033	住所で探す	N016
シークモード (ラジオ)	E037	住所表示	N007
シークモード (ワンセグ)	E020	渋滞	N045
シークモードを切り替える (アナログテレビ)	E033、 E034	渋滞していたら.....	N045
シークモードを切り替える (ラジオ)	E037	渋滞情報だけを表示する.....	N063
シークモードを切り替える (ワンセグ)	E020	渋滞情報と空き情報を表示する.....	N063
次交差点案内	N001、 N037	渋滞メニュー	N058
次交差点案内のオン/オフを切り替える.....	N085	渋滞メニューを表示する.....	N058
次施設案内	N038	渋滞を回避できるルートを探索する.....	N045
自転車マーク	N001、 N037、 N038	周辺から探す	N025
システム設定	S023	縮尺	N002
システムの詳細を設定する	S023	詳細な地図を表示する.....	N002
施設の提携駐車場を探す	N030	詳細ボタン	N001、 N002、 N007
施設名検索	N015	情報メニュー	N064
施設名で探す	N015	情報メニューを表示する.....	N064
したいこと検索.....	N020	ショートカットを表示する	N004
したいことで探す.....	N020	神経衰弱.....	N079
したいことの種類.....	N021	進行方向上	N003、 N081
自宅.....	N036	進行方向を上に表示する.....	N003、 N081
自宅消去	N076	数字を入力する.....	N068
自宅登録	N074	ズーム (DVD)	E009
自宅の登録を消去する.....	N076	スキャンレイ (ハードディスク)	E052
自宅の場所を登録/変更する	N074	スクリーン.....	S019
自宅のマークを設定/変更する	N075	スクロール地図画面.....	N007
自宅へ帰る	N036	スクロールボタン.....	N007
自宅へのルート案内を開始する.....	N036	スクロールボタン (ハイウェイモード)	N038
自宅ボタン	N001	セキュリティインジケーター	C006、 S023
自宅マーク	N075	セキュリティインジケーターをオン/オフする	S023
視聴制限レベルの暗証番号を変更する.....	S022	セキュリティコードを解除する.....	S025
		セキュリティコードを設定する.....	S024

キーワードインデックス

C 共通	セキュリティコードを入力する.....	S026
	接近方向（お知らせサウンド）.....	N072
	接続確認.....	S013
	接続状態を確認する.....	S015
	セットアップメニュー.....	S009、N011
	セットアップメニューを表示する.....	S009、N011
	前後のバランスを調整する.....	S007
	全ルート表示.....	N047
N ナビゲーション	操作音.....	S023
	操作音をオン/オフする.....	S023
	ソースごとの音量バランスを設定する.....	S008
	ソースレベル.....	S008
	測位.....	S015、A001

た行

E エンタテインメント	タイトルサーチ.....	E008
	タイトル番号でシーンを探す.....	E008
	タイトルリピートプレイ.....	E007
	立ち寄る順番を変更する.....	N050
	立ち寄る場所として設定する.....	N027
	立ち寄る場所を探す.....	N013
	立ち寄る場所を削除する.....	N051
	立ち寄る場所を追加する.....	N052
	タッチ位置補正.....	S011
	タッチ位置を補正する.....	S011
S セットアップ	タッチゲーム.....	N079
	タッチゲームで遊ぶ.....	N079
	タッチした場所を中心に地図を表示する.....	N007
	タッチした方向にスクロールする.....	N007
	たてもの名検索.....	N015
	建物名で探す.....	N015
	近くで探す.....	N025
	地図色.....	N081、N082
	地図画面の表示を設定する.....	N081
	地図から他の場所を探す.....	N029
	地図記号.....	A002
	地図検索.....	N022、N029
	地図に表示するランドマークの種類を選ぶ.....	N084
	地図上のマークの情報を表示する.....	N008

地図の向きを変える.....	N003、N081
地図表示型VICS情報.....	N057
地図表示設定.....	N081
地図を1画面表示する.....	N006
地図を2画面表示する.....	N006
地図を見ながら探す.....	N022
地点検索.....	N014
地点周辺の施設を探す.....	N031
地点情報表示.....	N028
地点の詳細情報を見る.....	N028
チャプターアップ/チャプターダウン.....	E007
チャプターリピートプレイ.....	E007
チャンネルアップ/チャンネルダウン （アナログテレビ）.....	E033
チャンネルアップ/チャンネルダウン（ワンセグ）.....	E020
チャンネルスキャン（ワンセグ）.....	E022
チャンネルメモリ（ワンセグ）.....	E023
チャンネルリストの順に選局する.....	E026
チャンネルリストで選局する.....	E025
チャンネルリストを保存する（ワンセグ）.....	E023
チャンネルリストを呼び出す（ワンセグ）.....	E024
チャンネルをマニュアルでプリセットする （アナログテレビ）.....	E035
駐車場検索.....	N030
駐車場を探す.....	N030
通過交差点案内.....	N037
通過交差点案内のオン/オフを切り替える.....	N085
通過点削除.....	N051、N053
通過点順番変更.....	N050
通過点設定.....	N027
通過点追加.....	N052
通過点として設定する.....	N027
通過点の順番を変更する.....	N050
通過点の場所を変更する.....	N049
通過点変更.....	N049
通過点や目的地を削除する.....	N051
通過点を探す.....	N014
通過点を削除する.....	N051
通過点を追加する.....	N052
通行料金.....	N038

次の案内ポイント.....	N037
ディスク挿入口.....	E003
ディスクの出し入れ.....	E003
ディスクメニュー（コントロール）.....	E011
ディスクメニュー（ダイレクト）.....	E010
電源オン/オフ.....	C007
電波ビーコン.....	N056
電話番号（メモリー地点）.....	N069
電話番号検索.....	N017
電話番号検索（個人宅）.....	N018
電話番号で施設を探す.....	N017
電話番号と名字で個人宅を探す.....	N018
時計.....	N001
道路種別.....	N001、N037
道路種別の表示のオン/オフを切り替える.....	N085
都市高速道路の入口.....	N040
都市高速道路の入口での案内.....	N040
トップカテゴリ.....	E042
トップメニュー.....	N011
ドライブシミュレーションする.....	N054
ドライブプラン情報.....	N047、N048
ドライブプラン全体地図.....	N048
ドライブプラン全体を地図で表示する.....	N047
ドライブプラン全体を表示する.....	N047
ドライブプラン選択.....	N033
ドライブプランメニュー.....	N046
ドライブプランメニューを表示する.....	N046
ドライブプランを削除する.....	N053
ドライブプランを比較する.....	N034
ドライブプランをリストで表示する.....	N048
ドライブを予行演習する.....	N054
トラックアップ/トラックダウン.....	E013
トラックサーチ.....	E013
トラックスキャンプレイ.....	E013
トラックタイトル.....	E013
トラックランダムプレイ.....	E013
トラックリストで選曲する.....	E014
トラックリピートプレイ.....	E013

な行

何をするかで探す.....	N020
ナビ音声時オーディオ音量ダウン.....	S023
ナビ音声出力.....	S023
ナビ音声の割り込みをオン/オフする.....	S023
ナビ音声割り込み.....	S023
ナビ音声をアナウンスするときにオーディオの音量を 一時的に下げる.....	S023
ナビ音量.....	S023
ナビ機能設定.....	S013
ナビ機能を設定する.....	S013
ナビ設定メニュー.....	N080
ナビ設定メニューを表示する.....	N080
ナビに記憶させた場所から探す.....	N023
ナビに場所を記憶させる.....	N032
ナビの音量を調整する.....	S023
ナビメニュー.....	N012
ナビメニューを表示する.....	N012
ノースアップ.....	N003、N081

は行

パーキング（接続確認）.....	S015
バージョン情報（接続確認）.....	S015
ハードディスク.....	E051
ハードディスク内の曲の再生履歴を削除する （ハードディスク）.....	S034
ハードディスク内の曲やアルバムを削除する （ハードディスク）.....	S028
ハードディスクの音声に切り替える （サウンド切り替えボタン）.....	N009
ハードディスクのデータを編集する.....	S027
ハードディスクの容量を確認する.....	S035
ハイウェイモード.....	N038
迫力のある低音を調整する（TruBass）.....	S006
バックセンサー（接続確認）.....	S015
早送り/早戻し（CD）.....	E013
早送り/早戻し（iPod）.....	E041
早送り/早戻し（iPodビデオ）.....	E044
早送り/早戻し（USB）.....	E047
早送り/早戻し（圧縮ファイル）.....	E016

キーワードインデックス

C 共通	早送り/早戻し (ハードディスク)	E047
	バランス	S007
	バランスを調整する	S007
	パルス学習をリセットする	S016
	パルス情報 (接続確認)	S015
	パルスリセット	S016
	パレンタルレベル	S021
N ナビゲーション	番組表を表示する (ワンセグ)	E020
	バンド切替	E037
	ビーコン (接続確認)	S015
	光ビーコン	N056
	ビジュアルファイル	A009
	ビジュアルファイルディスク	E003、E015
	ビジュアルファイルディスクの音声に切り替える (サウンド切り替えボタン)	N009
E エンターテインメント	ビジュアルファイルディスクを入れる	E003
	標準ルート	N033
	ひらがなを入力する	N068
	ファイルリスト選択 (USB)	E048
	ファイルリスト選択 (圧縮ファイル)	E017
	ファイルアップ/ファイルダウン (iPodビデオ)	E044
	ファイルアップ/ファイルダウン (USB)	E047
S セットアップ	ファイルアップ/ファイルダウン (圧縮ファイル)	E016
	ファイルアップ/ファイルダウン (ハードディスク)	E047
	ファイルサーチ (圧縮ファイル)	E016
	ファイルサーチ (ハードディスク)	E052
	ファイルスキャンプレイ (USB)	E047
	ファイルスキャンプレイ (圧縮ファイル)	E016
	ファイルランダムプレイ (USB)	E047
A 付録	ファイルランダムプレイ (圧縮ファイル)	E016
	ファイルリストでファイルを選択する (USB)	E048
	ファイルリストでファイルを選択する (圧縮ファイル)	E017
	ファイルリピートプレイ (USB)	E047
	ファイルリピートプレイ (圧縮ファイル)	E016
	フェーダー	S007
	フェーダーを調整する	S007
	フォルダアップ/フォルダダウン (USB)	E047
	フォルダアップ/フォルダダウン (圧縮ファイル)	E016
	フォルダサーチ (圧縮ファイル)	E016

フォルダリピートプレイ (USB)	E047
フォルダリピートプレイ (圧縮ファイル)	E016
フォルダを選択する (USB)	E049
フォルダを選択する (圧縮ファイル)	E018
プラン情報確認	N048
プラン全体地図	N048
プランを選ぶ	N033
プリセットモード (ワンセグ)	E020
プリセットチャンネルリスト	E034
プリセットモード (アナログテレビ)	E033
プリセットモード (ラジオ)	E037
プレイ/ポーズ (CD)	E013
プレイ/ポーズ (DVD)	E007
プレイ/ポーズ (iPod)	E041
プレイ/ポーズ (iPodビデオ)	E044
プレイ/ポーズ (USB)	E047
プレイ/ポーズ (圧縮ファイル)	E016
プレイ/ポーズ (ハードディスク)	E052
プレイリスト内の曲順を変更する (ハードディスク)	S031
プレイリスト内の曲を削除する (ハードディスク)	S032
プレイリストに曲を追加する (ハードディスク)	S030
プレイリストの名前を変える (ハードディスク)	S029
プロダクトID (接続確認)	S015
フロントパネルの角度調整	C008
別道路	N004、N044
別の道路に自車位置を変える	N044
ヘディングアップ	N003、N081
ボイスアドバイザ	S023
ボイスアドバイザをオン/オフする	S023
ポイントスクロール	N007
放送局をチャンネルリスト順に選局する	E027
放送局をマニュアルでプリセットする	E038
方面看板	N001
方面看板を表示する/表示しない	N085
北上固定	N003、N081
ポジション	S003
ポジションマップ	N020

ま行

マーク（メモリー地点）	N070
マークの情報を表示する	N008
マークボタン	N007
マッピング	N020
マップマッチング	A001
マニュアルプリセット（アナログテレビ）	E035
マニュアルプリセット（ラジオ）	E038
マニュアルモード（アナログテレビ）	E033
マニュアルモード（ラジオ）	E037
名称検索	N015
名称で探す	N015
マークを選択する	N008
メモリー地点から探す	N023
メモリー地点検索	N023
メモリー地点消去	N073
メモリー地点情報を表示する	N008、N065
メモリー地点として登録する	N032
メモリー地点にサウンドを設定/変更する	N071、N072
メモリー地点に電話番号を設定する	N069
メモリー地点の位置を確認する	N066
メモリー地点のサウンドを鳴らす接近方法を設定/変更する	N072
メモリー地点の名前や読みを設定/変更する	N067
メモリー地点の場所を確認する	N066
メモリー地点のマークを変更する	N070
メモリー地点のリストを見る	N065
メモリー地点名称	N067
メモリー地点名を地図上に表示する/表示しない	N081
メモリー地点を消去する	N073
目的検索	N020
目的地情報ボタン	N001、N037
目的地情報を表示する	N041
目的地設定	N026
目的地に近づいたときにGOALプレートを表示する/表示しない	N085
目的地の場所を変更する	N049
目的地の方向	N037、N038
目的地変更	N049
目的地を探す	N013

目的地を削除する	N051
目的で探す	N020
文字型VICS情報	N057
文字入力	N068
文字表示型VICS情報を割り込み表示する/表示しない	N063
文字を入力する	N068
目的地削除	N051、N053
モノラル受信	E037
最寄り検索	N025、N031
最寄りの警察署を探す	N020
最寄りのケンウッドサービスセンターを探す	N020、N021
最寄りの消防署を探す	N020、N021
最寄りのガソリンスタンドを探す	N020、N021
最寄りの駐車場を探す	N020、N021
最寄りのトイレを探す	N020、N021
最寄りのドラッグストアを探す	N020、N021
最寄りの病院を探す	N020、N021
最寄りのレッカーサービスを探す	N020、N021
最寄りのロードサービスを探す	N020、N021

や行

有料道路優先ルート	N033
有料道路を主に使うルートを選ぶ	N033
よく使う機能をショートカットボタンで表示する	N004
予想到着時刻	N037
読み仮名（メモリー地点）	N067
寄り道する順番を変更する	N050
寄り道する場所として設定する	N027
寄り道する場所を探す	N013
寄り道する場所を削除する	N051
寄り道する場所を追加する	N052

ら行

ラジオの音声に切り替える (サウンド切り替えボタン)	N009
ランクメニューボタン	N001
ランクメニューを表示する	N004
ランドマークの情報を表示する	N008
ランドマークの表示を設定する	N084
リアビューカメラの映像を表示する	E059
リアビューカメラの接続を設定する	S023
リアモニターに映像を映す	E060
リアモニタの接続を設定する	S023
立体的な音場を設定する	S005
立体的な音場を設定する (CS Automotive)	S005
立体的な音場を設定する (SRS Circle Surround II)	S005
立体的な音場を設定する (SRS WOW)	S005
リバーシブル	N079
リバース時自動音量ダウン	S023
リバース時に自動的にナビやオーディオの音量を 下げる/下げない	S023
料金所後方方面案内	N038
料金所に近づいたときに料金を表示する/表示しない	N085
料金所レーン案内を切り替える	N085
料金所レーンの案内を切り替える	N085
料金案内	N038、N085
ルート	N037、N038
ルート案内時の動作を設定する	N085
ルート案内を開始する	N035
ルート案内を中止する	N055
ルートから外れたときは	N042
ルート削除	N053
ルート種別	N033
ルート全体を表示する	N047
ルートの種類を選ぶ	N033
ルートを削除する	N053
ルートを探索しなおす	N004、N043
ルートを比較する	N034
レーン案内	N001、N037
レーン案内の表示のオン/オフを切り替える	N085
ルート比較	N034

レベル1情報	N057
レベル2情報	N057
レベル3情報	N057

わ行

わかることから探す	N015、N016、N017、N018
ワンセグ	E019
ワンセグアップデートを開始する	S023、A012
ワンセグ情報表示を切り替える	E020
ワンセグ設定を初期化する	S023
ワンセグの音声に切り替える (サウンド切り替えボタン)	N009
ワンセグメニュー	E021
ワンセグを観る	E019



正しい取り付け
正しい操作で
安全運転

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町 2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

ナビダイヤル 0570-010-114 (一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です)
携帯電話、PHS、IP電話からは 045-933-5133

FAX 045-933-5553

住所 〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山1-16-2

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00

土曜 9:30～12:00、13:00～17:30

(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。